

第 3 章 都道府県別の調査結果

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の各観察個体数、及び高病原性鳥インフルエンザ検査優先種※ 1、2 の観察個体数の推移をグラフに示した。また類毎及び高病原性鳥インフルエンザの検査優先種 1、2 の分布について、47 都道府県別に整理し図示した。

※ 検査優先種とは、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル（令和 4 年 10 月改訂版）」における高病原性インフルエンザ検査優先種（旧：リスク種）である。

【検査優先種 1、2 のうち「ガンカモ類の生息調査」で対象となっているもの】

- | |
|--|
| ○検査優先種 1：ヒシクイ、マガン、シジュウカラガン、コブハクチョウ、コハクチョウ、オオハクチョウ、オシドリ、ヒドリガモ、キンクロハジロ |
| ○検査優先種 2：マガモ、オナガガモ、トモエガモ、ホシハジロ、スズガモ |

それぞれの図で用いたのは、次の結果である。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・図 1 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の観察個体数の推移
平成 14 年度（第 34 回）から令和 3 年度（第 53 回）までの類別の観察個体数・図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の観察個体数の分布
令和 3 年度（第 53 回）調査結果・図 3 検査優先種 1 及び 2 の観察個体数の推移
平成 14 年度（第 34 回）から令和 3 年度（第 53 回）までの観察個体数の推移・図 4 検査優先種 1 及び 2 の分布
至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布 |
|--|

なお、図 4 の検査優先種のうち平均個体数の種毎の内訳は、表 3-1 のとおりである。

【至近 5 年間の平均的な観察個体数の計算式】

$$Y = \frac{1}{5} \cdot \sum_{n=1}^5 Xn$$

- | | |
|----|--|
| Y | : 当該調査地点の至近 5 年間の平均観察個体数 |
| Xn | : 当該調査地点の年度毎の観察個体数（当該地点で調査を行っていない場合は観察個体数を 0 とする。） |
| n | : 調査年度（1:H29、2:H30、3:R01、4:R02、5:R03） |

また、この地図の作成に当たっては、以下の国土数値情報（行政区画、河川（一級河川及び二級河川）、湖沼、鳥獣保護区（都道府県指定））のほか、自然環境調査Web-GIS（環境省生物多様性センター：<http://gis.biodic.go.jp/webgis/>）の国指定鳥獣保護区データ(平成27年3月16日時点)を使用した。

【国土数値情報（<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>）】

- ・ 行政区画：令和4（2022）年1月1日時点
- ・ 河川（一級河川及び二級河川）：
 - 平成18年度：四国地方
 - 平成19年度：東北地方（北海道除く）、北陸地方、九州地方
 - 平成20年度：関東地方、中部地方、中国地方
 - 平成21年度：北海道、近畿地方
- ・ 湖沼：平成17（2005）年9月1日時点
- ・ 鳥獣保護区（都道府県指定）：平成27（2015）年3月16日時点※

※鳥取県と宮崎県は、平成27年データ未整備のため平成21（2009）年3月27日時点のデータを使用

第53回ガンカモ類の生息調査報告書 抜粋
高病原性鳥インフルエンザ検査優先種（リスク種）の観察状況

表 3-1(1) 検査優先種 1 の至近 5 年間の平均観察個体数

都道府県	オオハク チョウ	コハク チョウ	アメリカ コハク チョウ	コブハク チョウ	シジュウ カラガン	マガン	ヒシクイ	オシドリ	ヒドリガ モ	キンクロ ハジロ	合計
1 北海道	2,524	228	0	3	1	42	1	0	322	222	3,343
2 青森県	1,390	243	0	21	0	1	0	20	154	359	2,189
3 岩手県	3,698	1,110	1	0	12	2,078	1	29	584	431	7,944
4 宮城県	9,657	3,674	1	2	1,949	197,140	3,004	26	1,896	473	217,822
5 秋田県	827	344	0	0	45	1,639	3,154	77	250	189	6,525
6 山形県	1,215	6,140	4	0	0	248	204	23	316	489	8,637
7 福島県	2,347	3,510	4	61	0	91	2	111	1,088	907	8,119
8 茨城県	619	286	0	53	0	3	173	243	11,276	1,362	14,015
9 栃木県	180	69	0	0	0	0	2	362	1,980	301	2,894
10 群馬県	78	216	3	0	0	0	0	163	1,401	552	2,414
11 埼玉県	3	198	0	1	0	0	0	126	4,051	1,076	5,454
12 千葉県	128	1,753	2	44	0	1	0	487	4,500	1,844	8,760
13 東京都	0	0	0	1	0	0	0	10	1,673	924	2,609
14 神奈川県	0	1	0	2	0	0	0	945	1,374	835	3,158
15 新潟県	1,566	18,890	1	2	1	3,147	3,563	1	1,737	675	29,581
16 富山県	277	332	0	0	0	1	1	3	1,877	308	2,799
17 石川県	9	3,310	0	0	13	754	549	4	5,198	333	10,170
18 福井県	1	78	0	0	0	808	36	45	1,548	850	3,367
19 山梨県	0	3	0	46	0	0	0	322	220	256	847
20 長野県	2	824	1	0	0	21	2	176	882	893	2,802
21 岐阜県	0	70	0	0	0	0	3	618	4,756	1,357	6,804
22 静岡県	2	4	0	3	0	0	1	347	3,840	1,103	5,299
23 愛知県	7	5	0	1	0	0	0	295	2,545	3,581	6,434
24 三重県	0	0	0	0	0	0	0	463	6,980	1,342	8,786
25 滋賀県	7	608	0	0	2	30	200	255	11,651	15,367	28,120
26 京都府	0	4	0	1	0	10	2	977	1,958	1,063	4,013
27 大阪府	0	0	0	1	0	0	0	783	6,116	3,033	9,933
28 兵庫県	3	15	0	2	0	2	11	969	5,499	1,595	8,096
29 奈良県	0	0	0	0	0	0	0	2,283	1,572	343	4,198
30 和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	577	2,705	152	3,435
31 鳥取県	3	363	0	3	0	87	15	967	1,290	1,632	4,360
32 島根県	7	1,788	0	15	0	2,666	237	850	1,861	9,632	17,056
33 岡山県	0	0	0	0	0	1	1	474	1,691	1,274	3,440
34 広島県	0	0	0	0	0	1	0	2,091	6,043	682	8,817
35 山口県	1	0	0	0	0	0	0	1,652	3,757	627	6,037
36 徳島県	0	0	0	0	0	0	1	540	5,119	375	6,035
37 香川県	0	0	0	9	0	0	1	484	4,097	621	5,211
38 愛媛県	2	0	0	0	0	0	0	1,257	5,135	274	6,667
39 高知県	0	0	0	0	0	0	0	1,477	5,537	17	7,031
40 福岡県	0	0	0	9	0	3	0	607	2,892	729	4,239
41 佐賀県	0	0	0	0	0	10	0	653	3,064	5,526	9,253
42 長崎県	16	0	0	0	0	8	8	1,275	2,419	775	4,500
43 熊本県	0	1	0	0	0	0	0	444	4,893	24	5,361
44 大分県	5	0	0	0	0	0	0	1,579	3,548	118	5,251
45 宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	852	5,137	74	6,064
46 鹿児島県	0	0	0	3	0	0	0	420	2,576	162	3,162
47 沖縄県	0	0	0	0	0	5	4	0	176	816	1,002
合計	24,575	44,065	17	284	2,024	208,797	11,176	26,360	149,186	65,570	532,055

※四捨五入の関係で内訳と合計は一致しない。

第 53 回ガンカモ類の生息調査報告書 抜粋
高病原性鳥インフルエンザ検査優先種（リスク種）の観察状況

表 3-1(2) 検査優先種 2 の至近 5 年間の平均観察個体数

都道府県	マガモ	オナガガモ	ホシハジロ	スズガモ	トモエガモ	合計
1 北海道	1,702	425	39	789	1	2,955
2 青森県	783	920	255	1,182	5	3,144
3 岩手県	5,189	2,124	603	839	59	8,813
4 宮城県	18,867	22,933	669	2,381	39	44,889
5 秋田県	4,644	507	222	182	1	5,556
6 山形県	26,609	7,734	437	45	69	34,893
7 福島県	13,098	12,577	811	459	16	26,962
8 茨城県	45,913	28,832	1,503	12,458	159	88,865
9 栃木県	8,946	2,963	145	1	14	12,069
10 群馬県	3,132	2,213	330	1	3	5,679
11 埼玉県	5,451	1,753	1,349	15	9	8,577
12 千葉県	24,341	19,990	3,079	37,485	93	84,988
13 東京都	345	276	862	8,537	0	10,020
14 神奈川県	945	492	977	864	0	3,278
15 新潟県	37,970	11,069	1,101	166	161	50,468
16 富山県	6,510	1,539	395	8	4	8,456
17 石川県	18,360	5,256	748	123	1,957	26,443
18 福井県	15,025	472	541	690	466	17,194
19 山梨県	963	11	139	2	0	1,115
20 長野県	3,678	1,288	671	18	17	5,673
21 岐阜県	5,131	661	334	28	82	6,237
22 静岡県	5,848	1,546	1,344	4,599	11	13,348
23 愛知県	3,782	3,476	9,506	10,582	8	27,354
24 三重県	7,982	4,162	3,071	8,963	27	24,205
25 滋賀県	15,433	2,641	4,660	2,608	1,156	26,498
26 京都府	5,206	504	1,504	375	34	7,623
27 大阪府	2,122	623	10,433	1,277	36	14,491
28 兵庫県	3,524	1,680	9,502	3,216	61	17,983
29 奈良県	3,393	66	432	1	4	3,897
30 和歌山県	2,655	101	565	8	11	3,340
31 鳥取県	10,172	1,309	501	2,375	43	14,401
32 島根県	12,146	1,411	1,748	13,890	3,010	32,206
33 岡山県	3,553	3,412	2,983	1,809	194	11,951
34 広島県	5,012	959	5,422	5,468	191	17,053
35 山口県	6,366	243	1,002	275	84	7,970
36 徳島県	5,610	160	1,362	891	21	8,044
37 香川県	3,430	921	2,739	402	1	7,494
38 愛媛県	9,537	3,697	1,080	36	287	14,637
39 高知県	10,814	2,028	192	7	93	13,134
40 福岡県	5,711	1,513	2,175	1,161	31	10,591
41 佐賀県	4,715	6,463	10,790	49	22	22,039
42 長崎県	4,245	833	7,047	27,534	6,049	45,709
43 熊本県	8,503	947	104	46	0	9,601
44 大分県	4,715	868	326	145	61	6,115
45 宮崎県	7,579	403	70	6	0	8,059
46 鹿児島県	8,495	307	49	0	0	8,851
47 沖縄県	68	83	84	27	0	262
合計	408,215	164,392	93,904	152,026	14,590	833,126

※四捨五入の関係で内訳と合計は一致しない。

北海道のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の北海道での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

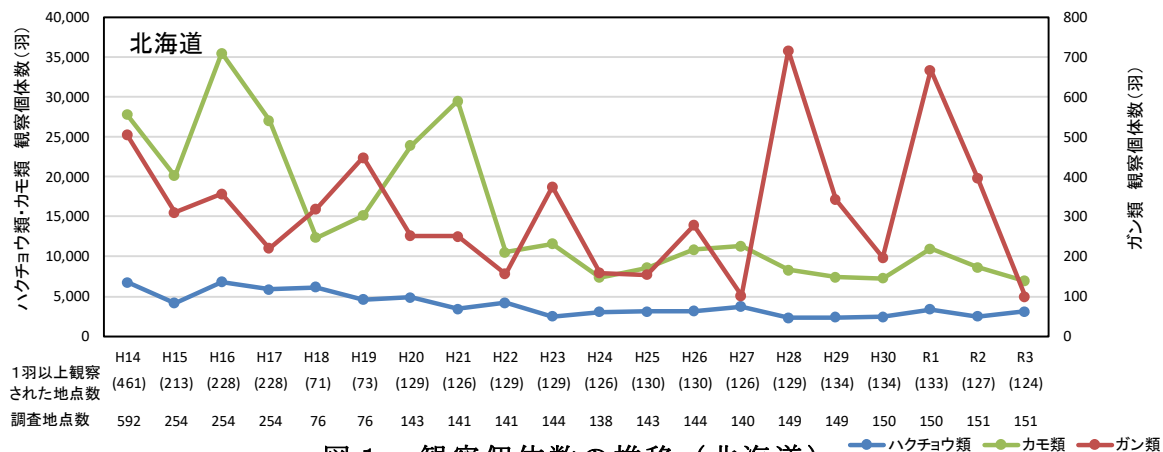


図 1 観察個体数の推移（北海道）

2. 道内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

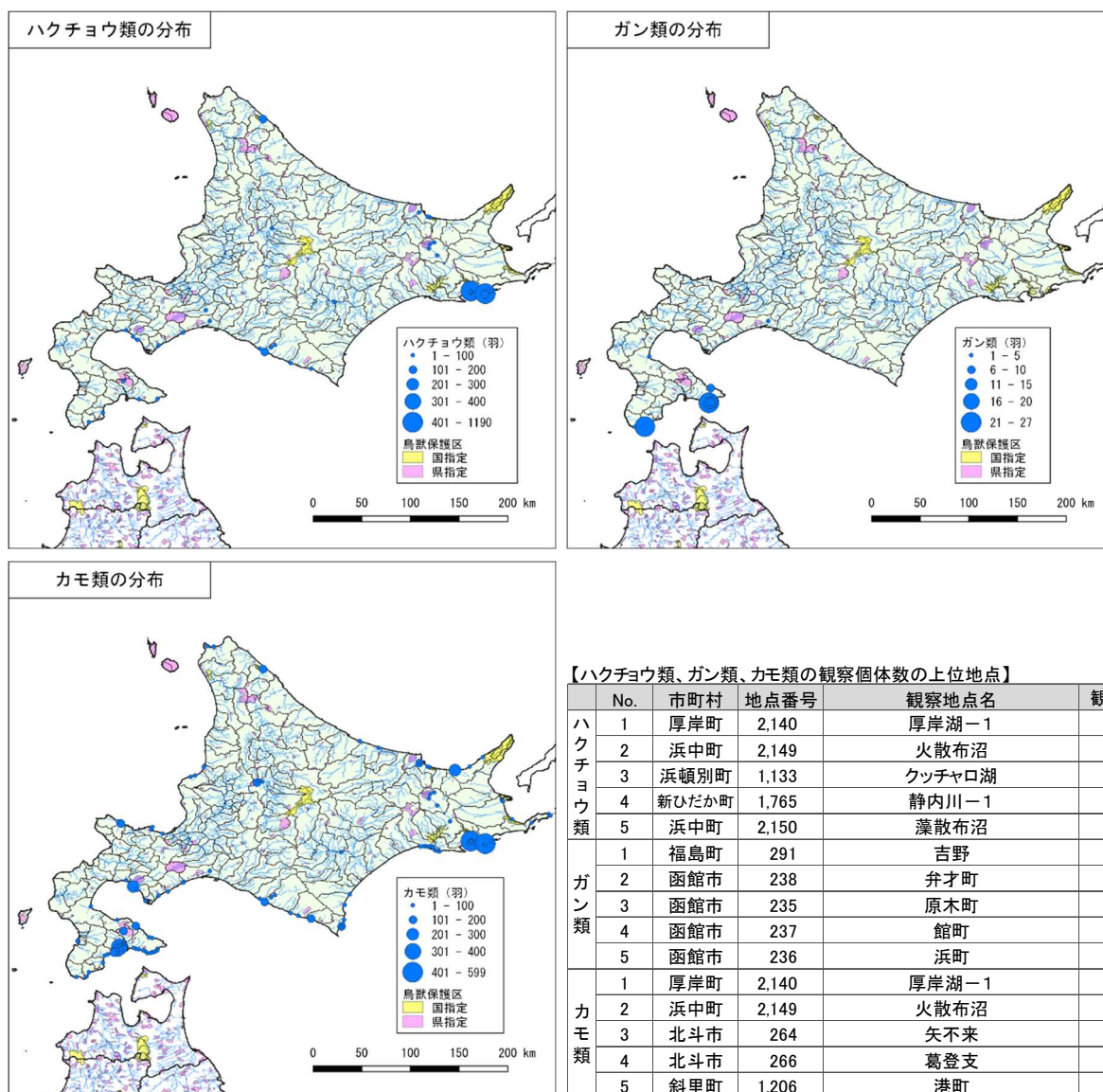


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（北海道）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

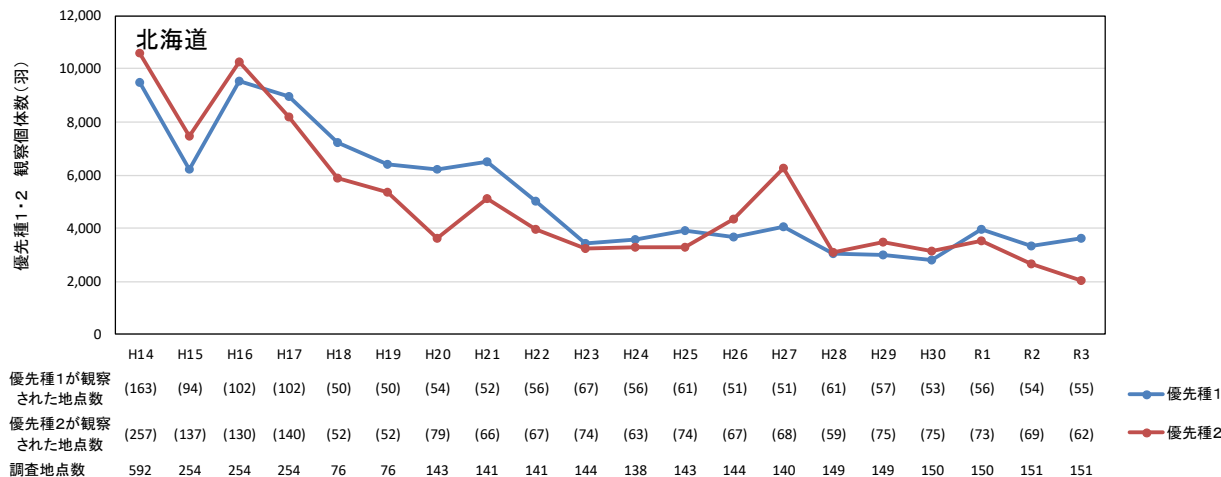
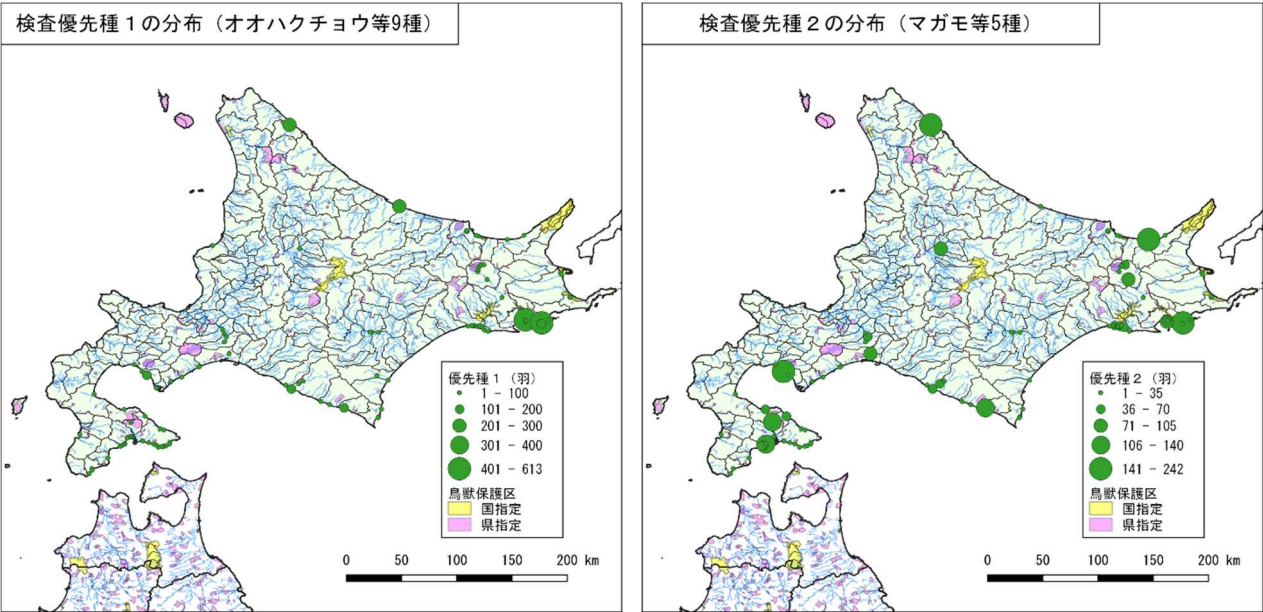


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（北海道）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種1のうち、合計9種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】					【検査優先種2のうち、合計5種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	浜中町	2149	火散布沼	613	1	浜頓別町	1133	クツチャロ湖	242
2	厚岸町	2140	厚岸湖ー1	563	2	伊達市	1547	有珠港	171
3	紋別市	1334	コムケ湖ー1	272	3	浜中町	2149	火散布沼	168
4	浜頓別町	1133	クツチャロ湖	226	4	斜里町	1206	港町	157
5	伊達市	1544	長流川河口	169	5	七飯町	253	小沼	140

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（北海道）

青森県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の青森県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

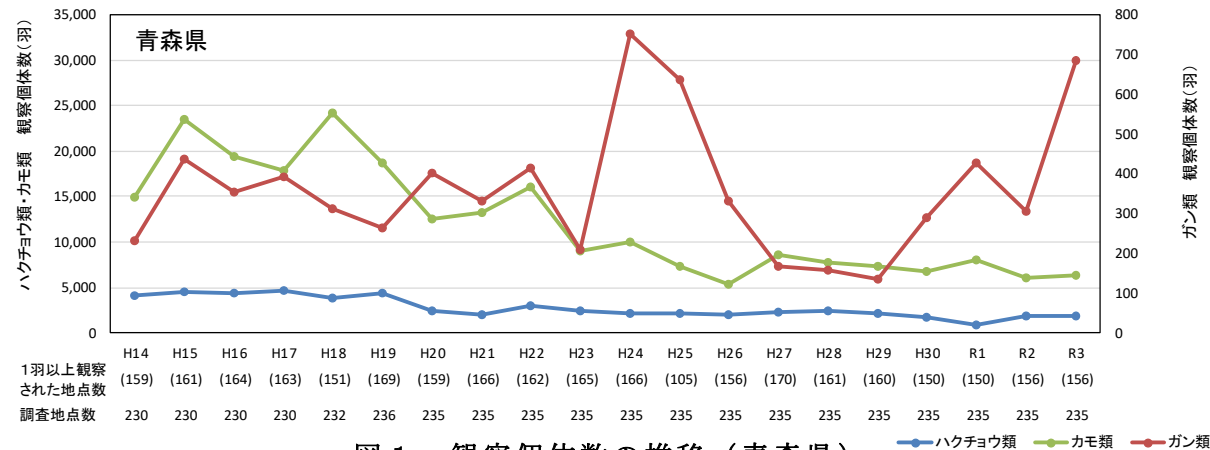
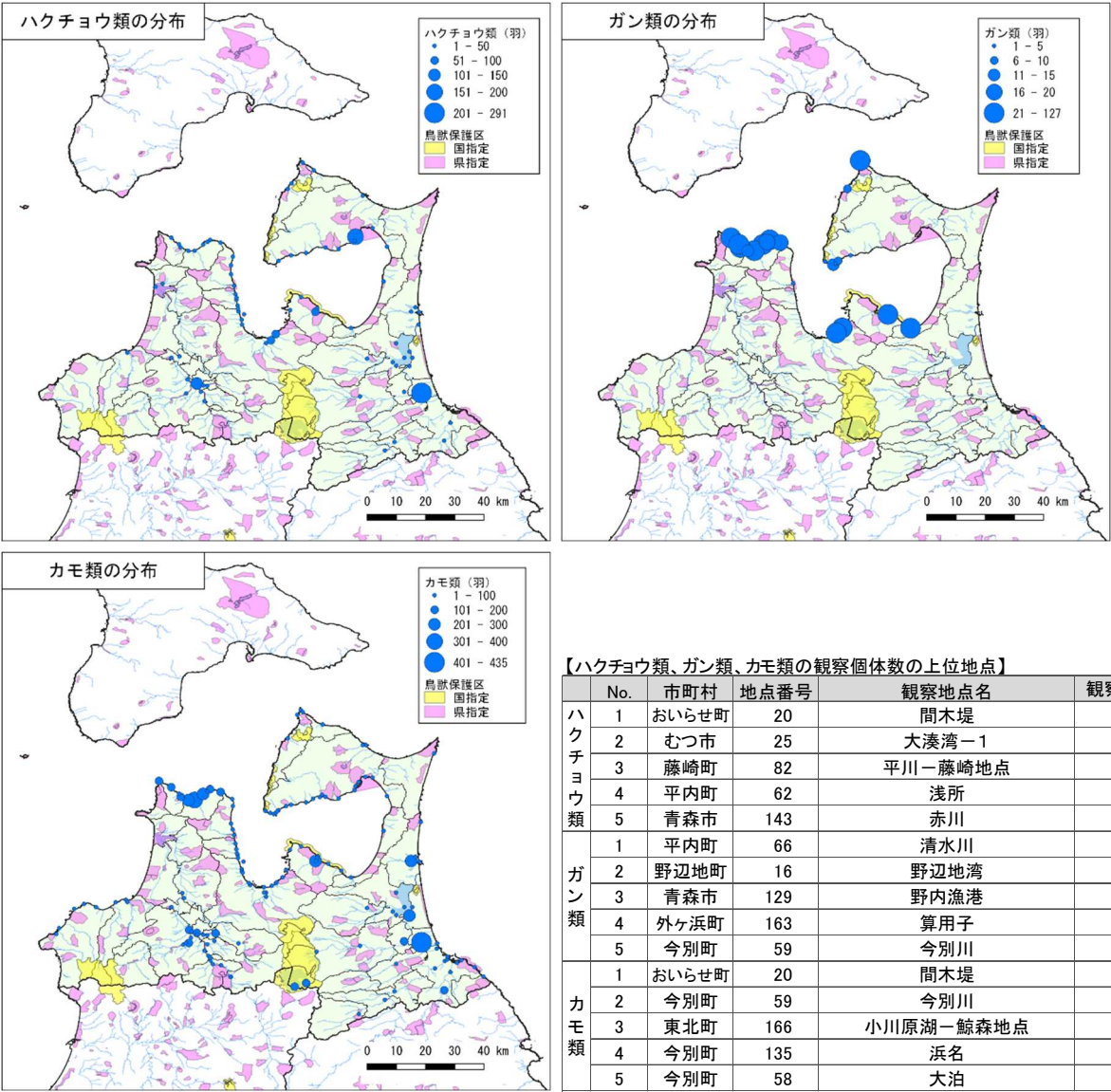


図 1 観察個体数の推移（青森県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ハクチョウ類、ガン類、カモ類の観察個体数の上位地点】				
	No.	市町村	地点番号	観察地点名
ハク チ ョ ウ 類	1	おいらせ町	20	間木堤
	2	むつ市	25	大湊湾-1
	3	藤崎町	82	平川-藤崎地点
	4	平内町	62	浅所
	5	青森市	143	赤川
ガ ン 類	1	平内町	66	清水川
	2	野辺地町	16	野辺地湾
	3	青森市	129	野内漁港
	4	外ヶ浜町	163	算用子
	5	今別町	59	今別川
カ モ 類	1	おいらせ町	20	間木堤
	2	今別町	59	今別川
	3	東北町	166	小川原湖-鯨森地点
	4	今別町	135	浜名
	5	今別町	58	大泊
				観察個体数
				291
				200
				120
				98
				76
				127
				86
				80
				51
				47
				435
				303
				280
				271
				227

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（青森県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

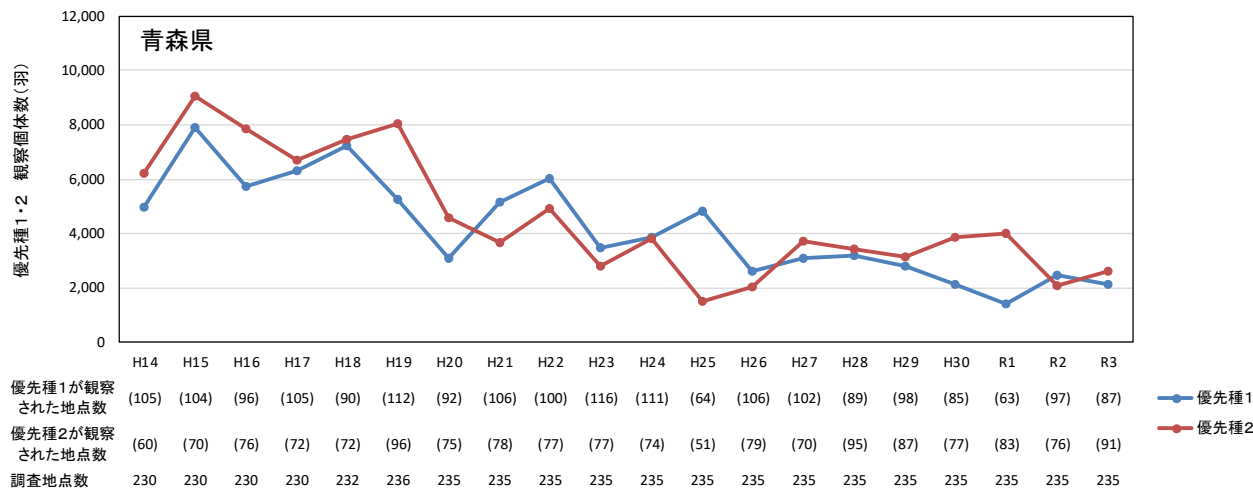
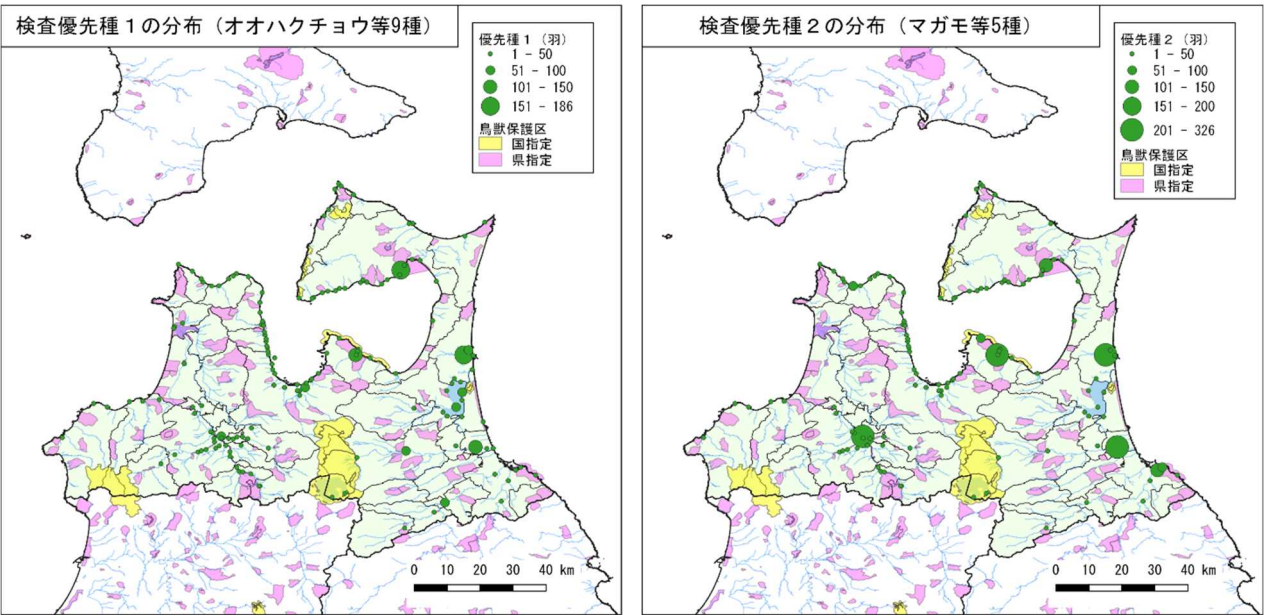


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（青森県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】					【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	六ヶ所村	148	鷹架沼	186	1	おいらせ町	20	間木堤	326
2	むつ市	25	大湊湾-1	163	2	藤崎町	82	平川-藤崎地点	306
3	おいらせ町	20	間木堤	142	3	六ヶ所村	148	鷹架沼	266
4	平内町	62	浅所	131	4	平内町	62	浅所	209
5	藤崎町	82	平川-藤崎地点	90	5	むつ市	183	大湊湾-2	130

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（青森県）

岩手県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の岩手県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

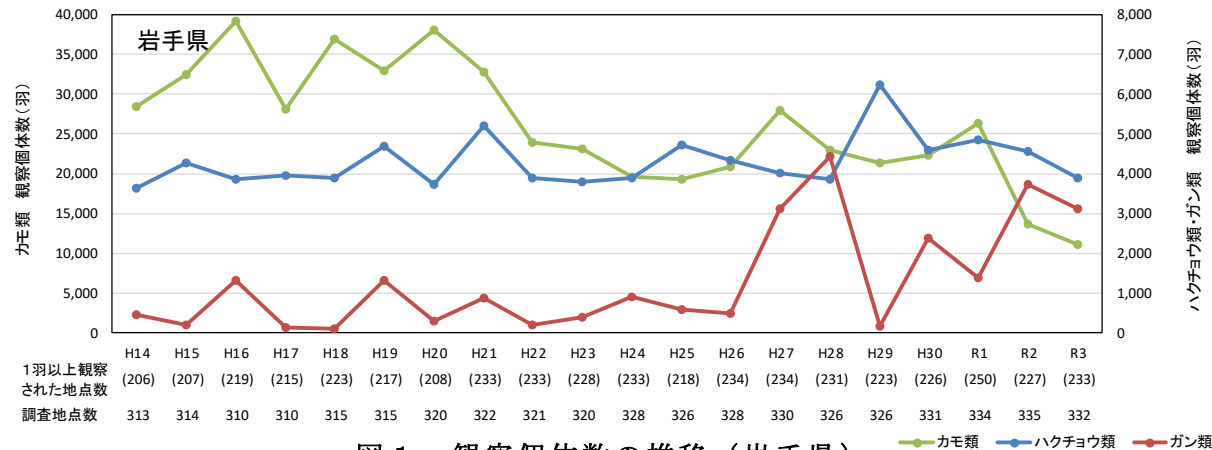


図 1 観察個体数の推移（岩手県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

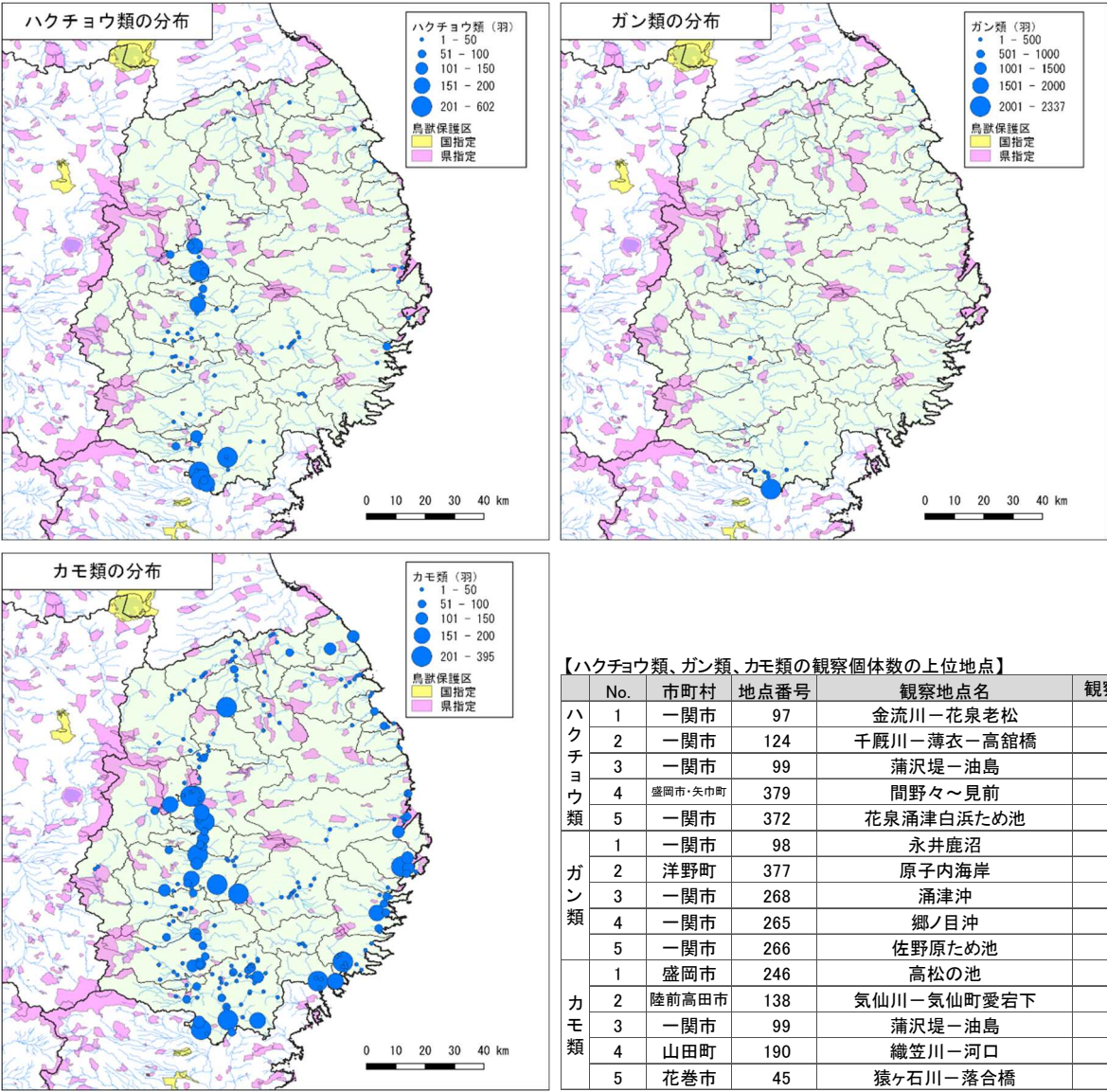


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（岩手県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

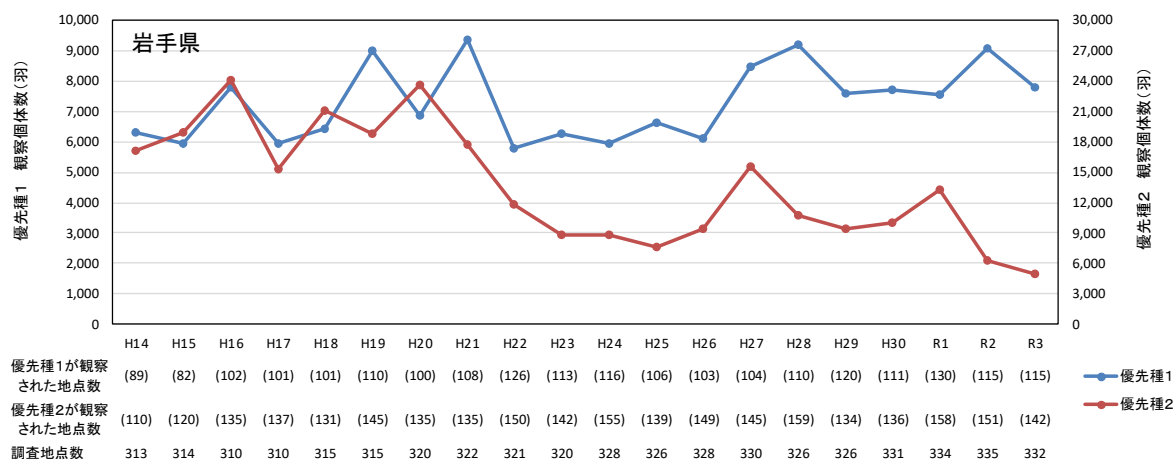
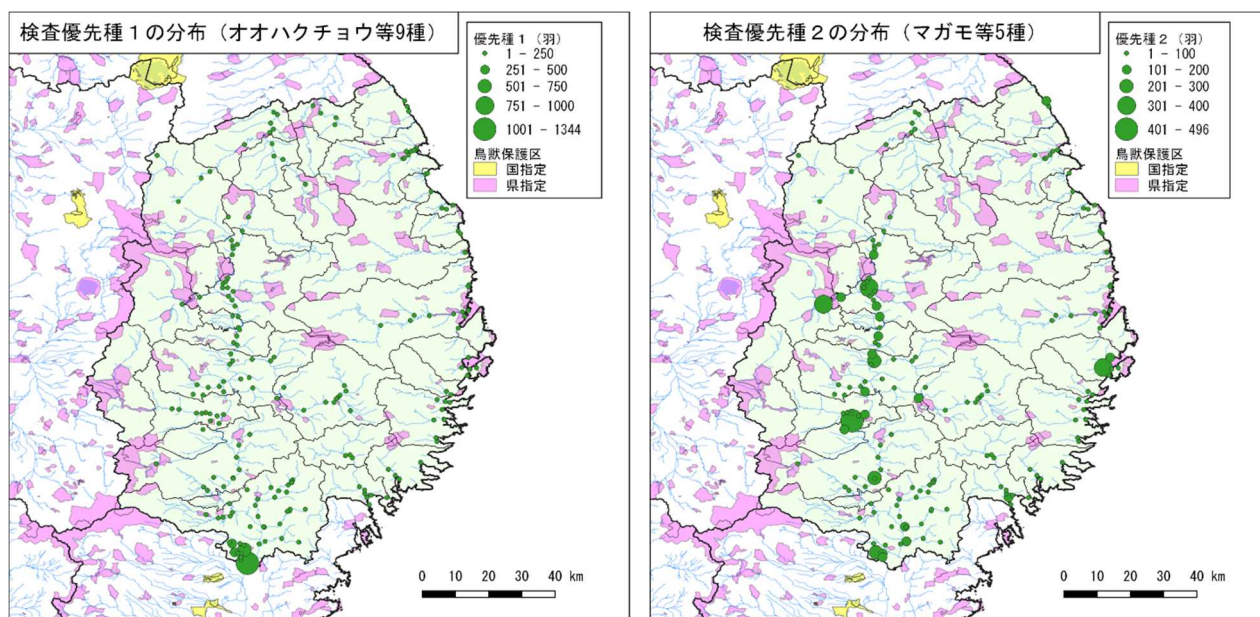


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（岩手県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	一関市	98	永井鹿沼	1,344
2	一関市	268	涌津沖	528
3	一関市	97	金流川－花泉老松	499
4	一関市	99	蒲沢堤－油島	451
5	盛岡市	246	高松の池	248

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	北上市	51	新堤	496
2	雫石町	12	御所湖	376
3	盛岡市	246	高松の池	357
4	山田町	190	織笠川－河口	304
5	花巻市	343	北上川－井戸向橋	250

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（岩手県）

宮城県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の宮城県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

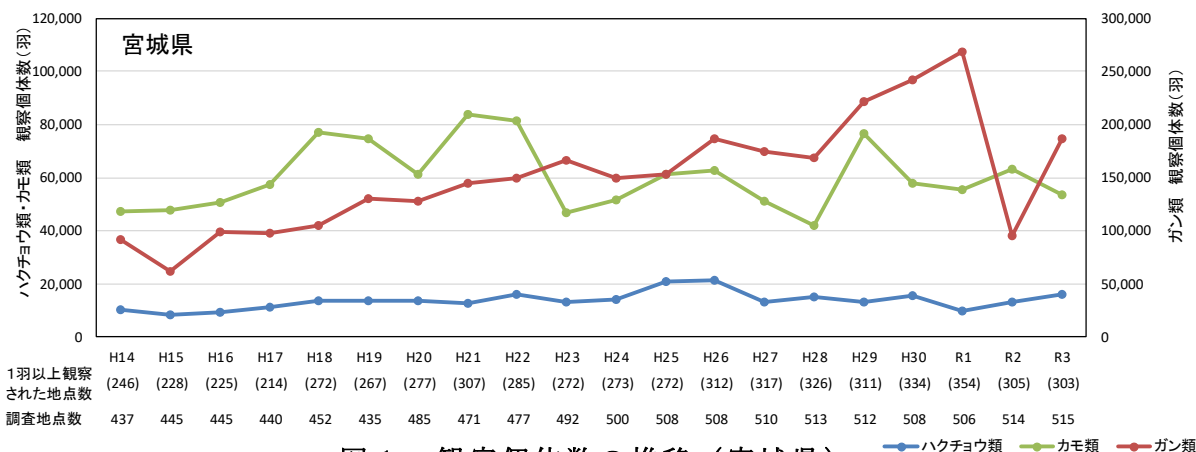


図 1 観察個体数の推移（宮城県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

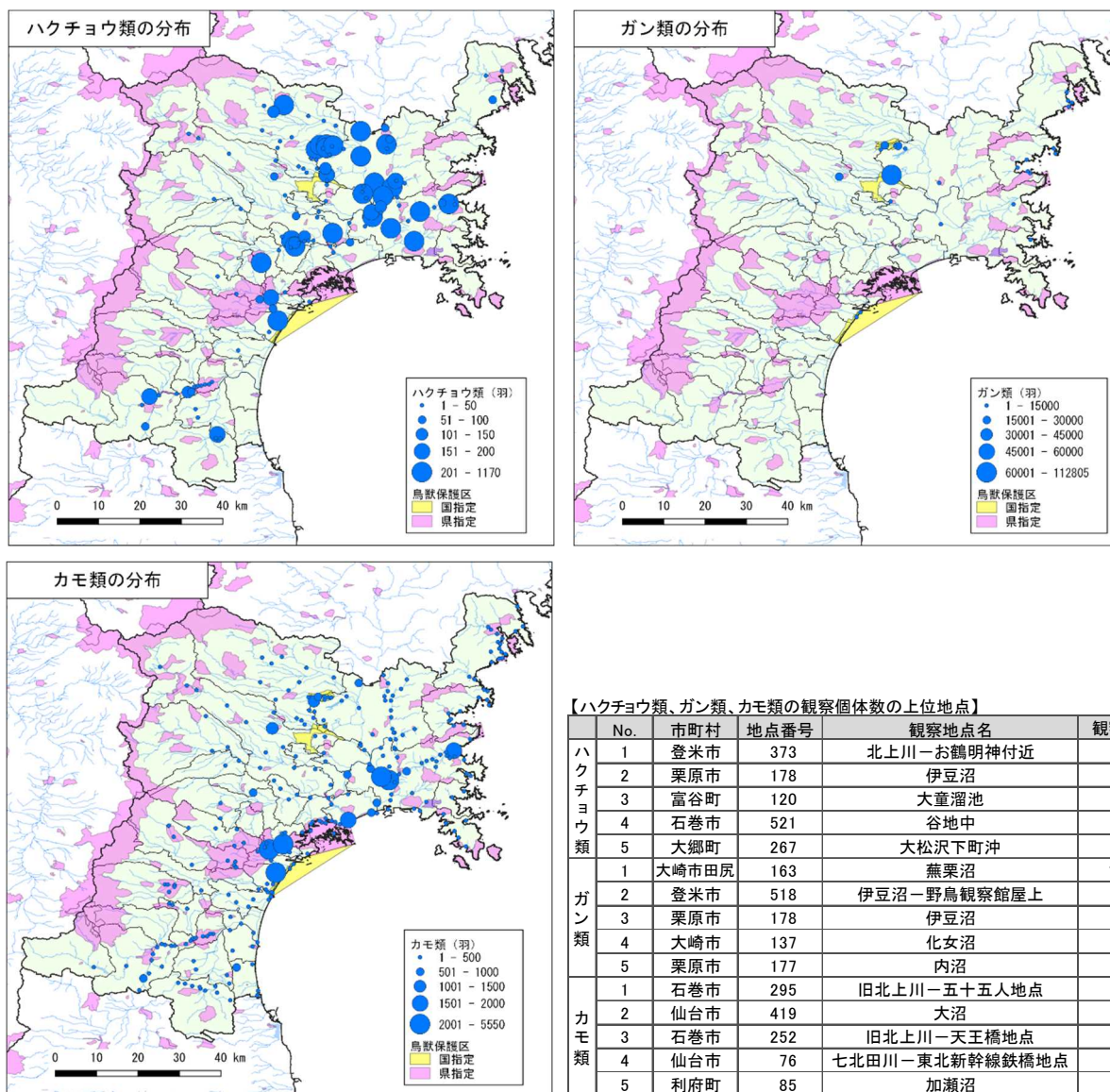


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（宮城県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

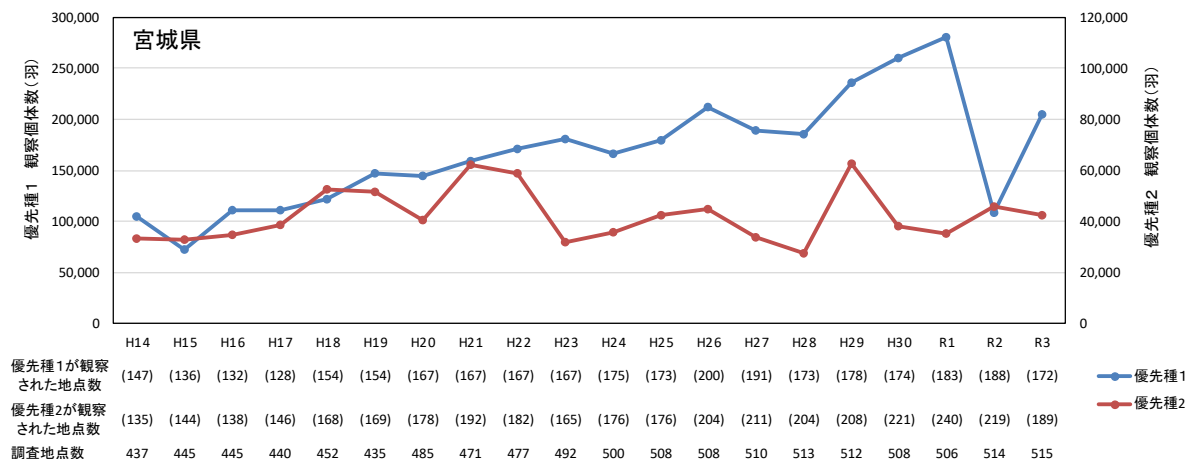
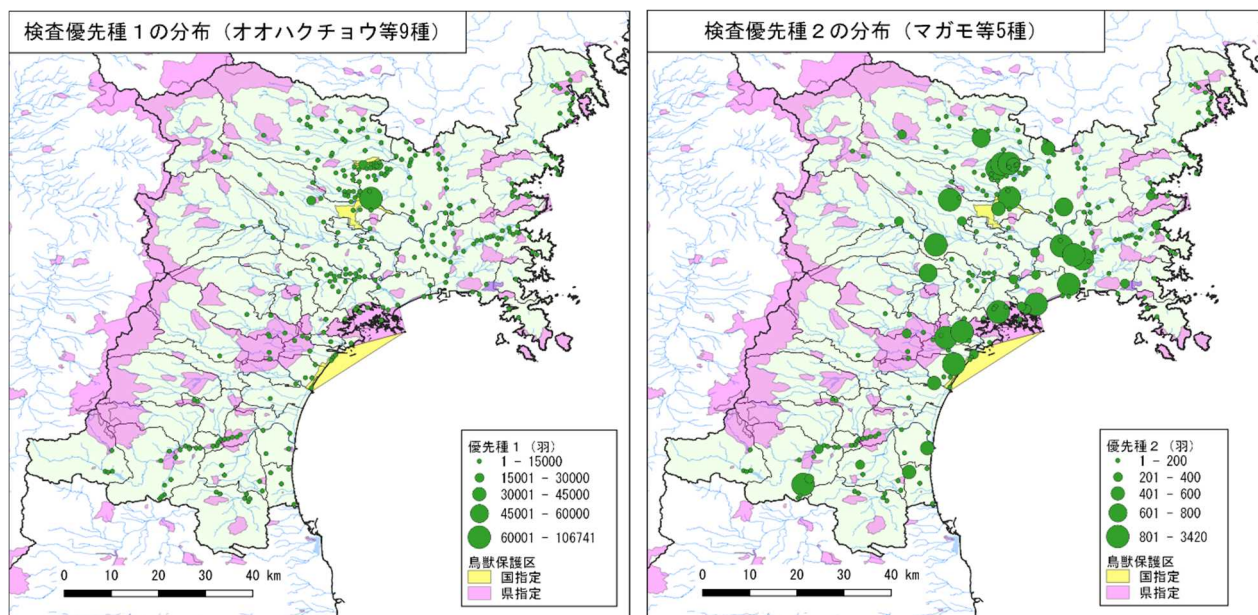


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（宮城県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	大崎市田尻	163	無栗沼	106,741
2	登米市	518	伊豆沼－野鳥観察館屋上	25,023
3	大崎市	137	化女沼	17,854
4	登米市	235	伊豆沼－野鳥観察館北西部	17,485
5	栗原市	178	伊豆沼	15,296

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	石巻市	252	旧北上川－天主橋地点	3,420
2	大崎市	137	化女沼	2,768
3	仙台市	419	大沼	2,314
4	石巻市	295	旧北上川－五十五人地点	1,780
5	登米市	236	伊豆沼－中央付近	1,730

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（宮城県）

秋田県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の秋田県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

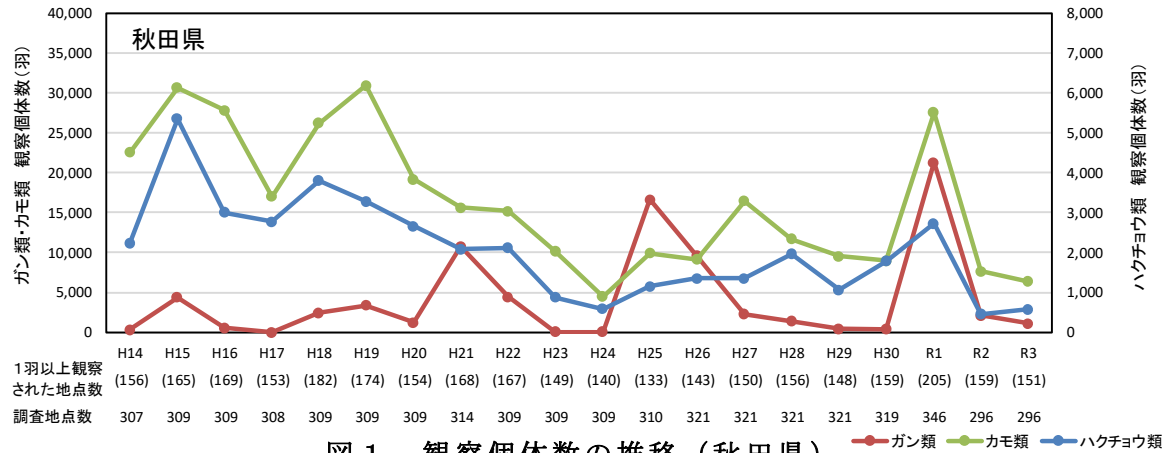


図 1 観察個体数の推移（秋田県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

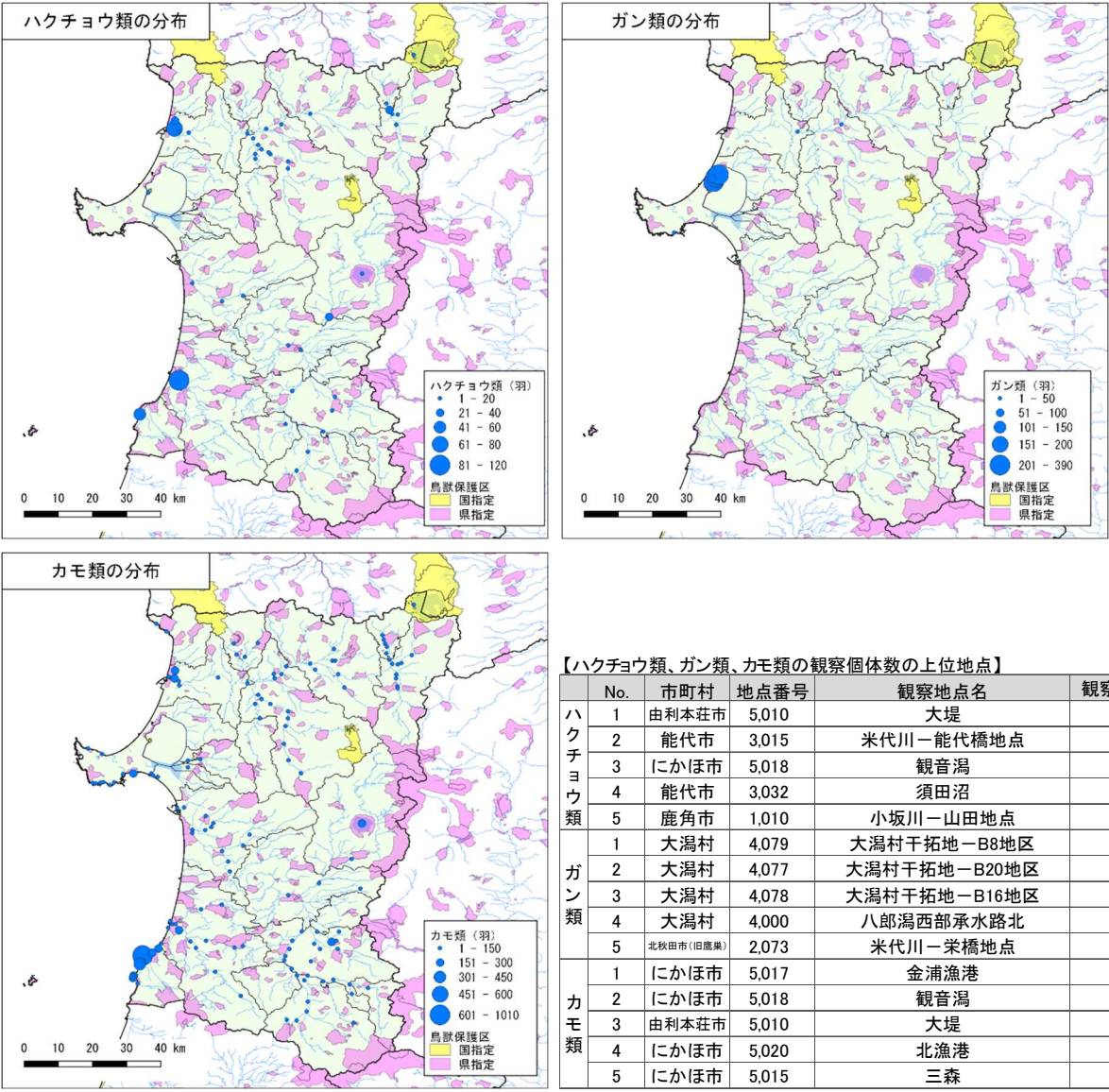


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（秋田県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

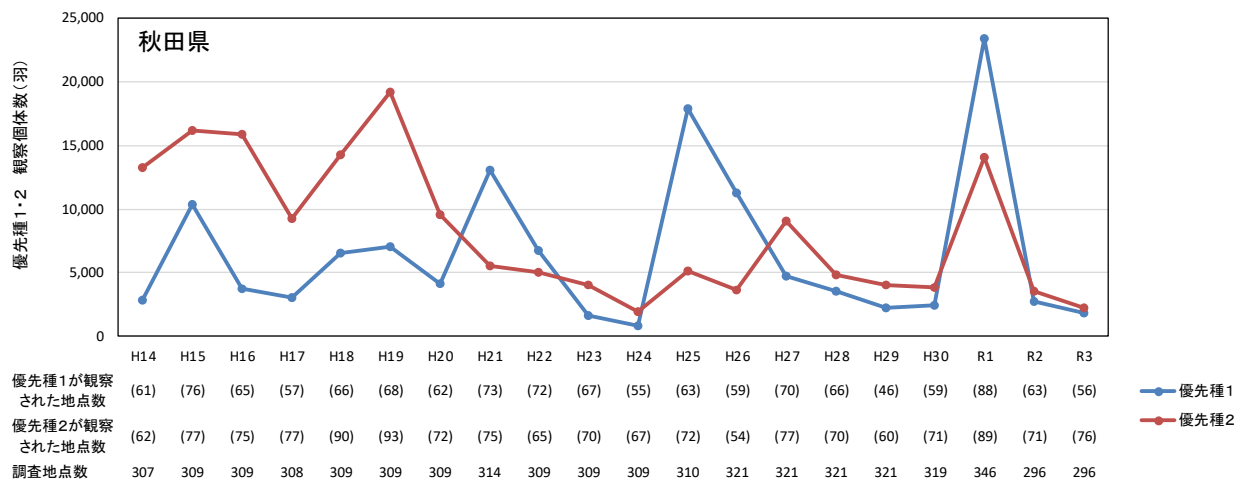
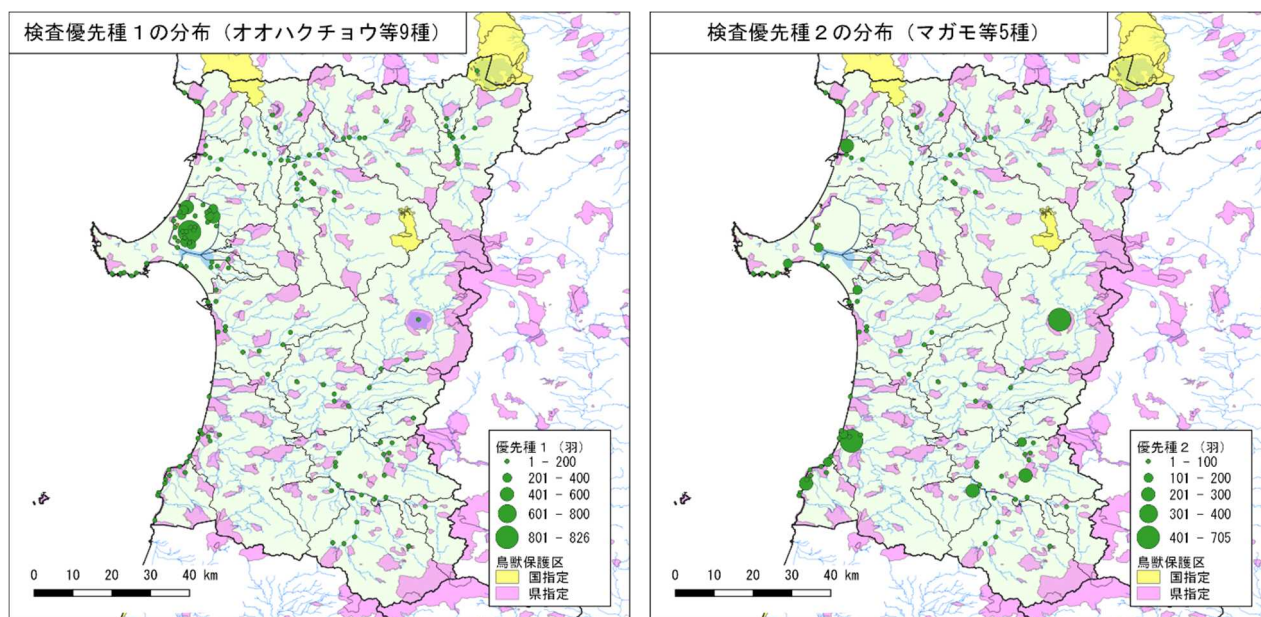


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（秋田県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	大潟村	4090	大潟村干拓地－H29地区	826
2	大潟村	4079	大潟村干拓地－B8地区	451
3	大潟村	4082	大潟村干拓地－C22地区	417
4	大潟村	4081	大潟村干拓地－C11地区	388
5	大潟村	4083	大潟村干拓地－C23地区	320

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	仙北市	6001	田沢湖	705
2	由利本荘市	5010	大堤	564
3	横手市	7017	櫛沢沼	300
4	能代市	3032	須田沼	289
5	にかほ市	5019	赤石	222

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（秋田県）

山形県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の山形県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

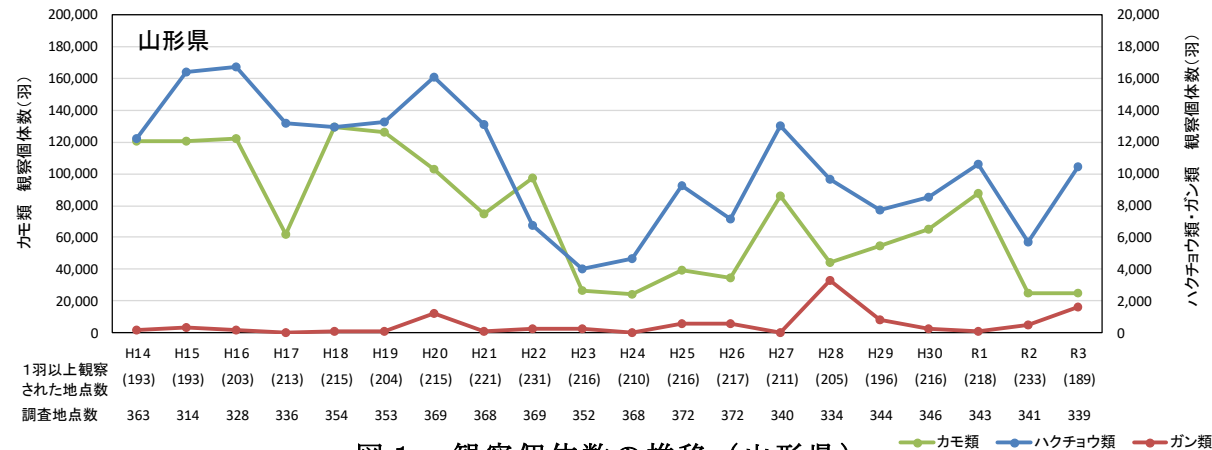


図 1 観察個体数の推移（山形県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

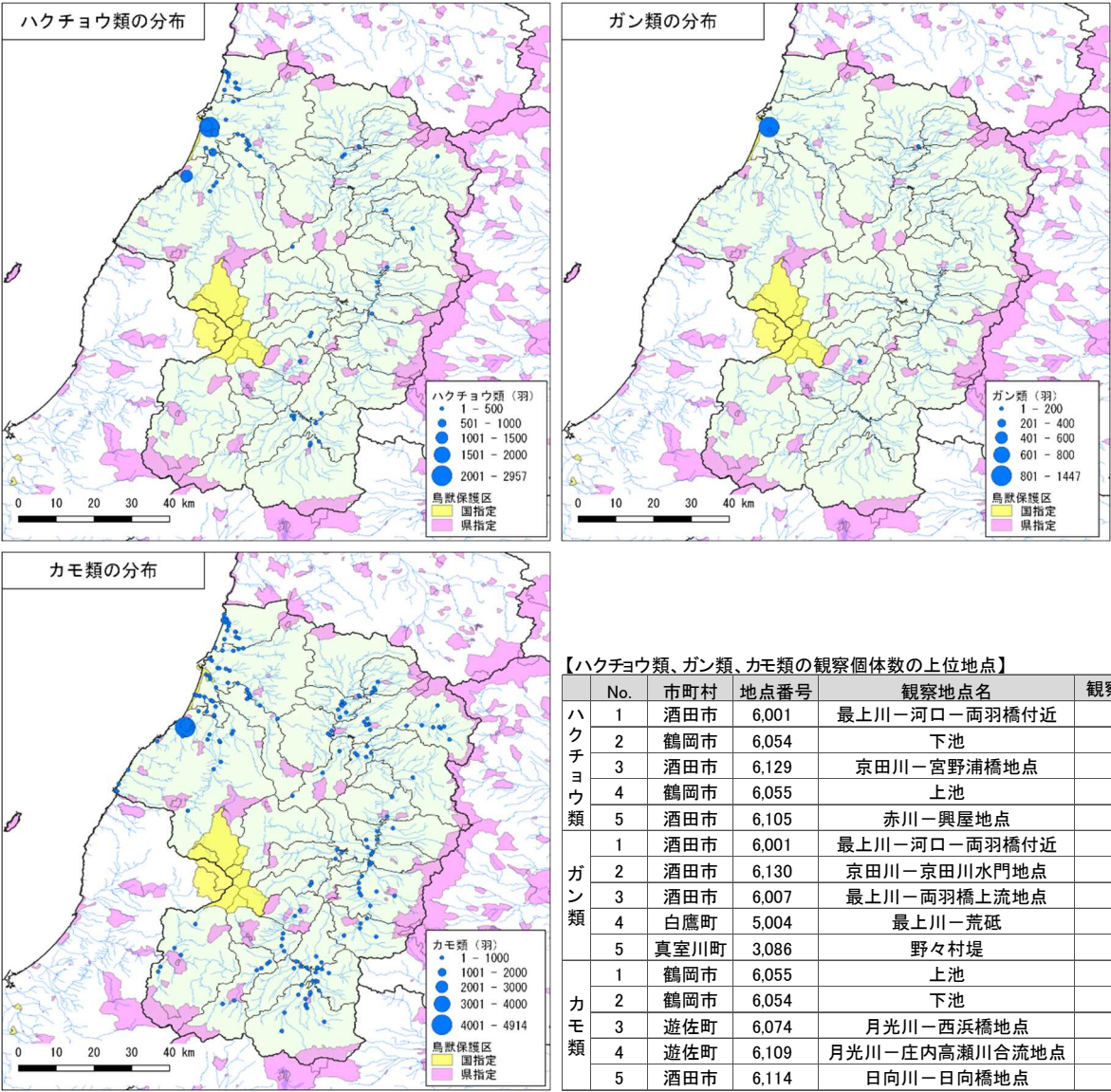


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（山形県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

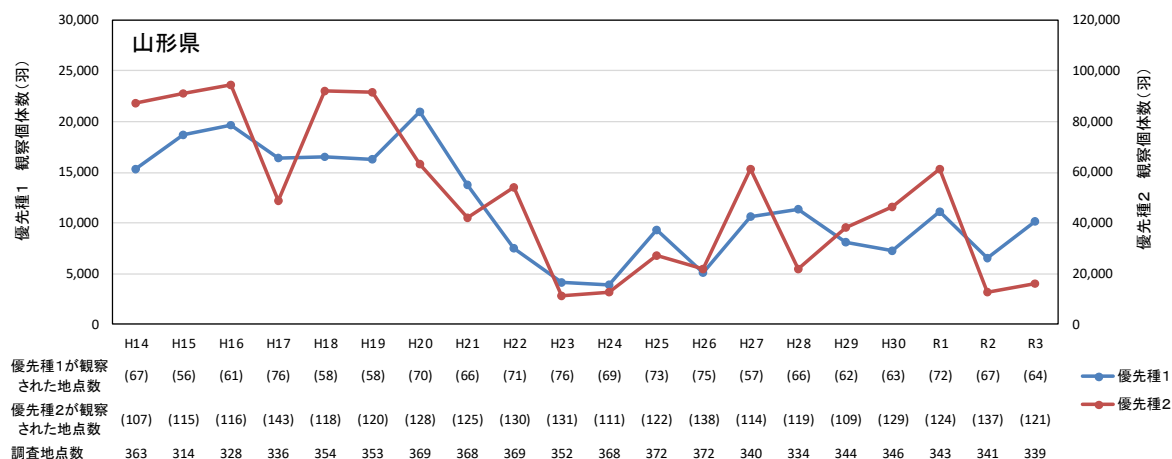
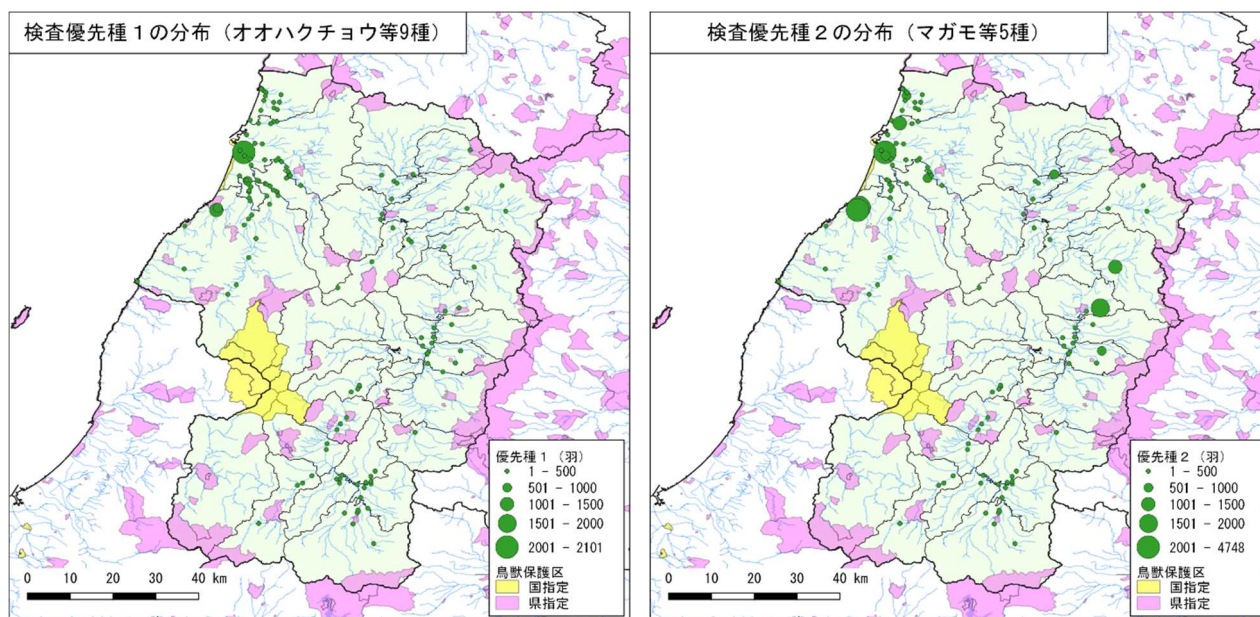


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（山形県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	酒田市	6001	最上川－河口－両羽橋付近	2,101
2	鶴岡市	6055	上池	1,450
3	鶴岡市	6054	下池	908
4	酒田市	6105	赤川－興屋地点	546
5	酒田市	6130	京田川－京田川水門地点	400

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

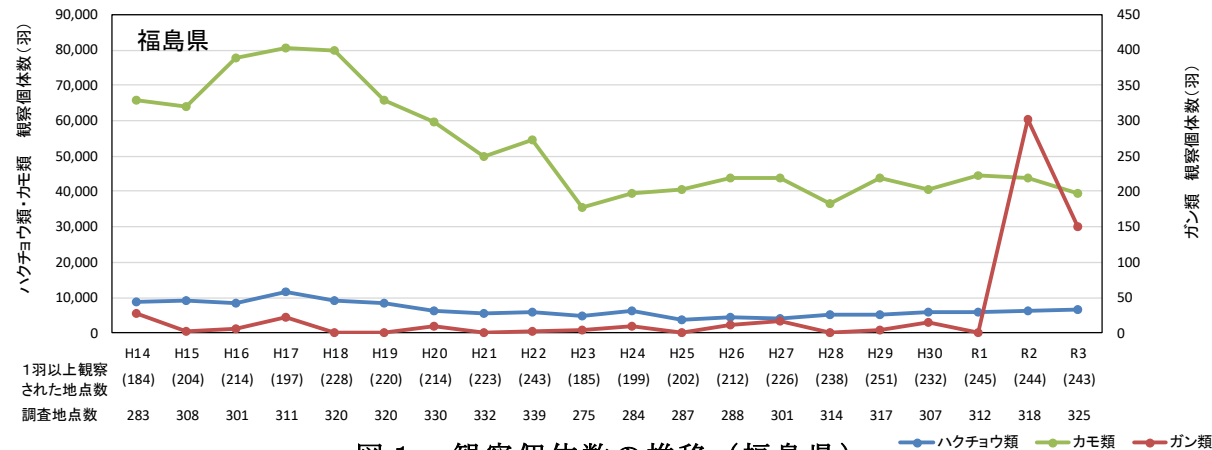
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	鶴岡市	6054	下池	4,748
2	鶴岡市	6055	上池	4,520
3	酒田市	6001	最上川－河口－両羽橋付近	4,202
4	酒田市	6091	赤川－袖浦橋新川橋中間地点	2,887
5	村山市	2002	湯沢沼	1,782

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（山形県）

福島県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の福島県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。



2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

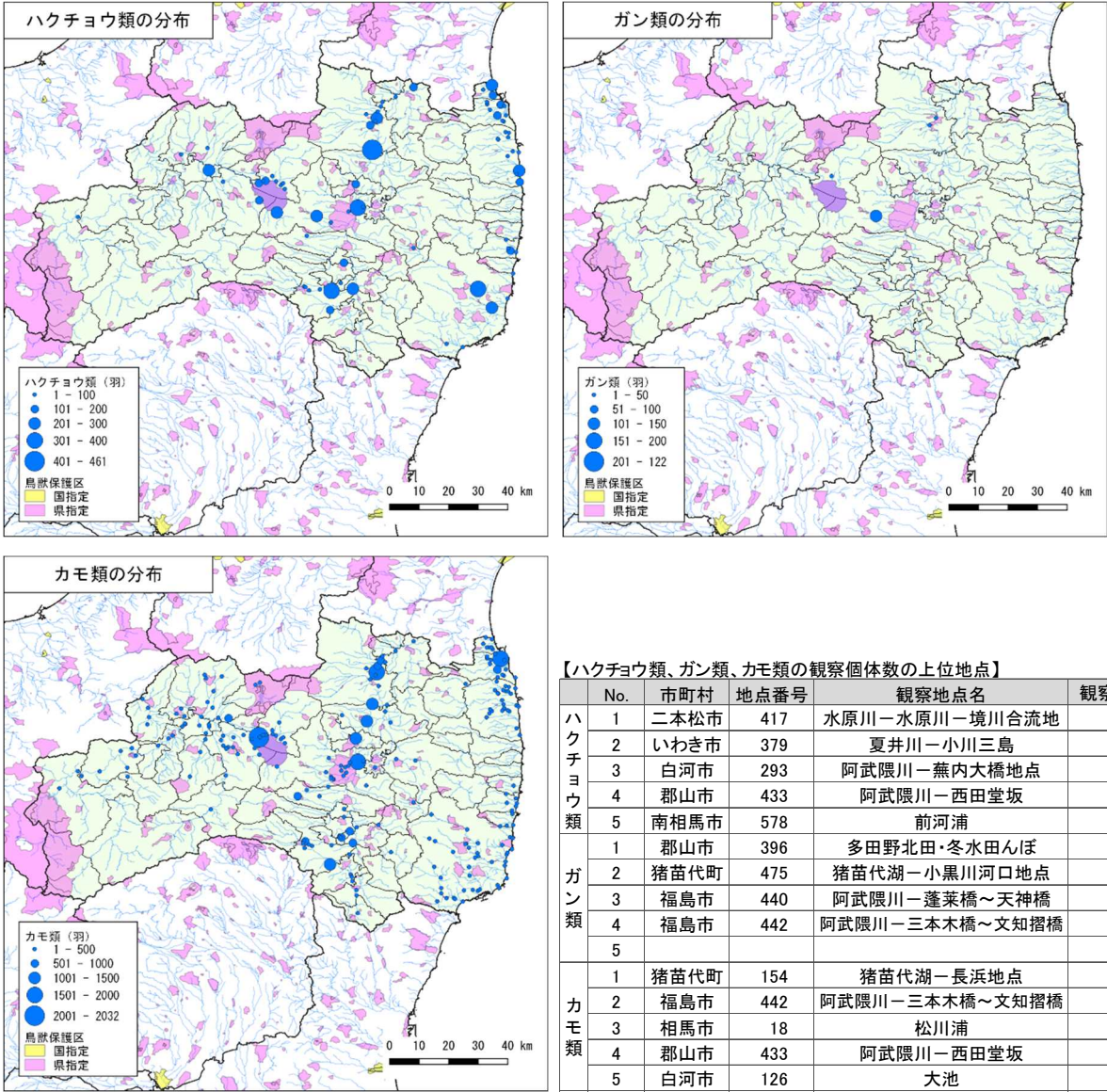


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（福島県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

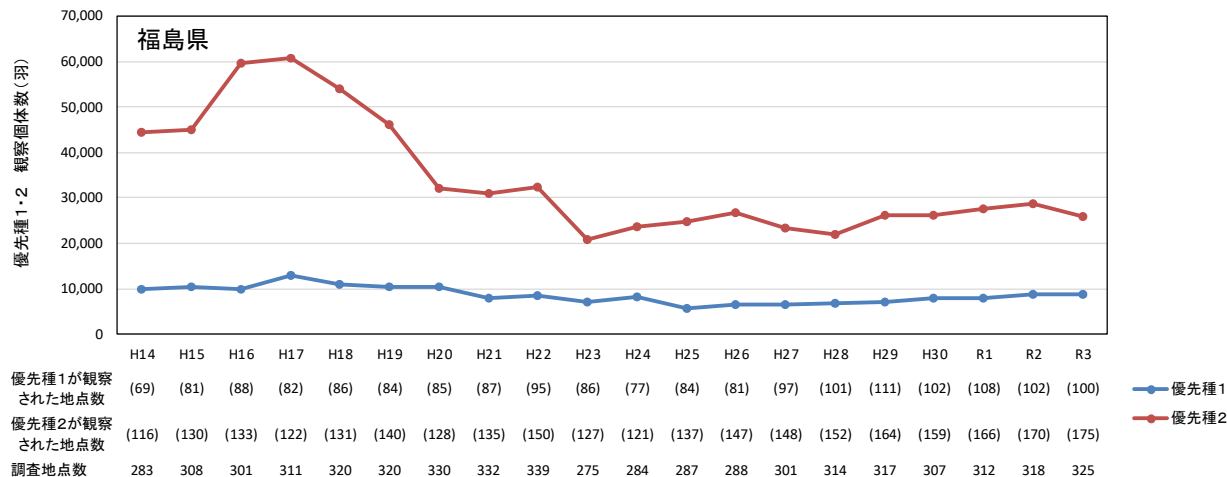
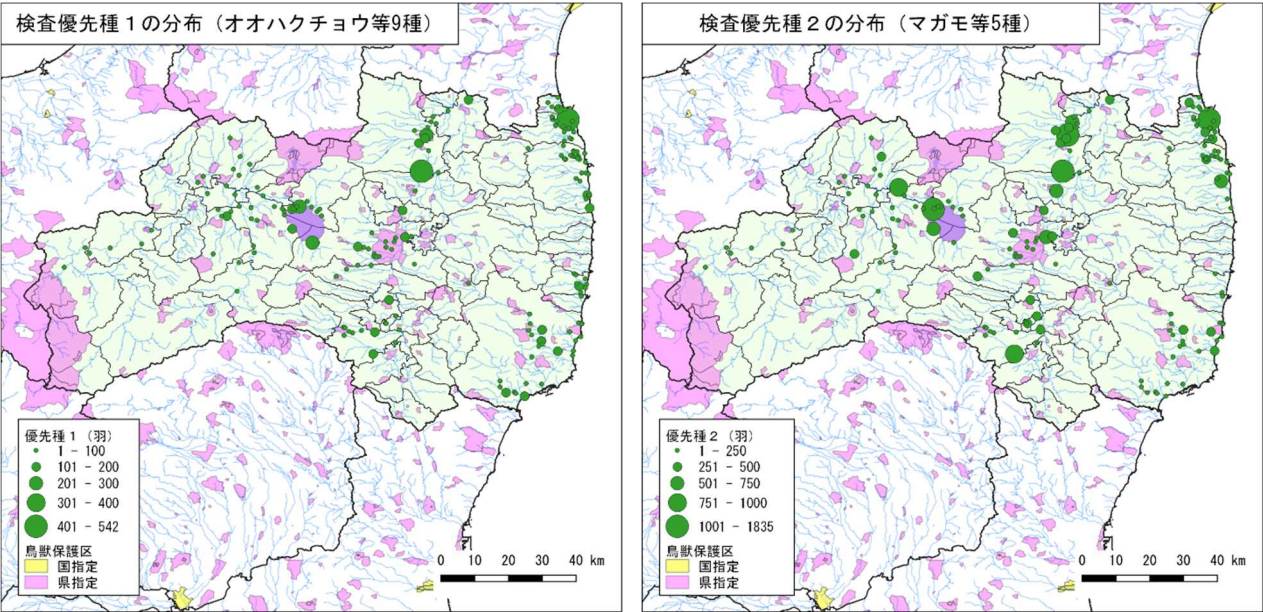


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（福島県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	二本松市	417	水原川－水原川－境川合流地	542
2	相馬市	18	松川浦	465
3	猪苗代町	151	猪苗代湖－三城湯浜地点	300
4	福島市	442	阿武隈川－三本木橋～文知摺橋	244
5	郡山市	111	猪苗代湖－小磯地点	222

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

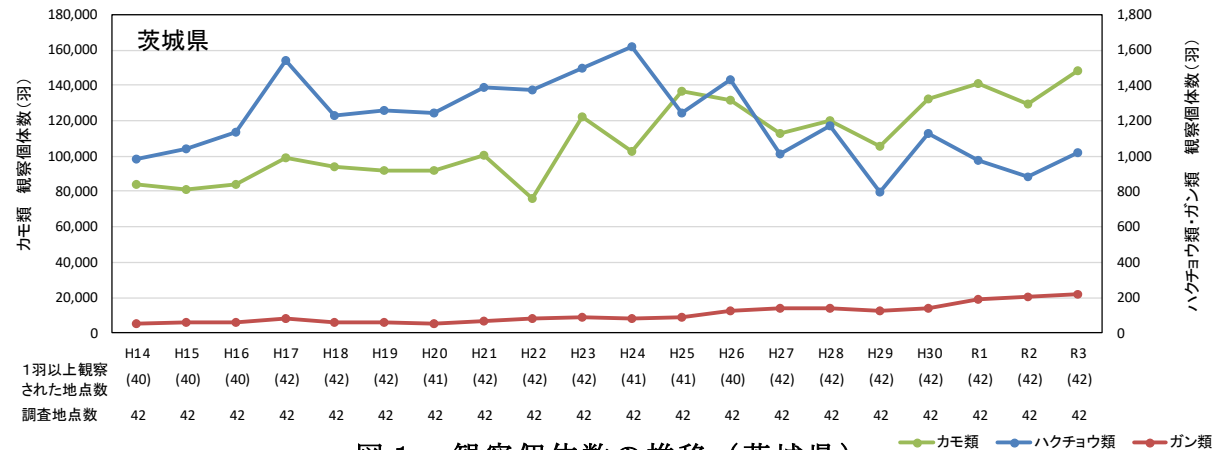
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	相馬市	18	松川浦	1,835
2	猪苗代町	154	猪苗代湖－長浜地点	1,438
3	福島市	442	阿武隈川－三本木橋～文知摺橋	1,146
4	二本松市	417	水原川－水原川－境川合流地	1,037
5	喜多方市	295	深沢調整池	980

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（福島県）

茨城県のガンカモ類の生息調査結果

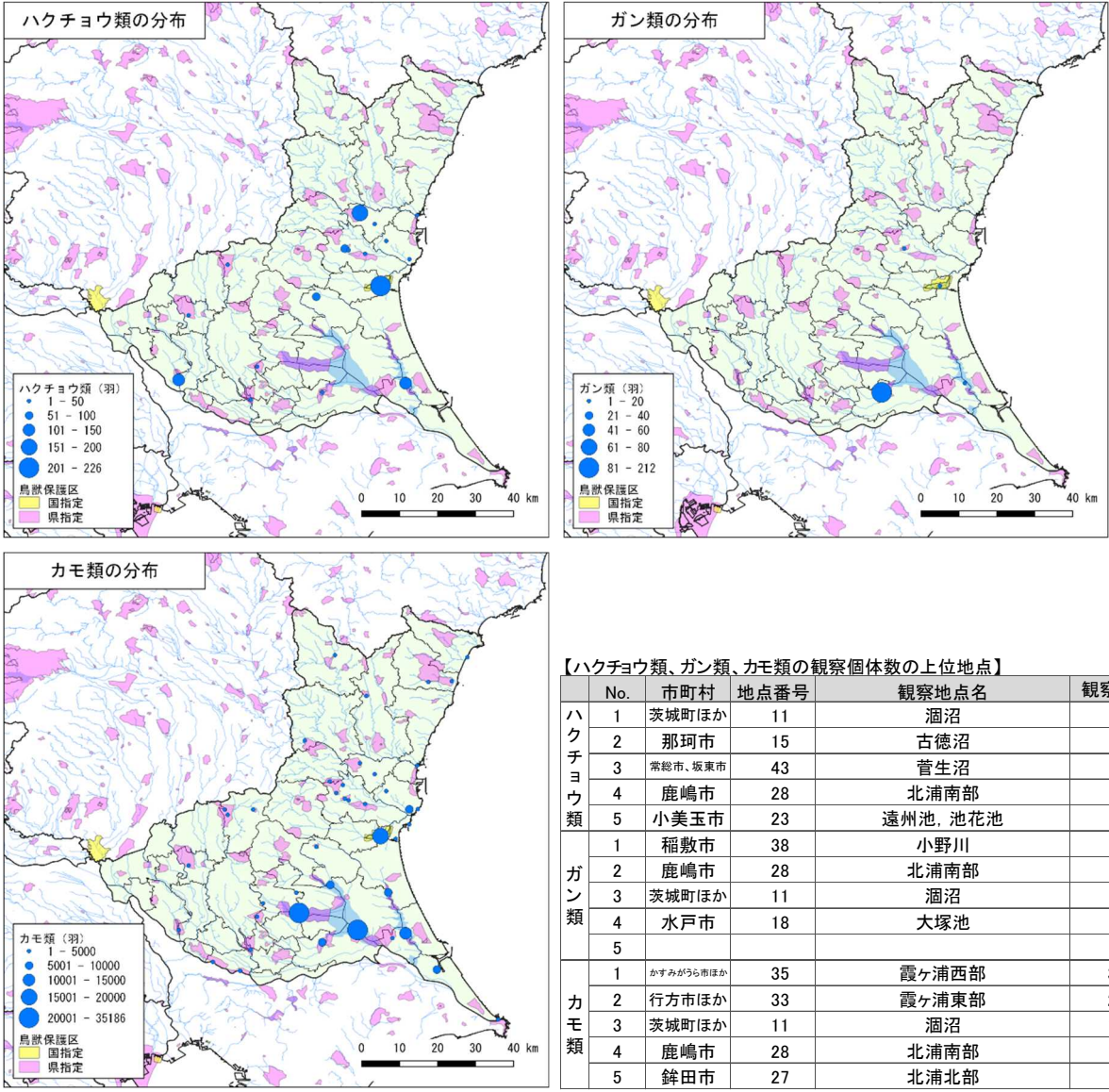
1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の茨城県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。



2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ハクチョウ類、ガン類、カモ類の観察個体数の上位地点】					
	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
ハク チ ョ ウ 類	1	茨城町ほか	11	涸沼	226
	2	那珂市	15	古徳沼	162
	3	常総市、坂東市	43	菅生沼	145
	4	鹿嶋市	28	北浦南部	126
	5	小美玉市	23	遠州池、池花池	70
ガ ン 類	1	稲敷市	38	小野川	212
	2	鹿嶋市	28	北浦南部	2
	3	茨城町ほか	11	涸沼	1
	4	水戸市	18	大塚池	1
	5				
カ モ 類	1	かすみがうら市ほか	35	霞ヶ浦西部	35,186
	2	行方市ほか	33	霞ヶ浦東部	29,053
	3	茨城町ほか	11	涸沼	15,921
	4	鹿嶋市	28	北浦南部	12,505
	5	鉾田市	27	北浦北部	9,640

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

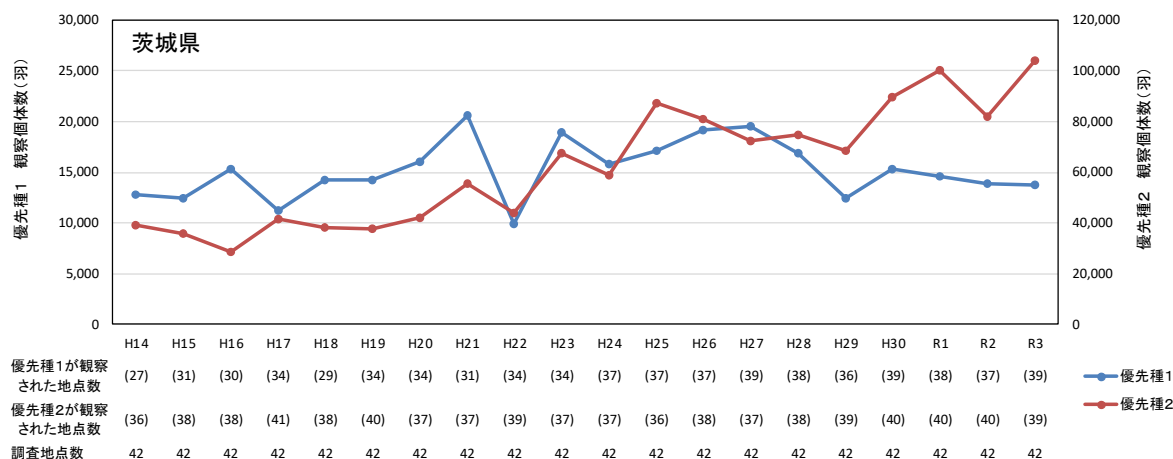
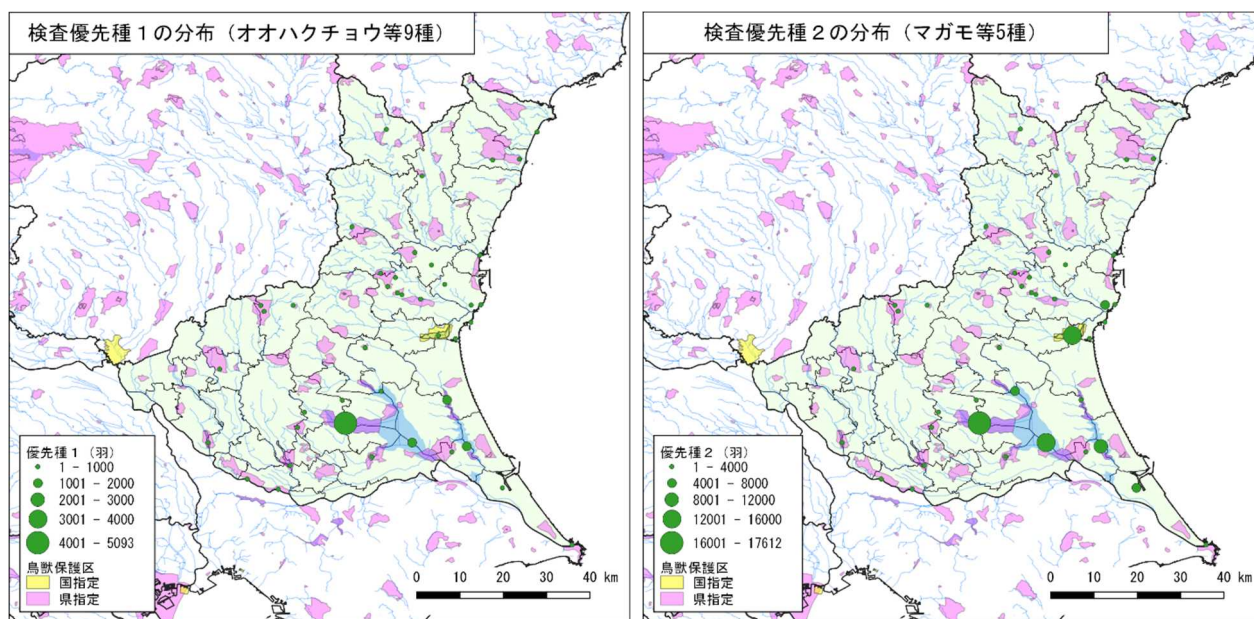


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（茨城県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	かすみがうら市ほか	35	霞ヶ浦西部	5,093
2	鹿嶋市	28	北浦南部	1,329
3	鉾田市	27	北浦北部	1,014
4	行方市ほか	33	霞ヶ浦東部	1,008
5	かすみがうら市ほか	34	霞ヶ浦北部	884

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	かすみがうら市ほか	35	霞ヶ浦西部	17,612
2	行方市ほか	33	霞ヶ浦東部	14,928
3	茨城町ほか	11	澗沼	14,329
4	鹿嶋市	28	北浦南部	11,409
5	ひたちなか市	8	名平洞・新堤	7,584

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（茨城県）

栃木県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の栃木県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

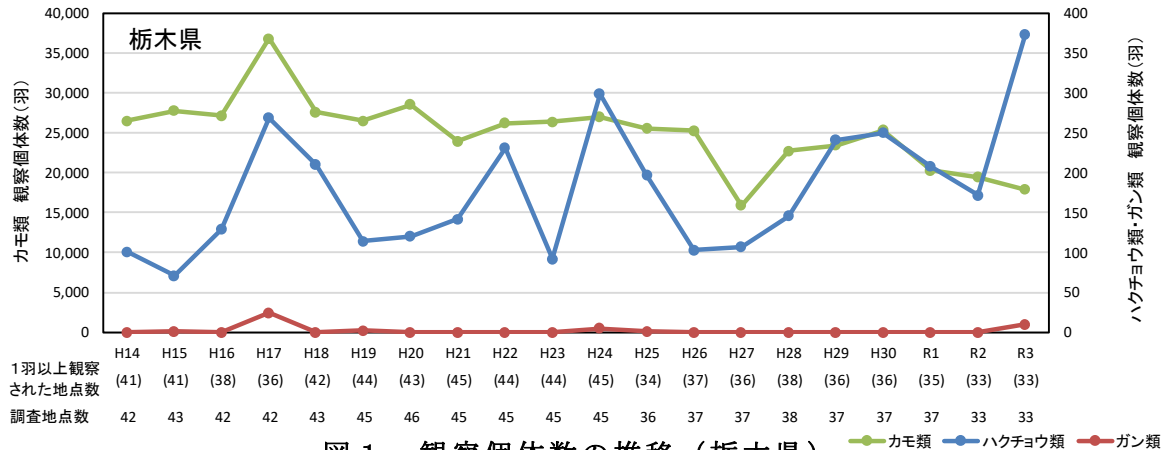


図 1 観察個体数の推移（栃木県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

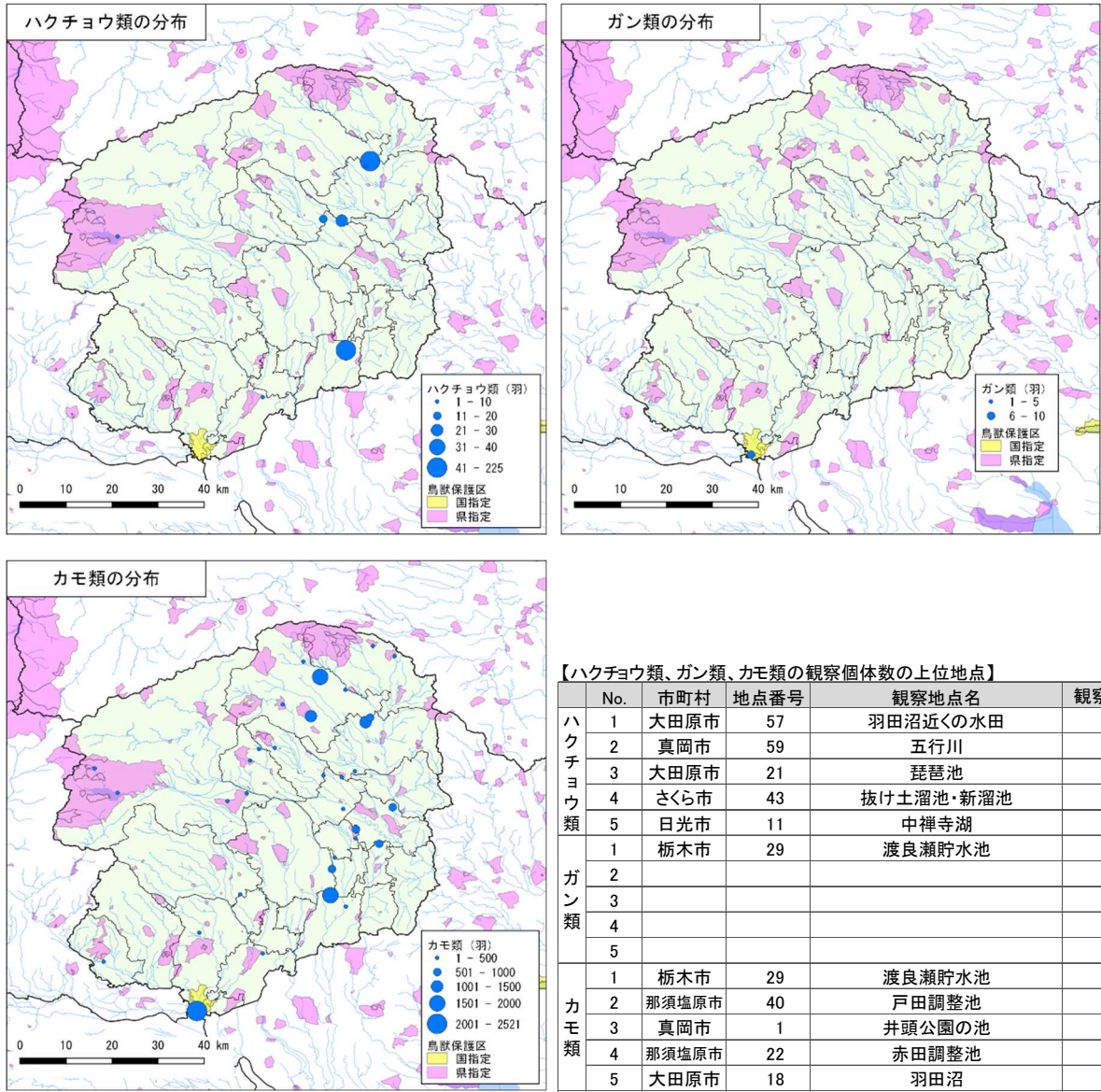


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（栃木県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

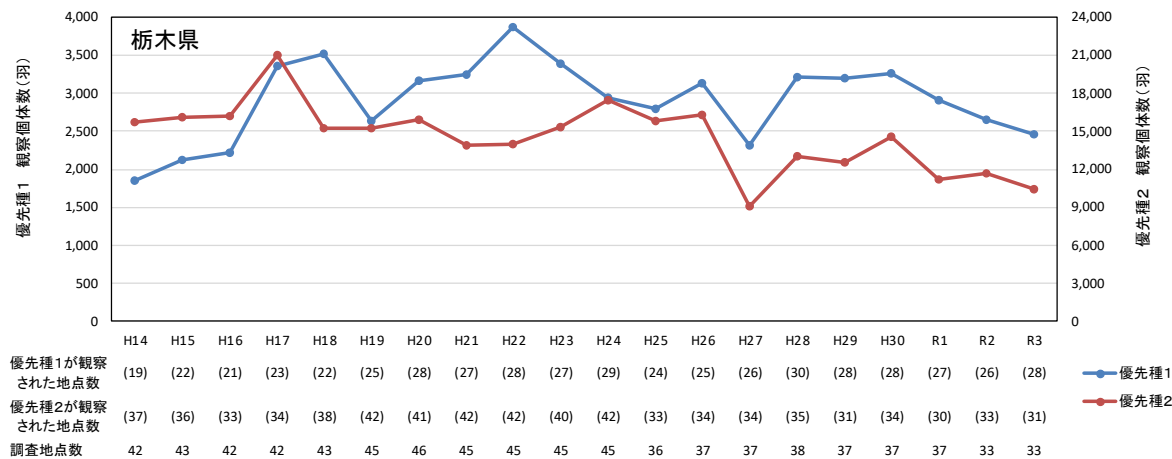
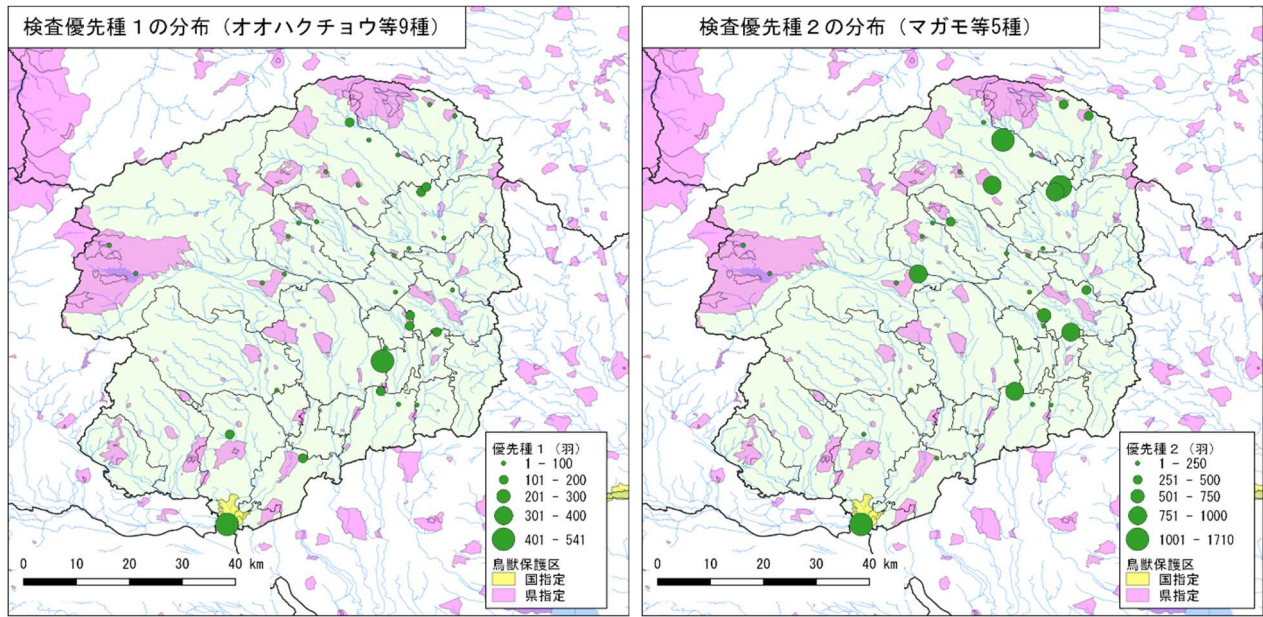


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（栃木県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】					【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	栃木市	29	渡良瀬貯水池	541	1	栃木市	29	渡良瀬貯水池	1,710
2	芳賀町	4	唐桶溜	499	2	大田原市	57	羽田沼近の水田	1,378
3	栃木市	35	皆川城 CC の池	191	3	那須塩原市	40	戸田調整池	1,197
4	那須塩原市	47	板室ダム	187	4	大田原市	18	羽田沼	955
5	大田原市	18	羽田沼	184	5	日光市	33	杉ノ郷 CC の池	860

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（栃木県）

群馬県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の群馬県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

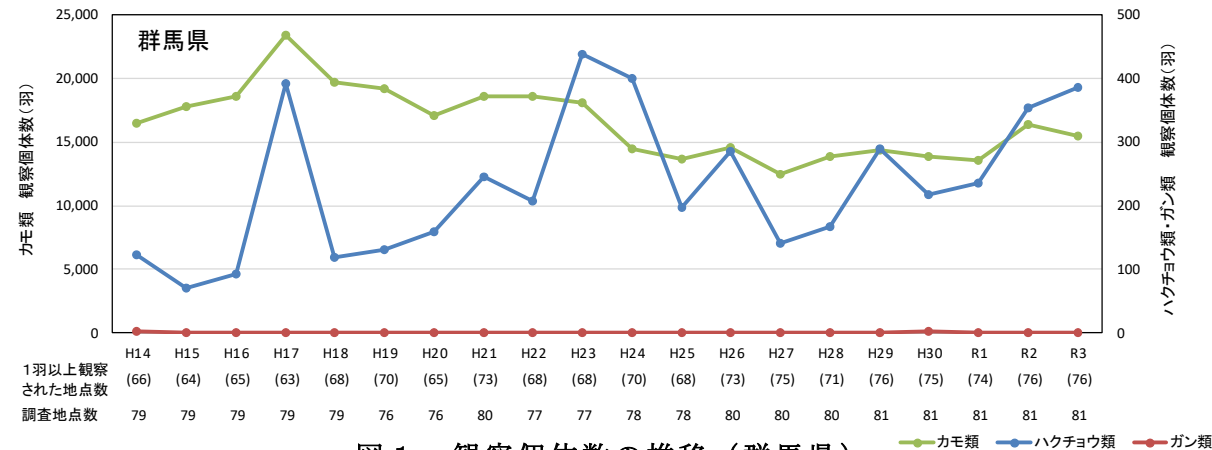
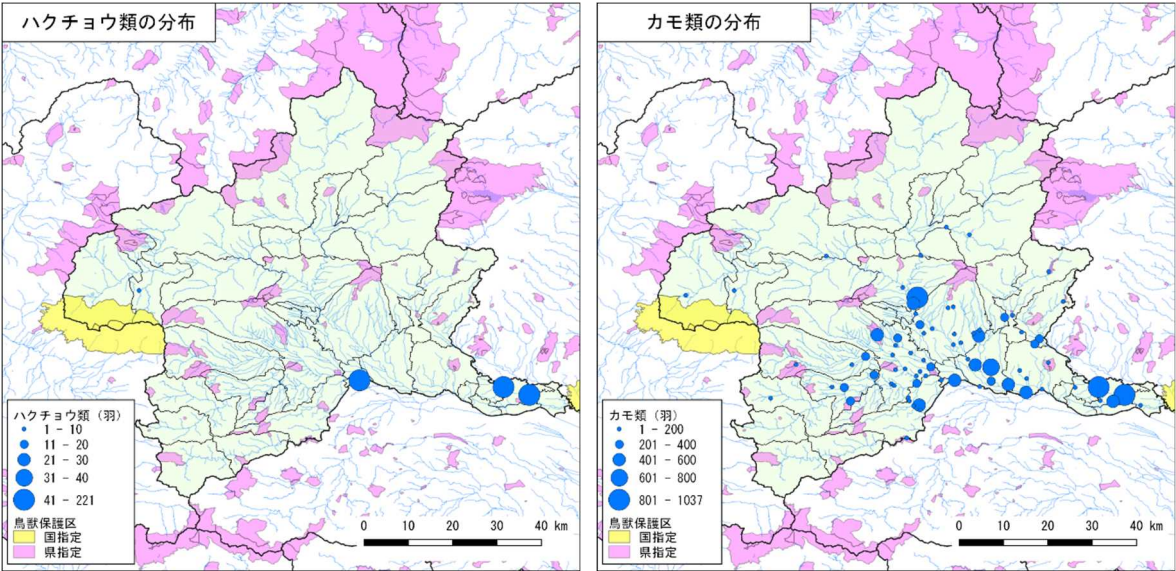


図 1 観察個体数の推移（群馬県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ハクチョウ類、カモ類の観察個体数の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	館林市	76	多々良沼	221	1	館林市	76	多々良沼	1,037
2	玉村町	136	烏川一岩倉橋上下流	109	2	渋川市	8	真壁ダム	1,031
3	館林市	75	城沼	46	3	館林市	75	城沼	863
4	長野原町	132	応桑貯水池	9	4	伊勢崎市	112	伊与久沼	696
5					5	玉村町	136	烏川一岩倉橋上下流	588

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（群馬県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

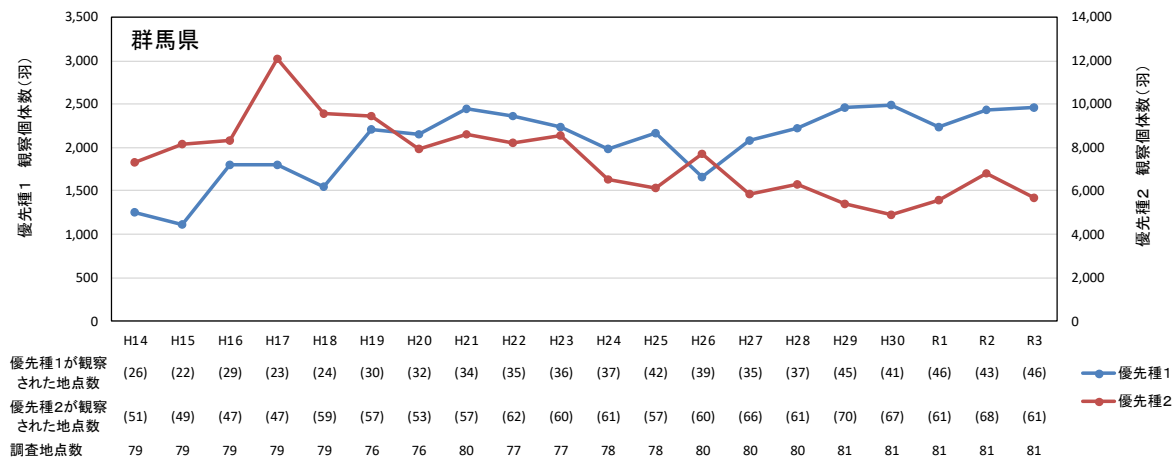
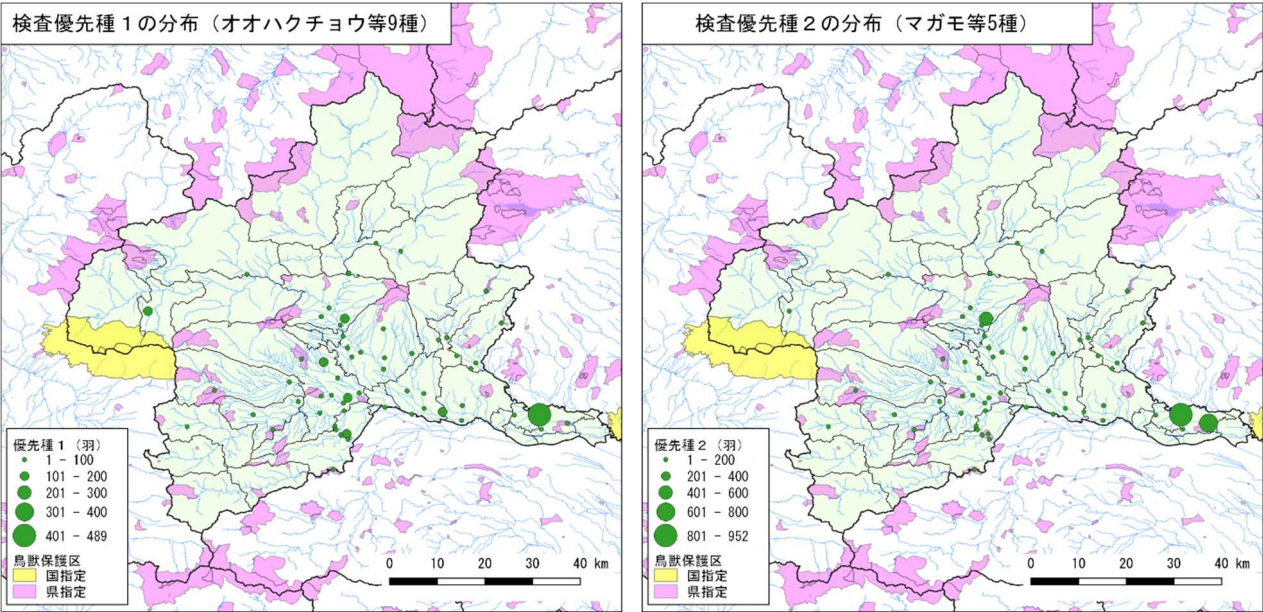


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（群馬県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種1のうち、合計9種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】					【検査優先種2のうち、合計5種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	館林市	76	多々良沼	489	1	館林市	76	多々良沼	952
2	伊勢崎市	116	早川－東武鉄橋～徳川橋	151	2	館林市	75	城沼	693
3	高崎市	138	三ツ寺公園	138	3	渋川市	8	真壁ダム	558
4	長野原町	132	応桑貯水池	132	4	太田市	113	金山長手(上の池・下の池)	191
5	高崎市	110	倉賀野駅北の池(矢島池)	129	5	長野原町	132	応桑貯水池	170

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（群馬県）

埼玉県のカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の埼玉県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

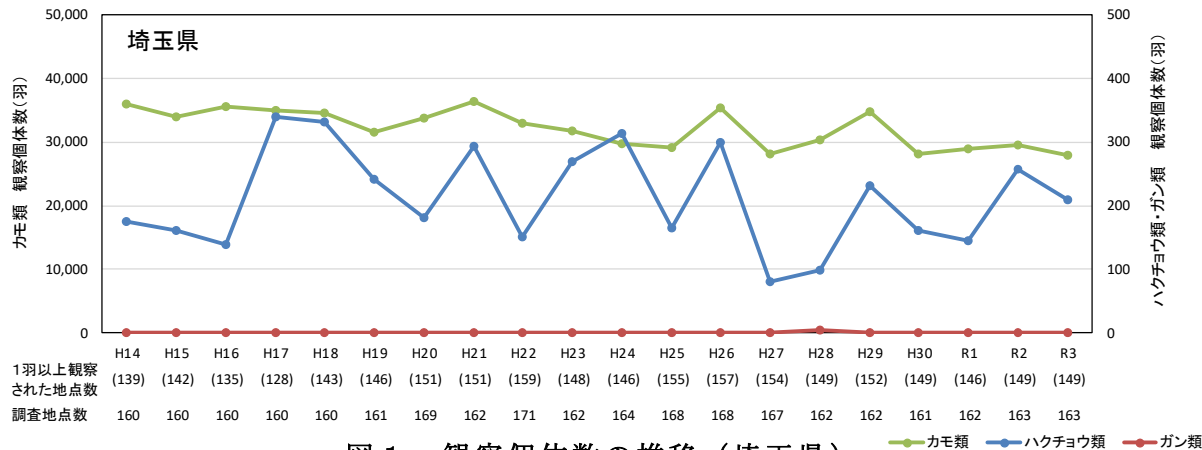
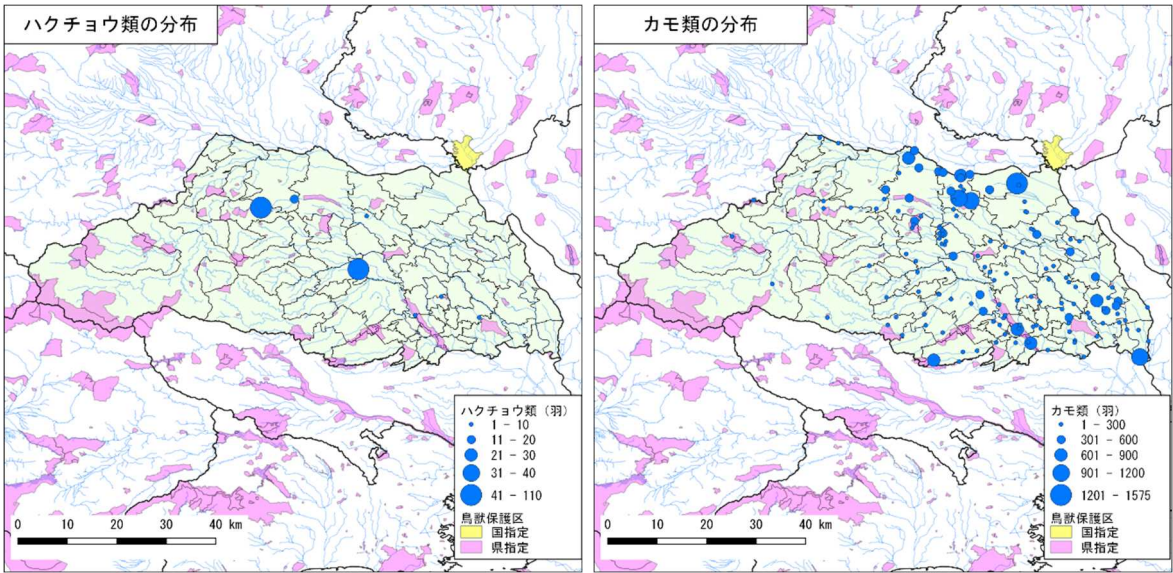


図 1 観察個体数の推移（埼玉県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



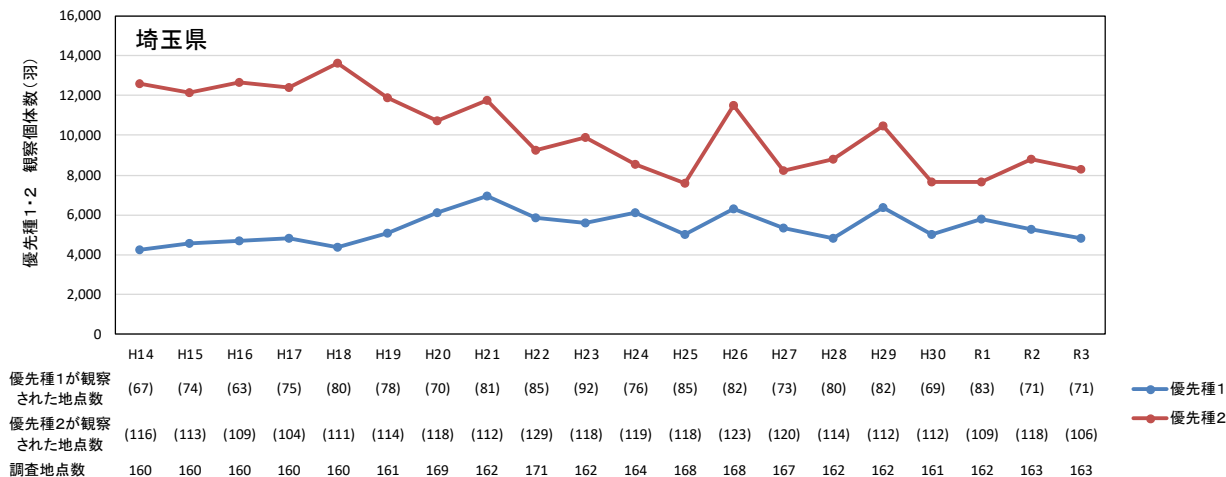
【ハクチョウ類、カモ類の観察個体数の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	深谷市	187	荒川-川の博物館～植松橋	110	1	羽生市	174	羽生水郷公園遊水池	1,575
2	川島町	178	越辺川-飯盛川合流点	75	2	行田市	56	行田浄水場遊水池	1,050
3	深谷市	8	荒川-植松橋下流域	13	3	三郷市	195	三郷公園	965
4	川口市	115	芝川-芝川第一調節池	5	4	行田市	121	忍川	905
5	さいたま市	5	荒川-治水橋～羽根倉橋	5	5	越谷市	72	宮内庁埼玉鴨場	757

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（埼玉県）

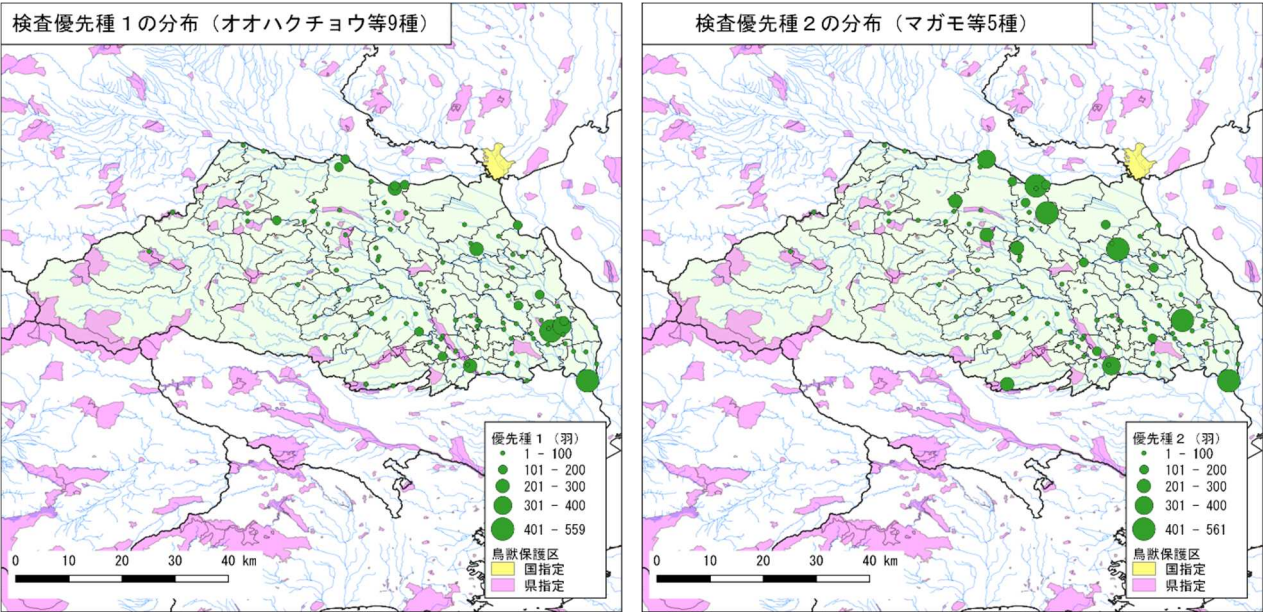
3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。



4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】					【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	越谷市	150	元荒川-越谷市域	559	1	行田市	56	行田浄水場遊水池	561
2	三郷市	195	三郷公園	448	2	行田市	80	利根川-利根大堰上流部	515
3	越谷市	153	新方川-戸井橋～中川合流	312	3	久喜市	63	久喜菖蒲公園昭和沼	481
4	戸田市	93	荒川-荒川第一調節池	248	4	三郷市	195	三郷公園	447
5	行田市	133	武蔵水路沈砂池	231	5	越谷市	72	宮内庁埼玉鴨場	406

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（埼玉県）

千葉県のカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の千葉県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

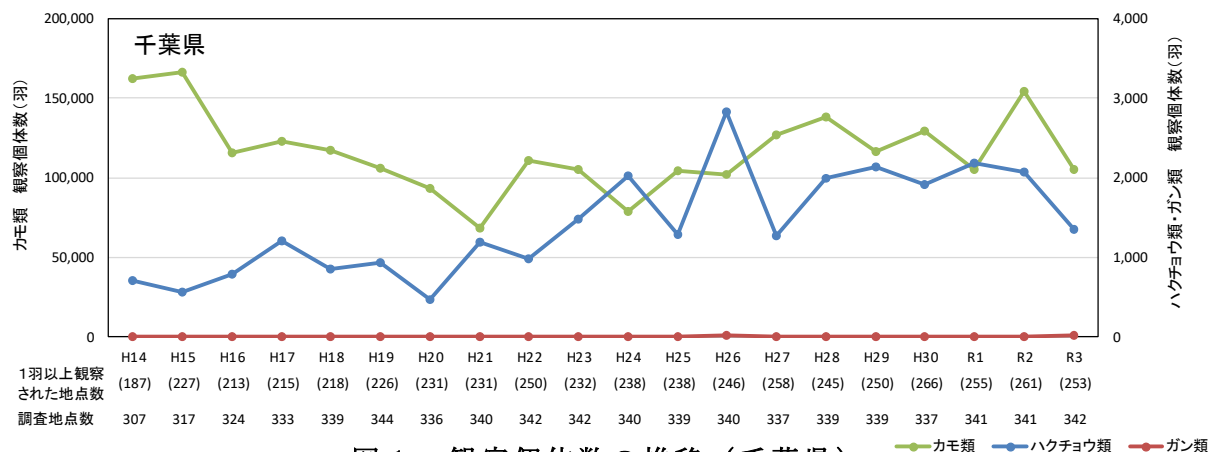


図 1 観察個体数の推移（千葉県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

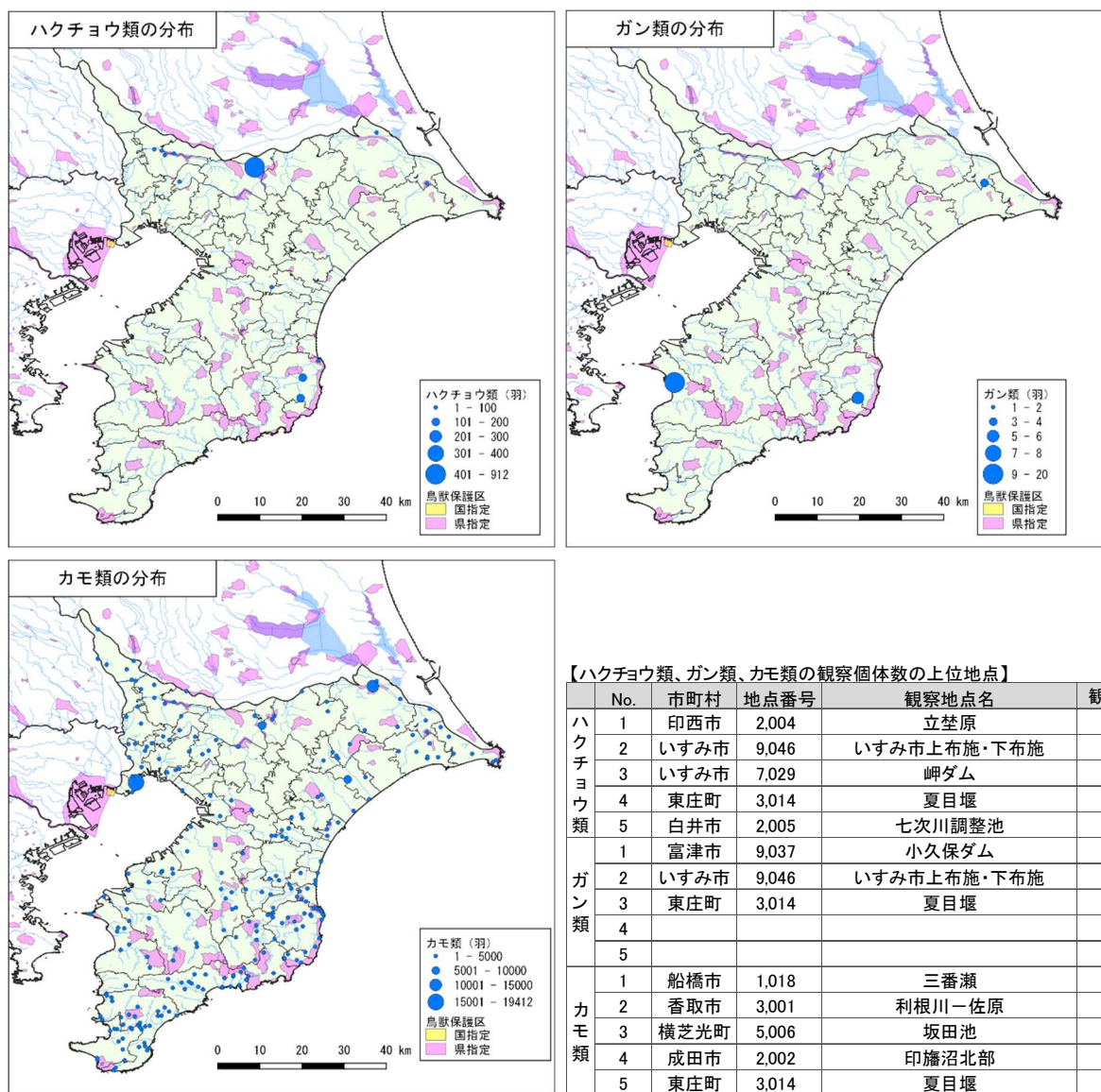


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（千葉県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

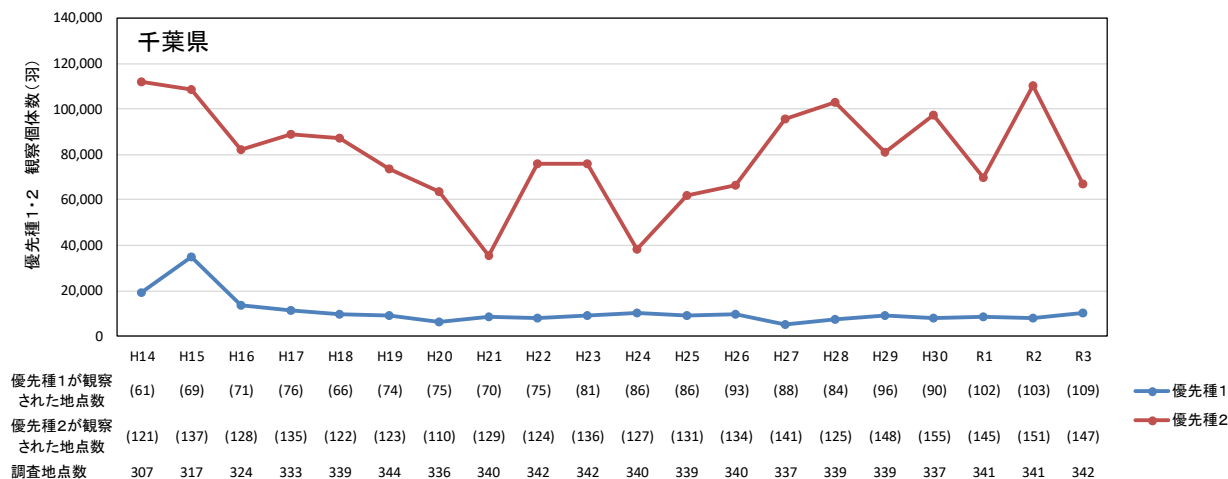
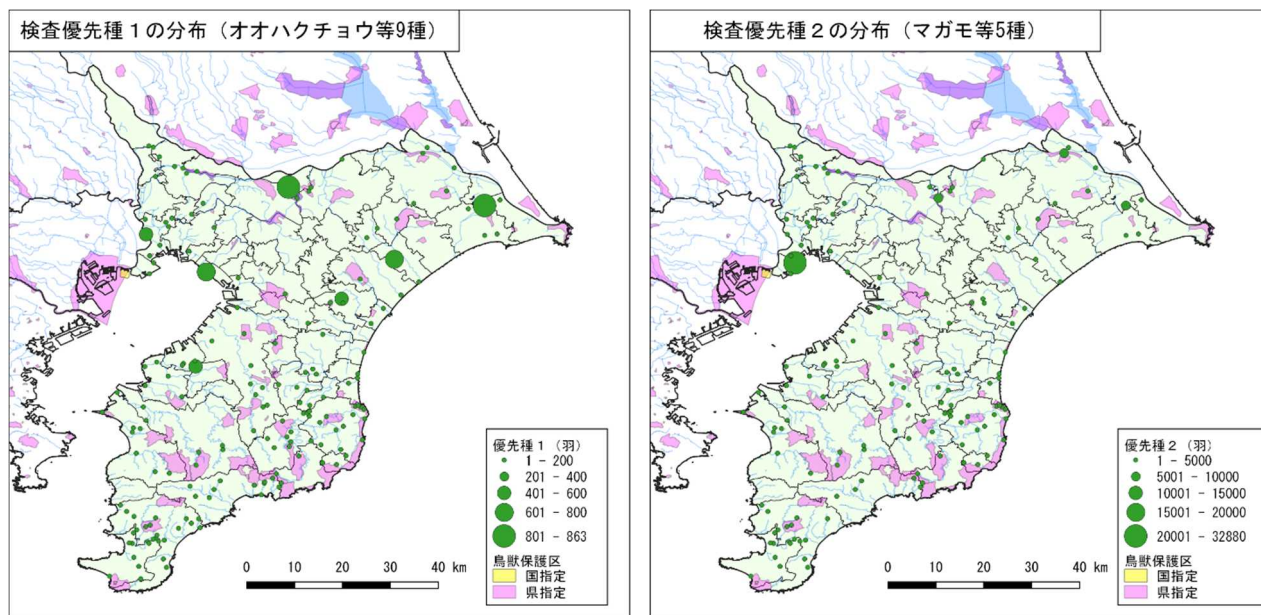


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（千葉県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	東庄町	3014	夏目堰	863
2	印西市	2004	立埜原	807
3	千葉市	1	花見川河口	746
4	横芝光町	5006	坂田池	685
5	袖ヶ浦市	9032	のぞみ野調整池	580

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

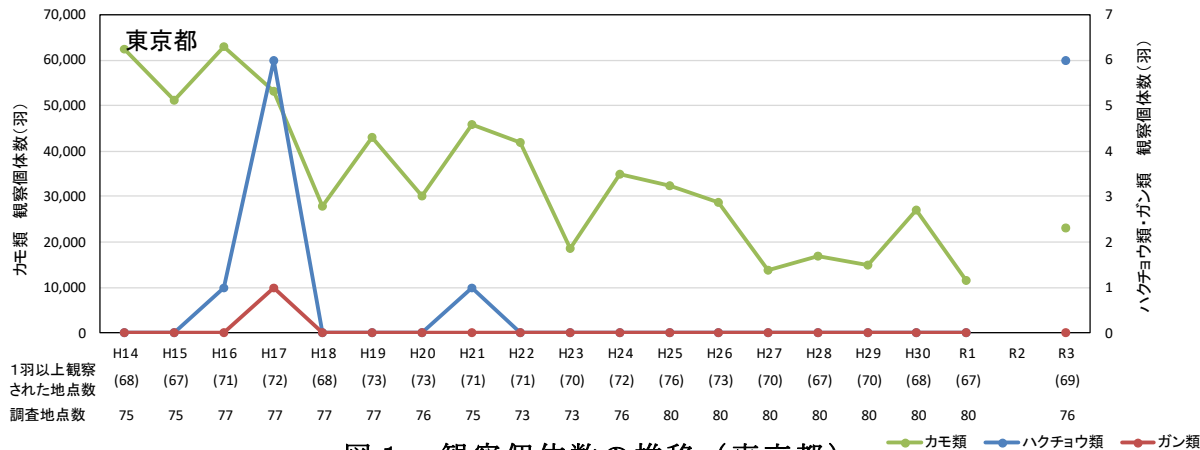
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	船橋市	1018	三番瀬	32,880
2	成田市	2002	印旛沼北部	8,922
3	香取市	3001	利根川一佐原	5,470
4	東庄町	3014	夏目堰	5,180
5	浦安市	1019	浦安沖	2,471

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（千葉県）

東京都のガンカモ類の生息調査結果

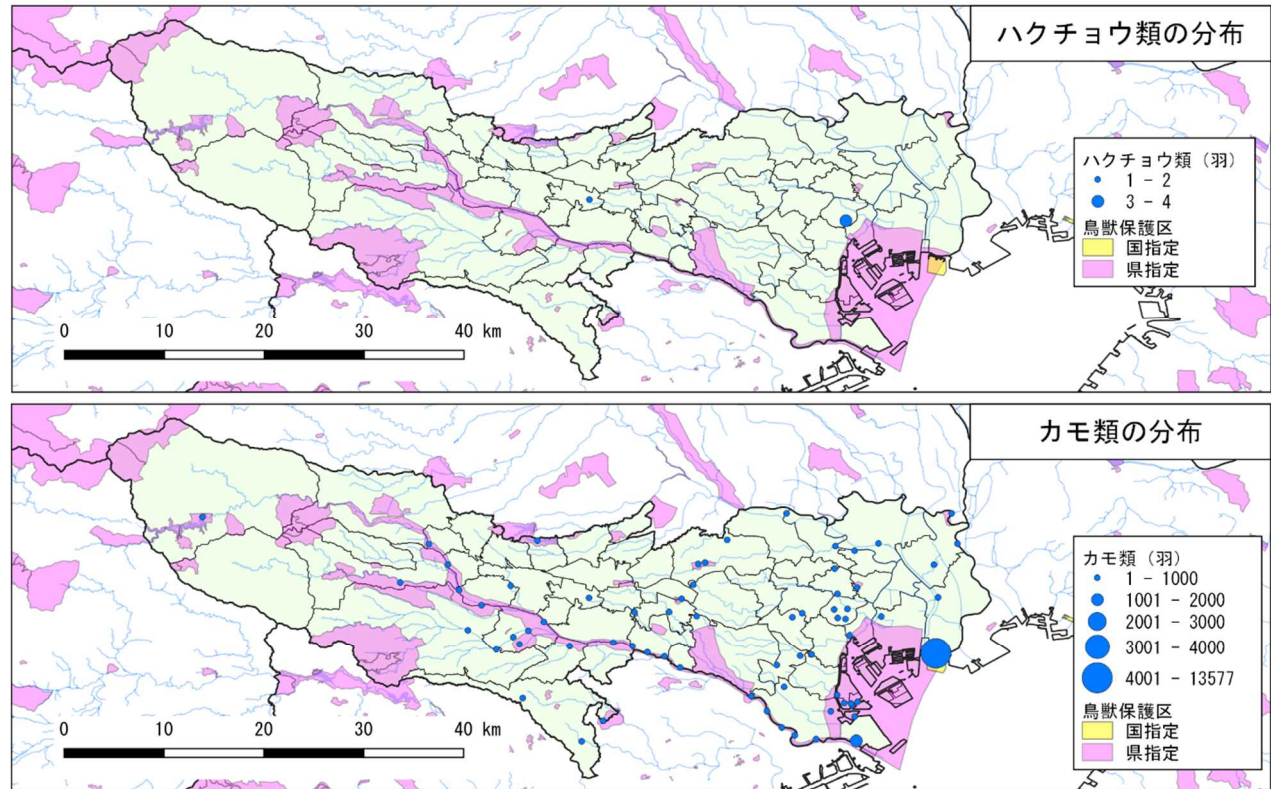
1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の東京都での類別の観察個体数の推移を以下に示す。



3. 都内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ハクチョウ類、カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数		No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
ハク チ ョ ウ 類	1	千代田区	53	馬場先、蛤、桔梗、日比谷濠	4	カ モ 類	1	江戸川区	40	南葛西(旧三牧州)	13,577
	2	国分寺市	28	東恋ヶ窪(日立製作所)	2		2	大田区	76	多摩川(大師橋～多摩川トンネル)	1,374
	3						3	葛飾区	38	水元公園・大場川	699
	4						4	北区、板橋区	36	浮間ヶ池	569
	5						5	福生市	5	多摩川－秋川との合流点	534

図 2 ハクチョウ類、カモ類の分布状況（東京都）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

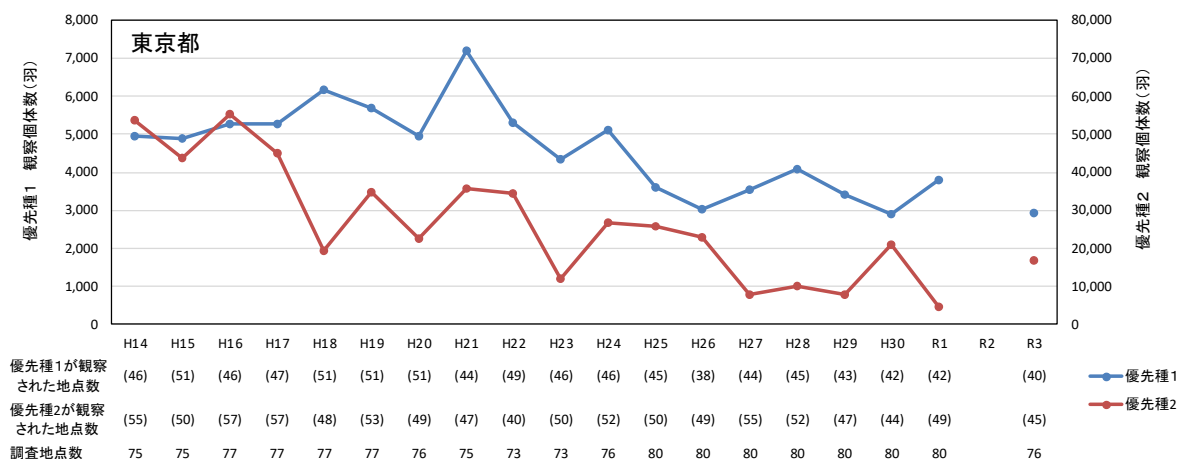
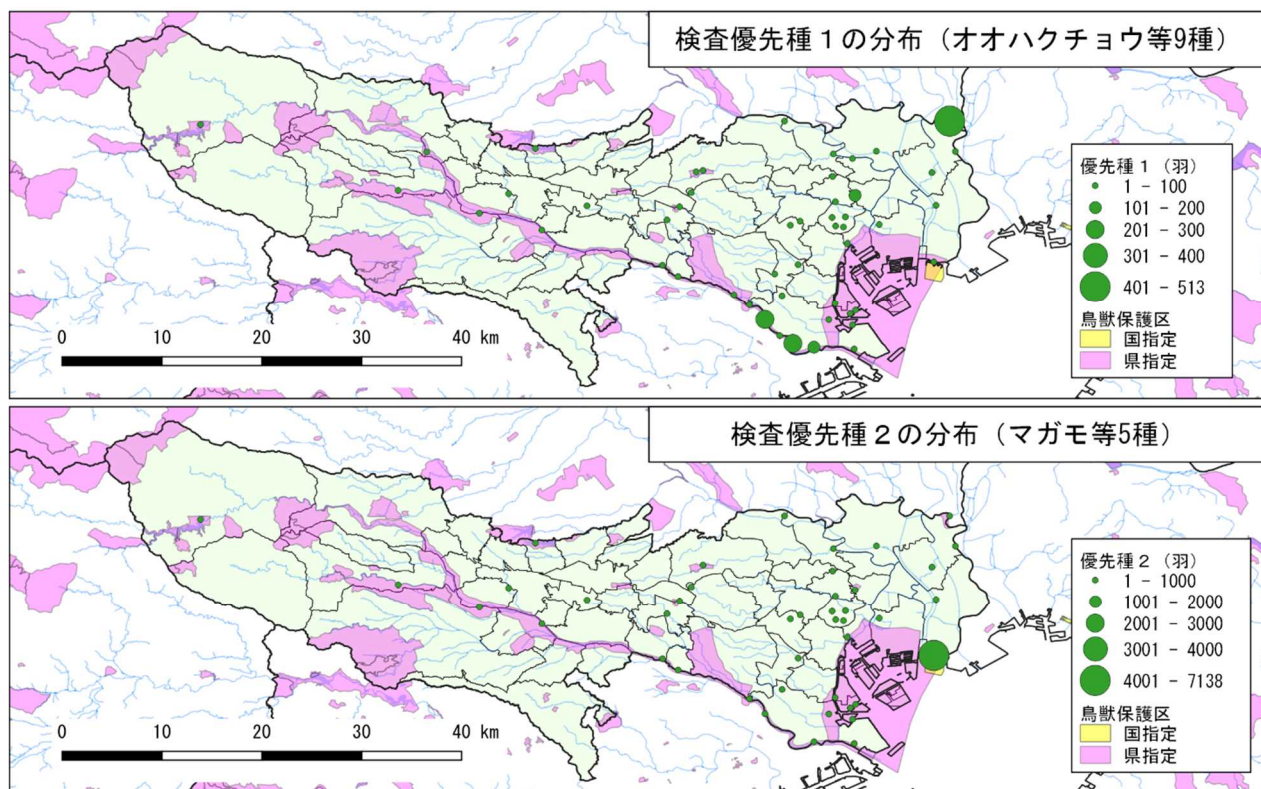


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（東京都）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布(対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの)及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種1のうち、合計9種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】					【検査優先種2のうち、合計5種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	葛飾区	38	水元公園・大場川	513	1	江戸川区	40	南葛西(旧三牧州)	7,138
2	大田区	77	多摩川(丸子橋～ガス橋)	280	2	大田区	76	多摩川(大師橋～多摩川トンネル)	905
3	大田区	62	多摩川(多摩川大橋～六郷橋)	253	3	大田区	65	東京港～京浜島	323
4	大田区	63	多摩川(六郷橋～大師橋)	126	4	江戸川区、江東区	35	荒川(葛西橋～木根川橋)	272
5	台東区	32	上野公園不忍池	125	5	北区、板橋区	36	浮間ヶ池	216

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（東京都）

神奈川県のカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の神奈川県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

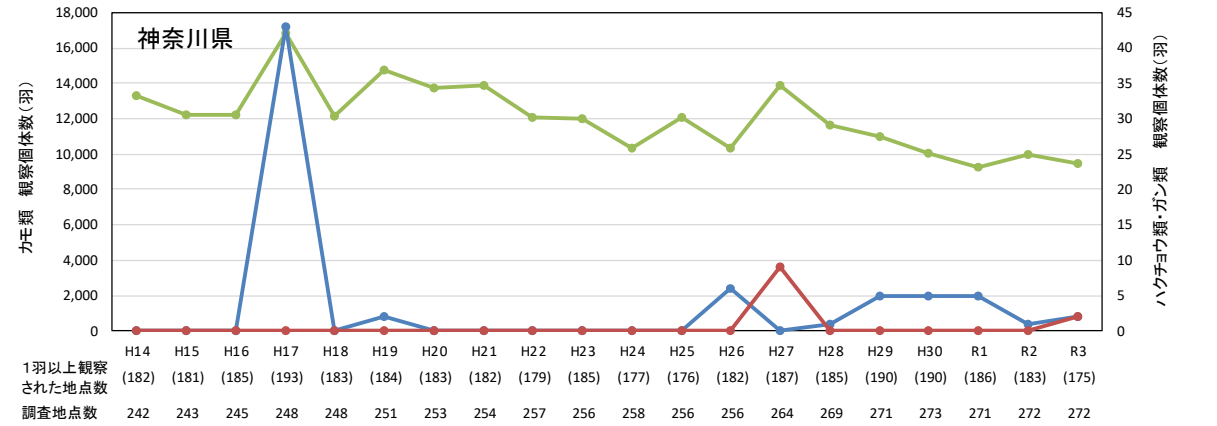


図 1 観察個体数の推移（神奈川県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

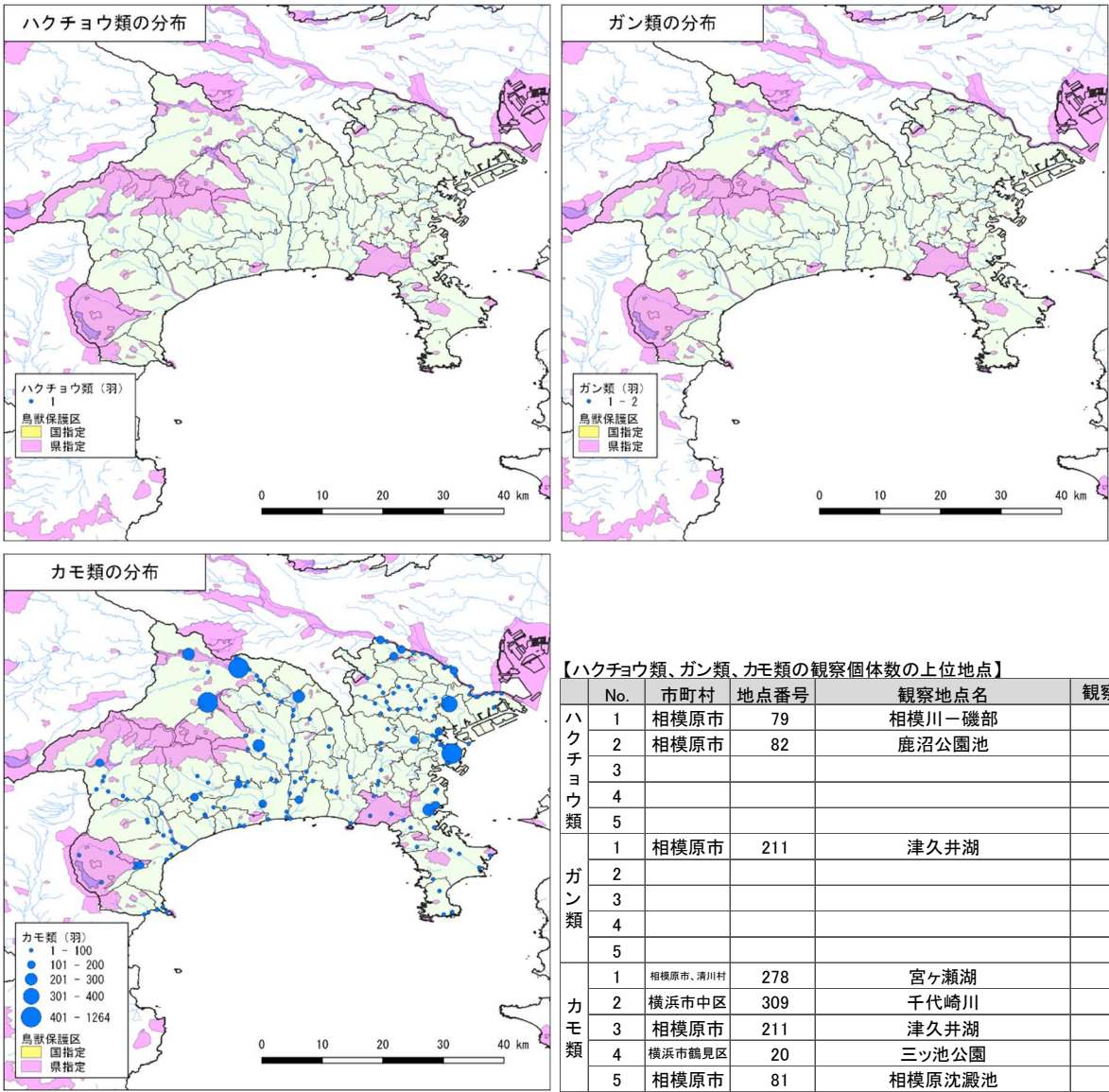


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（神奈川県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

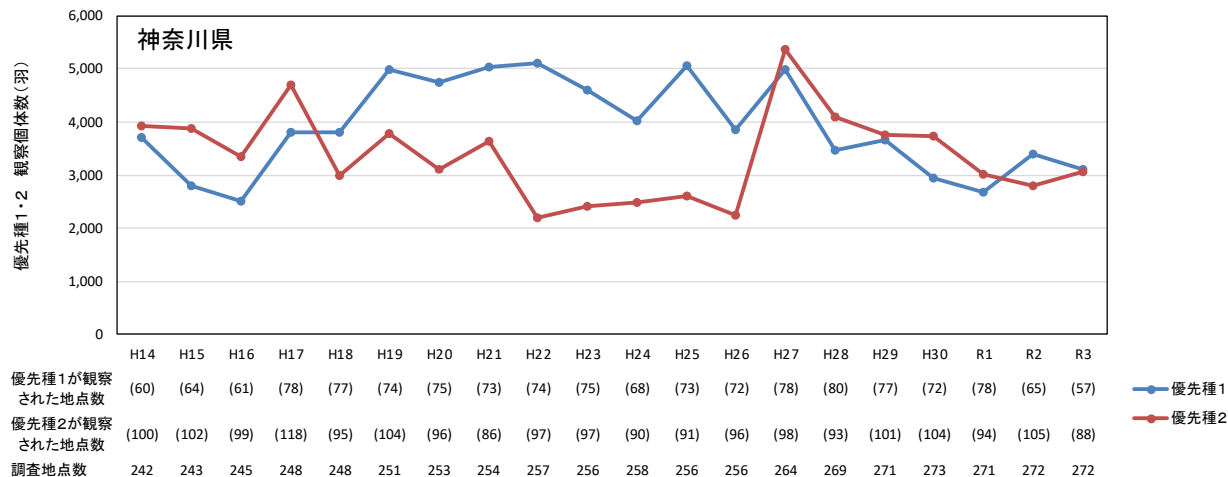
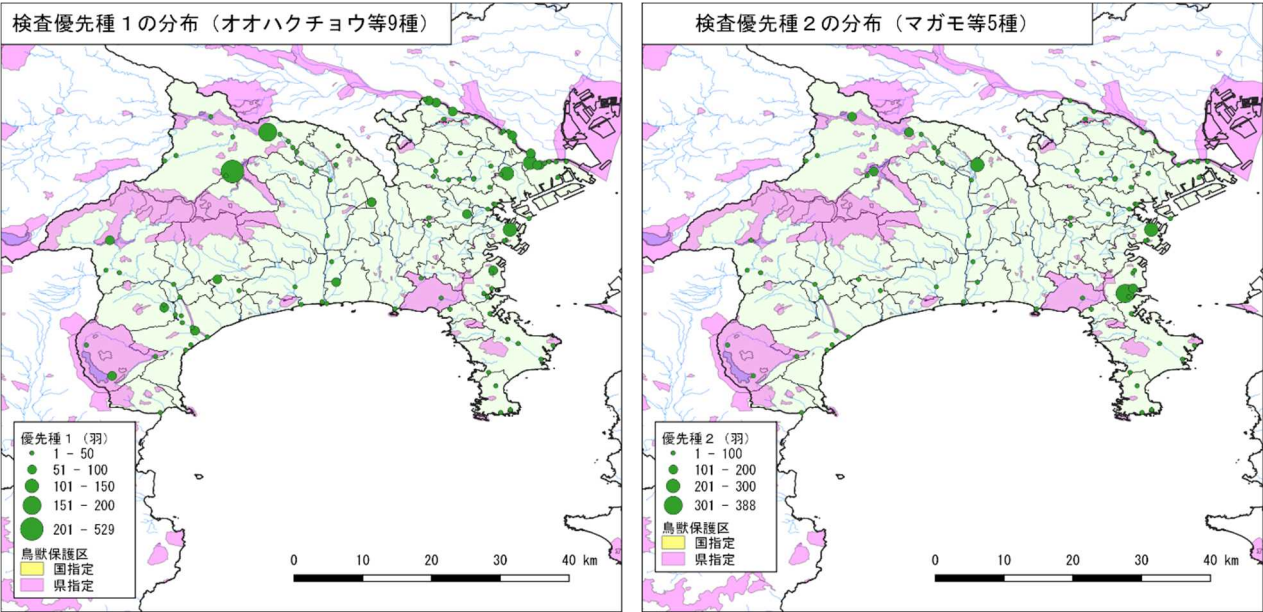


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（神奈川県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	相模原市、清川村	278	宮ヶ瀬湖	529
2	相模原市	211	津久井湖	159
3	横浜市長見区	20	三ッ池公園	149
4	横浜市中区	309	千代崎川	115
5	川崎市幸区	273	多摩川一戸手	105

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	横浜市金沢区	36	平潟湾	388
2	横浜市中区	309	千代崎川	262
3	相模原市	81	相模原沈黙池	222
4	相模原市	211	津久井湖	198
5	相模原市	212	相模湖	185

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（神奈川県）

新潟県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の新潟県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

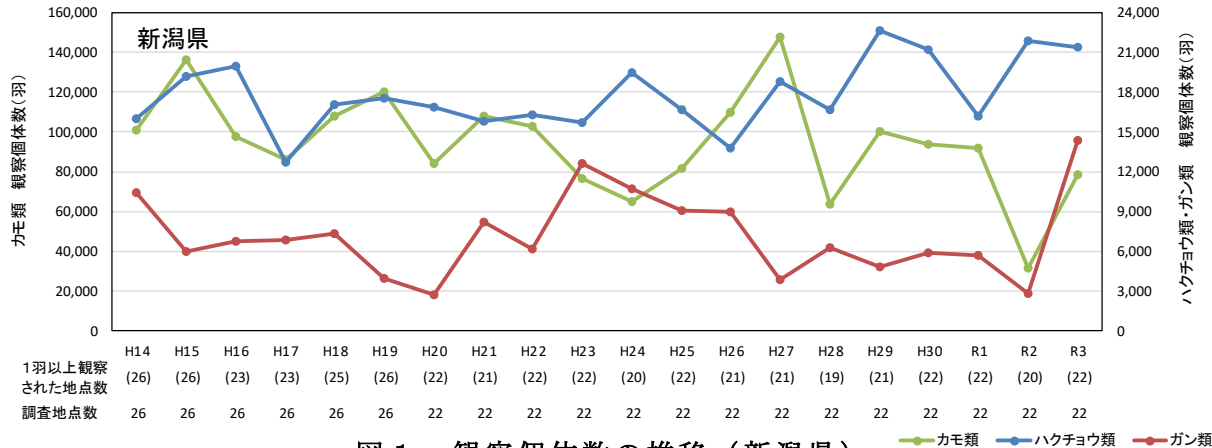


図 1 観察個体数の推移（新潟県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

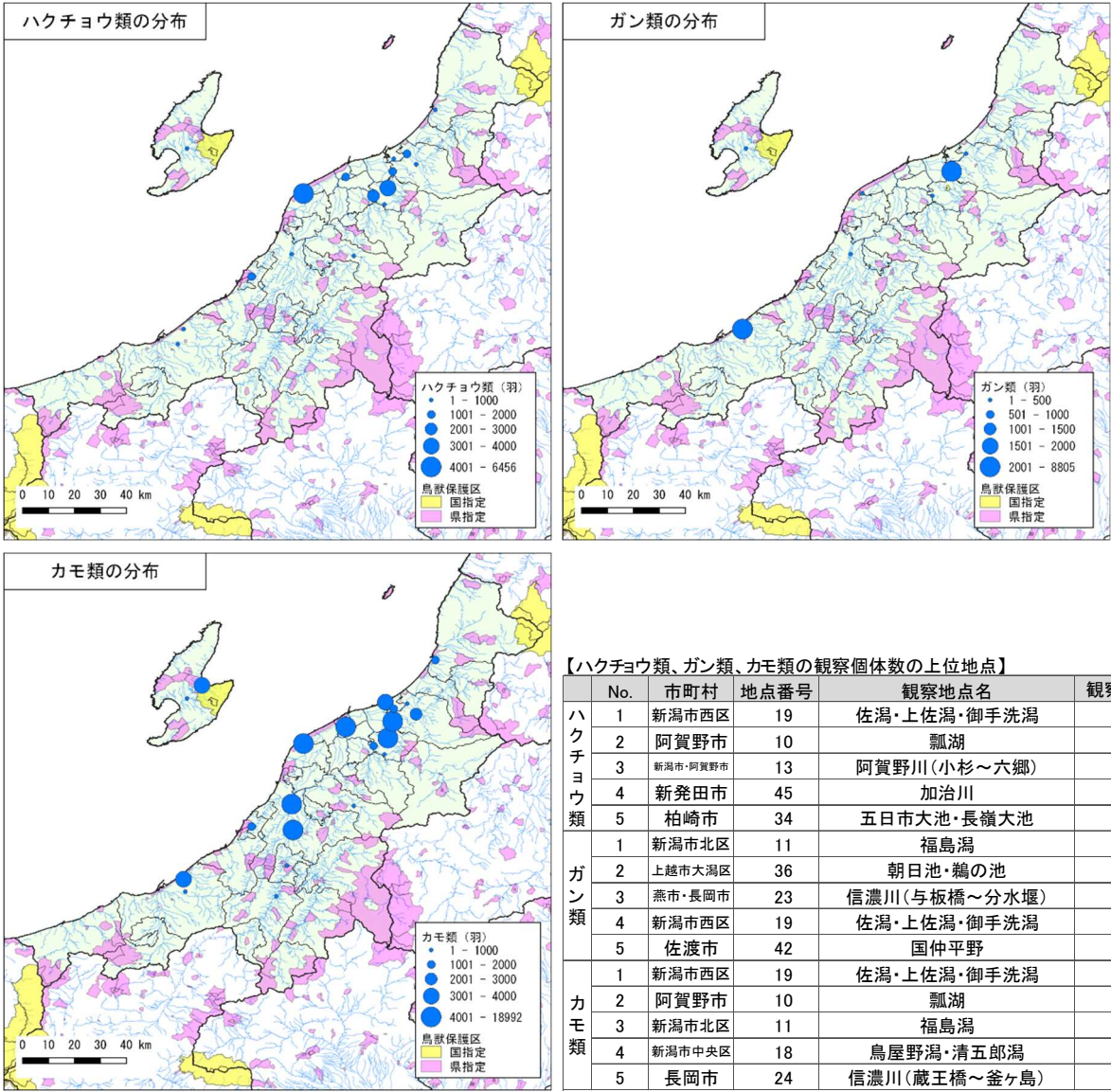


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（新潟県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

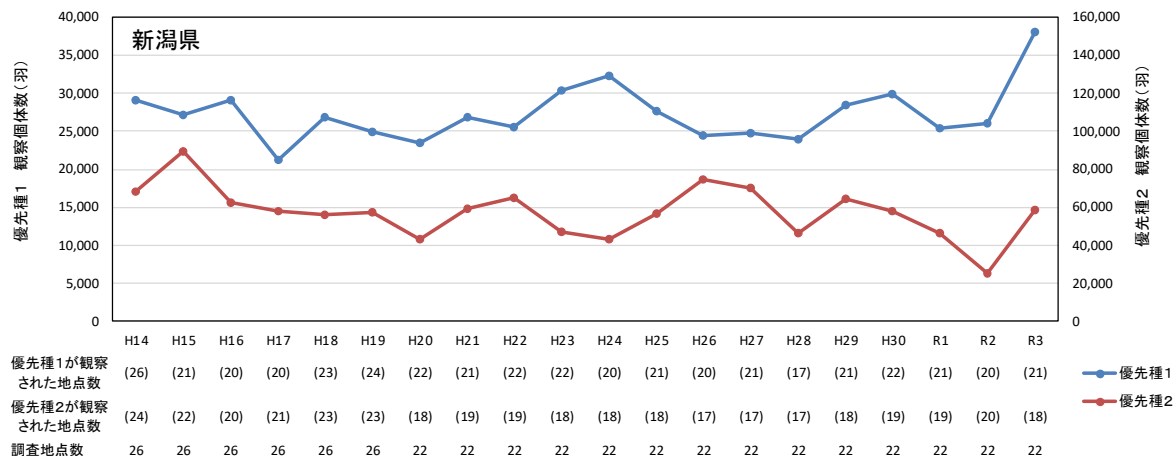
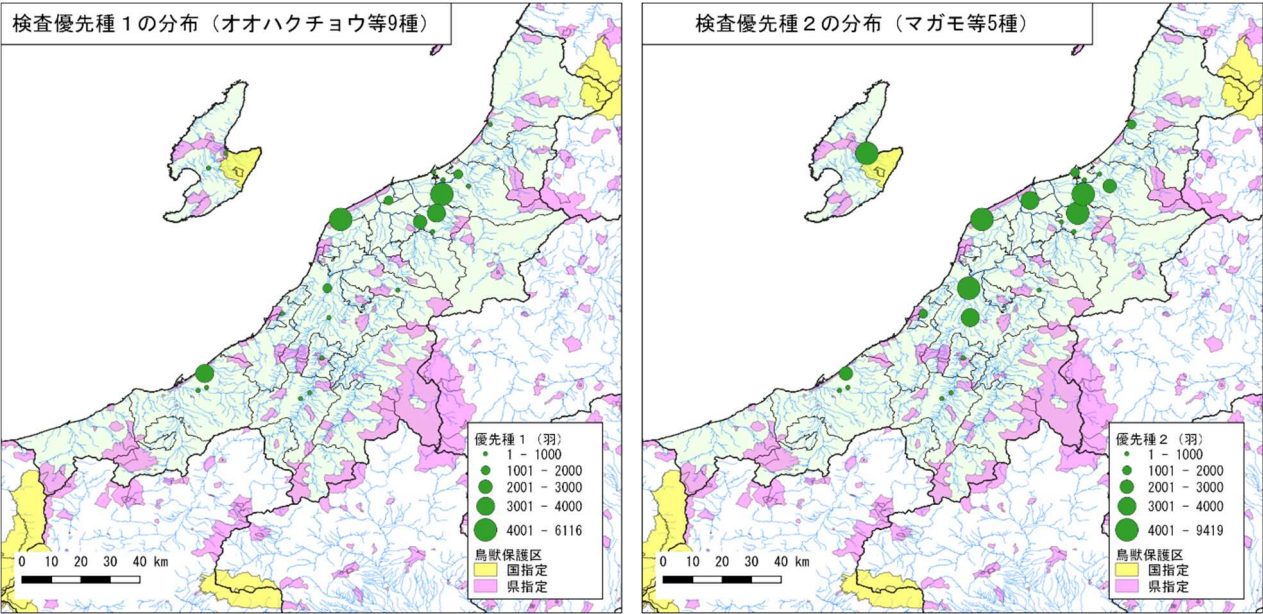


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（新潟県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種1のうち、合計9種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】					【検査優先種2のうち、合計5種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	新潟市西区	19	佐潟・上佐潟・御手洗潟	6,116	1	新潟市西区	19	佐潟・上佐潟・御手洗潟	9,419
2	新潟市北区	11	福島潟	5,560	2	燕市・長岡市	23	信濃川(与板橋～分水堰)	6,771
3	阿賀野市	10	瓢湖	3,882	3	新潟市北区	11	福島潟	6,340
4	上越市大潟区	36	朝日池・鵜の池	3,241	4	阿賀野市	10	瓢湖	6,158
5	新潟市・阿賀野市	13	阿賀野川(小杉～六郷)	2,755	5	佐渡市	39	加茂湖	4,984

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（新潟県）

富山県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の富山県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

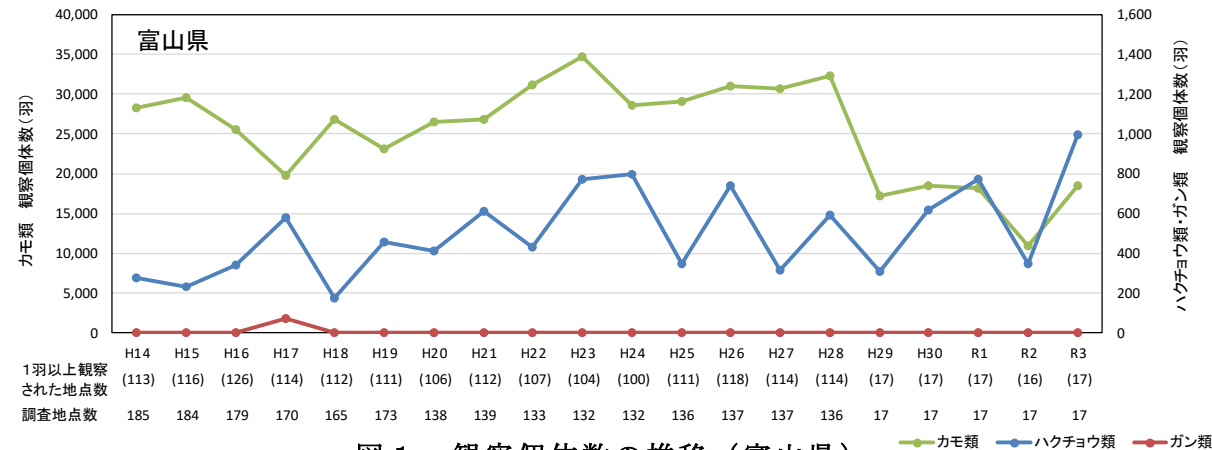
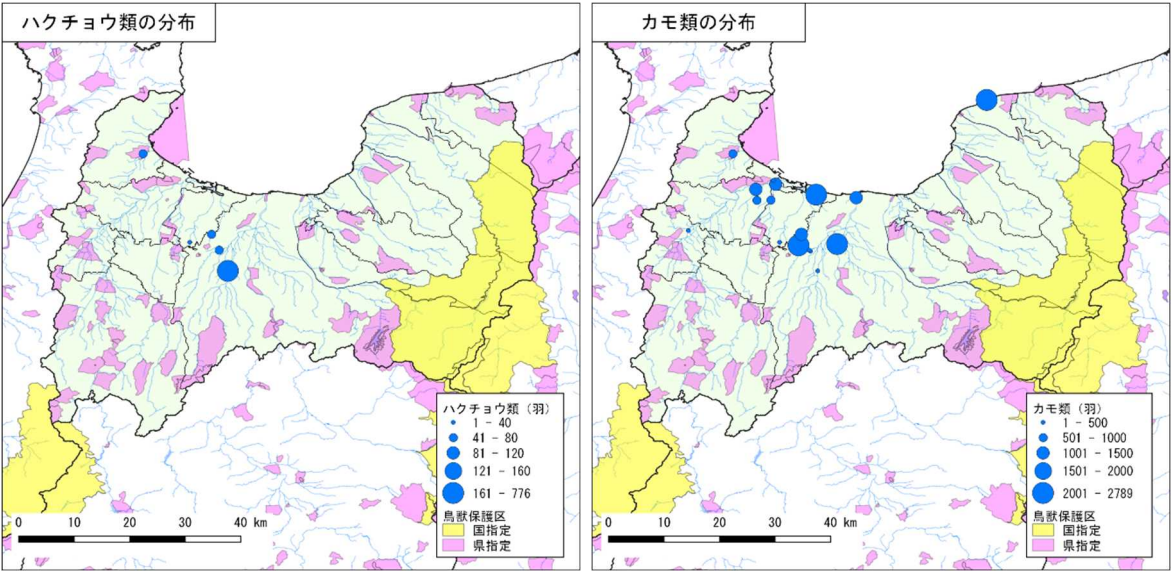


図 1 観察個体数の推移（富山県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ハクチョウ類、カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数		No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
ハク チ ョ ウ 類	1	富山市	202	上高善寺地内水田	776	カ モ 類	1	富山市	90	古洞池	2,789
	2	氷見市	189	十二町潟	70		2	入善町	13	八幡	2,550
	3	富山市	77	田尻池	67		3	富山市	186	中央植物園の池	2,441
	4	富山市	197	山田川長沢橋下流	47		4	射水市	142	七美中野	2,202
	5	射水市	191	石畑池	38		5	高岡市	134	庄川一河口	1,320

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（富山県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

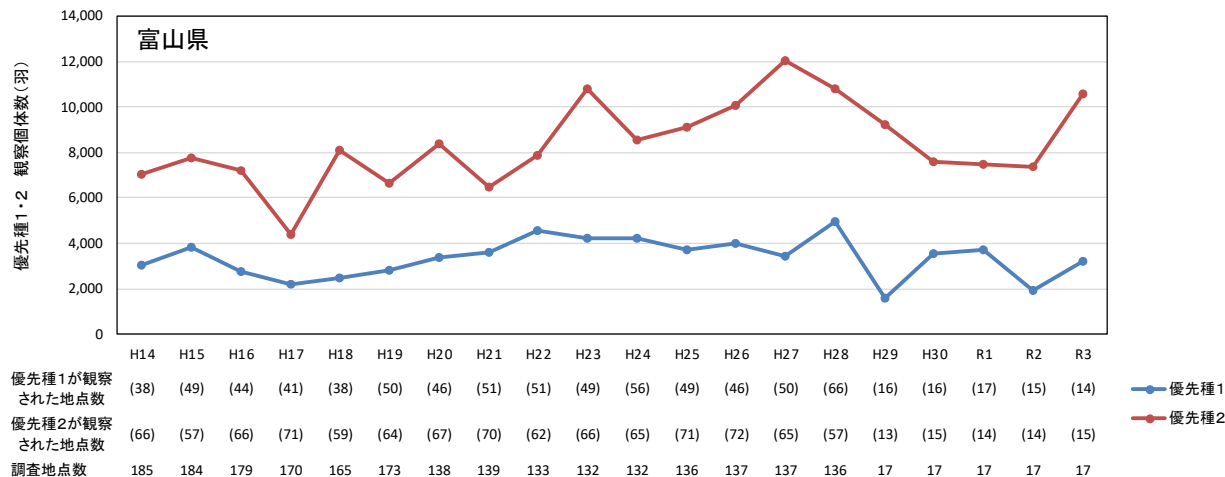
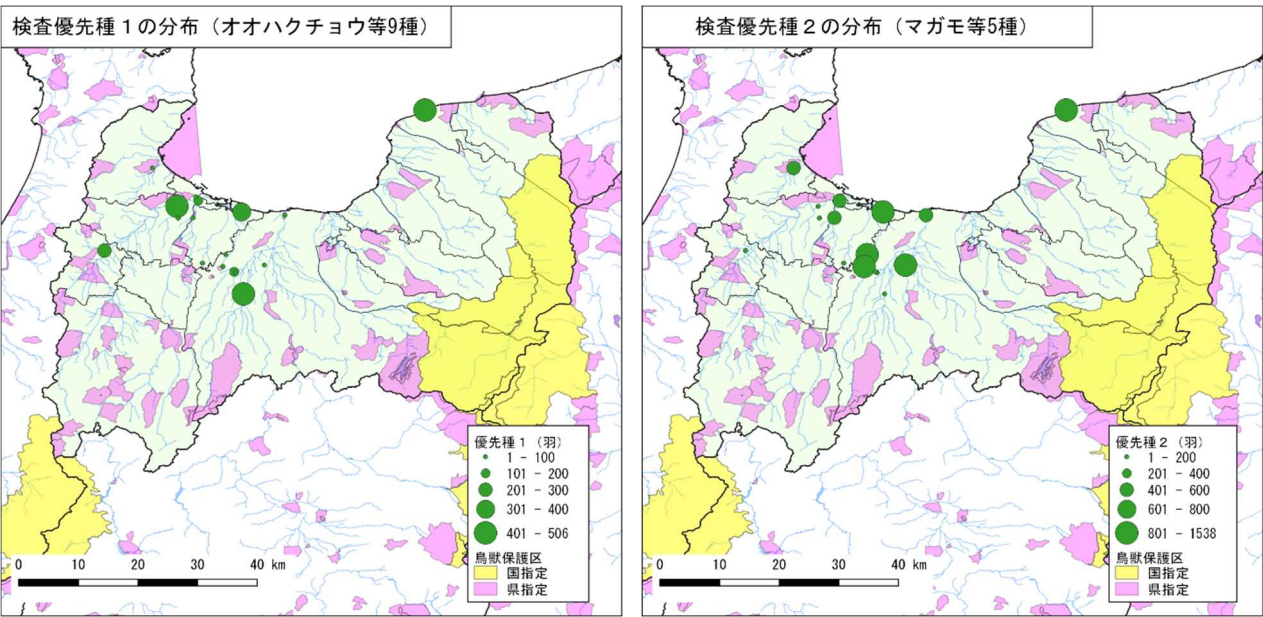


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（富山県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種1のうち、合計9種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】					【検査優先種2のうち、合計5種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	高岡市	127	小矢部川―守山橋	506	1	富山市	90	古洞池	1,538
2	入善町	13	八幡	477	2	入善町	13	八幡	1,302
3	富山市	202	上高善寺地内水田	450	3	富山市	186	中央植物園の池	1,111
4	射水市	142	七美中野	352	4	富山市	77	田尻池	1,039
5	小矢部市	146	小矢部川―福町橋	268	5	射水市	142	七美中野	992

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（富山県）

石川県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の石川県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

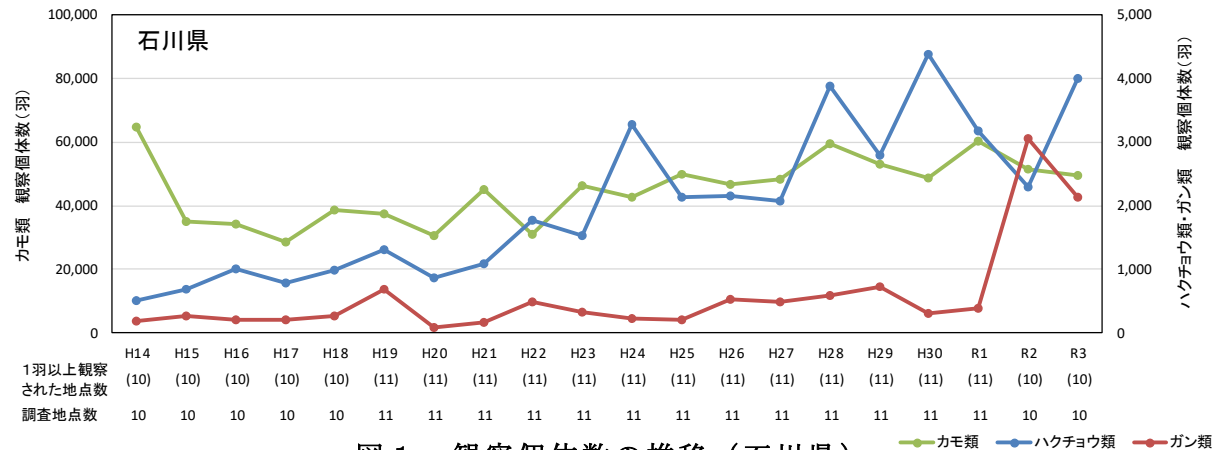


図 1 観察個体数の推移（石川県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

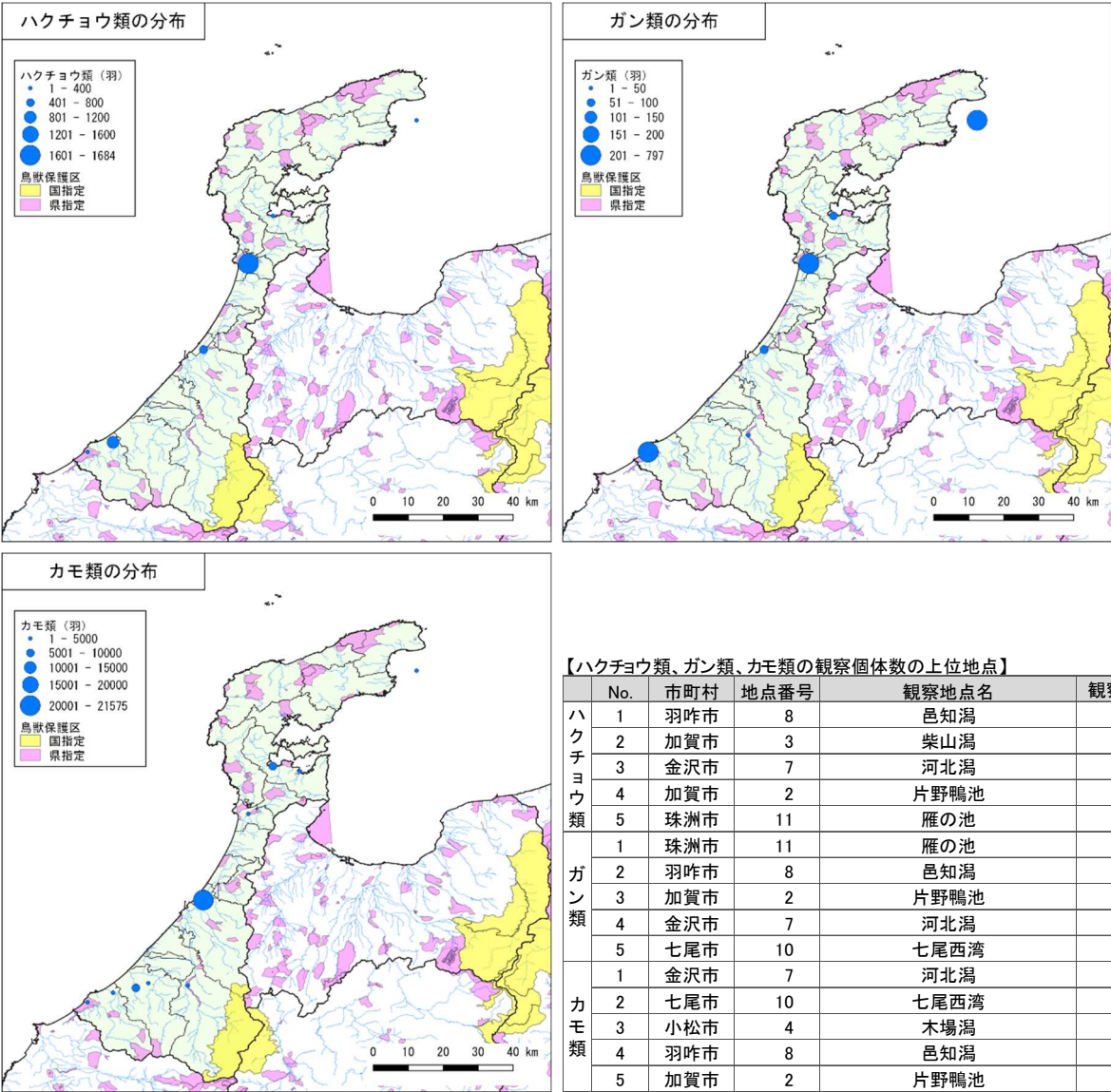


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（石川県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

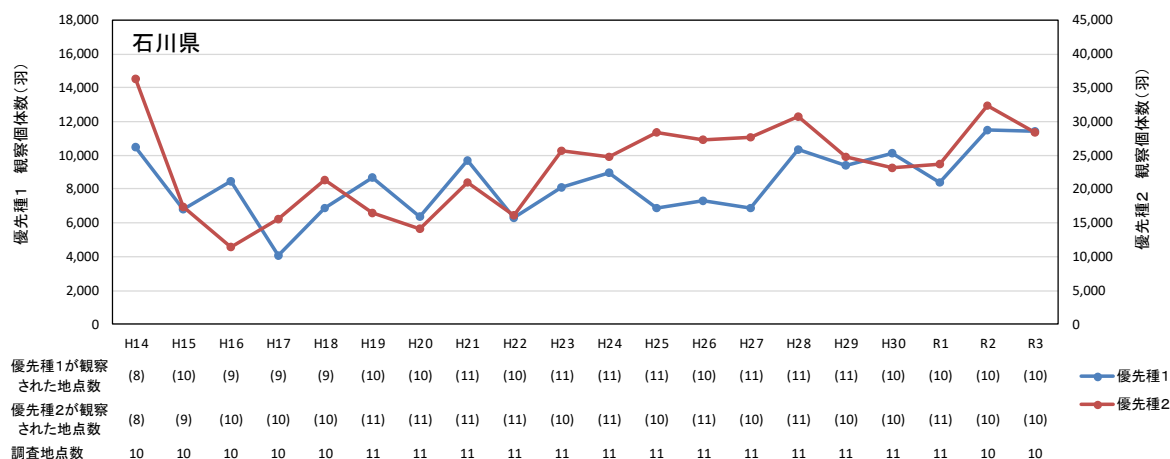
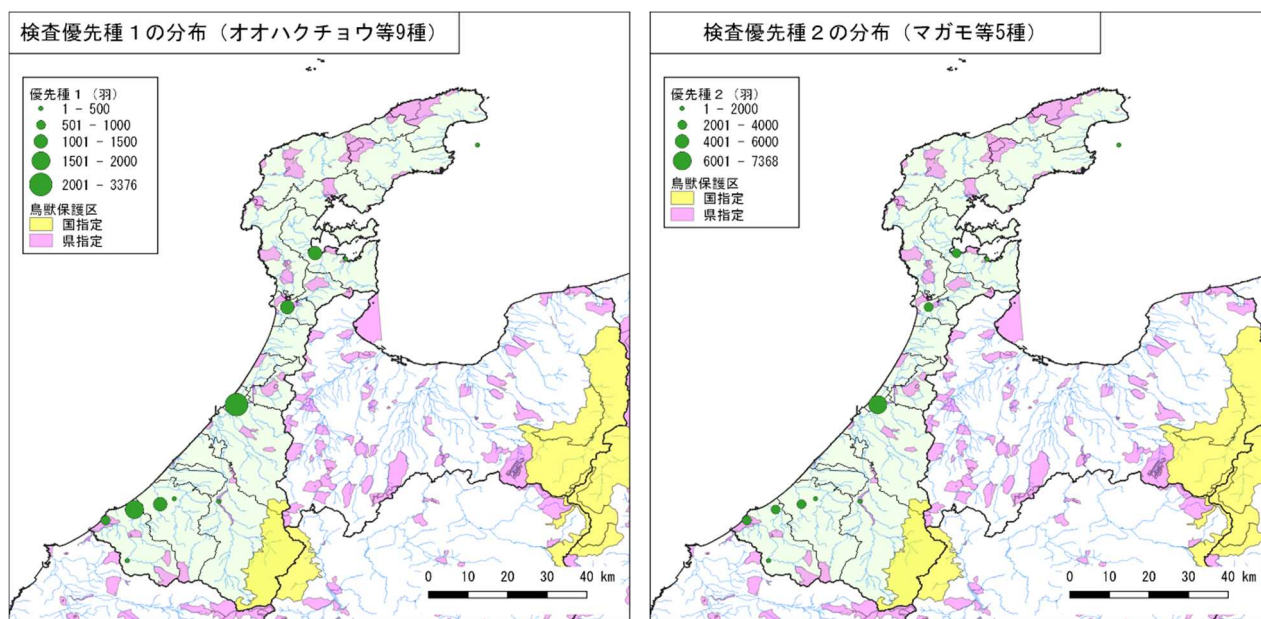


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（石川県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	金沢市	7	河北潟	3,376
2	加賀市	3	柴山潟	1,858
3	羽咋市	8	邑知潟	1,463
4	小松市	4	木場潟	1,070
5	七尾市	10	七尾西湾	1,047

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	金沢市	7	河北潟	7,368
2	七尾市	10	七尾西湾	3,885
3	加賀市	3	柴山潟	3,542
4	加賀市	2	片野鴨池	3,376
5	羽咋市	8	邑知潟	2,791

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（石川県）

福井県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の福井県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

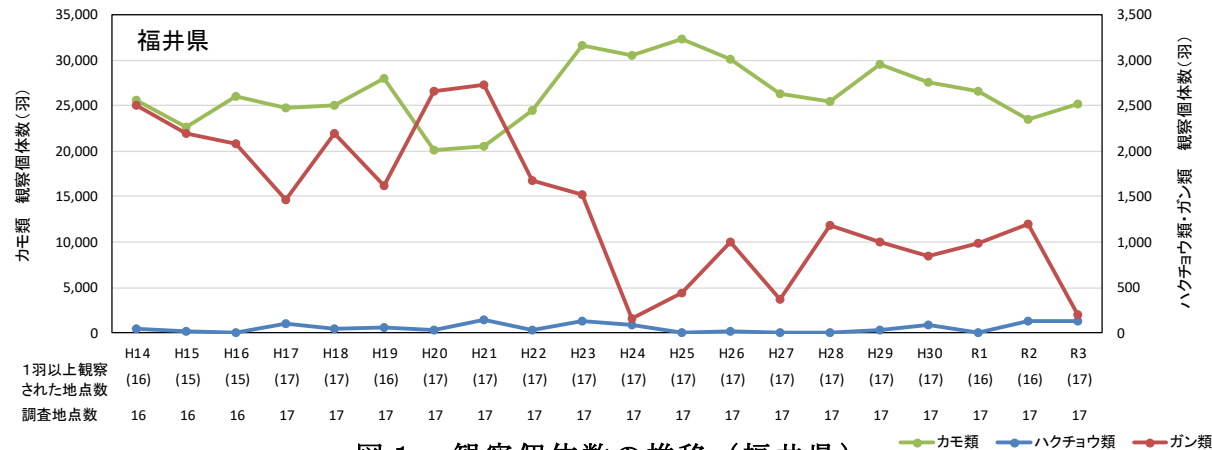


図 1 観察個体数の推移（福井県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

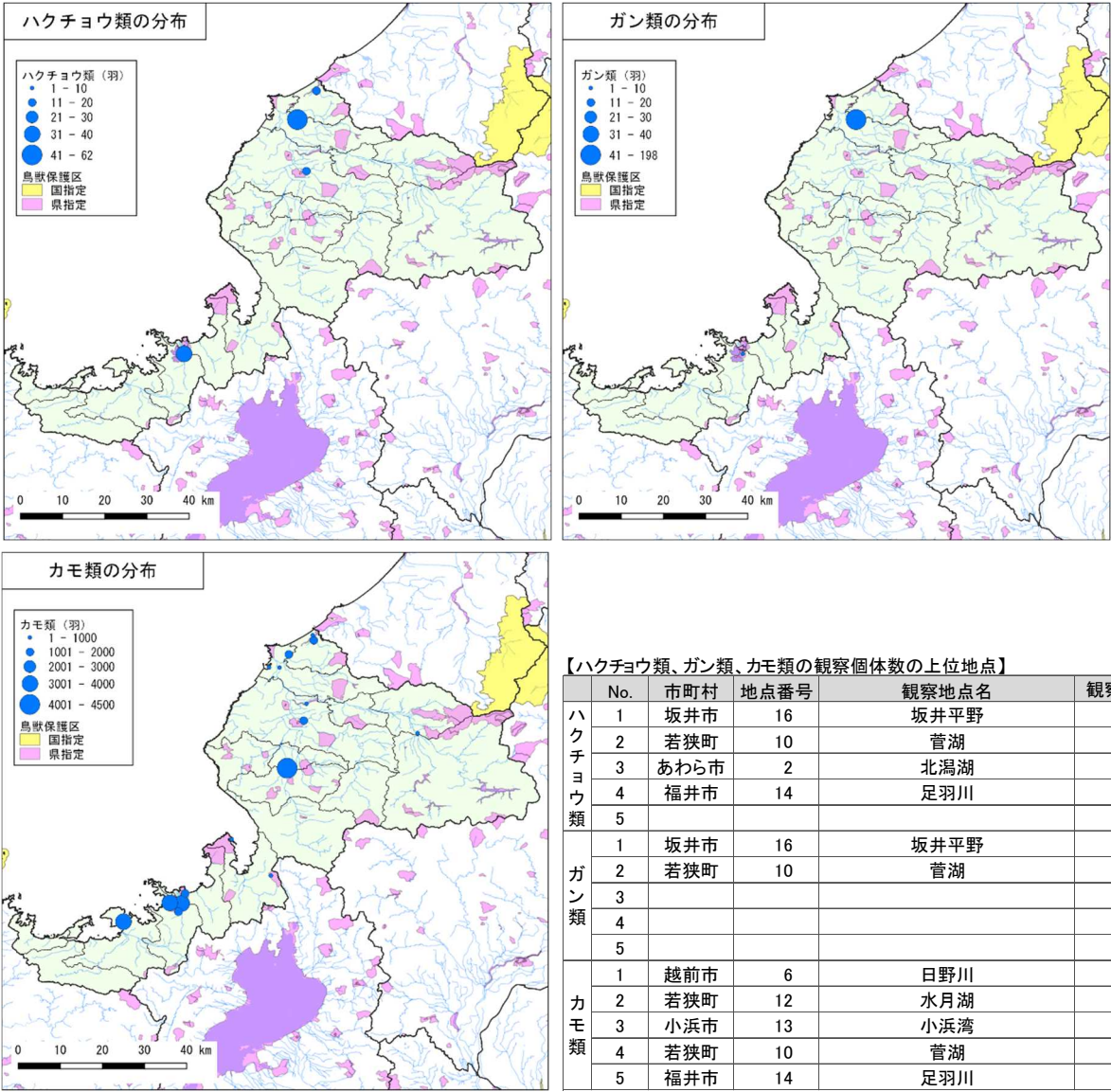


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（福井県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

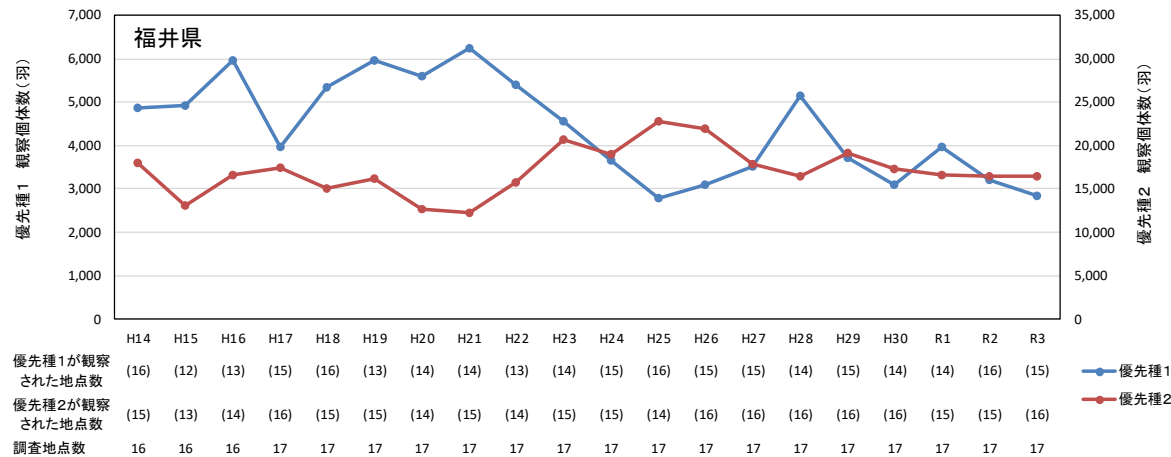
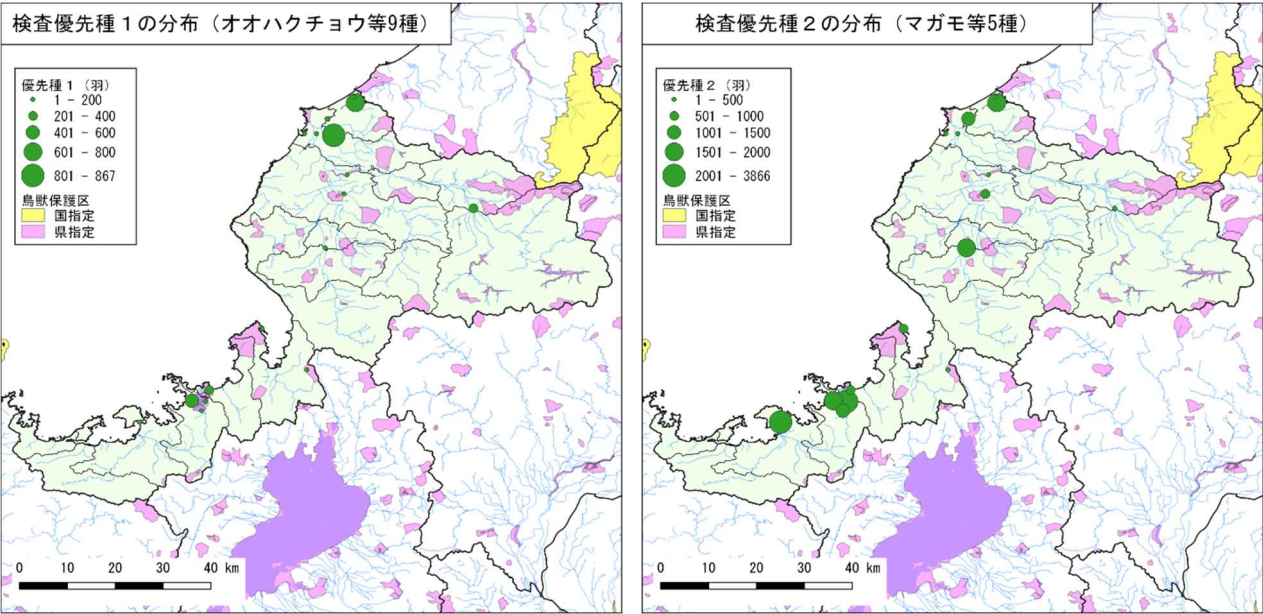


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（福井県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】					【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	坂井市	16	坂井平野	867	1	若狭町	10	菅湖	3,866
2	あわら市	2	北潟湖	777	2	小浜市	13	小浜湾	2,501
3	若狭町	12	水月湖	410	3	若狭町	12	水月湖	1,979
4	勝山市	17	九頭竜川中上流域	237	4	越前市	6	日野川	1,934
5	美浜町	9	久々子湖	235	5	あわら市	2	北潟湖	1,554

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（福井県）

山梨県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の山梨県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

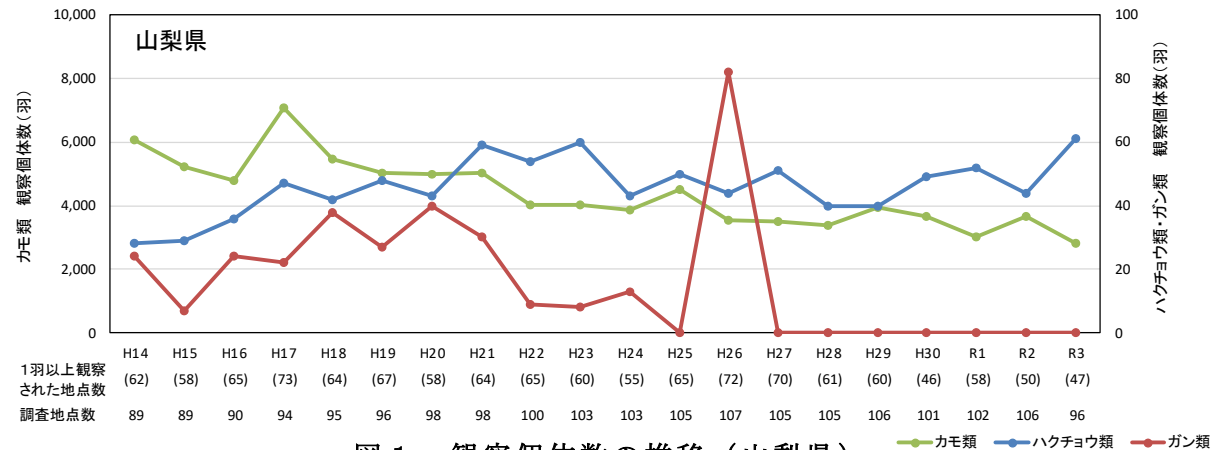
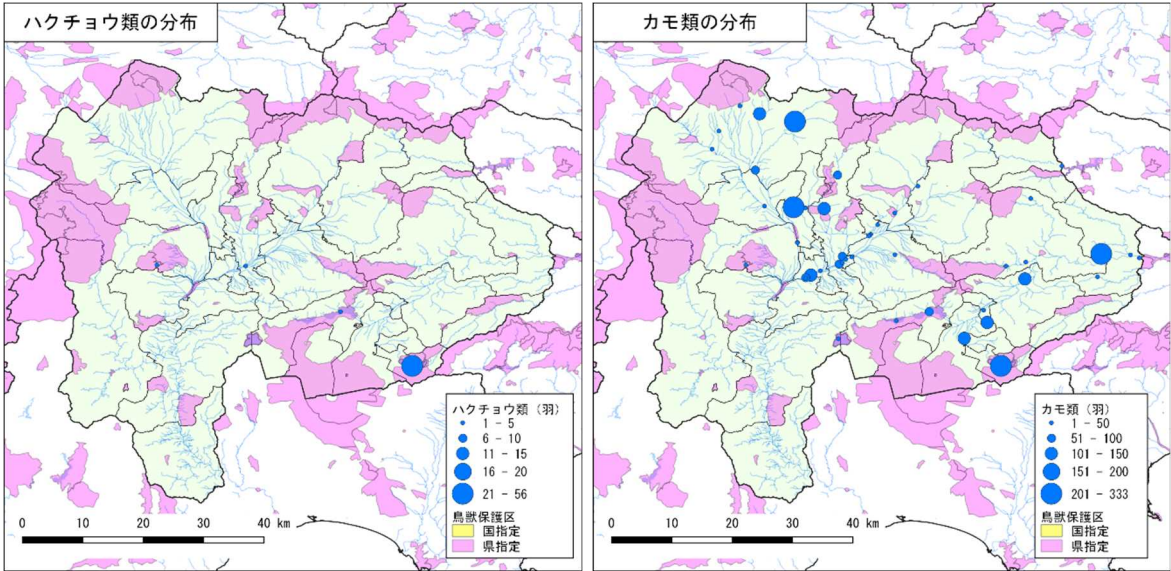


図 1 観察個体数の推移（山梨県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ハクチョウ類、カモ類の観察個体数の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	山中湖村	64	山中湖	56	1	北杜市	92	みずがき湖	333
2	富士河口湖町	65	河口湖	3	2	上野原市	61	大野貯水池	291
3	南アルプス市	97	南伊奈ヶ湖	1	3	甲斐市	99	新田溜池	290
4	甲府市	11	笛吹川下曽根橋下流	1	4	山中湖村	64	山中湖	244
5					5	北杜市	71	清里湖	145

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（山梨県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

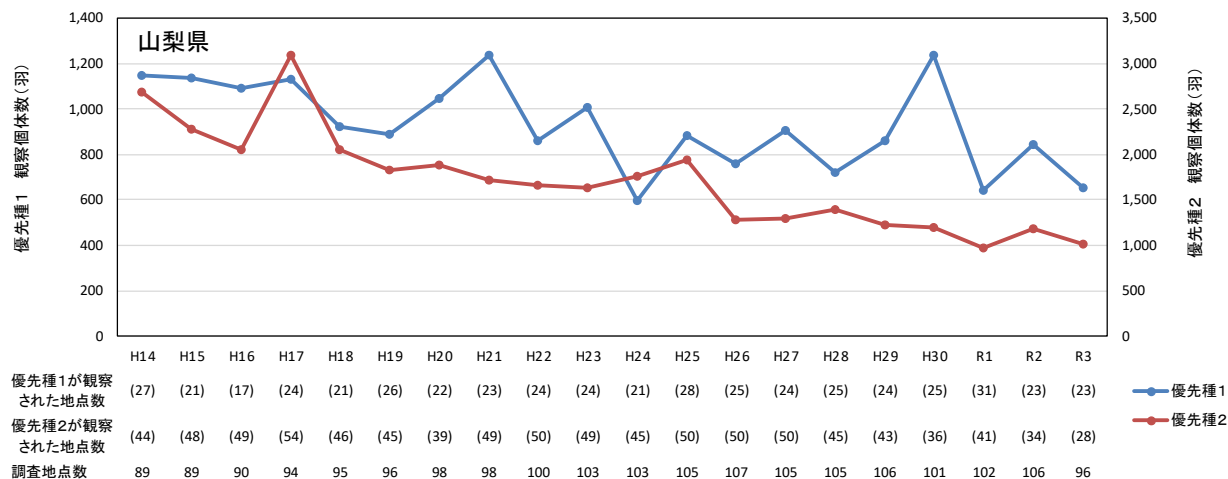
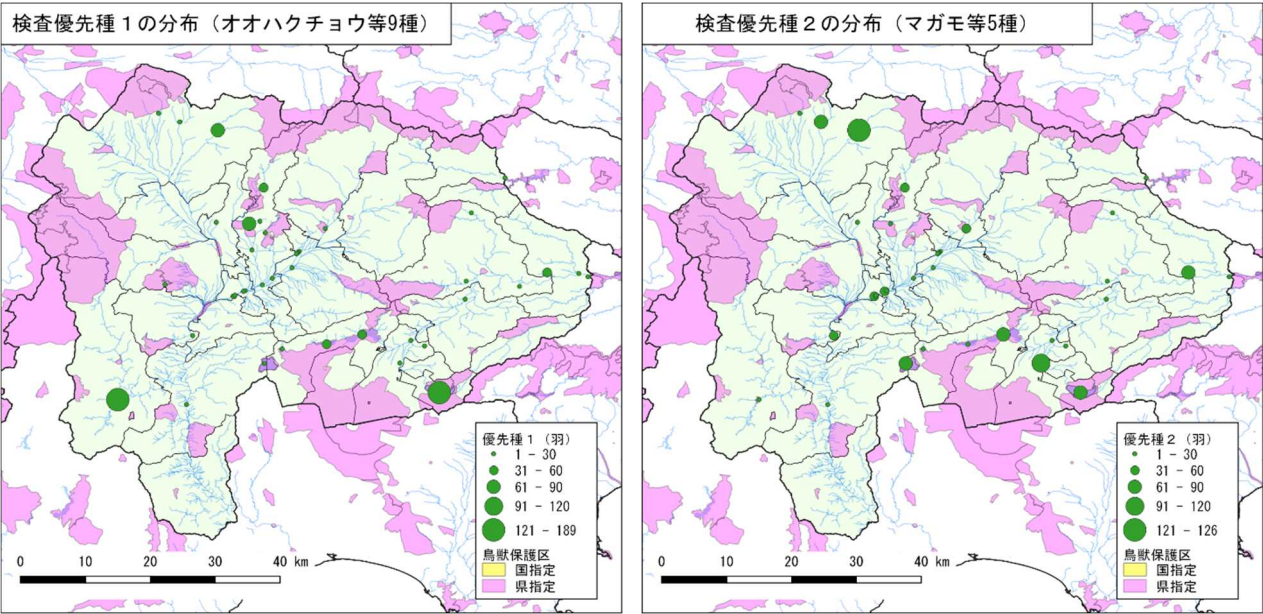


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（山梨県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	早川町	36	雨畑湖	189
2	山中湖村	64	山中湖	156
3	甲府市	20	千代田湖	78
4	北杜市	92	みずがき湖	69
5	上野原市	61	大野貯水池	60

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	北杜市	92	みずがき湖	126
2	富士吉田市	93	上吉田農業用溜池	95
3	北杜市	71	清里湖	78
4	富士河口湖町	66	本栖湖	78
5	上野原市	61	大野貯水池	76

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（山梨県）

長野県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の長野県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

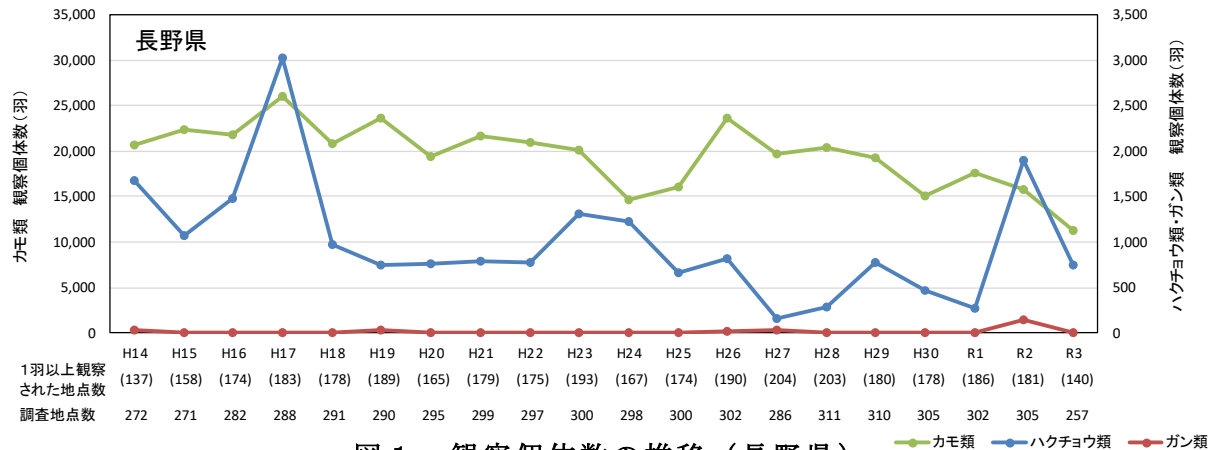
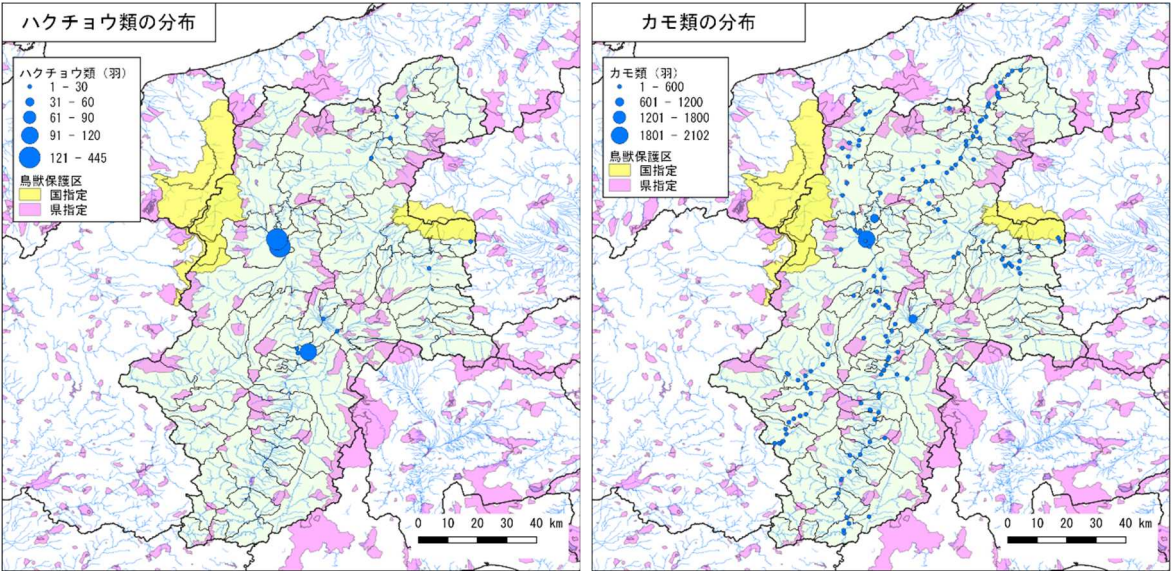


図 1 観察個体数の推移（長野県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ハクチョウ類、カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数		No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
ハク チ ョ ウ 類	1	安曇野市	117	犀川－御宝田	445	カ モ 類	1	安曇野市	117	犀川－御宝田	2,102
	2	安曇野市	116	犀川－徳治郎	140		2	岡谷市	33	諏訪湖	995
	3	箕輪町	206	箕輪ダム	103		3	生坂村	95	犀川－生坂ダム	832
	4	岡谷市	33	諏訪湖	25		4	安曇野市	116	犀川－徳治郎	584
	5	中野市	144	中川－小沼	9		5	長野市	132	千曲川－津野	583

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（長野県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

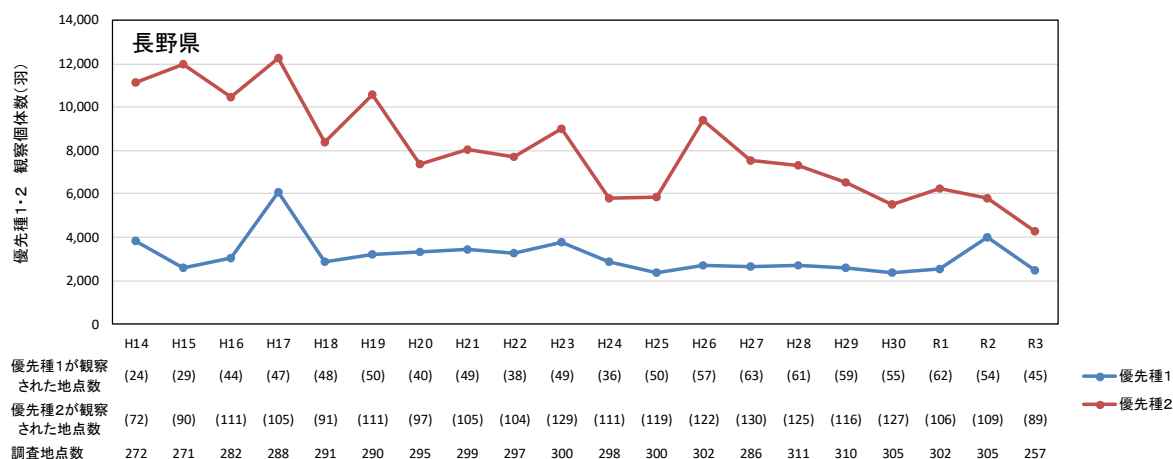
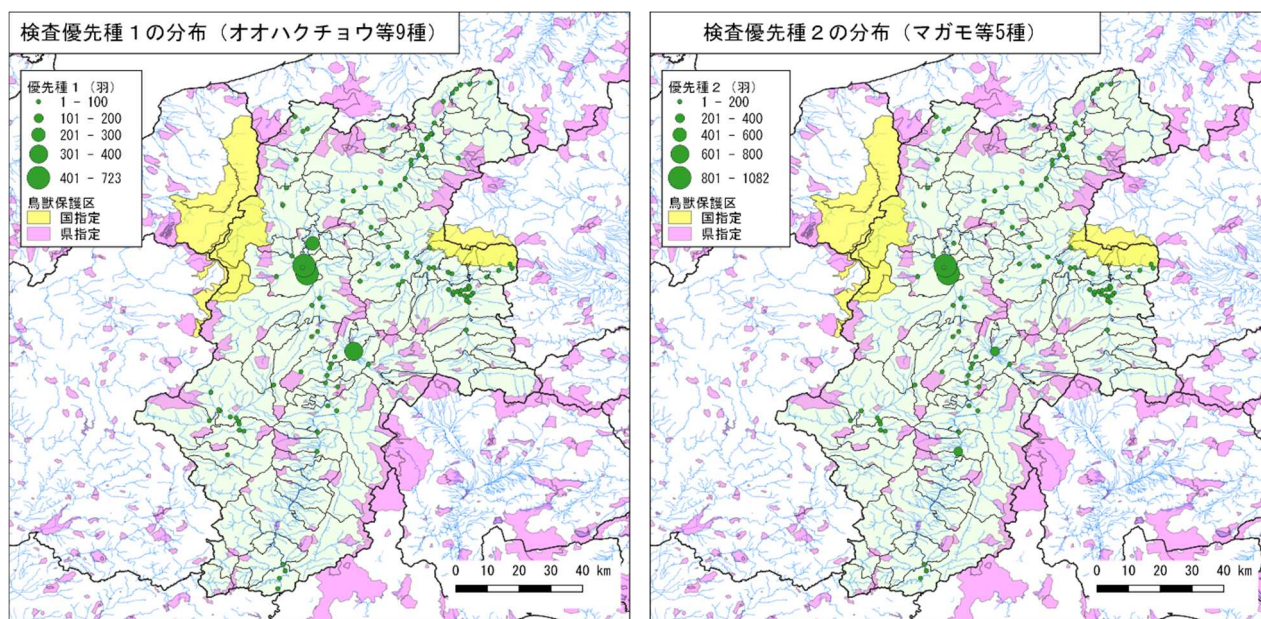


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（長野県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	安曇野市	117	犀川－御宝田	723
2	安曇野市	116	犀川－徳治郎	556
3	岡谷市	33	諏訪湖	301
4	生坂村	95	犀川－生坂ダム	241
5	岡谷市	273	天竜川－天白橋	87

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	安曇野市	116	犀川－徳治郎	1,082
2	安曇野市	117	犀川－御宝田	865
3	駒ヶ根市	36	吉瀬ダム	253
4	岡谷市	33	諏訪湖	233
5	箕輪町	206	箕輪ダム	181

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（長野県）

岐阜県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の岐阜県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

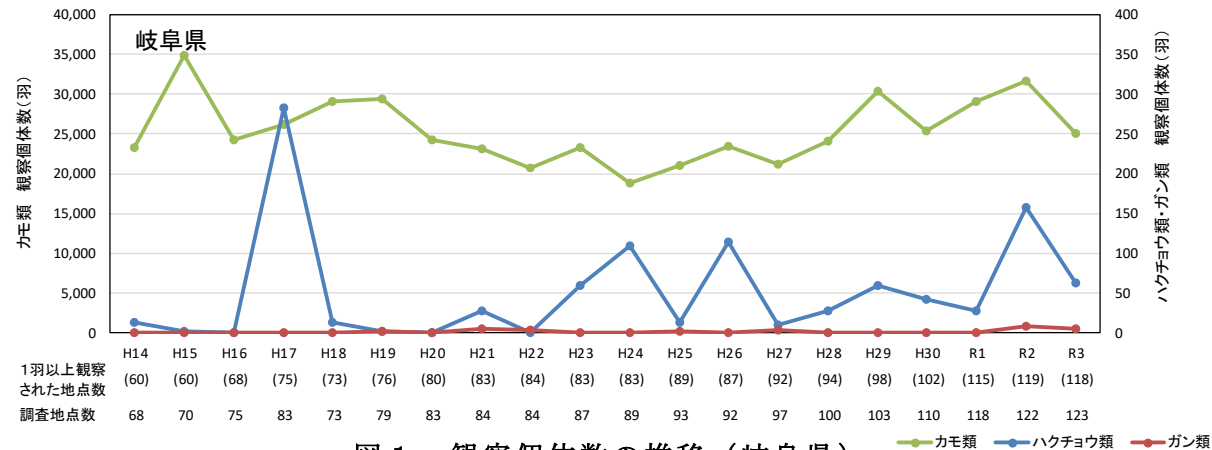


図 1 観察個体数の推移（岐阜県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

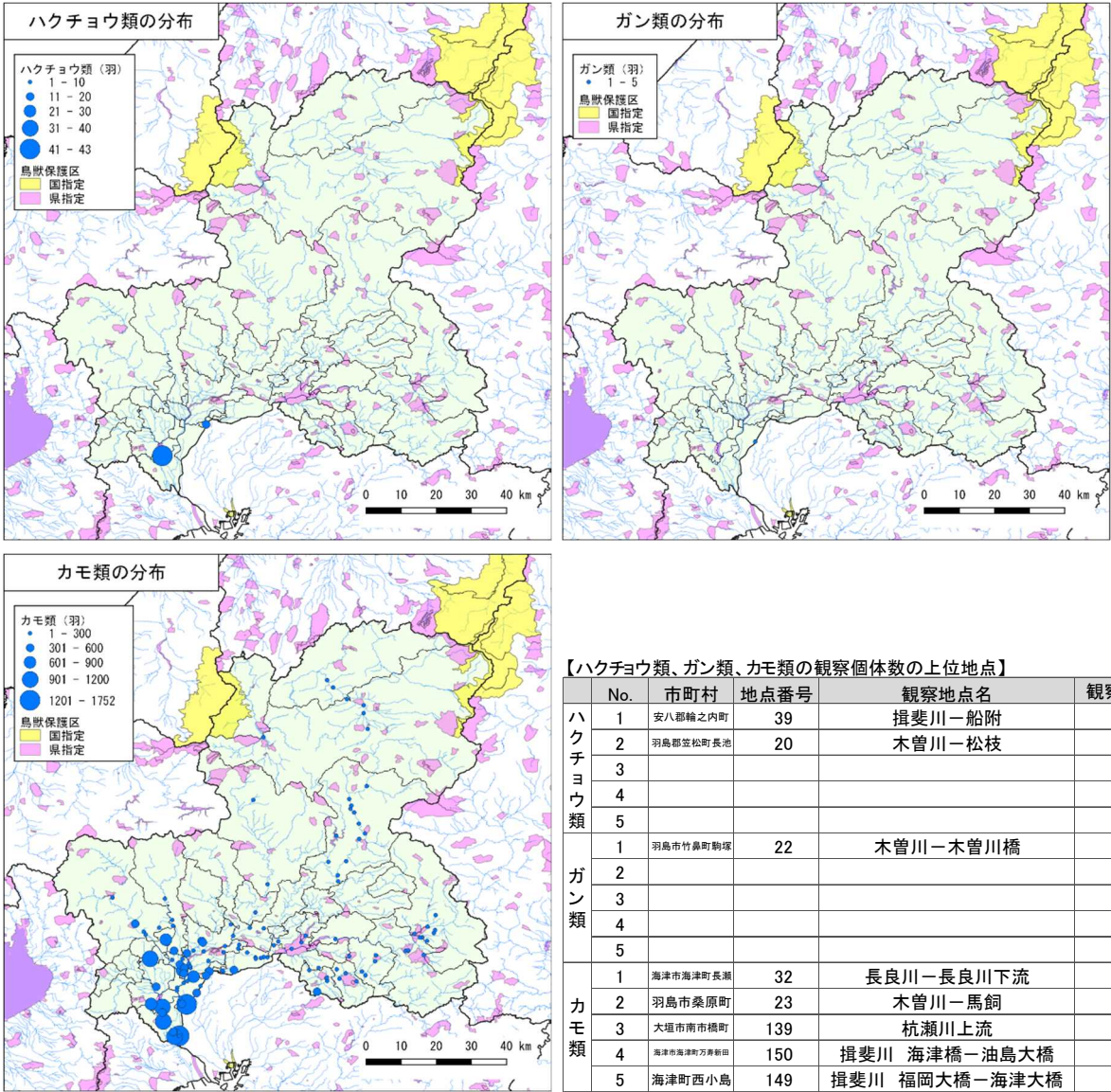


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（岐阜県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

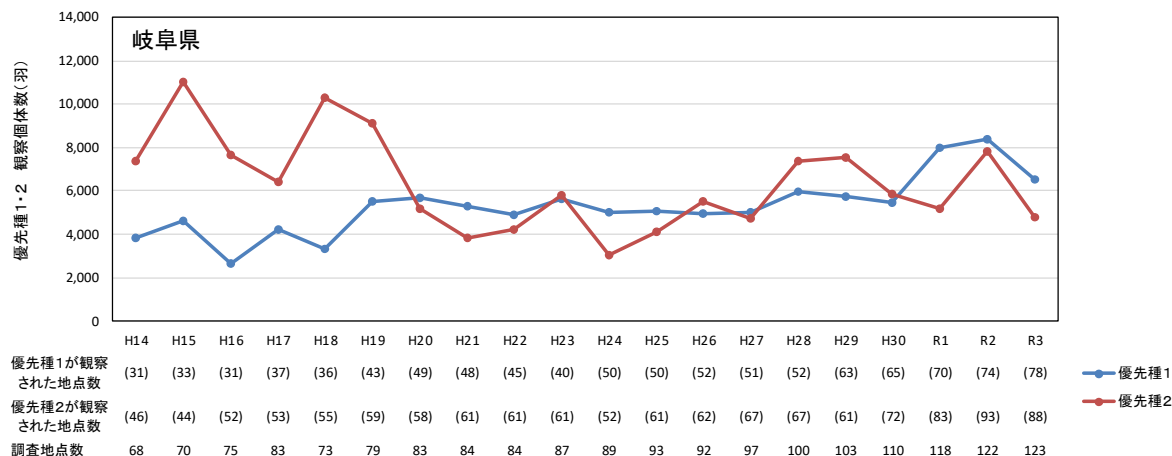
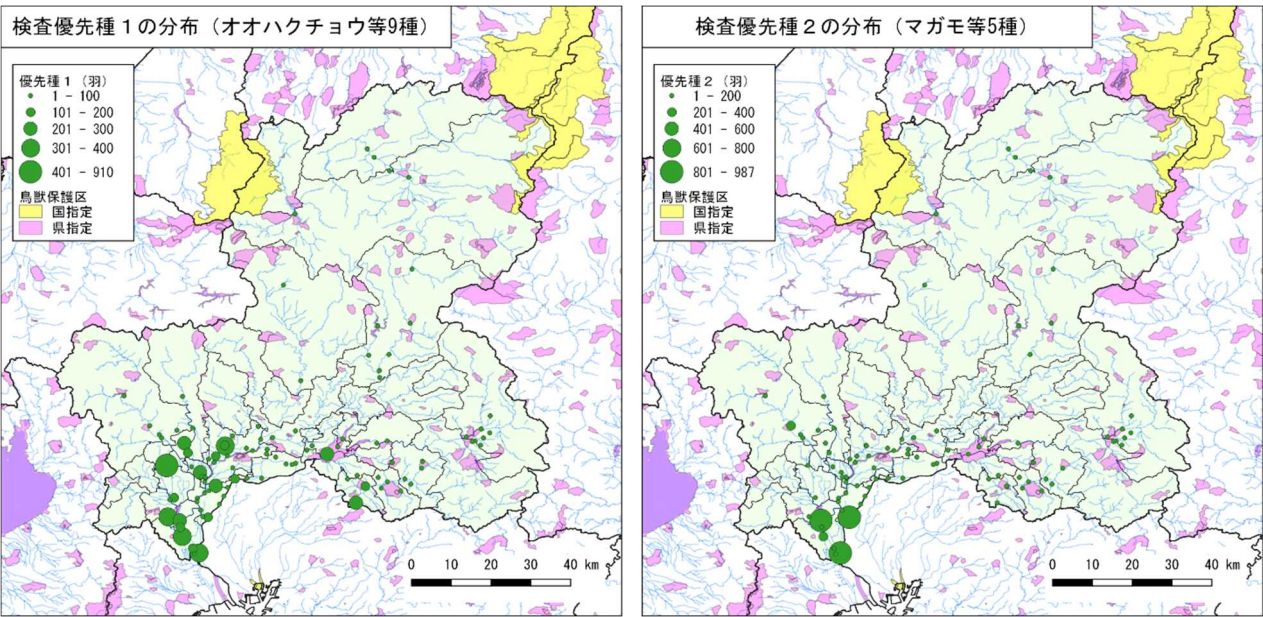


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（岐阜県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



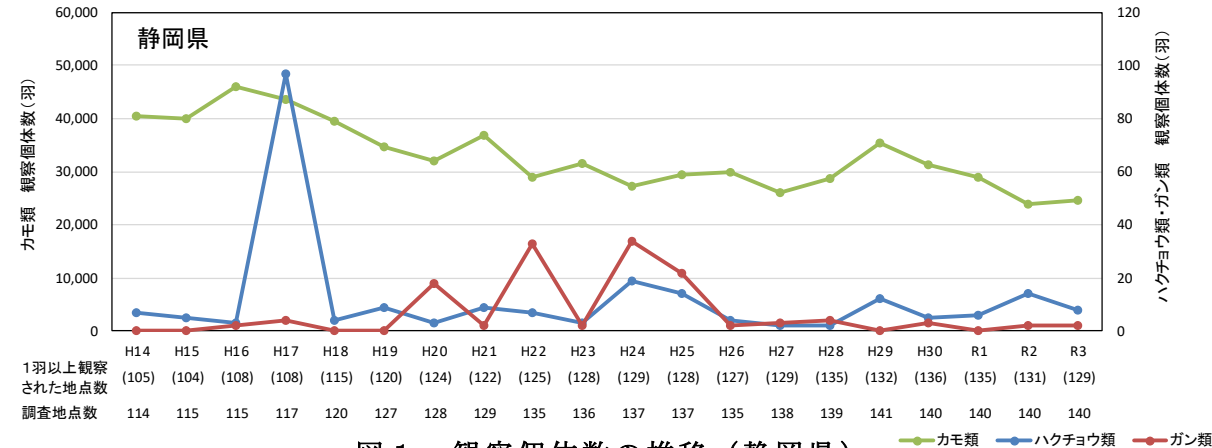
【検査優先種1のうち、合計9種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】					【検査優先種2のうち、合計5種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	大垣市南市橋町	139	杭瀬川上流	910	1	羽島市桑原町	23	木曾川－馬飼	987
2	海津市海津町長瀬	32	長良川－長良川下流	348	2	海津市海津町長瀬	32	長良川－長良川下流	939
3	養老郡養老町田	160	養老郡養老町田旧十三ヶ村川	344	3	安八郡輪之内町	39	揖斐川－船附	813
4	海津町西小島	149	揖斐川福岡大橋－海津大橋	319	4	海津町西小島	149	揖斐川福岡大橋－海津大橋	385
5	岐阜市市木	114	鳥羽川－北部体育館裏	319	5	揖斐郡揖斐川町	50	揖斐川－西平ダム	298

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（岐阜県）

静岡県のカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の静岡県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。



2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

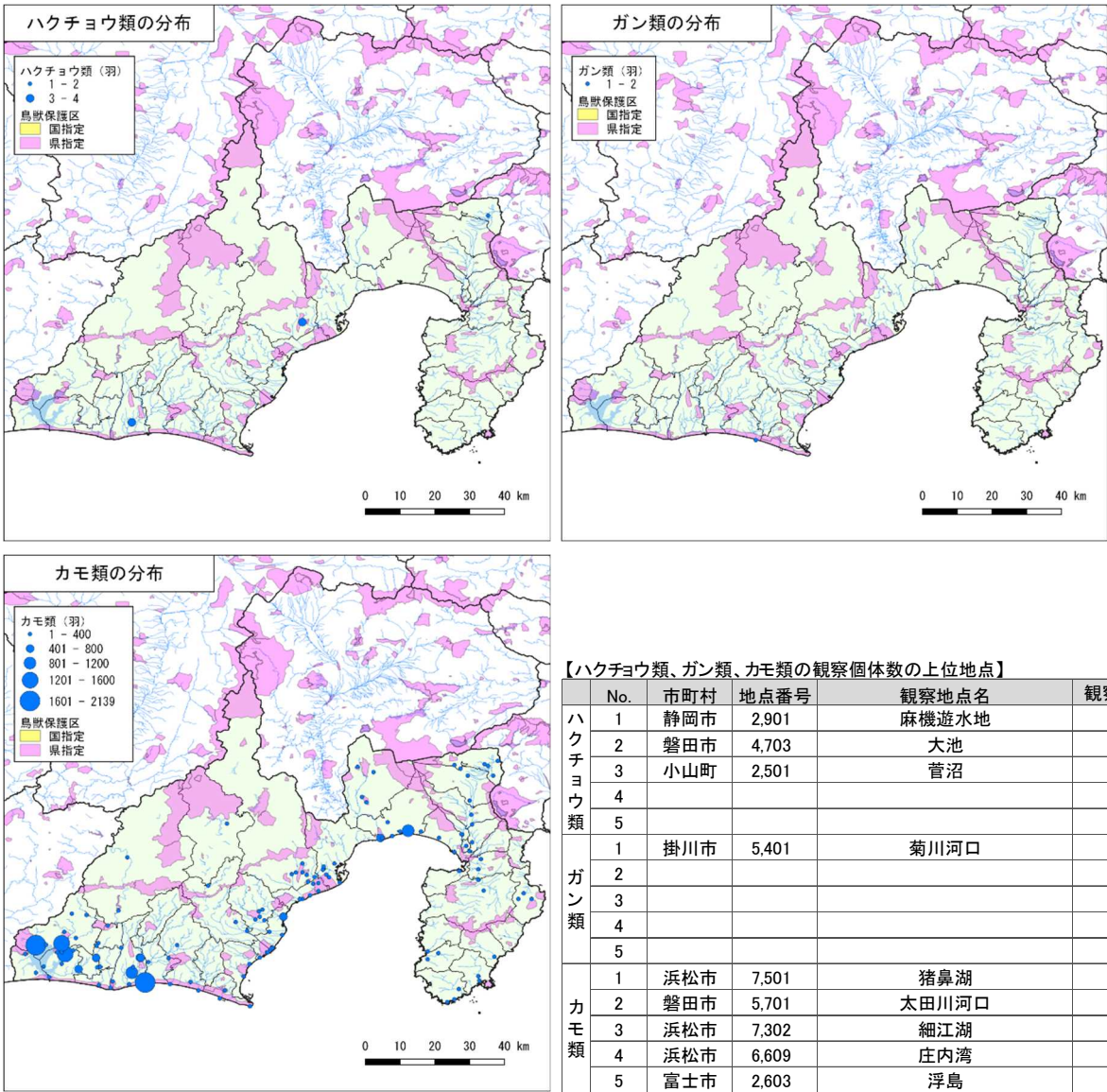


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（静岡県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

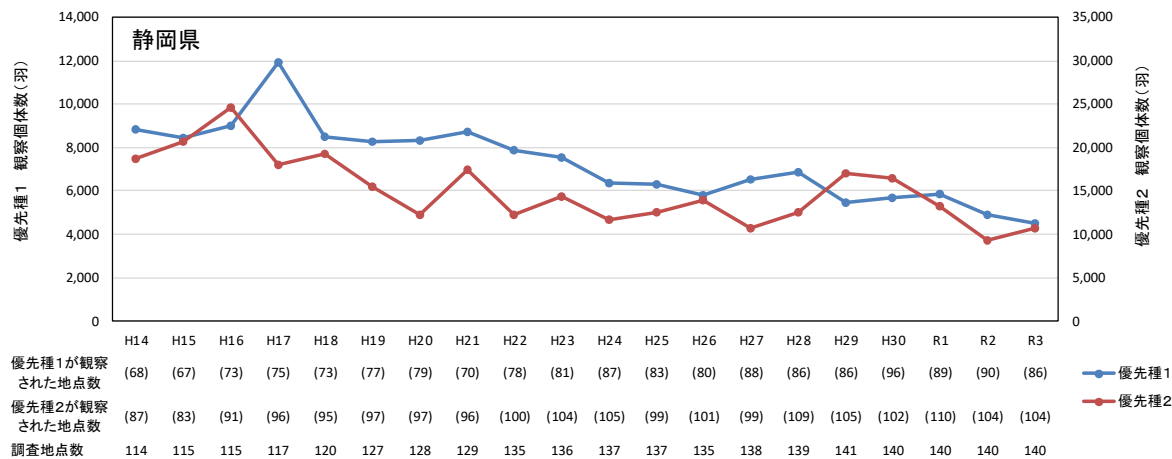
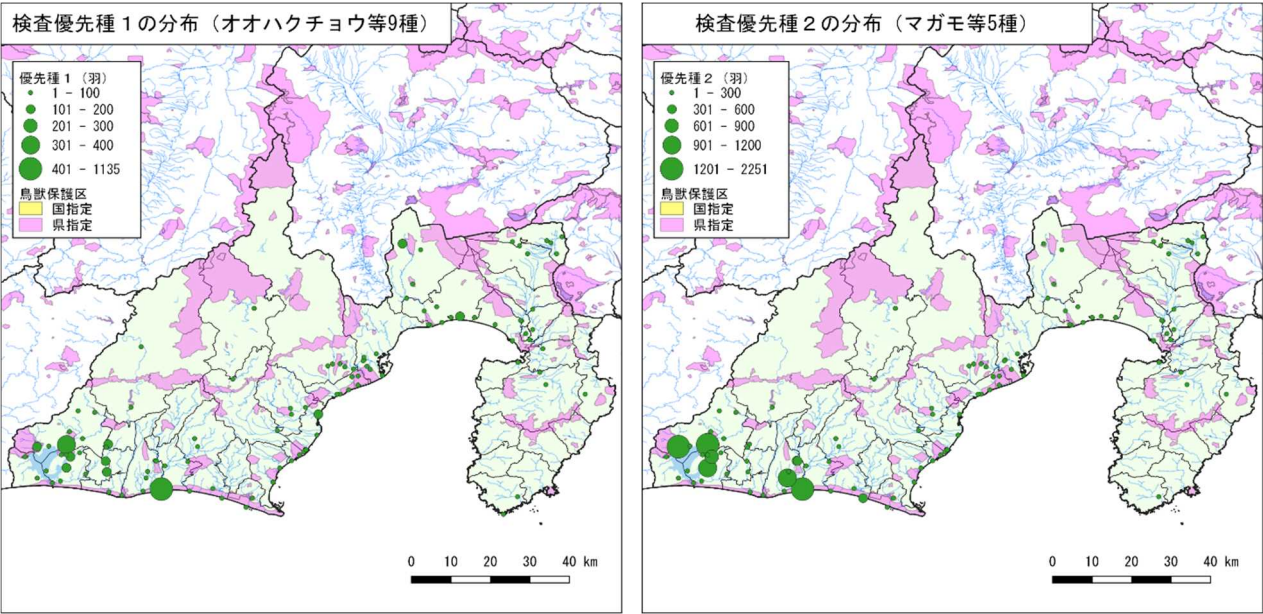


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（静岡県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種1のうち、合計9種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】					【検査優先種2のうち、合計5種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	磐田市	5701	太田川河口	1,135	1	浜松市	7302	細江湖	2,251
2	浜松市	7302	細江湖	338	2	浜松市	7501	猪鼻湖	1,603
3	浜松市	6609	庄内湾	188	3	磐田市	5701	太田川河口	1,330
4	浜松市	7501	猪鼻湖	185	4	磐田市	4703	大池	940
5	浜松市	7651	馬込川中流	180	5	浜松市	7607	古人見	922

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（静岡県）

愛知県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の愛知県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

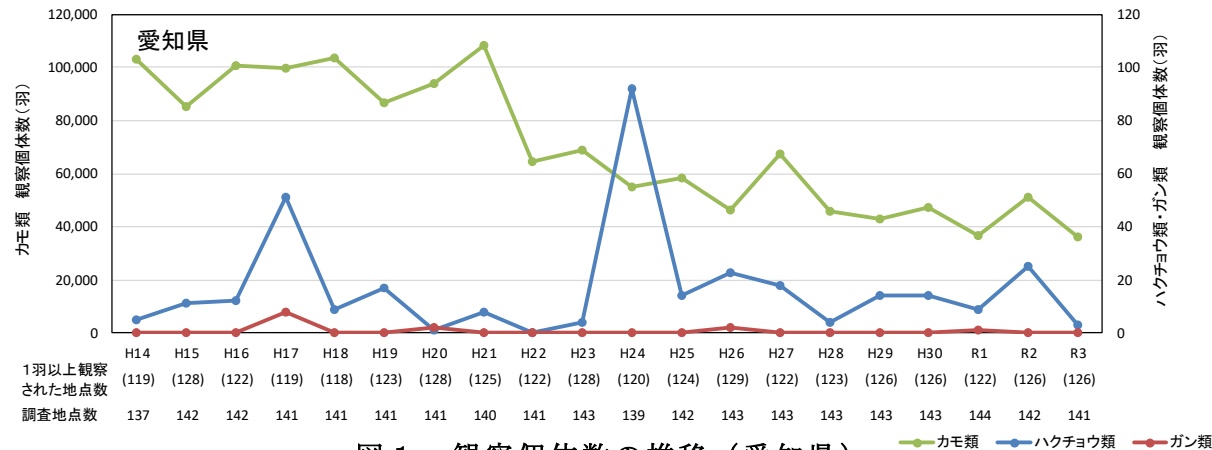
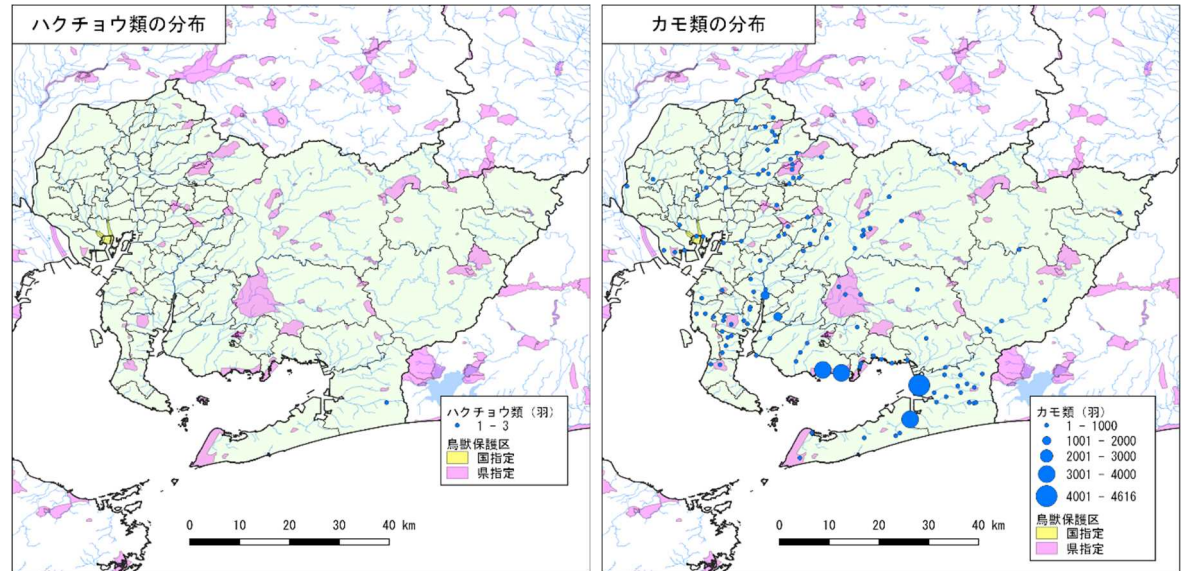


図 1 観察個体数の推移（愛知県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ハクチョウ類、カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数		No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
ハク チ ョ ウ 類	1	豊橋市	123	沢渡池	3	カ モ 類	1	豊橋市	122	神野三郷	4,616
	2						2	西尾市	168	東幡豆	3,897
	3						3	田原市	134	田原湾	3,235
	4						4	西尾市	161	鳥羽	3,229
	5						5	高浜市	167	衣浦港(新田町)	1,341

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（愛知県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

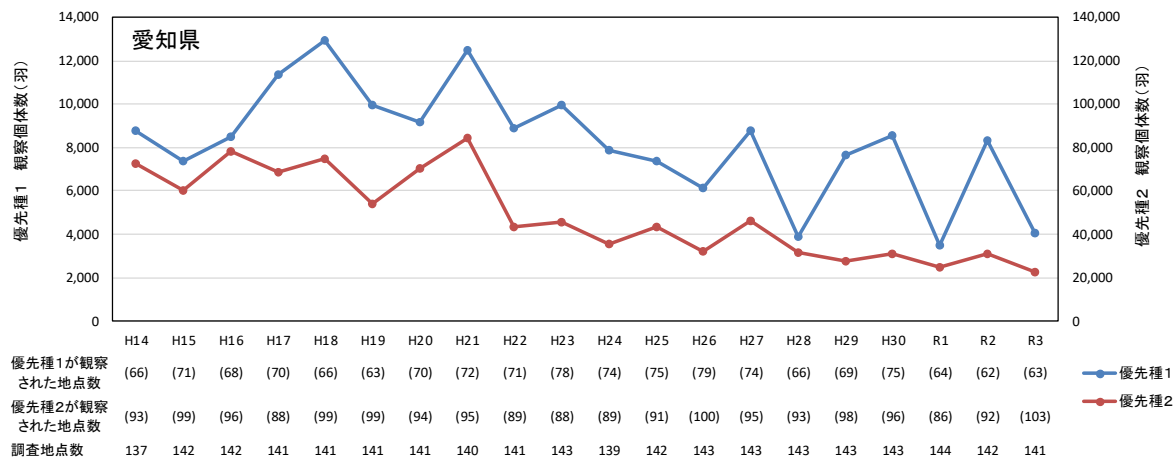
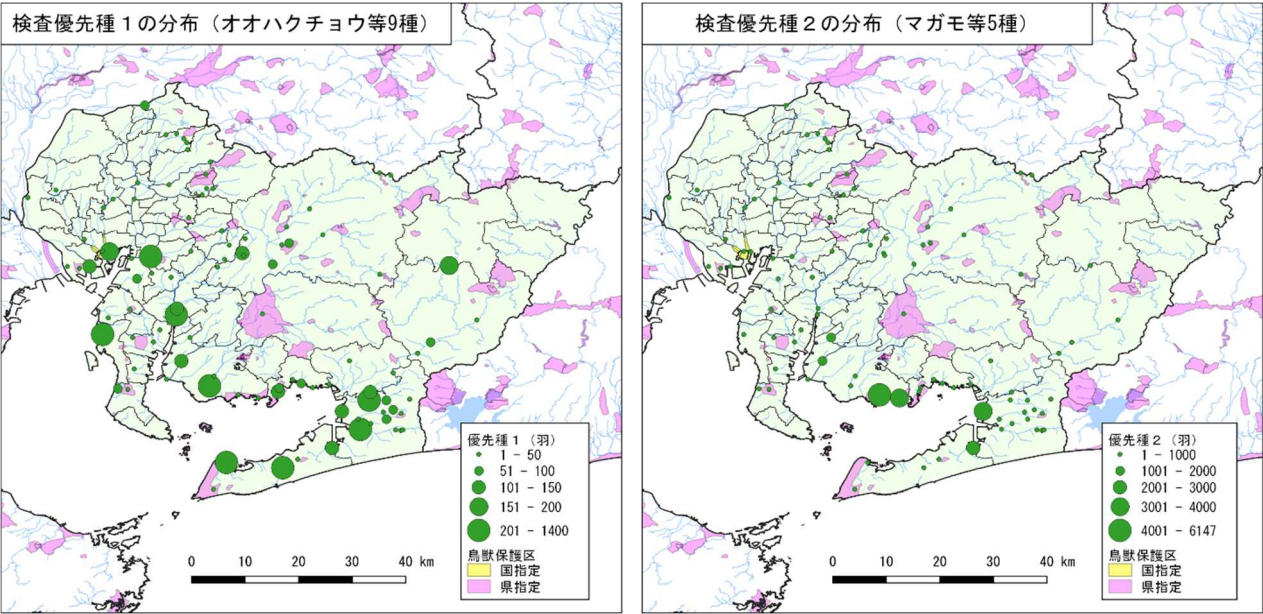


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（愛知県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



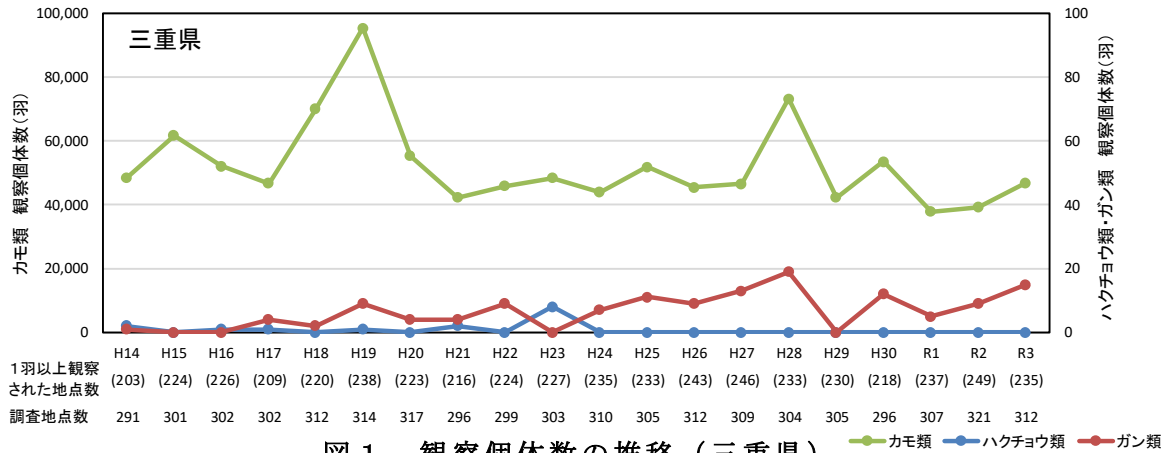
【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】					【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	田原市	138	立馬池	1,400	1	西尾市	161	鳥羽	6,147
2	豊橋市	191	梅田川樋田橋下流	431	2	豊橋市	122	神野三郷	3,935
3	西尾市	70	矢作古川(荻西)	332	3	西尾市	168	東幡豆	3,168
4	豊橋市	188	豊川吉田大橋下流	324	4	田原市	134	田原湾	2,228
5	高浜市	167	衣浦港(新田町)	274	5	碧南市	62	矢作川(前浜町)	1,805

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（愛知県）

三重県のガンカモ類の生息調査結果

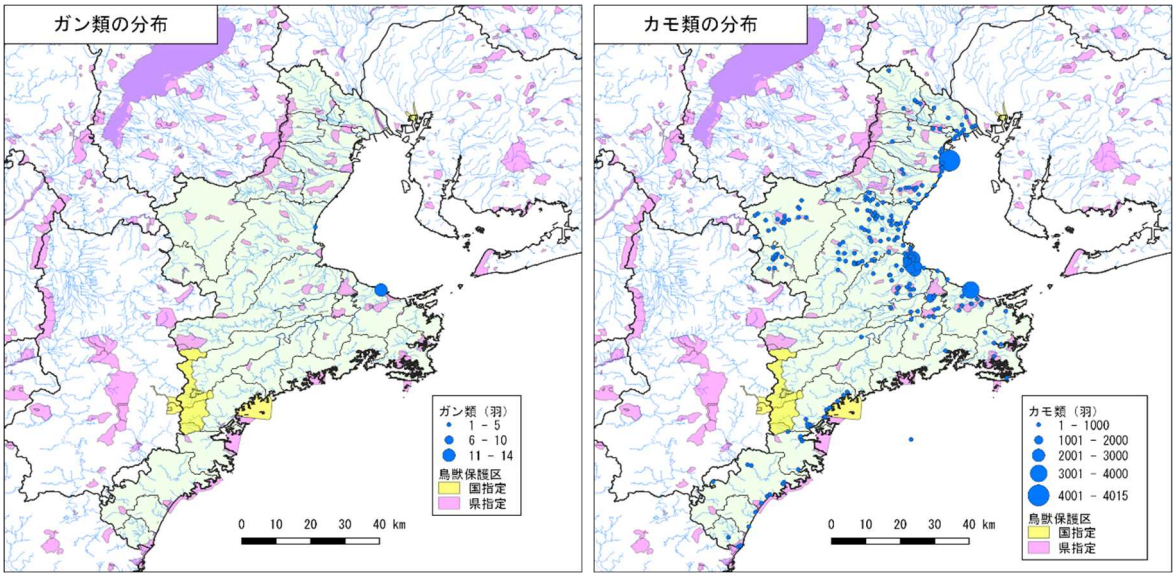
1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の三重県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。



2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ガン類、カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数		No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
ガン類	1	伊勢市	67	宮川河口	14	カモ類	1	四日市市	258	石原産業沖埋立地	4,015
	2	津市	33	安濃川志登茂川河口	1		2	伊勢市	67	宮川河口	3,579
	3						3	松阪市	132	五主海岸北	3,141
	4						4	松阪市	60	金剛川河口	2,870
	5						5	松阪市	297	阪内川河口部	2,045

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（三重県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

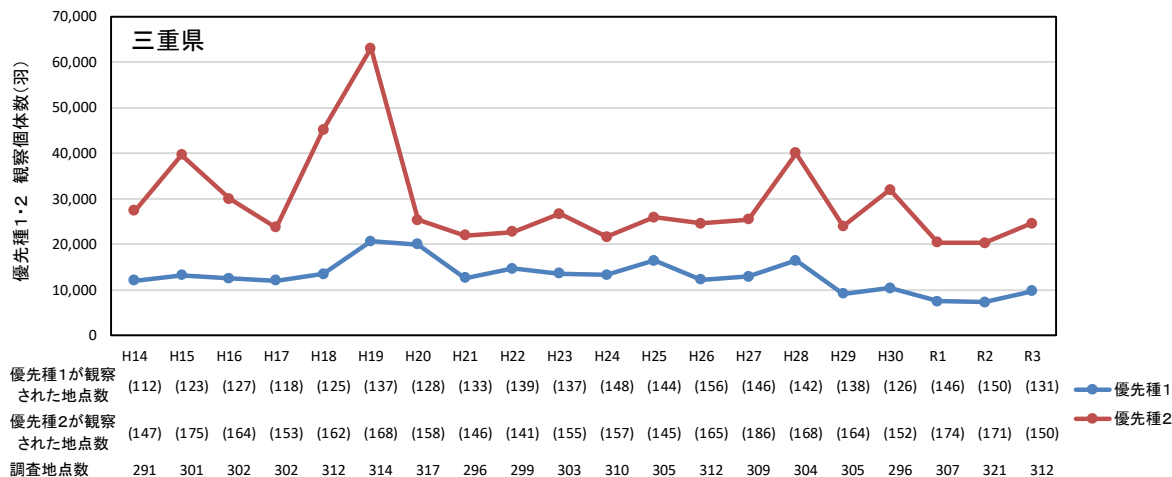
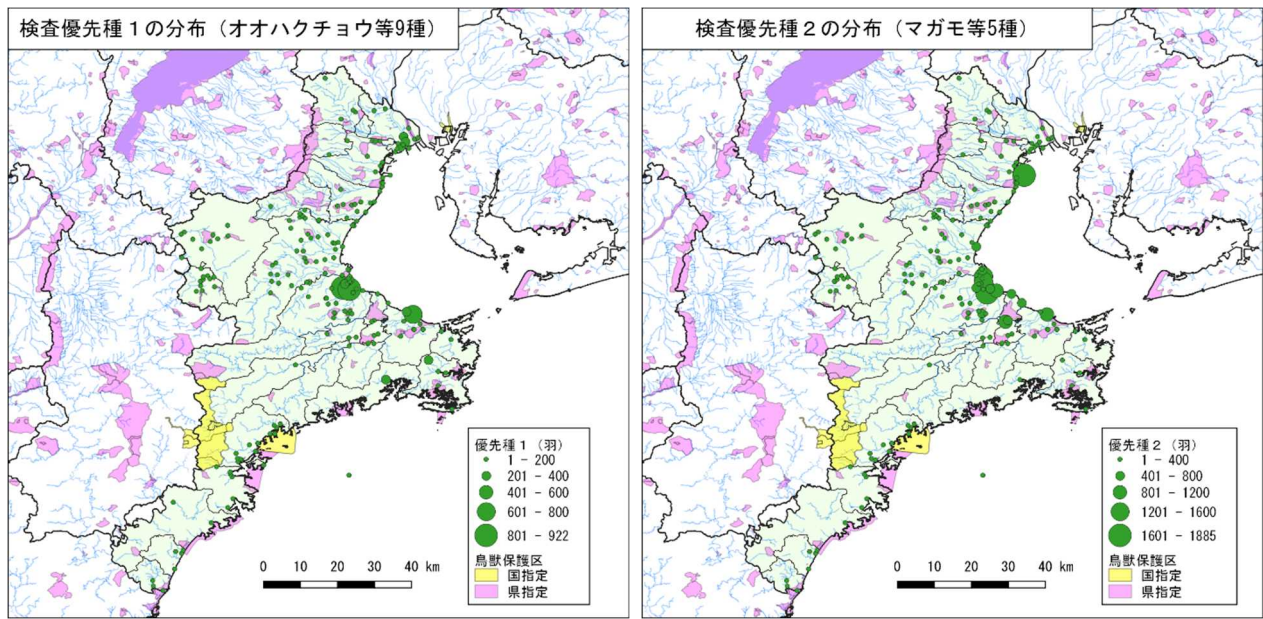


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（三重県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	松阪市	59	三渡川河口	922
2	松阪市	297	阪内川河口部	821
3	伊勢市	67	宮川河口	778
4	松阪市	53	曾原	369
5	伊勢市	122	外城田川河口	353

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	松阪市	60	金剛川河口	1,885
2	四日市市	258	石原産業沖埋立地	1,665
3	津市	51	香良洲沖	1,422
4	松阪市	132	五主海岸北	1,411
5	松阪市	50	雲出川河口	1,212

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（三重県）

滋賀県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）
過去 20 年間の滋賀県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

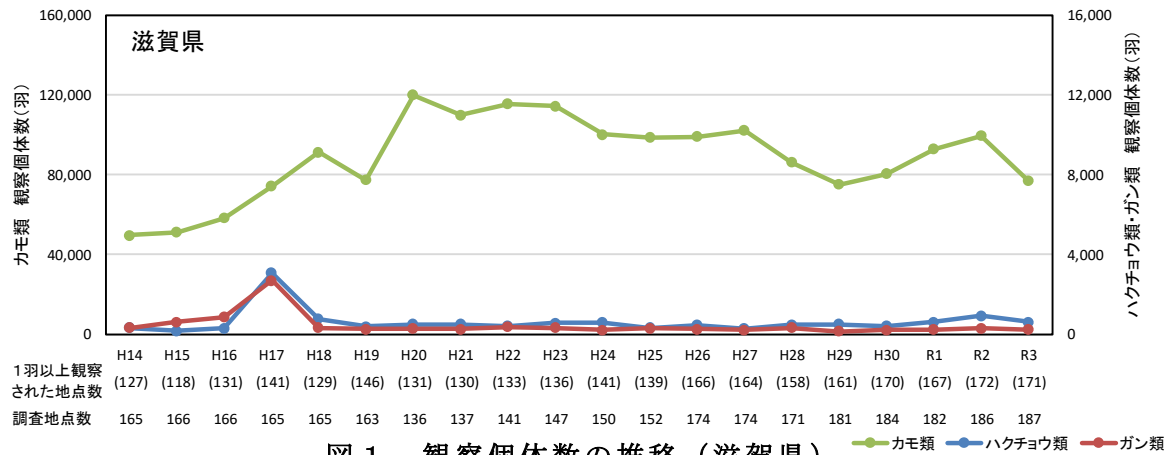


図 1 観察個体数の推移（滋賀県）

2. 県内における類ごとの分布図
ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

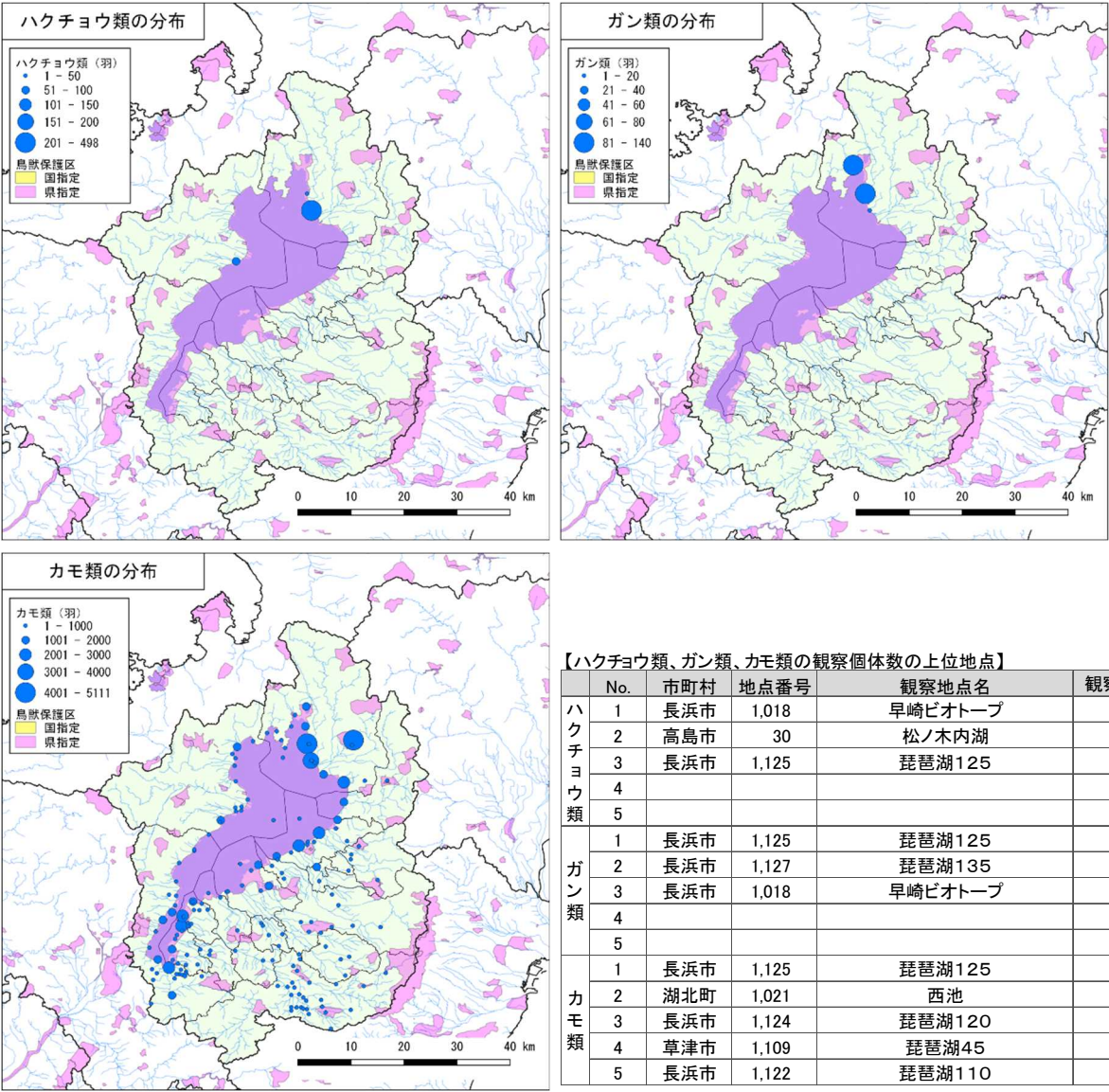


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（滋賀県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

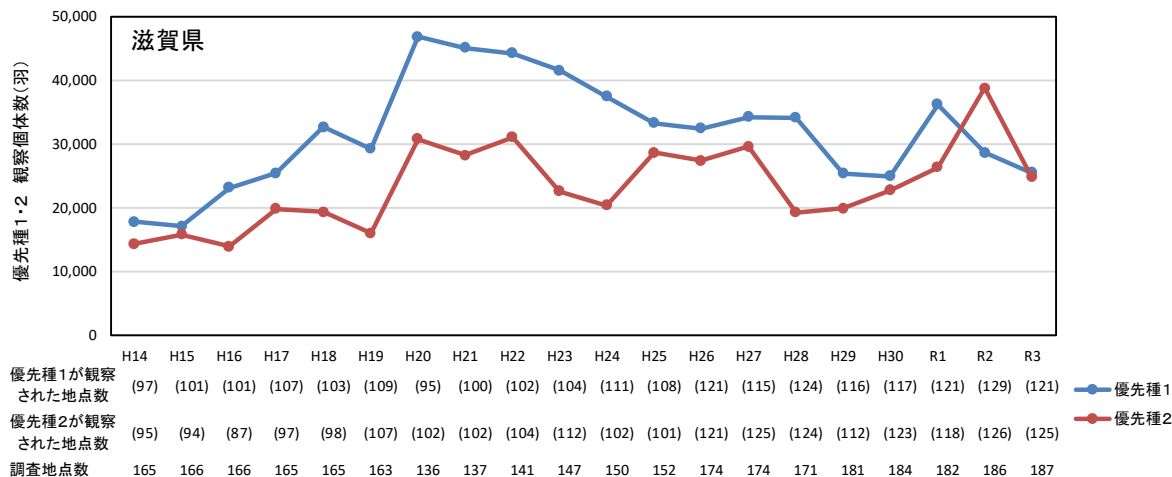


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（滋賀県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。

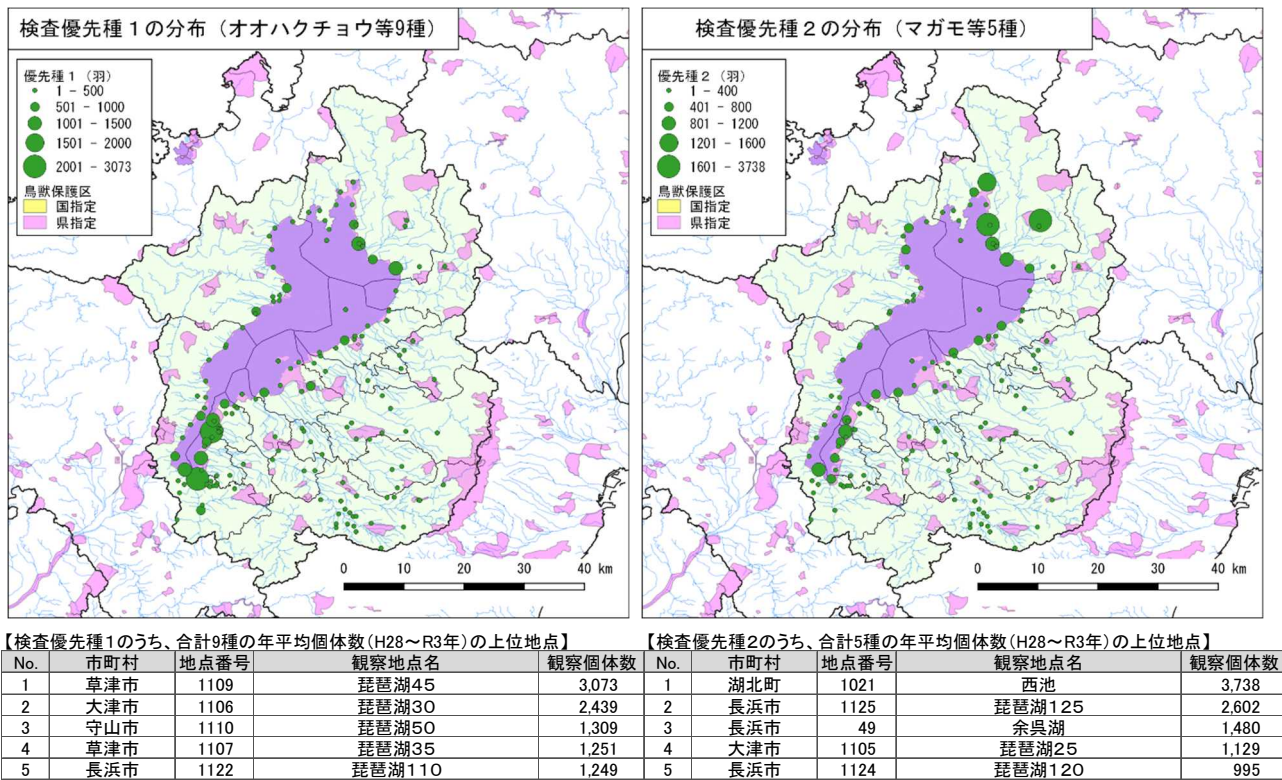


図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（滋賀県）

京都府のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の京都府での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

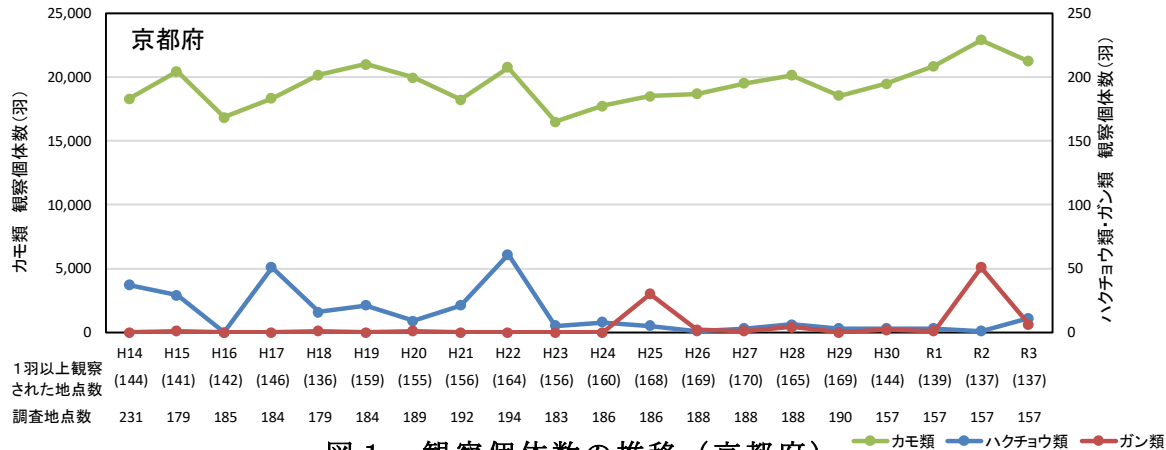


図 1 観察個体数の推移（京都府）

2. 府内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

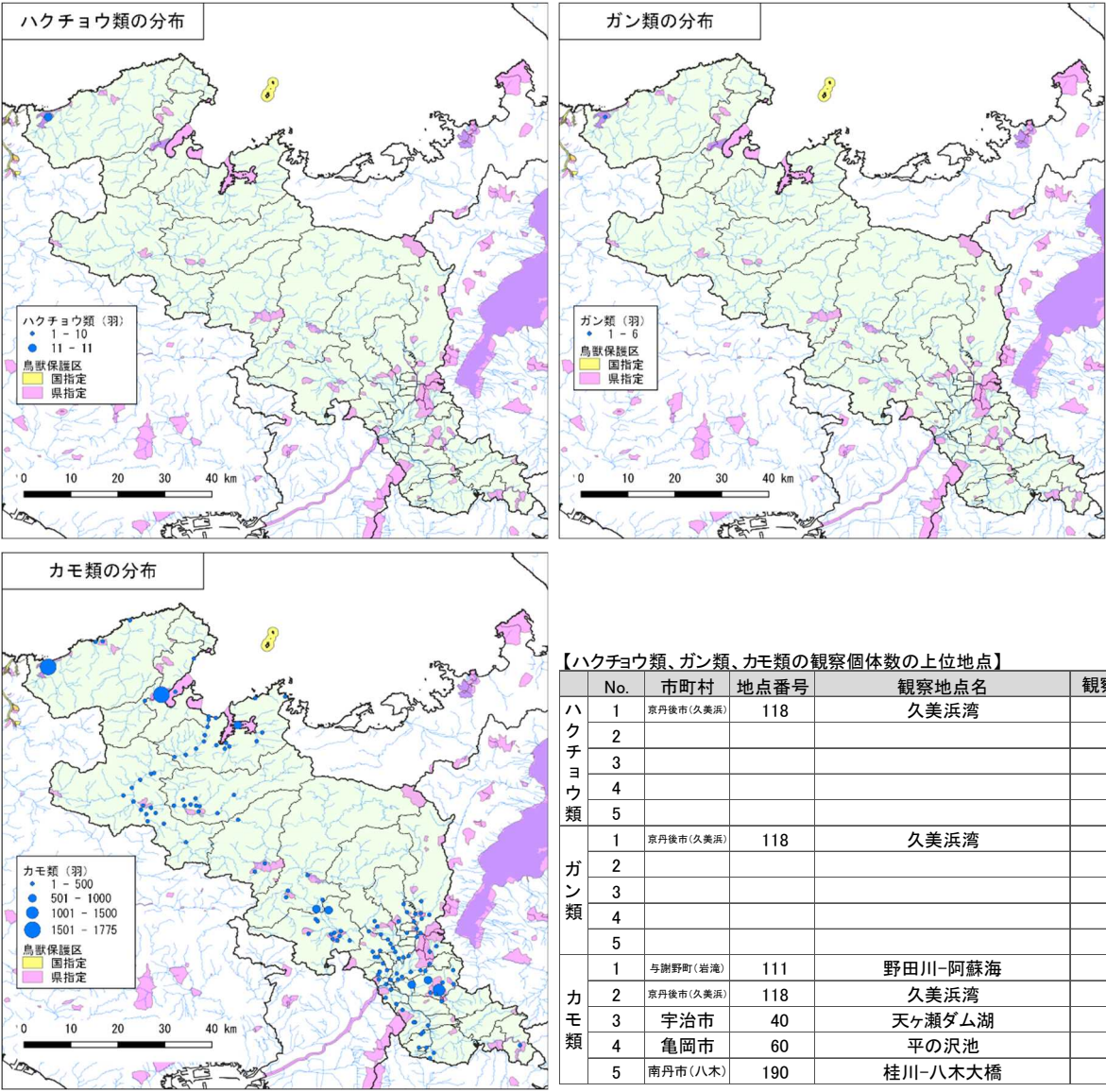


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（京都府）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

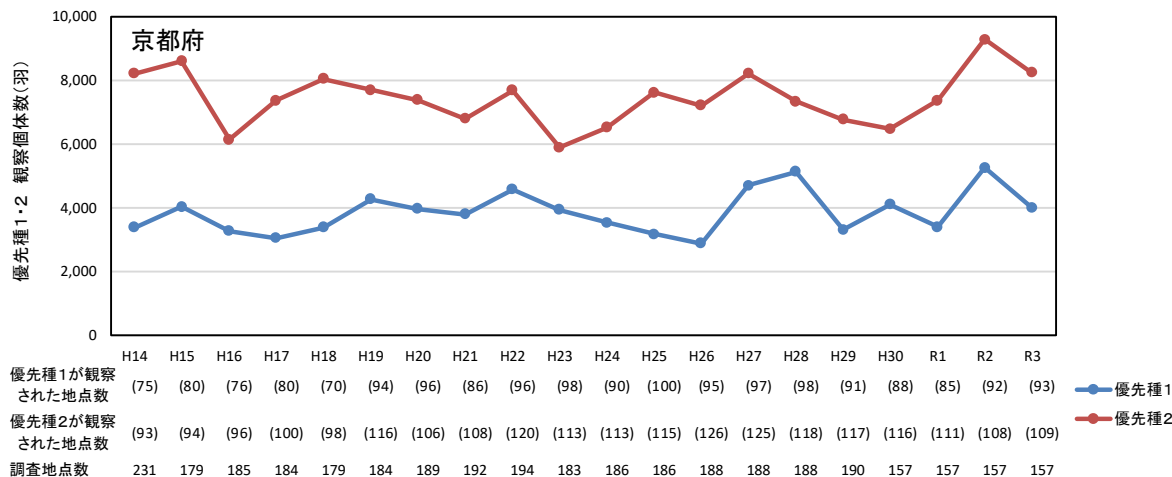
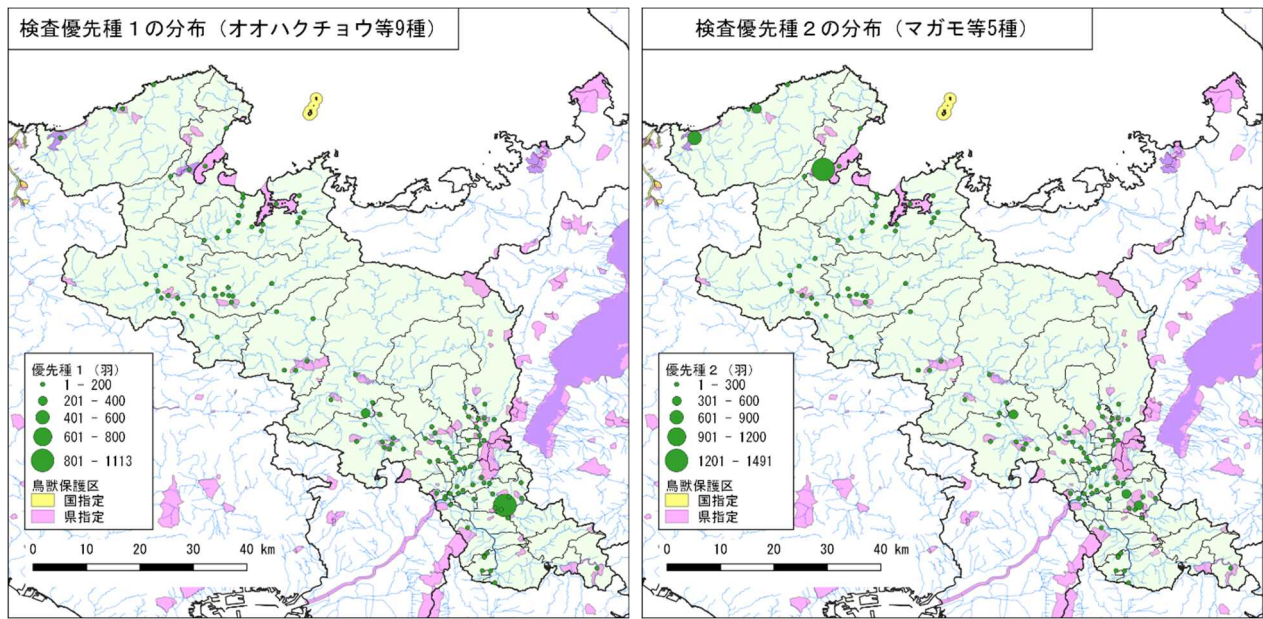


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（京都府）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



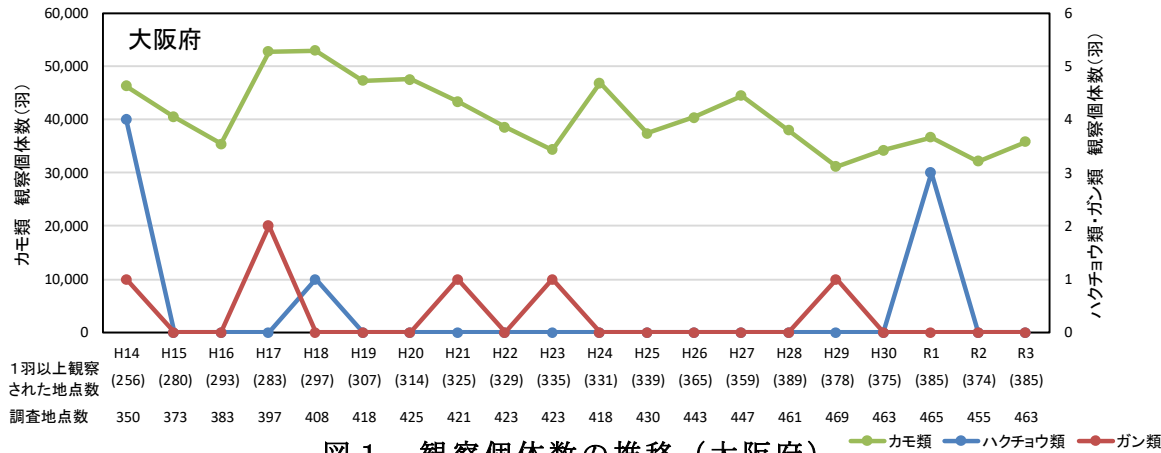
【検査優先種1のうち、合計9種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】					【検査優先種2のうち、合計5種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	宇治市	40	天ヶ瀬ダム湖	1,113	1	与謝野町(岩滝)	111	野田川-阿蘇海	1,491
2	南丹市(八木)	190	桂川-八木大橋	255	2	京丹後市(久美浜)	118	久美浜湾	664
3	京都市	139	西高瀬川-南区上鳥羽	176	3	亀岡市	60	平の沢池	466
4	与謝野町(岩滝)	111	野田川-阿蘇海	144	4	宇治市	40	天ヶ瀬ダム湖	386
5	京都市	138	鴨川-東山区七条大橋	141	5	京丹後市(網野)	120	離湖	309

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（京都府）

大阪府のガンカモ類の生息調査結果

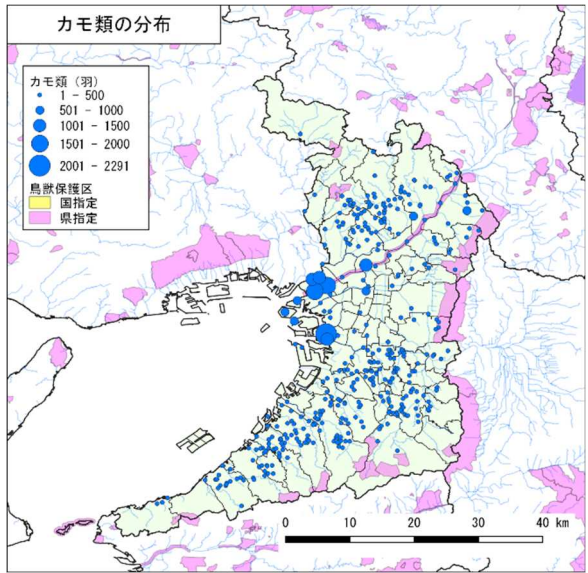
1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の大阪府での類別の観察個体数の推移を以下に示す。



2. 府内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
カモ類	1	大阪市	632	平林貯木場	2,291
	2	大阪市	912	淀川(淀川大橋～伝法大橋)	1,895
	3	大阪市	913	淀川(伝法大橋～河口)	1,799
	4	大阪市	626	神崎川(佃)	1,337
	5	大阪市	531	神崎川河口	1,145

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（大阪府）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

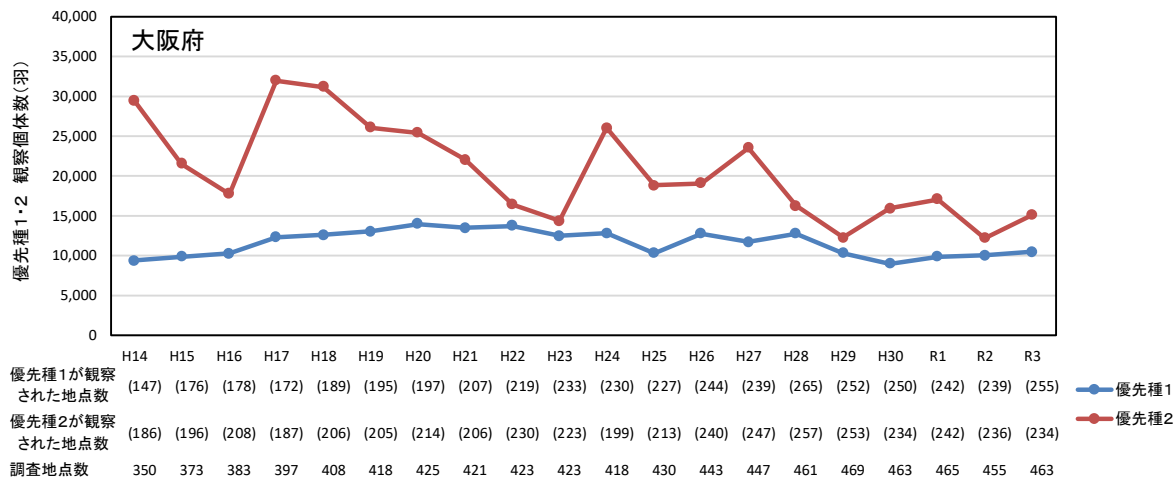


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（大阪府）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。

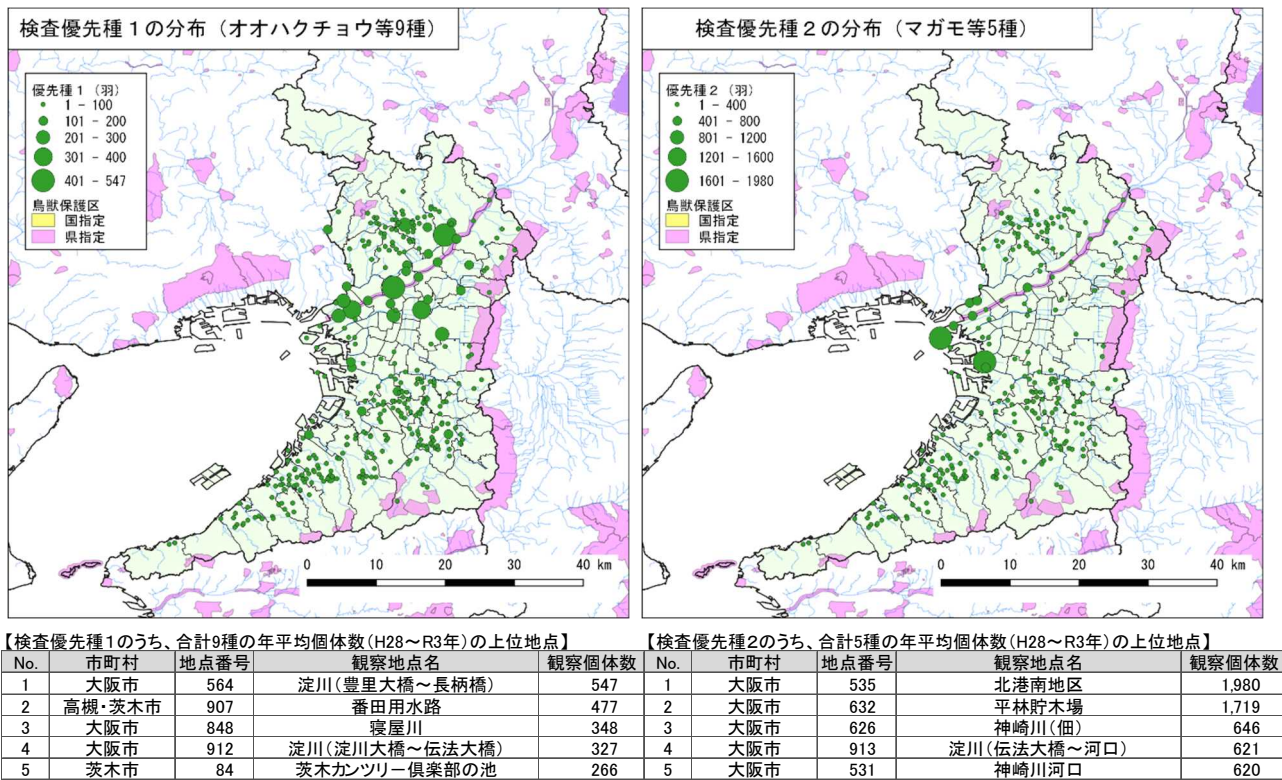


図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（大阪府）

兵庫県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の兵庫県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

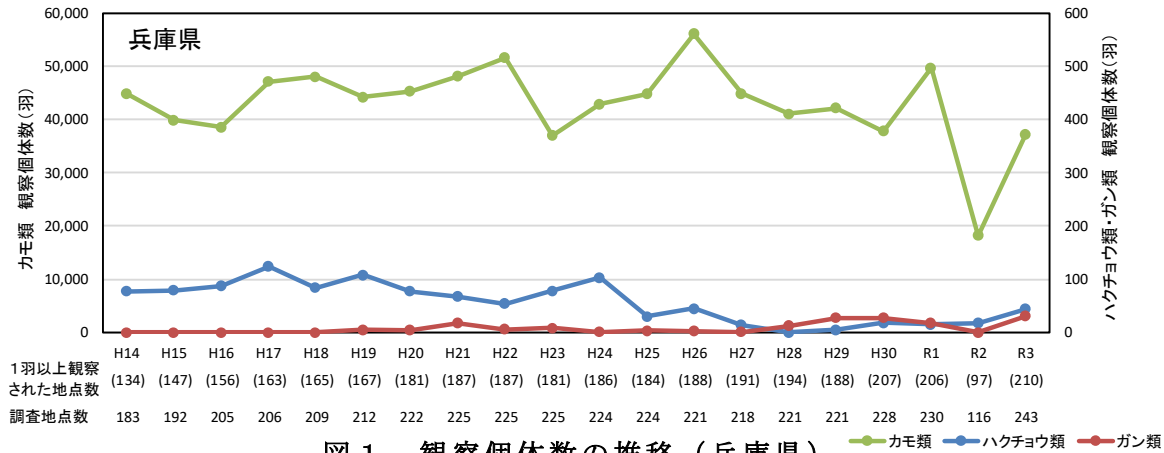


図 1 観察個体数の推移（兵庫県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

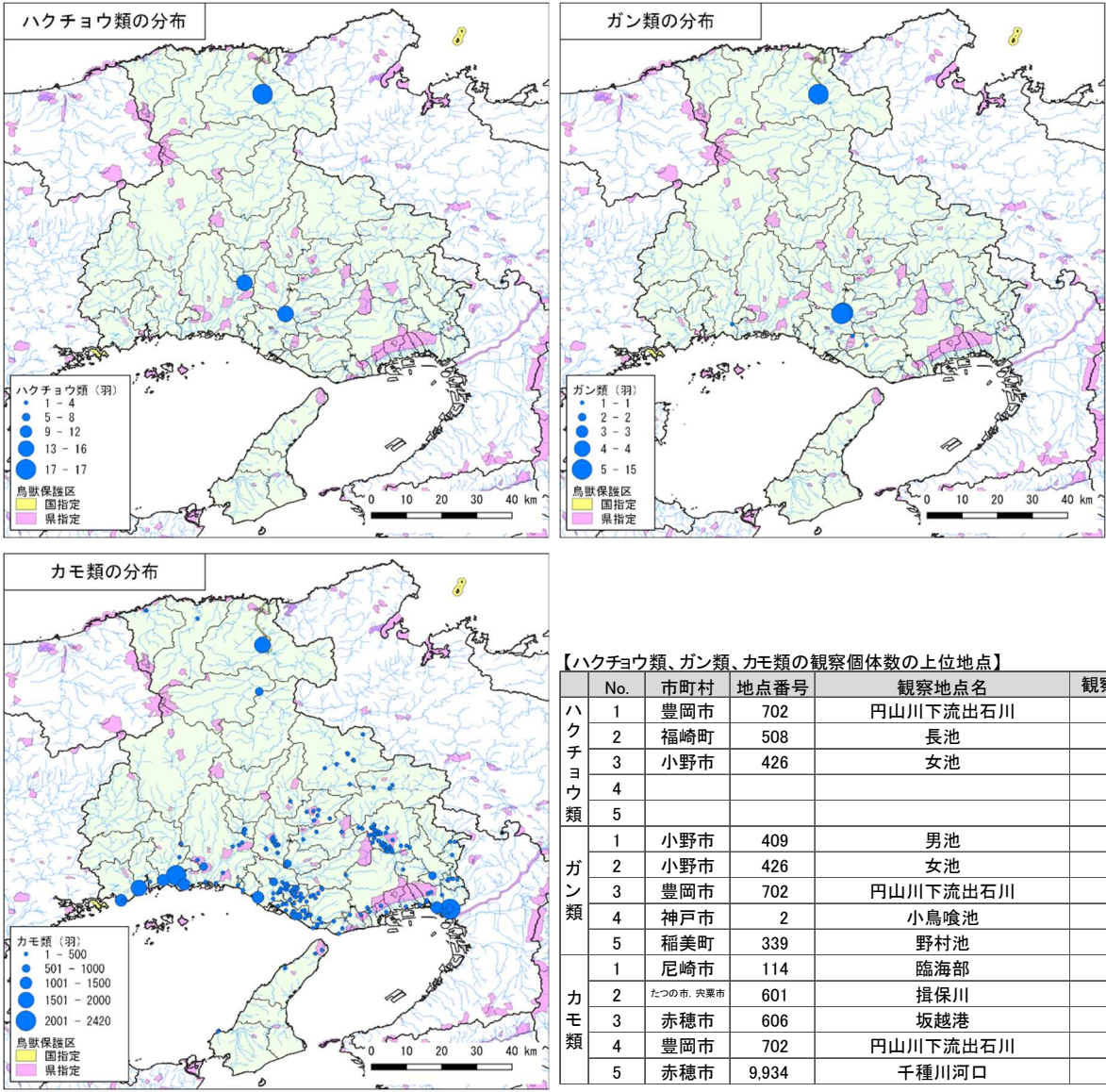


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（兵庫県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

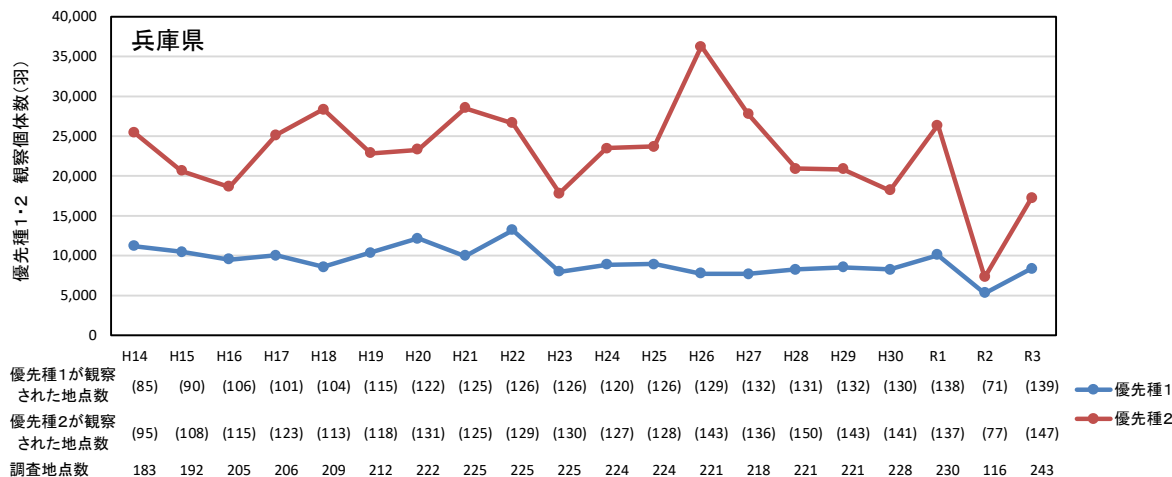


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（兵庫県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。

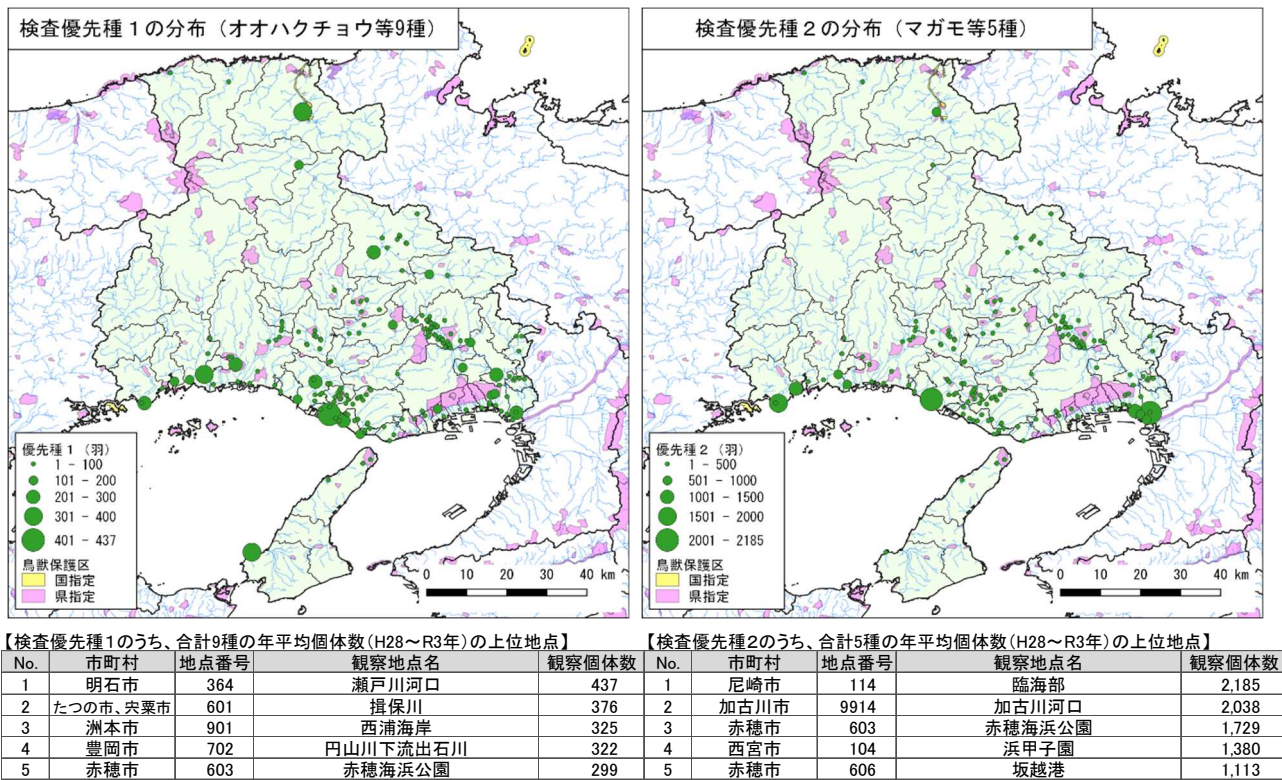


図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（兵庫県）

奈良県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の奈良県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

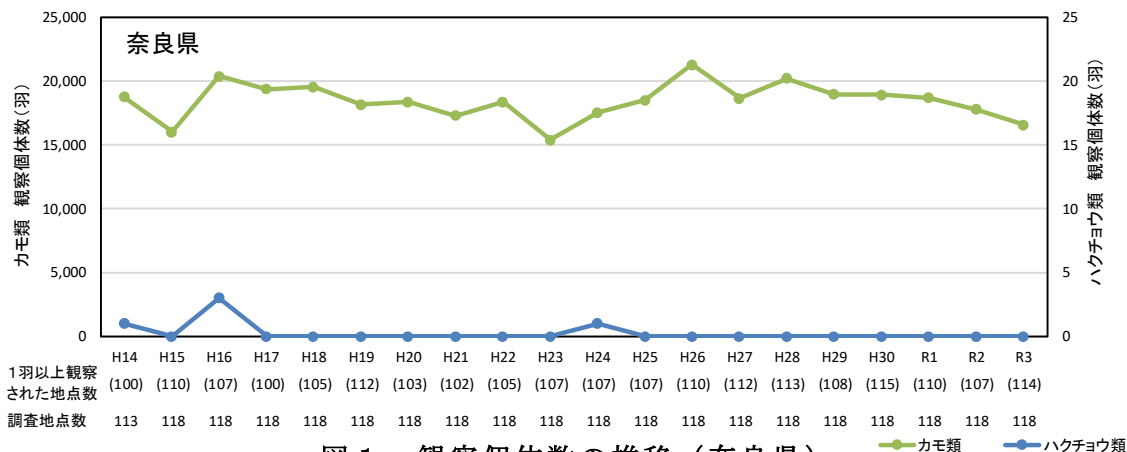
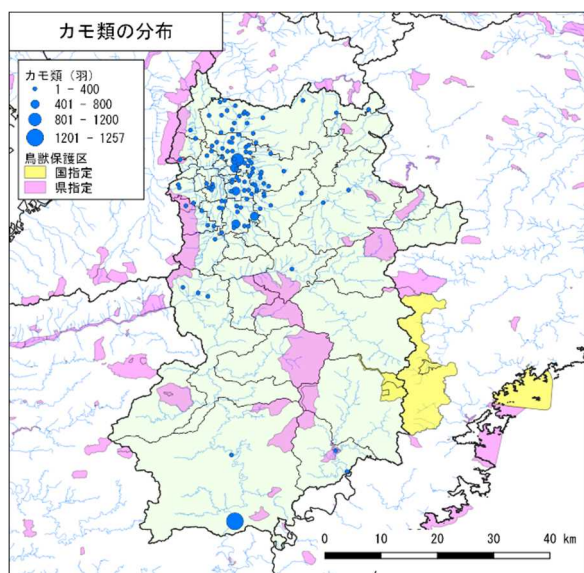


図 1 観察個体数の推移（奈良県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
カモ類	1	十津川村	44	二津野ダム	1,257
	2	大和郡山市・奈良市	120	佐保川	835
	3	田原本町	93	薬王寺池	763
	4	王寺町・安堵町・川西町	43	大和川	722
	5	橿原市	27	東池尻古池	524

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（奈良県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

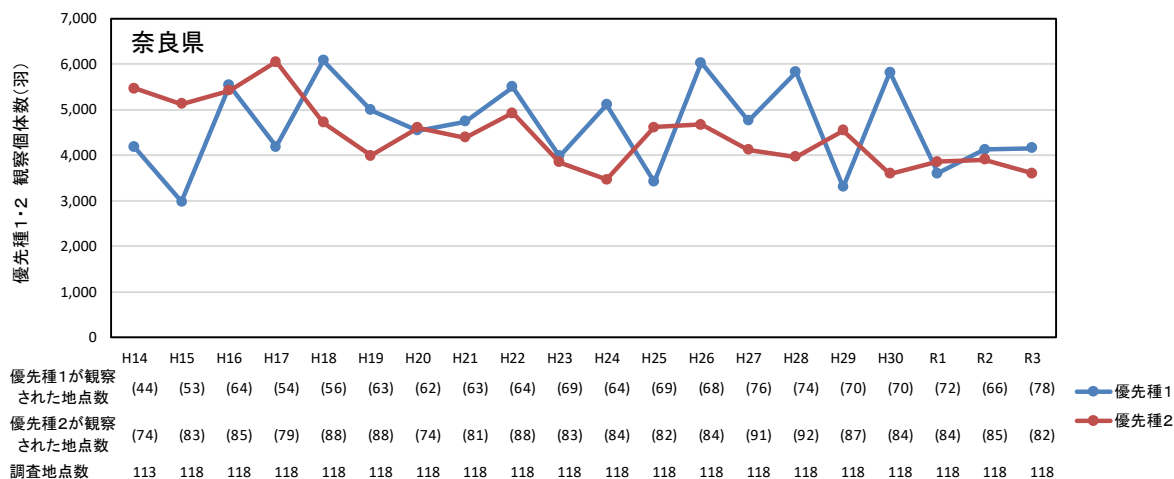
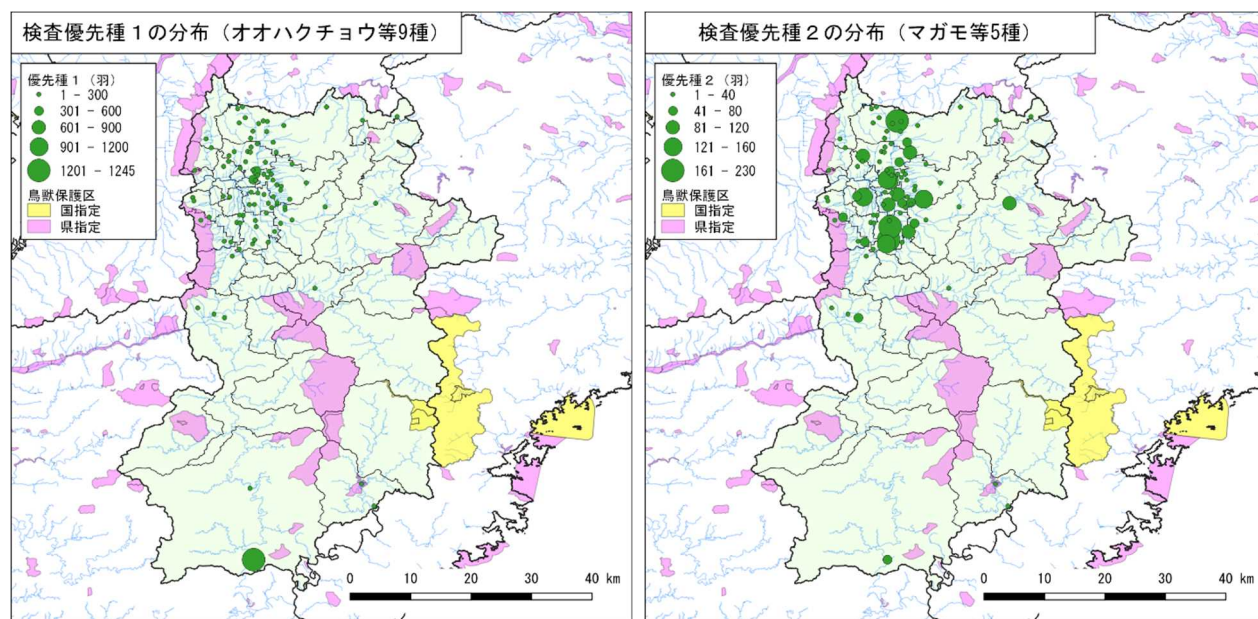


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（奈良県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	十津川村	44	二津野ダム	1,245
2	玉寺町・安堵町・川西町	43	大和川	380
3	大和郡山市・奈良市	120	佐保川	338
4	下北山村	45	七色ダム	278
5	十津川村	111	風屋貯水地	249

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

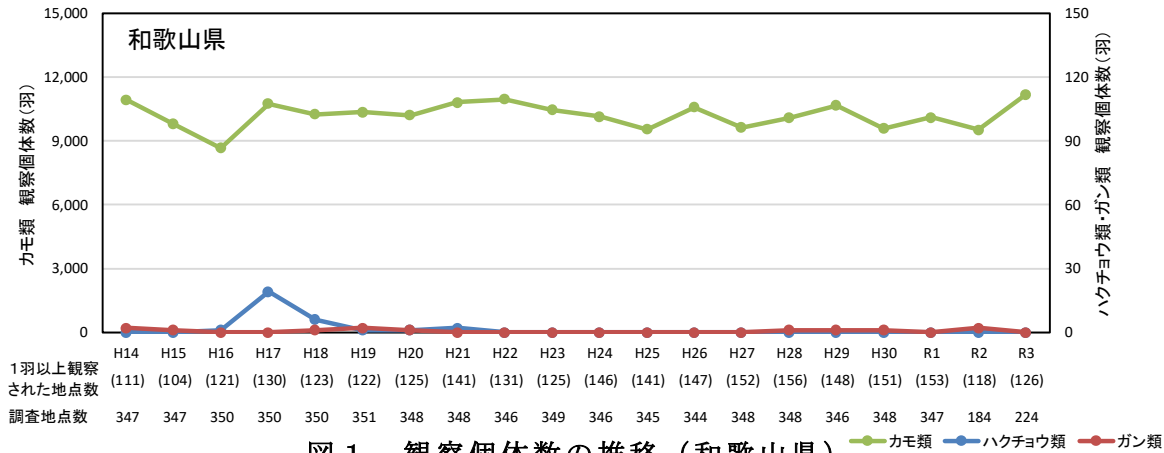
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	橿原市	24	深田池	230
2	奈良市	2	水上池	188
3	橿原市	114	小綱池	167
4	川西町	36	下永池	158
5	天理市	17	崇神天皇陵の濠	147

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（奈良県）

和歌山県のガンカモ類の生息調査結果

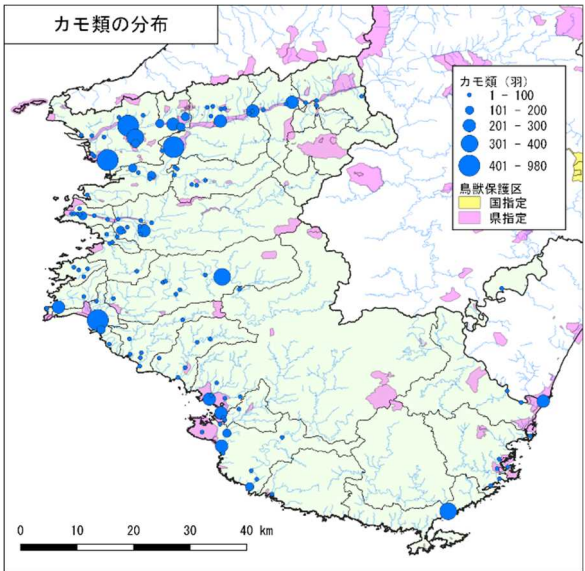
1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の和歌山県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。



2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
カモ類	1	紀の川市(貴志川町)	2,501	平池－貴志川	980
	2	和歌山市	1,123	和歌川	876
	3	和歌山市	1,101	紀の川一下流域	807
	4	御坊市	5,111	日高川下流域	512
	5	串本町(古座町)	8,401	古座川河口－古座地点	398

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（和歌山県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

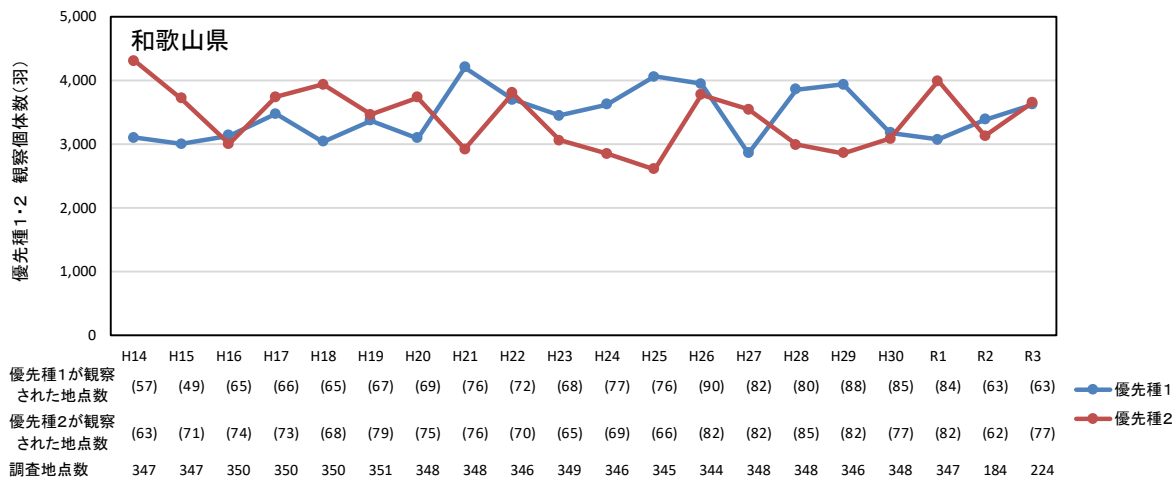
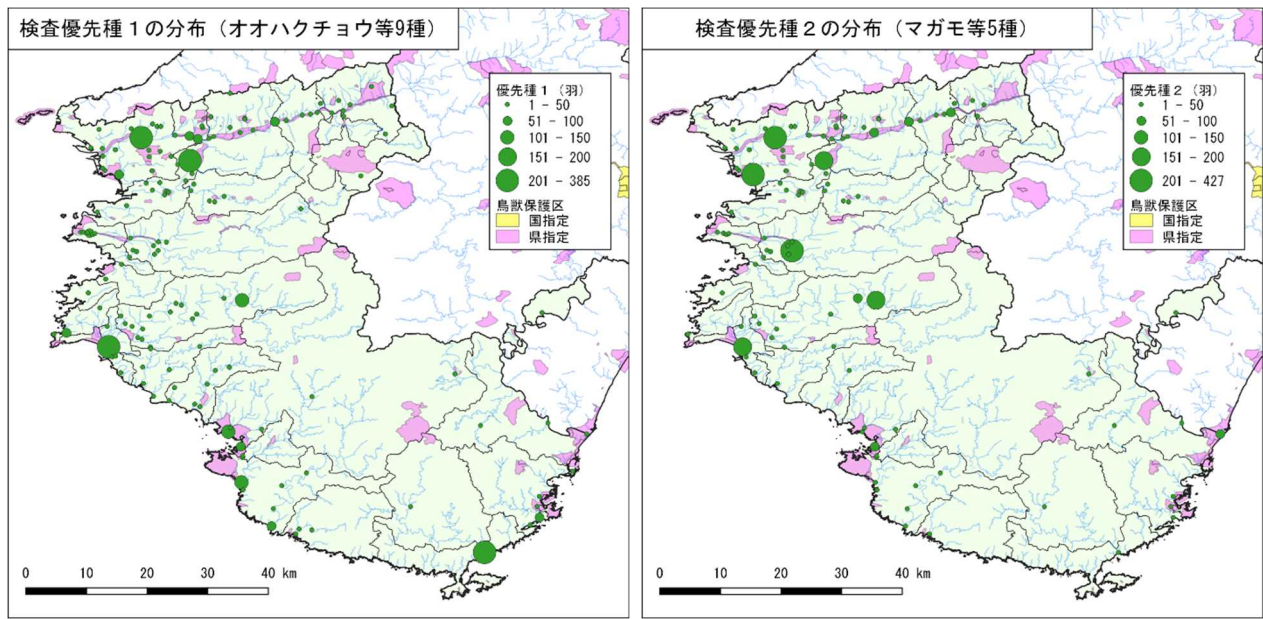


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（和歌山県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	御坊市	5111	日高川下流域	385
2	串本町(古座町)	8401	古座川河口ー古座地点	270
3	和歌山市	1101	紀の川ー下流域	254
4	紀の川市(貴志川町)	2501	平池ー貴志川	248
5	白浜町	7202	富田川ー河口	134

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	和歌山市	1123	和歌川	427
2	和歌山市	1101	紀の川ー下流域	280
3	有田川町(吉備町)	4408	平池ー徳田	213
4	紀の川市(貴志川町)	2501	平池ー貴志川	171
5	御坊市	5111	日高川下流域	170

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（和歌山県）

鳥取県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の鳥取県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

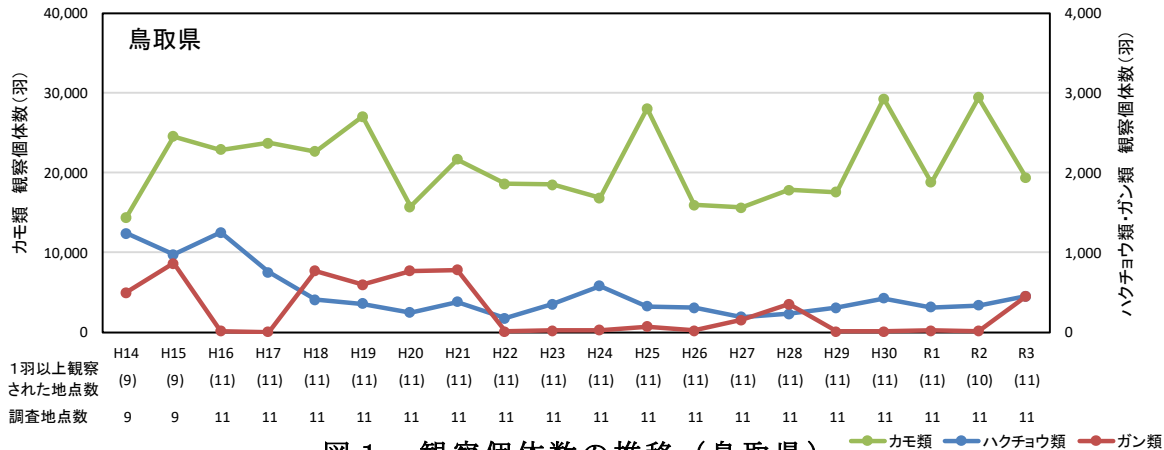
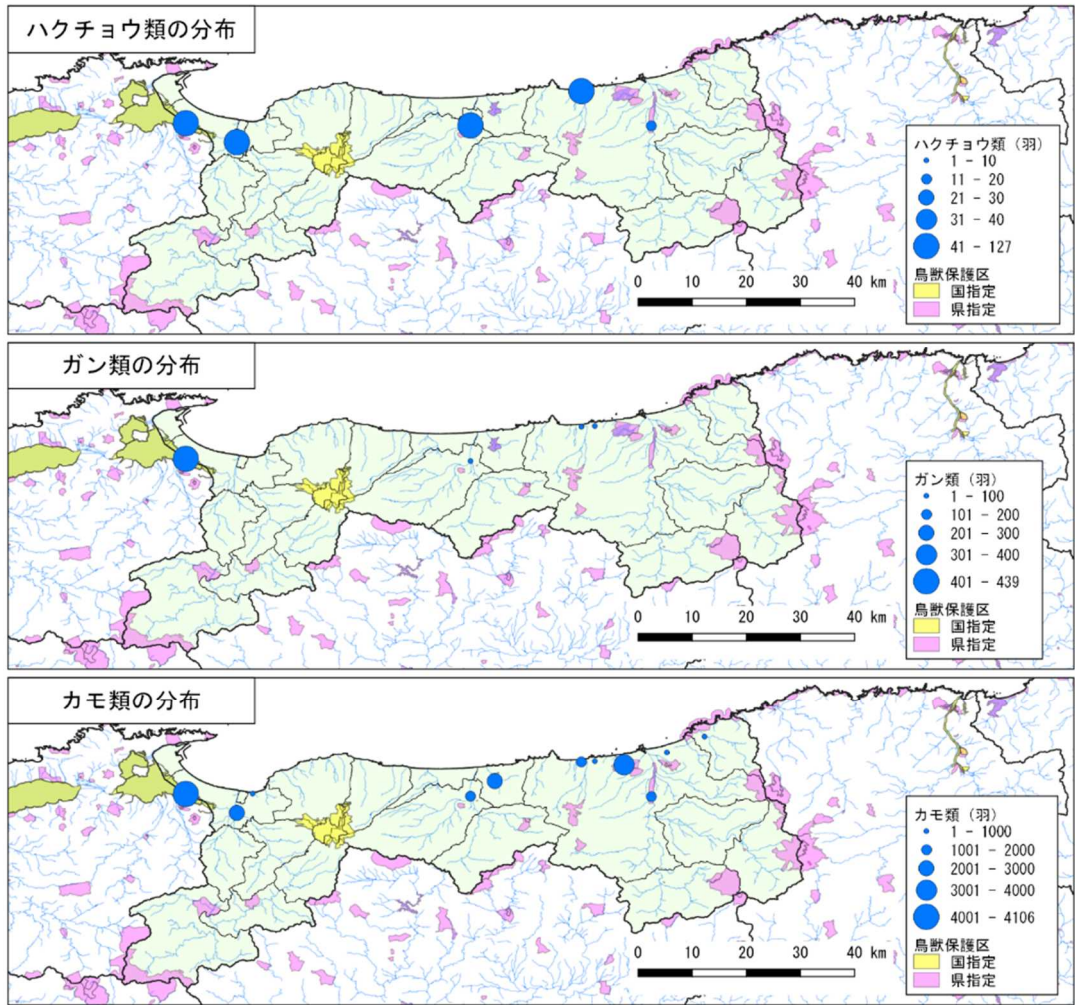


図 1 観察個体数の推移（鳥取県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ハクチョウ類、ガン類、カモ類の観察個体数の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	鳥取市	11	日光池	127	1	米子市ほか	9	中海	439	1	米子市ほか	9	中海	4,106
2	倉吉市ほか	7	天神川	121	2	鳥取市	11	日光池	9	2	鳥取市	4	湖山池	3,341
3	米子市ほか	9	中海	100	3	鳥取市	5	水尻池	7	3	米子市ほか	8	日野川	2,577
4	米子市ほか	8	日野川	89	4	倉吉市ほか	7	天神川	1	4	湯梨浜町	6	東郷池	2,180
5	鳥取市ほか	3	千代川	18	5					5	倉吉市ほか	7	天神川	1,925

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（鳥取県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

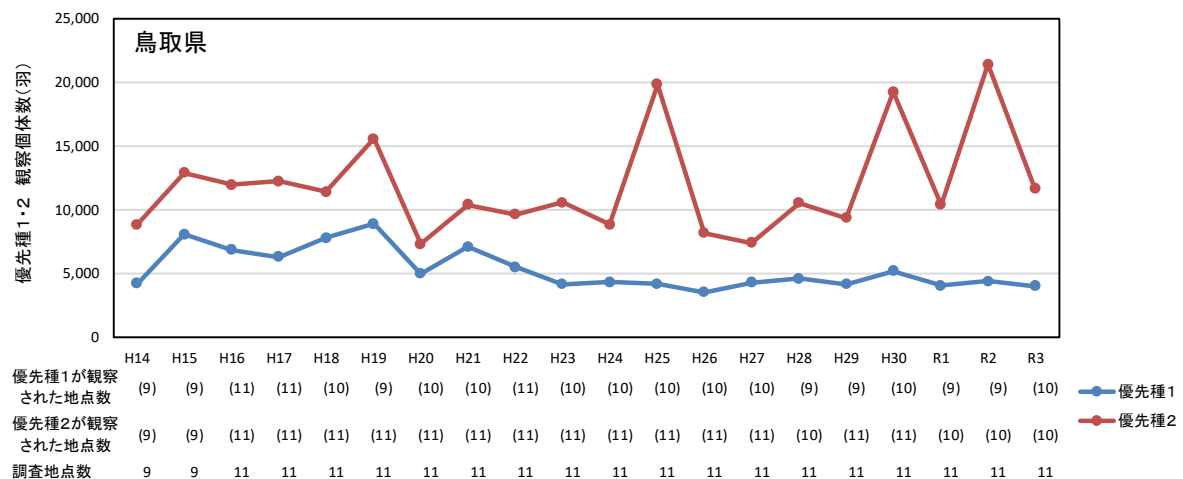
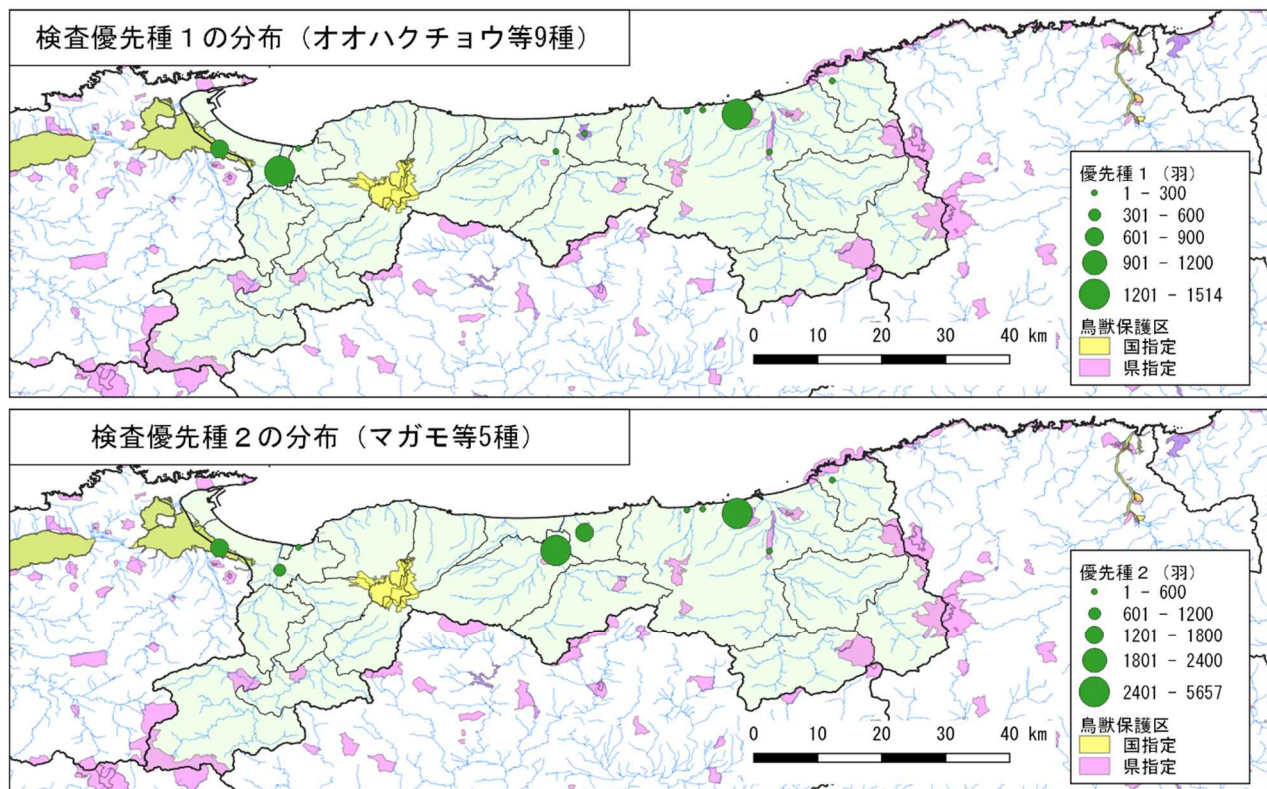


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（鳥取県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種1のうち、合計9種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	鳥取市	4	湖山池	1,514
2	米子市ほか	8	日野川	1,282
3	米子市ほか	9	中海	718
4	鳥取市ほか	3	千代川	242
5	倉吉市ほか	7	天神川	200

【検査優先種2のうち、合計5種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	倉吉市ほか	7	天神川	5,657
2	鳥取市	4	湖山池	2,749
3	米子市ほか	9	中海	1,682
4	湯梨浜町	6	東郷池	1,274
5	米子市ほか	8	日野川	917

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（鳥取県）

島根県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の島根県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

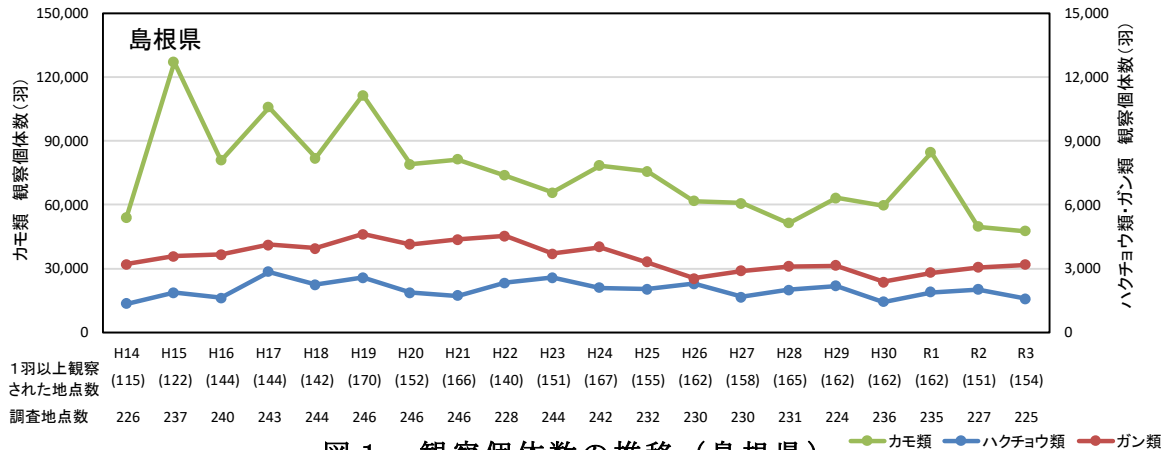


図 1 観察個体数の推移（島根県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

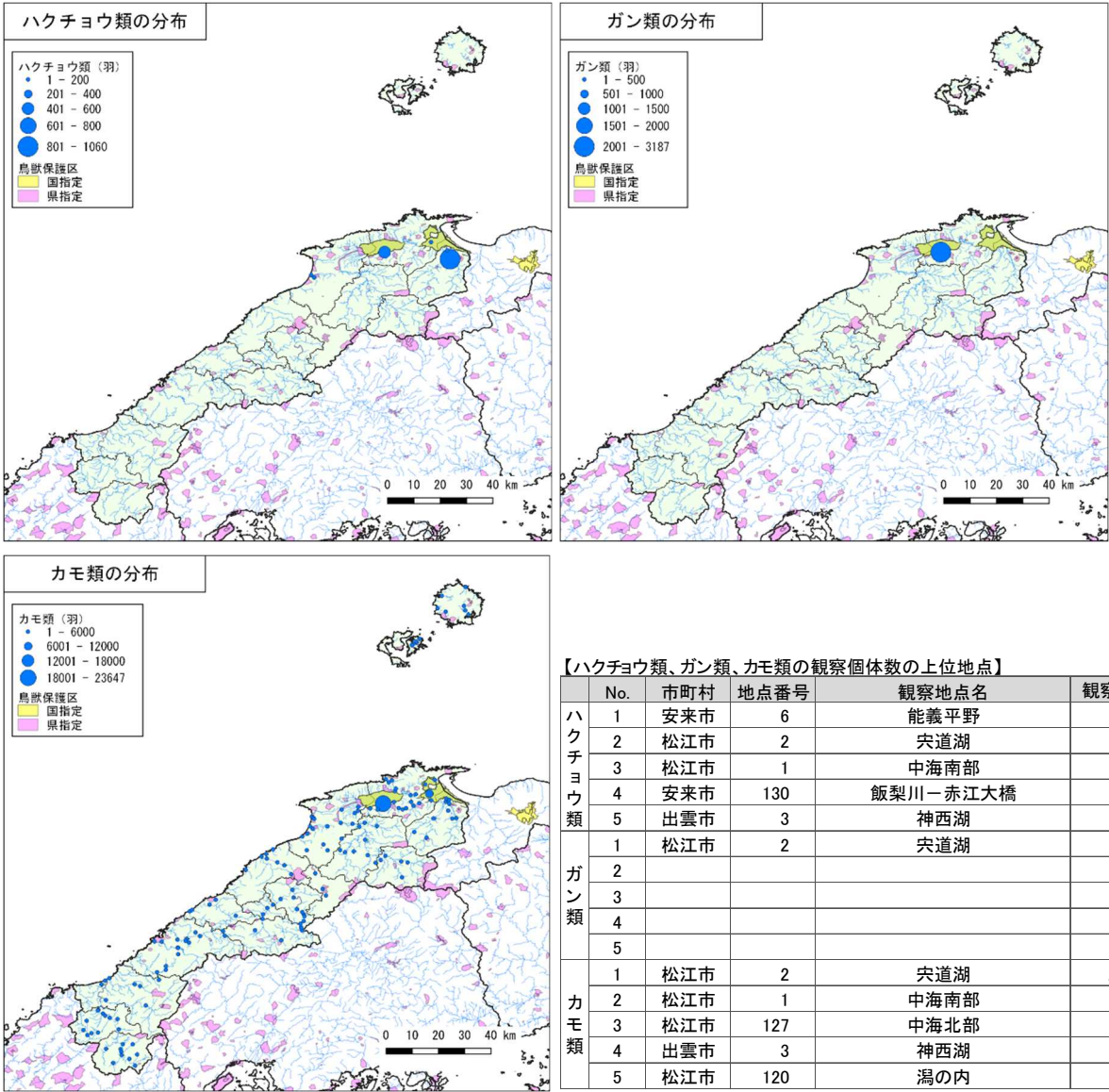


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（島根県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

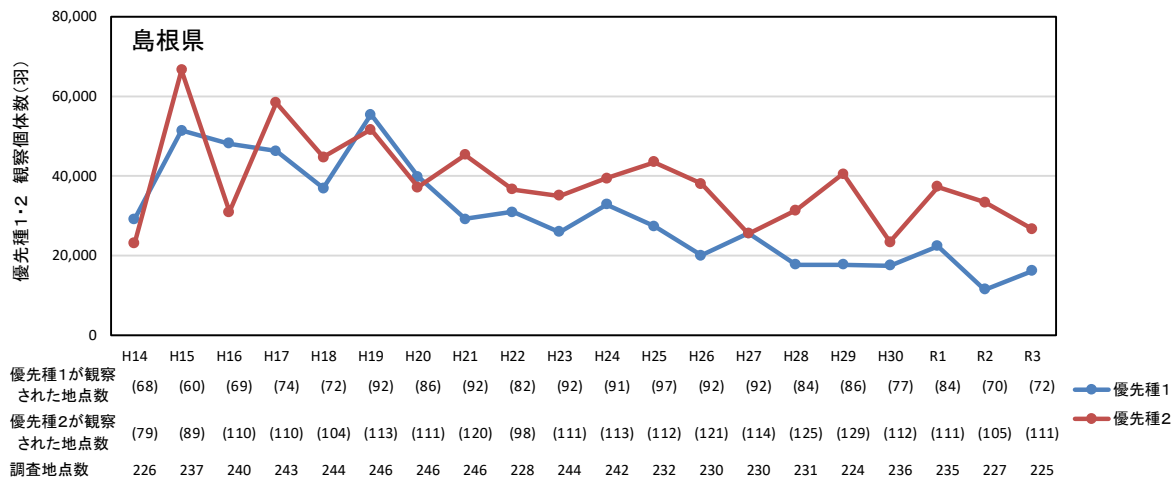


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（島根県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。

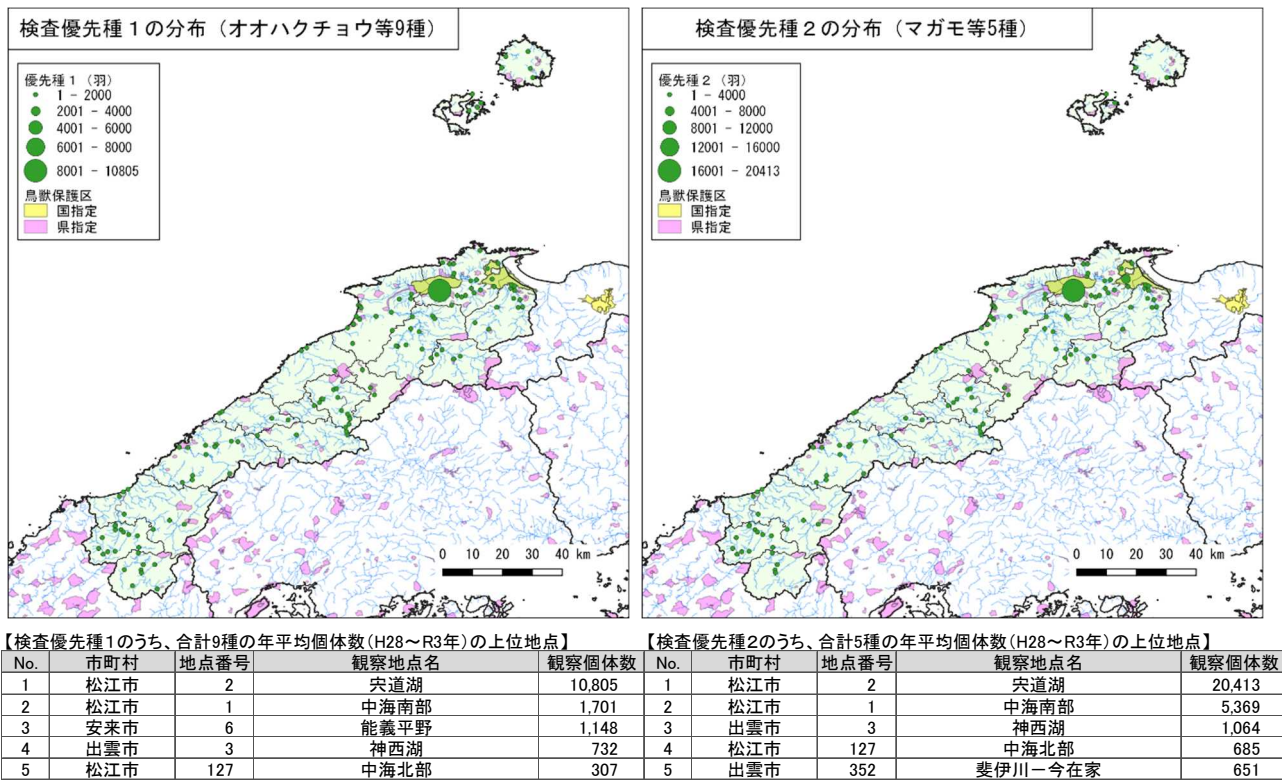


図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（島根県）

岡山県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の岡山県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

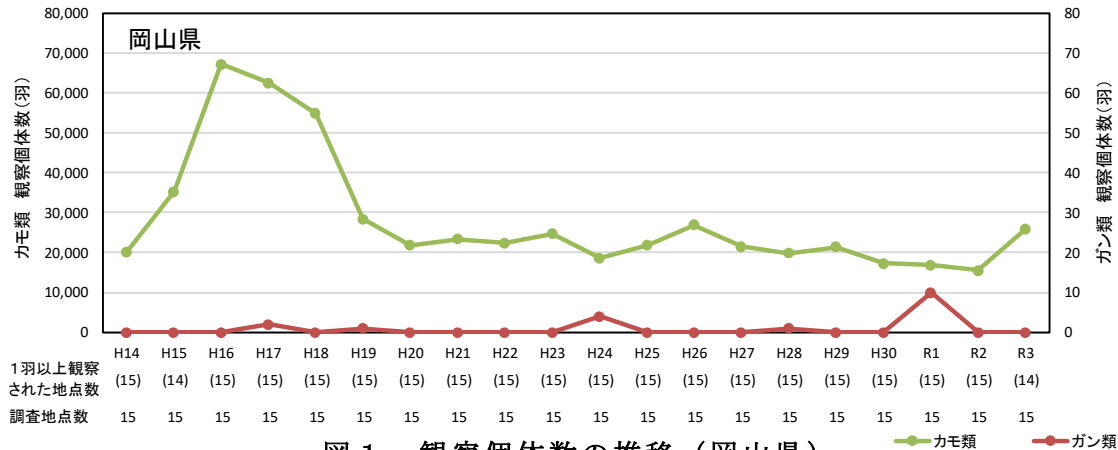
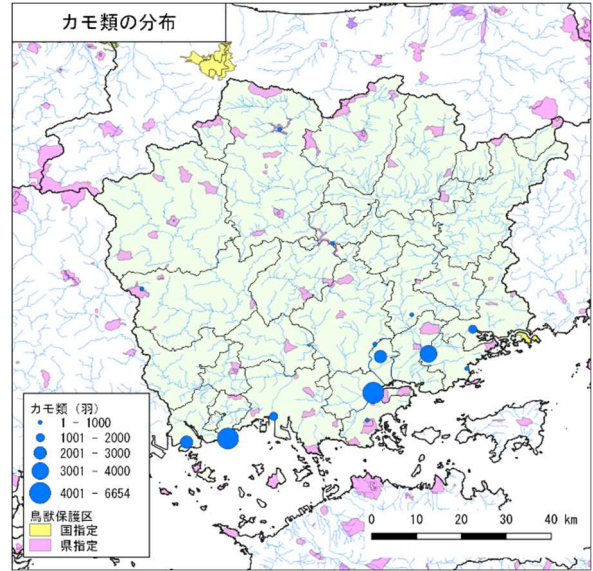


図 1 観察個体数の推移（岡山県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
カモ類	1	浅口市	15	寄島干拓	6,654
	2	岡山市	1	児島湖・阿部池	4,733
	3	岡山市	13	吉井川	3,699
	4	岡山市	2	百間川	2,781
	5	笠岡市	7	笠岡湾干拓地	2,213

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（岡山県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

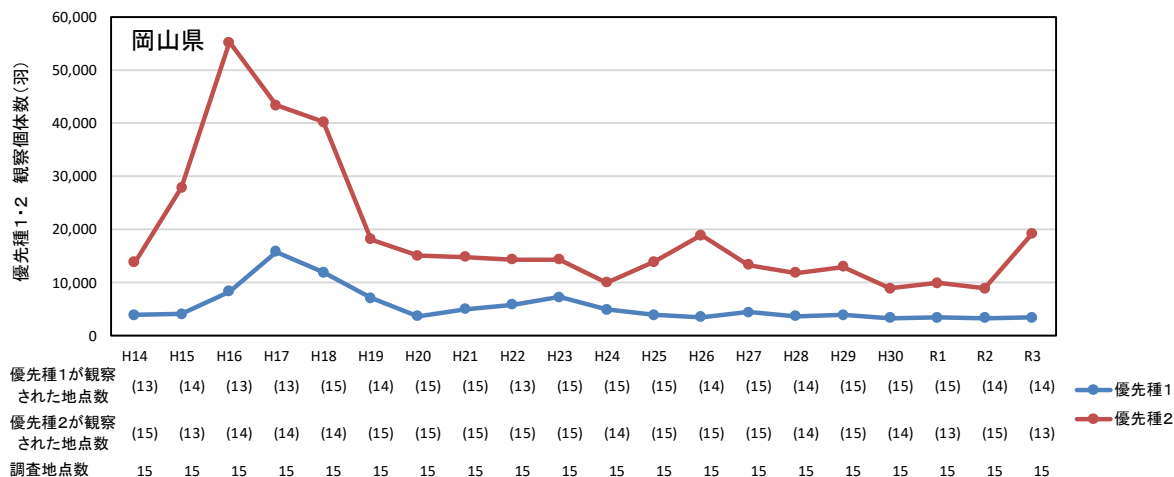
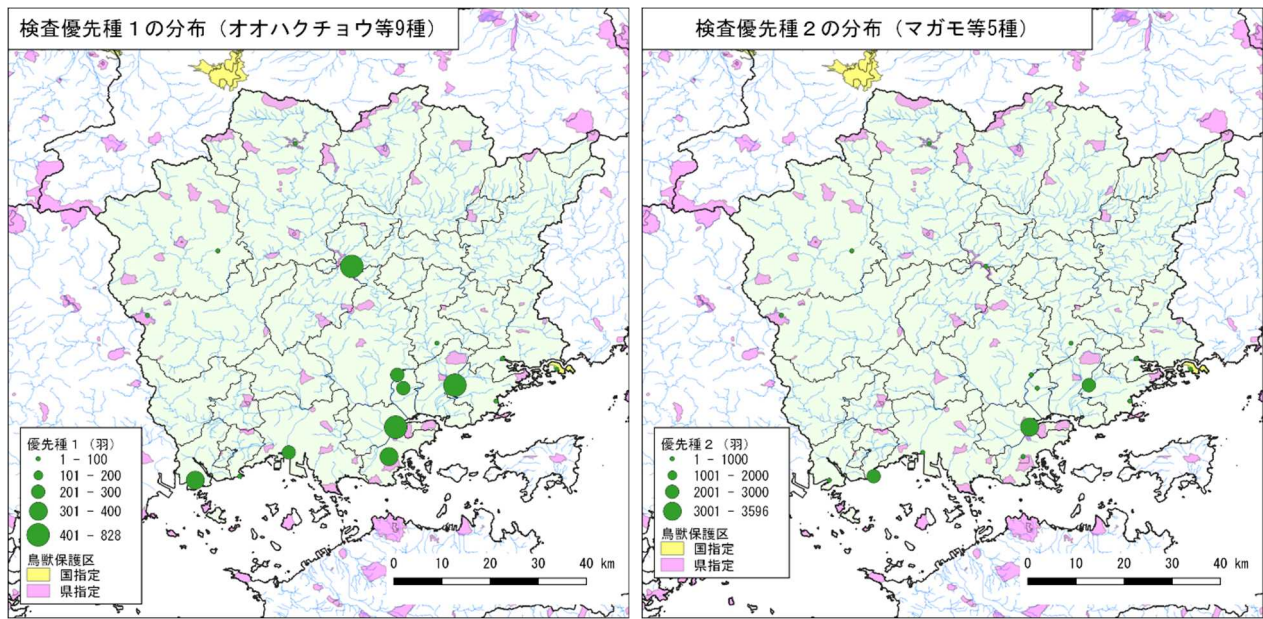


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（岡山県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	岡山市	1	児島湖・阿部池	828
2	岡山市	13	吉井川	472
3	美咲町	4	旭川ダム	410
4	玉野市	11	深山公園	350
5	笠岡市	7	笠岡湾干拓地	306

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

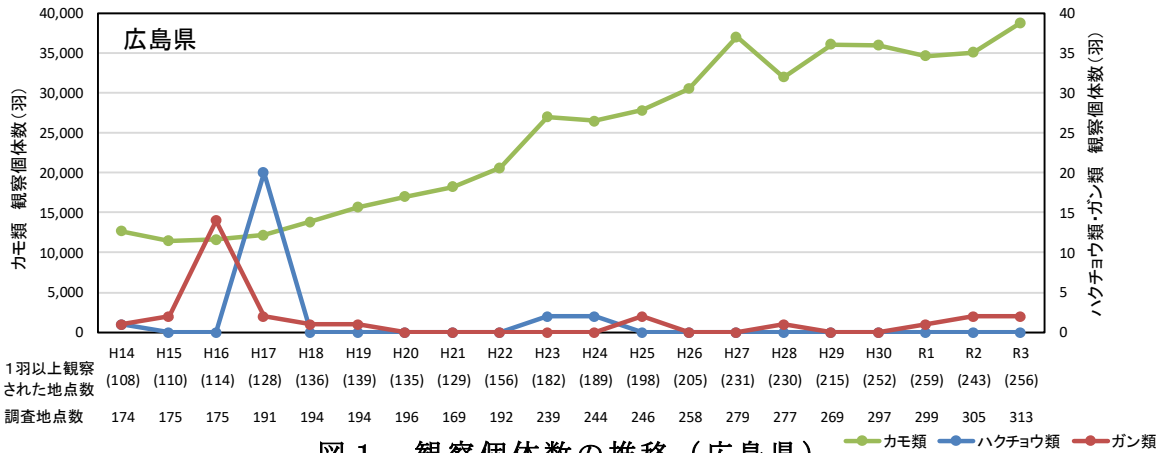
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	岡山市	1	児島湖・阿部池	3,596
2	岡山市	13	吉井川	2,942
3	浅口市	15	寄島干拓	2,037
4	笠岡市	7	笠岡湾干拓地	630
5	岡山市	2	百間川	595

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（岡山県）

広島県のガンカモ類の生息調査結果

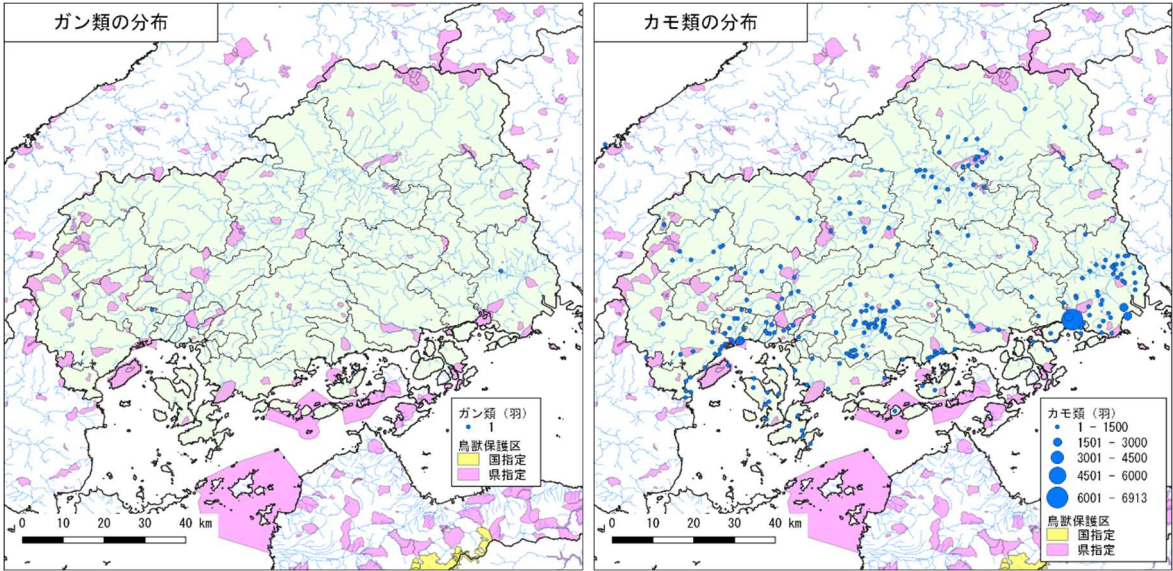
1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の広島県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。



2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ガン類、カモ類の観察個体数の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	福山市	5,002	芦田川上流～上原橋～大渡橋	1	1	福山市	5,003	松永湾	6,913
2	広島市	9,010	梶毛ダム	1	2	福山市	5,039	田尻町沖	2,105
3					3	広島市	37	八幡川河口埋立地	2,015
4					4	福山市	5,001	芦田川下流～大渡橋～河口大橋	1,954
5					5	尾道市	4,003	東尾道地先	1,563

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（広島県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

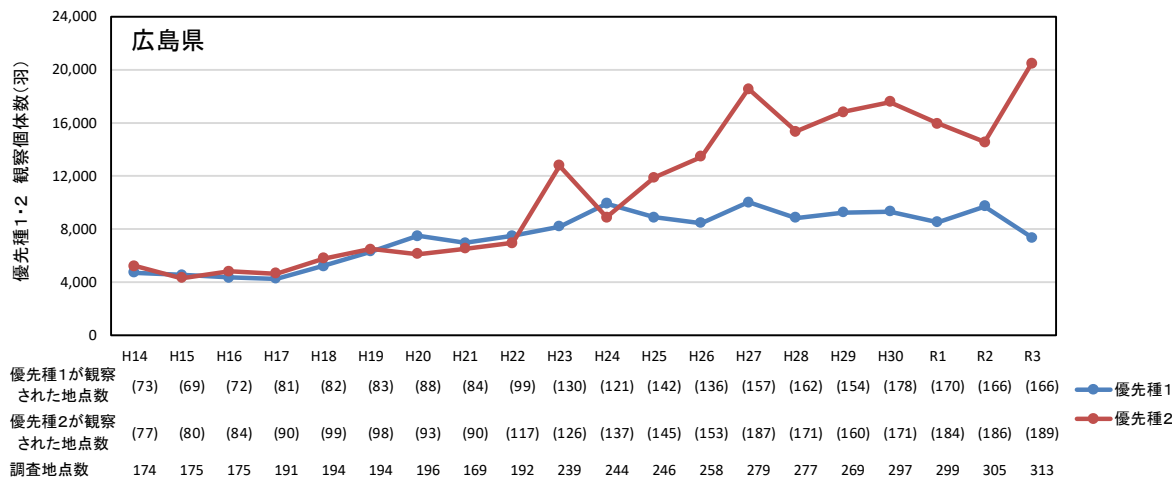
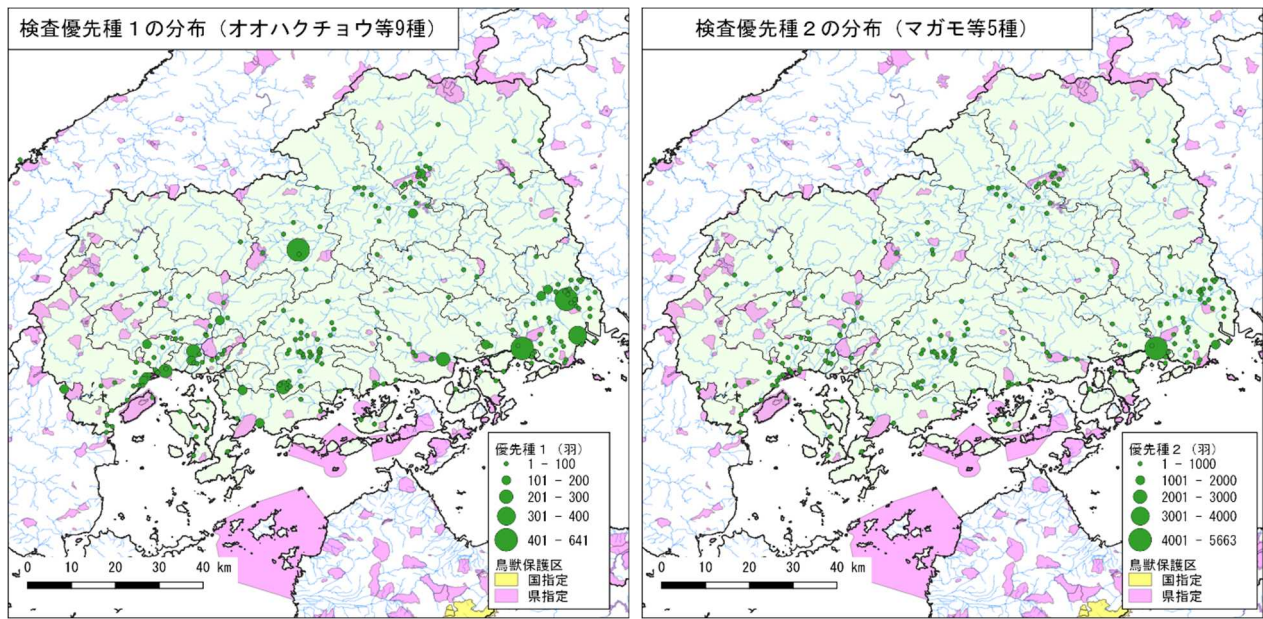


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（広島県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	安芸高田市	2011	江の川－安芸高田市	641
2	福山市	5033	高屋川－芦田川合流地点～岡山県境	442
3	福山市	5003	松永湾	437
4	福山市	5001	芦田川下流－大渡橋～河口大橋	319
5	広島市	9004	太田川(放水路)	290

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	福山市	5003	松永湾	5,663
2	福山市	5039	田尻町沖	1,326
3	大崎上島町	1011	入相池(大串)	954
4	福山市	5001	芦田川下流－大渡橋～河口大橋	764
5	三原市	4019	沼田川－納所橋～河口	534

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（広島県）

山口県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の山口県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

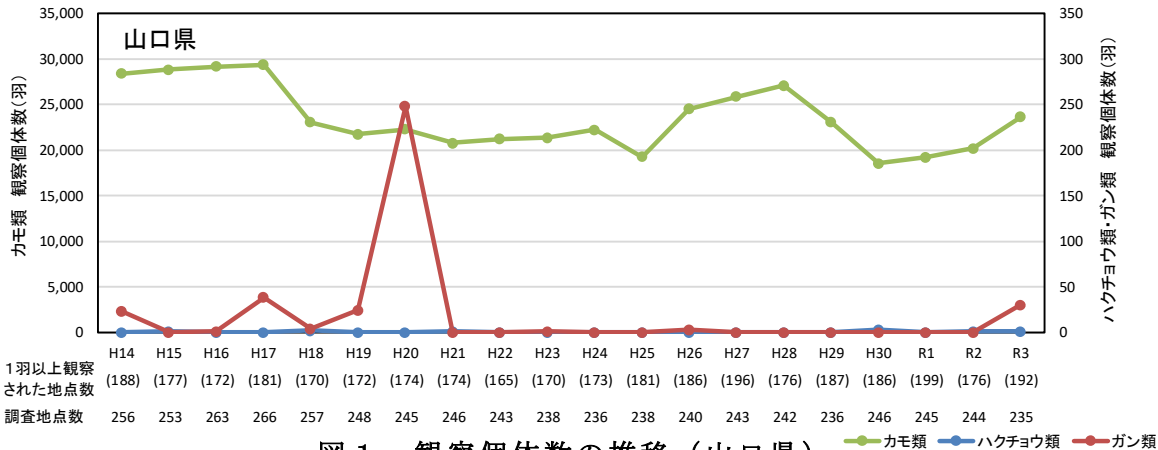


図 1 観察個体数の推移（山口県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

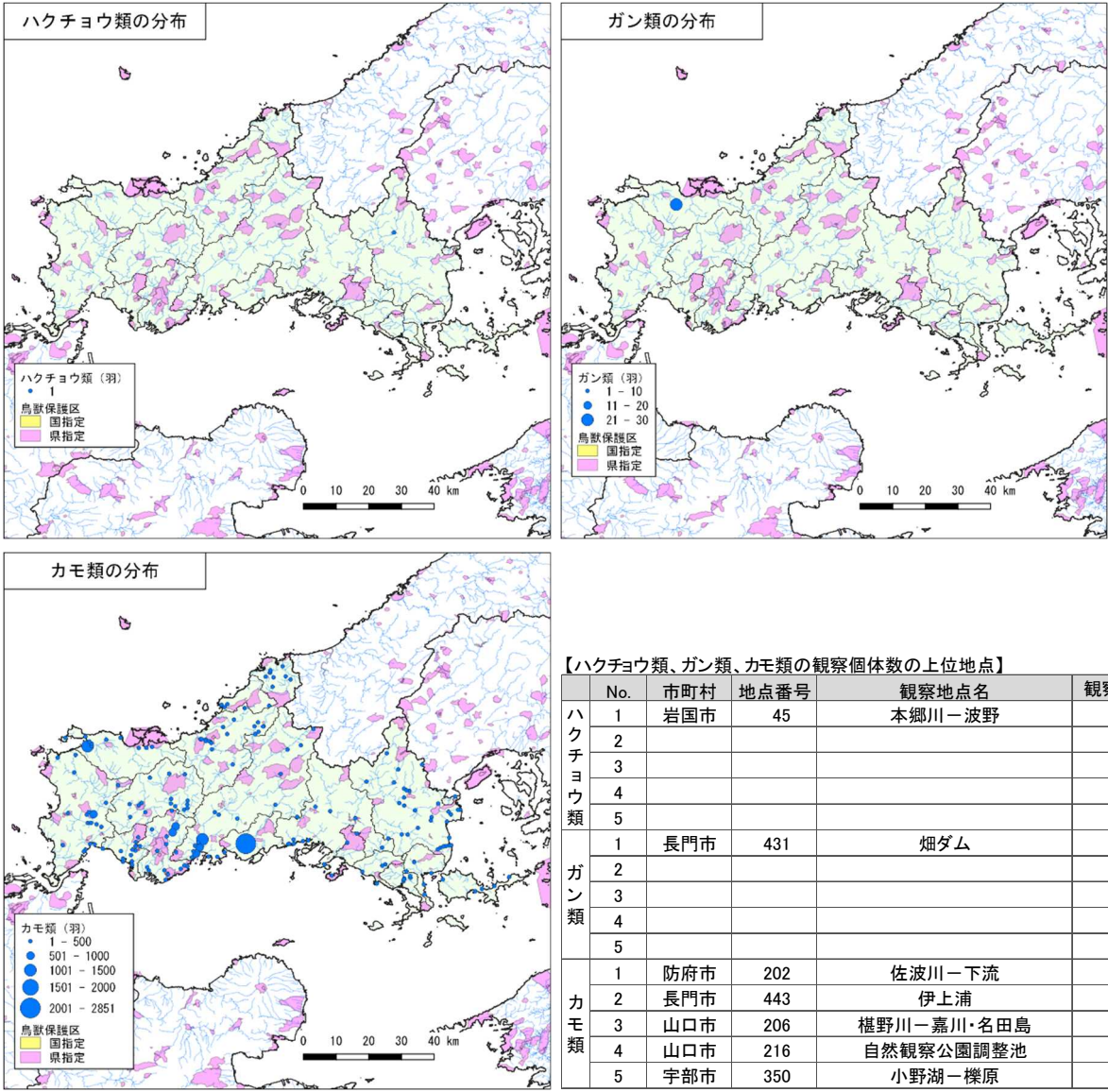


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（山口県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

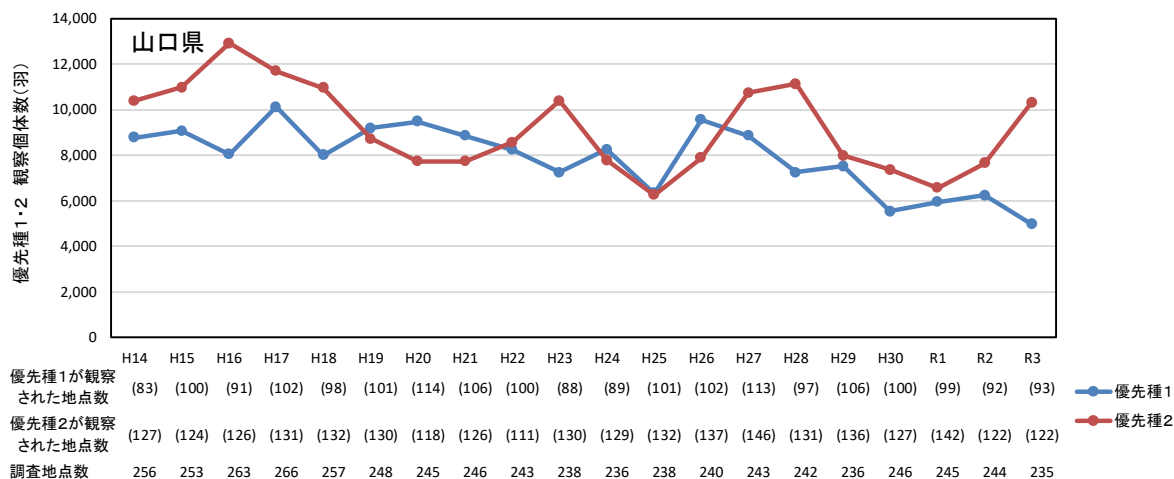
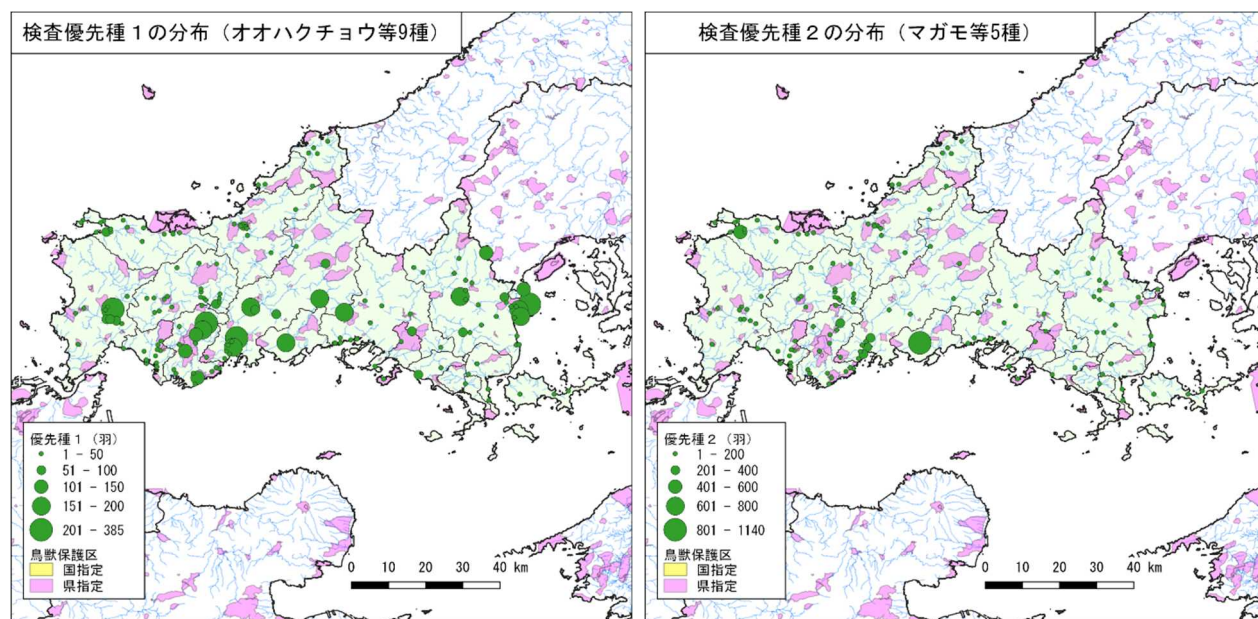


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（山口県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	山口市	206	樺野川－嘉川・名田島	385
2	宇部市	349	小野湖－両川	306
3	下関市	419	湯の原ダム	293
4	岩国市	13	錦川－今津河口	272
5	岩国市	15	門前川－門前	190

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

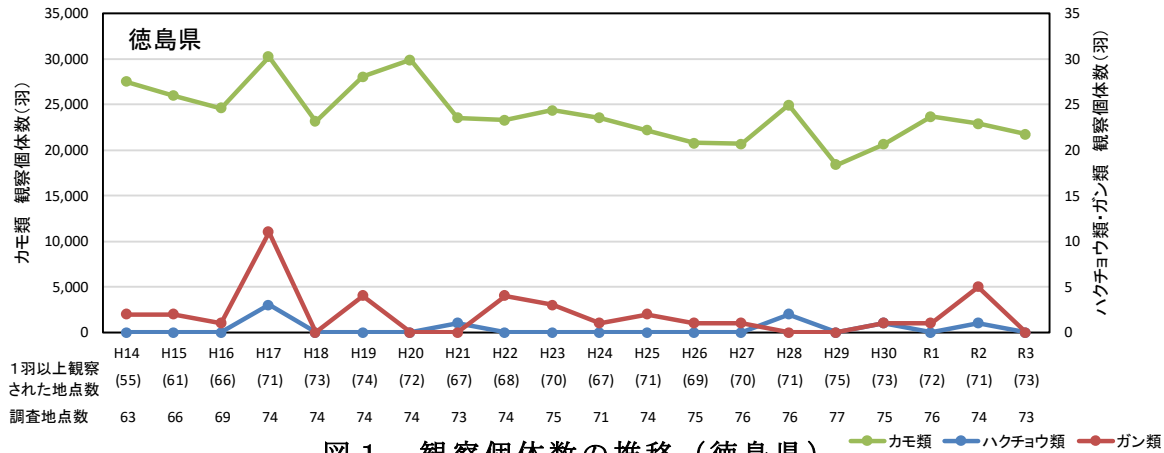
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	防府市	202	佐波川－下流	1,140
2	長門市	443	伊上浦	454
3	山口市	206	樺野川－嘉川・名田島	380
4	山口市	207	山口湾－秋穂二島	287
5	宇部市	349	小野湖－両川	274

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（山口県）

徳島県のガンカモ類の生息調査結果

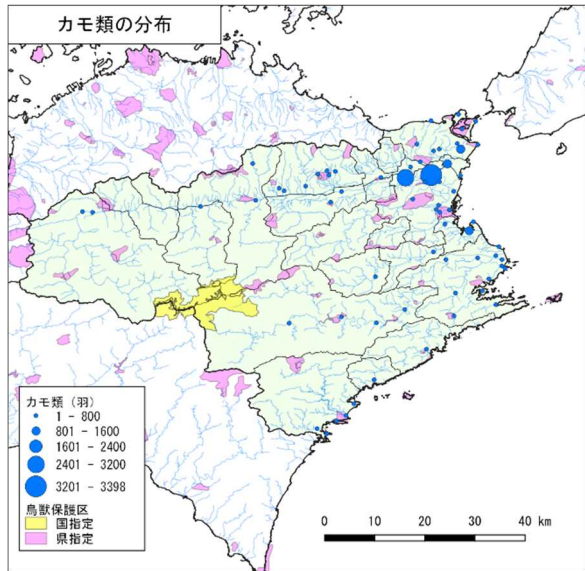
1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の徳島県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。



2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
カモ類	1	徳島市、北島町、松茂町	3	今切川	3,398
	2	徳島市、藍住町	6	吉野川(JR鉄橋～第十堰)	2,946
	3	小松島市	32	小松島湾	1,276
	4	鳴門市、松茂町、北島町	1	旧吉野川(河口～今切川合流)	1,153
	5	鳴門市	45	新池川	1,023

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（徳島県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

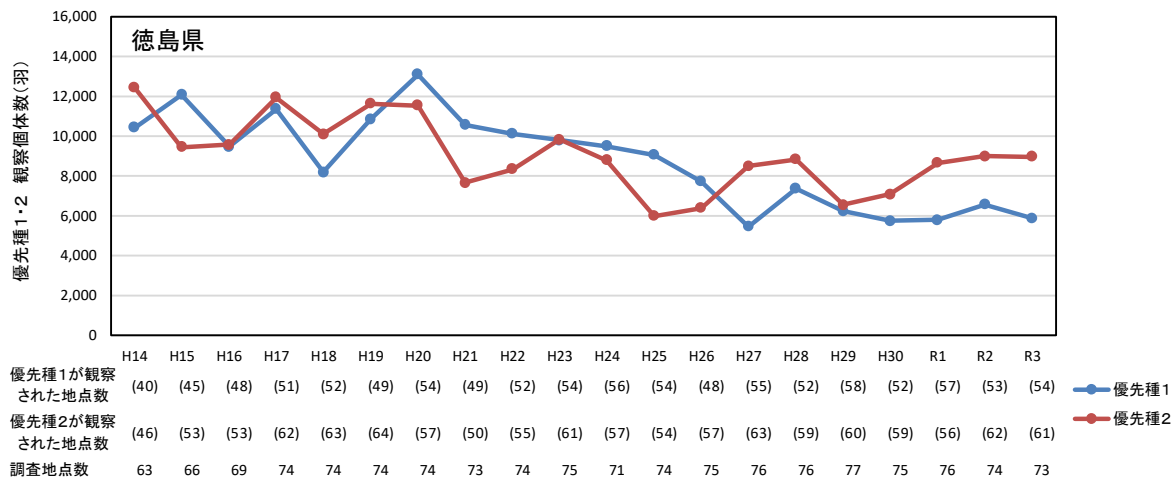
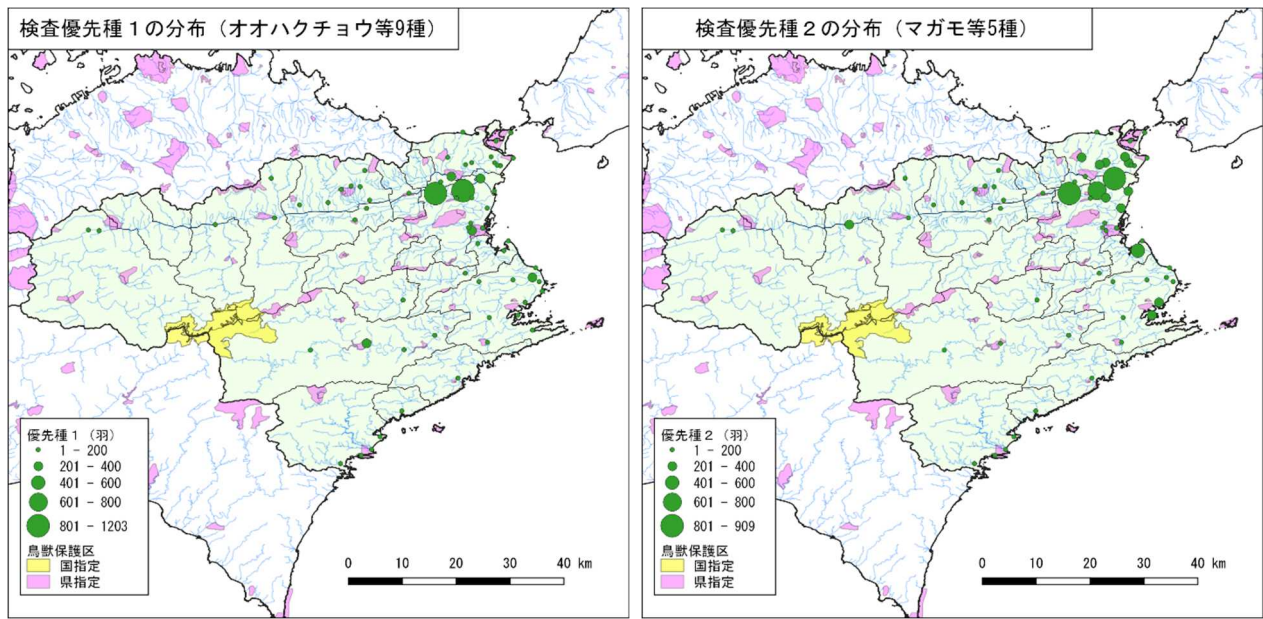


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（徳島県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種1のうち、合計9種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	徳島市、藍住町	6	吉野川(JR鉄橋～第十堰)	1,203
2	徳島市、北島町、松茂町	3	今切川	863
3	阿南市	16	那賀川河口	311
4	那賀郡(那賀町)	25	長安口ダム	273
5	鳴門市、松茂町、北島町	1	旧吉野川(河口～今切川合流)	232

【検査優先種2のうち、合計5種の年平均個体数(H28～R3年)の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	徳島市、藍住町	6	吉野川(JR鉄橋～第十堰)	909
2	鳴門市、松茂町、北島町	1	旧吉野川(河口～今切川合流)	811
3	徳島市、北島町、松茂町	3	今切川	683
4	小松島市	32	小松島湾	428
5	徳島市	5	吉野川(大橋～JR鉄橋)	357

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（徳島県）

香川県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）
過去 20 年間の香川県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

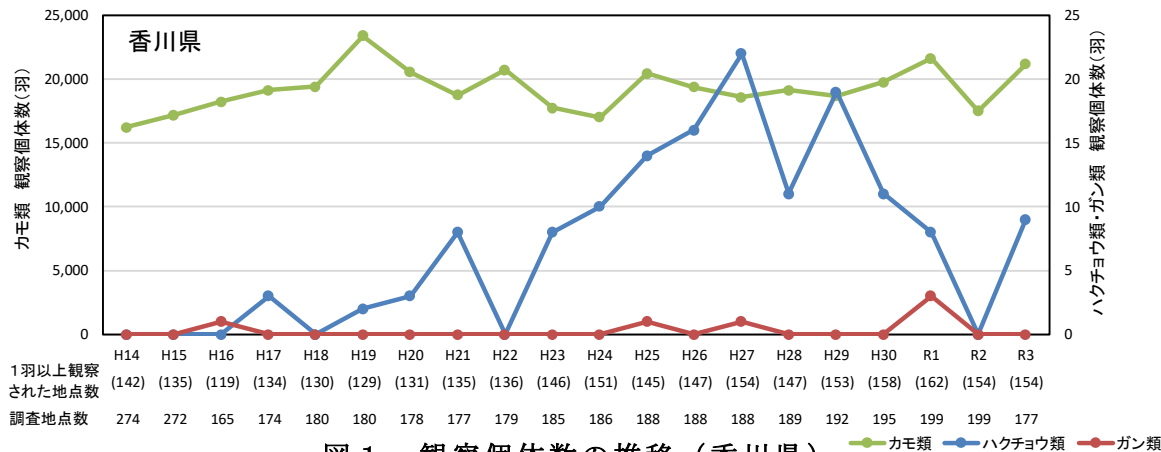
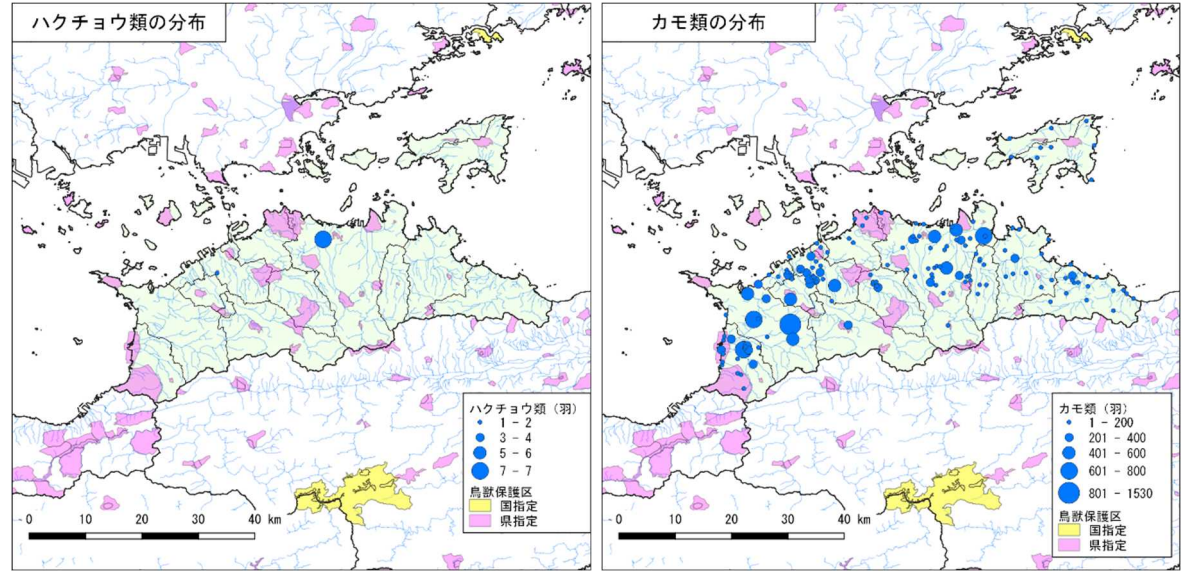


図 1 観察個体数の推移（香川県）

2. 県内における類ごとの分布図
ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ハクチョウ類、カモ類の観察個体数の上位地点】											
	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数		No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
ハク チ ョ ウ 類	1	高松市	303	高月池	7	カ モ 類	1	高瀬町	125	岩瀬池	1,530
	2	丸亀市	38	太井池	2		2	高松市	89	羽間上池	798
	3						3	観音寺市	159	観音寺池・出作池	680
	4						4	三豊市	14	勝田池	672
	5						5	山本町	322	宝山湖	471

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（香川県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

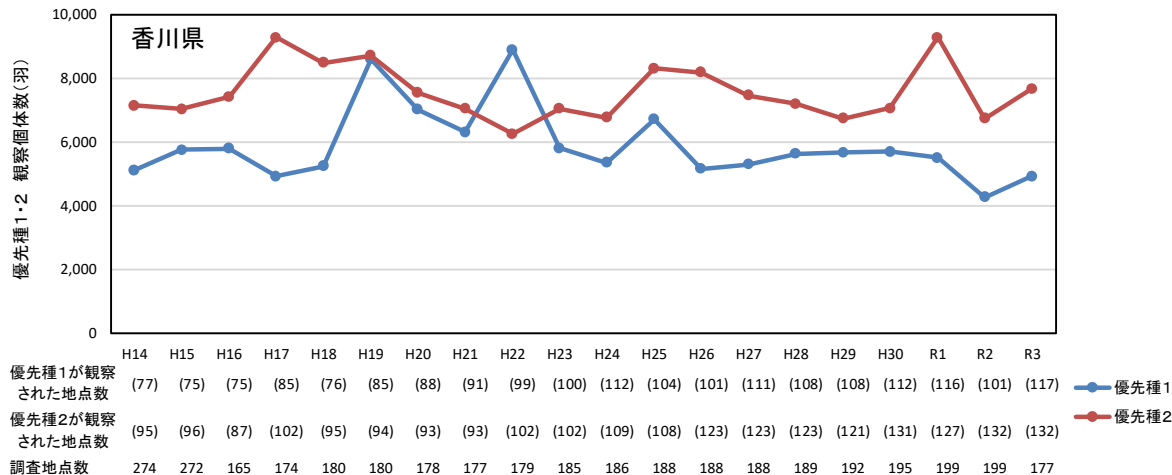
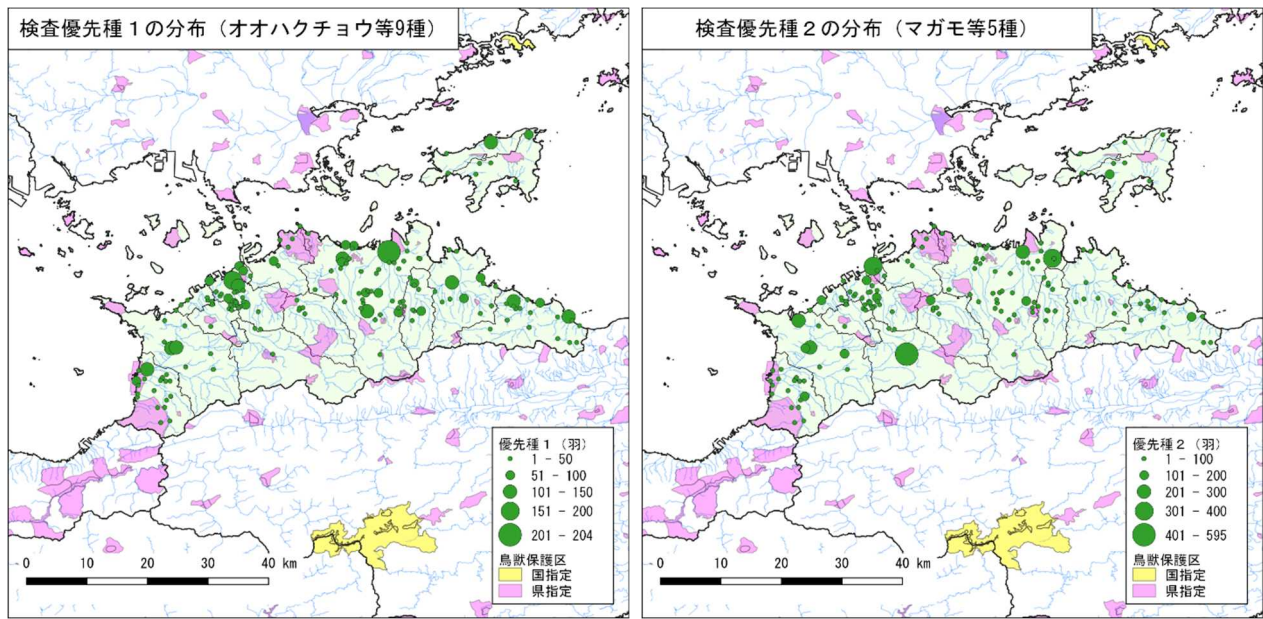


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（香川県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	高松市	70	新川、春日川河口	204
2	丸亀市	128	土器川－蓬萊橋	187
3	さぬき市	177	野間池	146
4	三豊市	15	国市池	131
5	東かがわ市	307	小海川河口	127

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

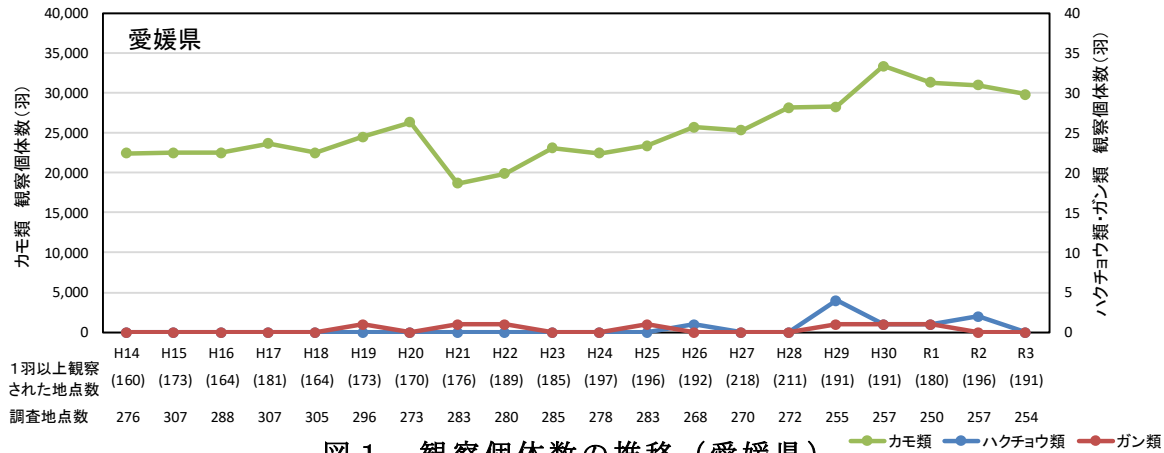
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	まんのう町	55	満濃池	595
2	宇多津町	239	大東川－河口	365
3	高松市	89	羽間上池	320
4	高松市	320	栗林公園	304
5	三豊市	29	高瀬川下流	287

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（香川県）

愛媛県のガンカモ類の生息調査結果

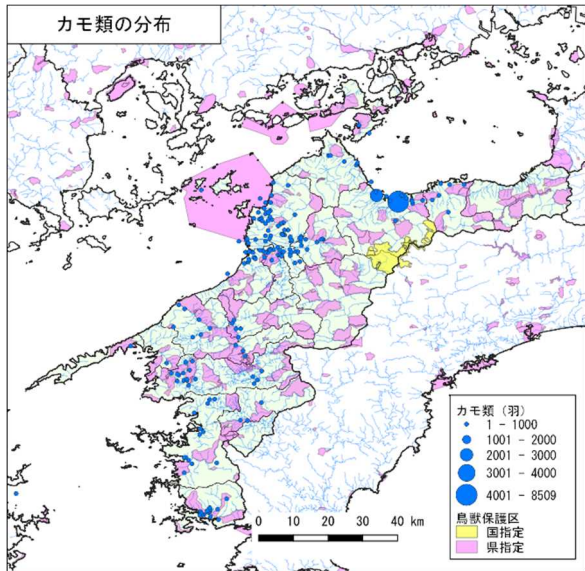
1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の愛媛県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。



2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



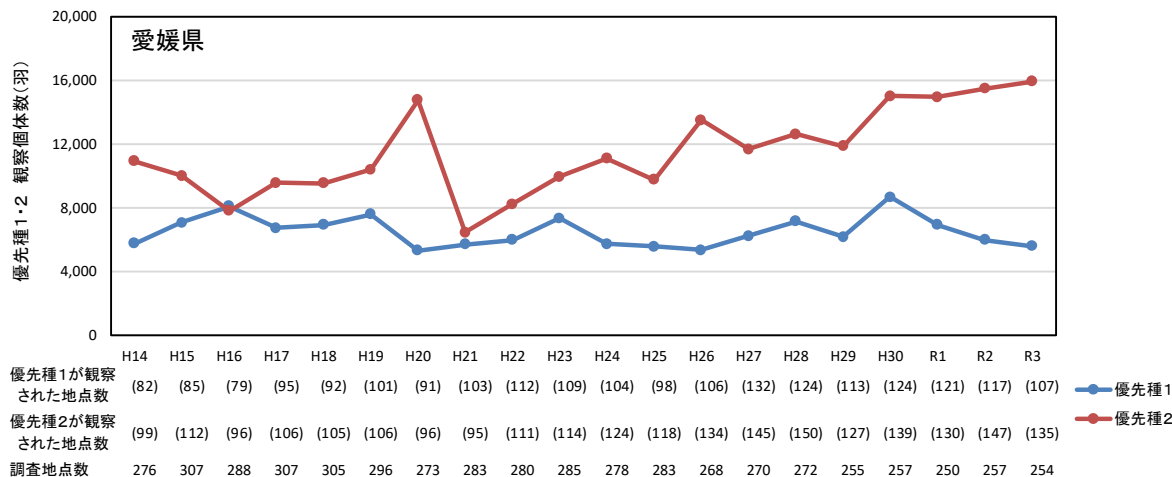
【カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
カモ類	1	西条市	3	加茂川河口(河口～新加茂川大橋)	8,509
	2	西条市	435	新川河口 燧灘海域	2,336
	3	西条市	4	黒瀬ダム	984
	4	西条市	286	燧灘海域(東予港)	969
	5	宇和島市	387	岩松川(河口～山財ダム堰堤)	833

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（愛媛県）

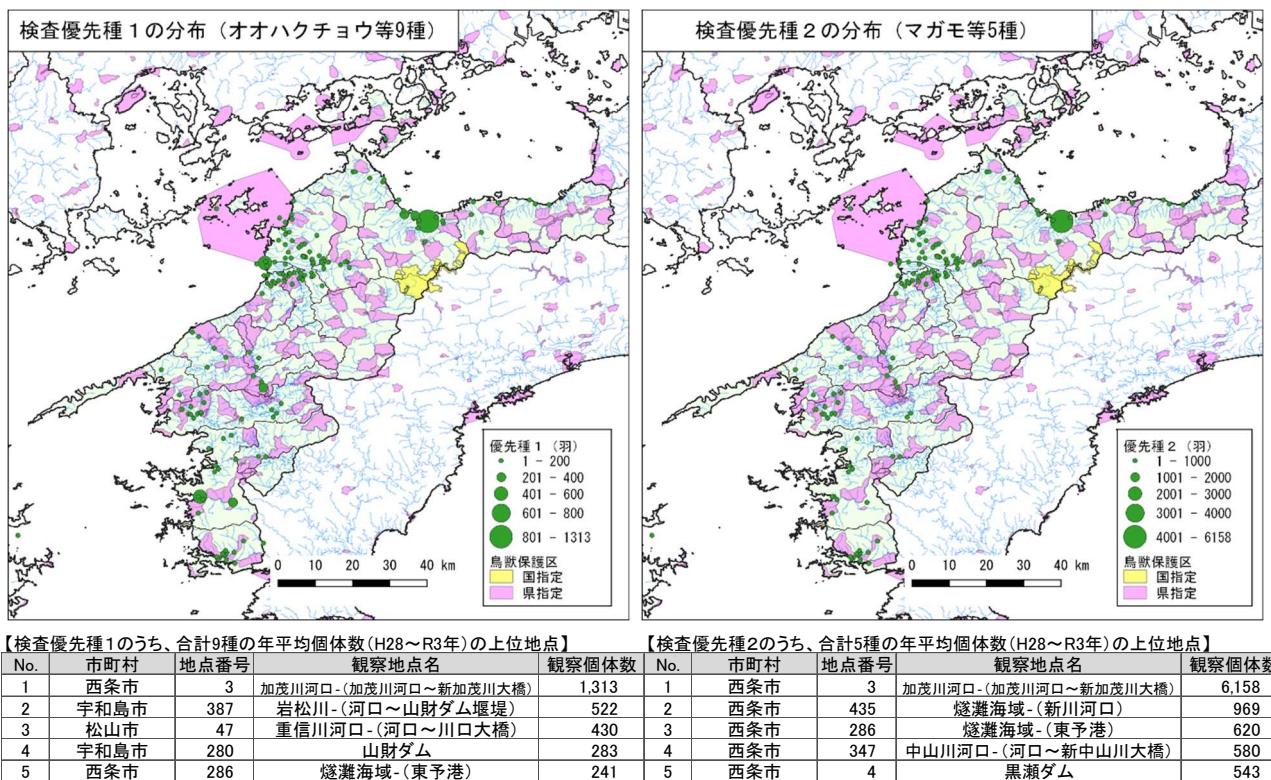
3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。



4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】					【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	西条市	3	加茂川河口 - (加茂川河口～新加茂川大橋)	1,313	1	西条市	3	加茂川河口 - (加茂川河口～新加茂川大橋)	6,158
2	宇和島市	387	岩松川 - (河口～山財ダム堰堤)	522	2	西条市	435	燧灘海域 - (新川河口)	969
3	松山市	47	重信川河口 - (河口～川口大橋)	430	3	西条市	286	燧灘海域 - (東予港)	620
4	宇和島市	280	山財ダム	283	4	西条市	347	中山川河口 - (河口～新中山川大橋)	580
5	西条市	286	燧灘海域 - (東予港)	241	5	西条市	4	黒瀬ダム	543

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（愛媛県）

高知県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高知県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

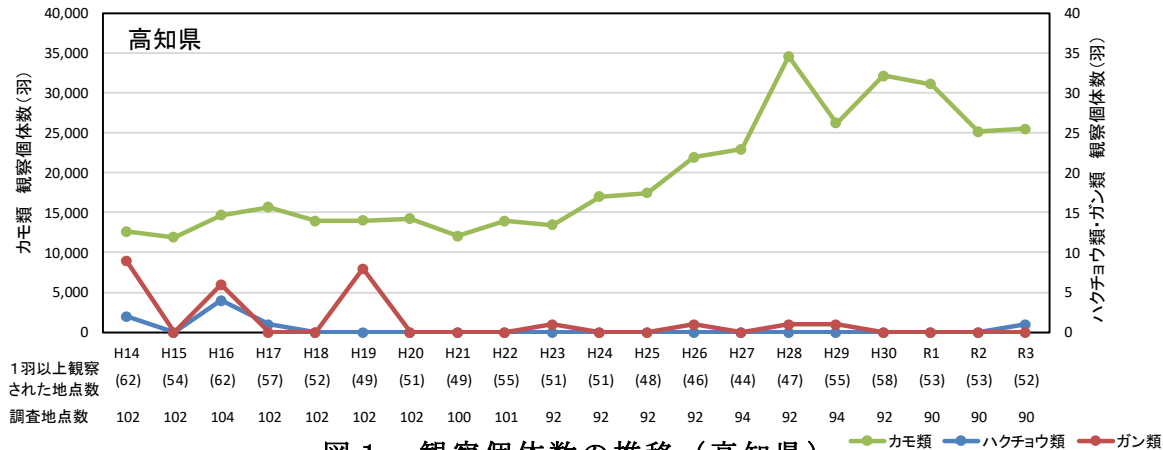
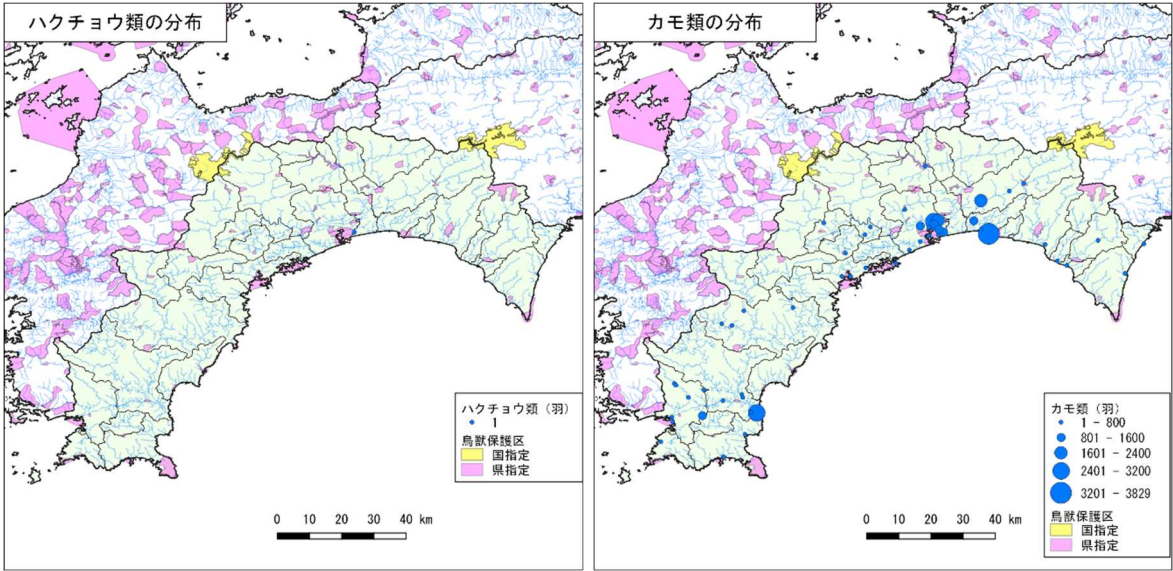


図 1 観察個体数の推移（高知県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ハクチョウ類、カモ類の観察個体数の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	南国市	24	石土池	1	1	香南市	109	手結港	3,829
2					2	四万十市	74	四万十川河口	2,502
3					3	高知市	17	国分川河口	2,482
4					4	香美市	32	物部川杉田ダム	2,165
5					5	高知市	19	国分川布師田	1,792

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（高知県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

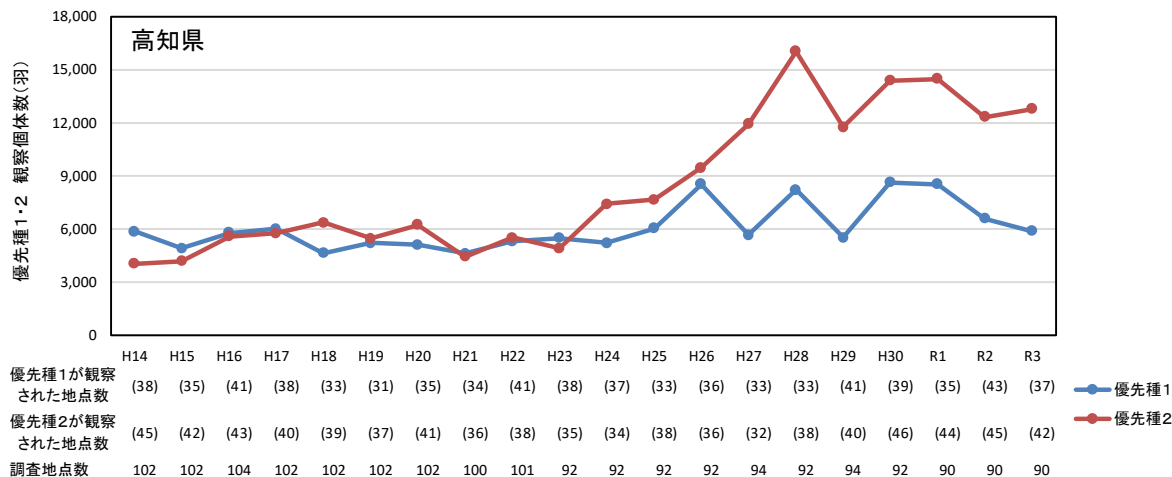
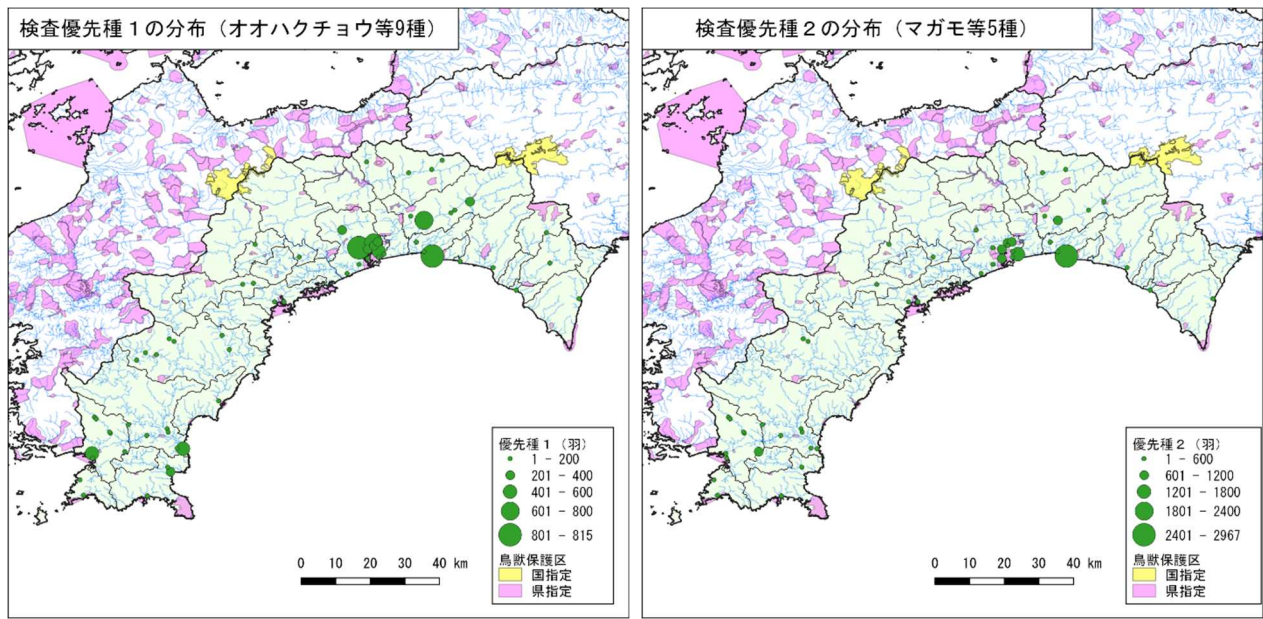


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（高知県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況(対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの)及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	香南市	109	手結港	815
2	高知市	15	鏡川	805
3	高知市	17	国分川河口	662
4	香美市	32	物部川杉田ダム	608
5	高知市	106	下田川	502

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	香南市	109	手結港	2,967
2	南国市	24	石土池	1,222
3	高知市	17	国分川河口	1,043
4	香美市	32	物部川杉田ダム	1,004
5	宿毛市	104	中節川ダム	999

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（高知県）

福岡県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の福岡県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

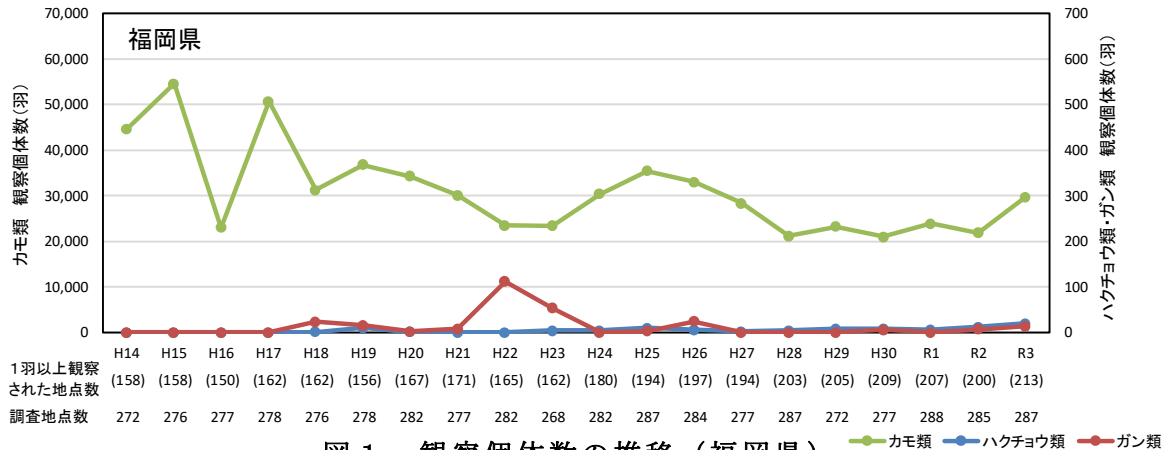


図 1 観察個体数の推移（福岡県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

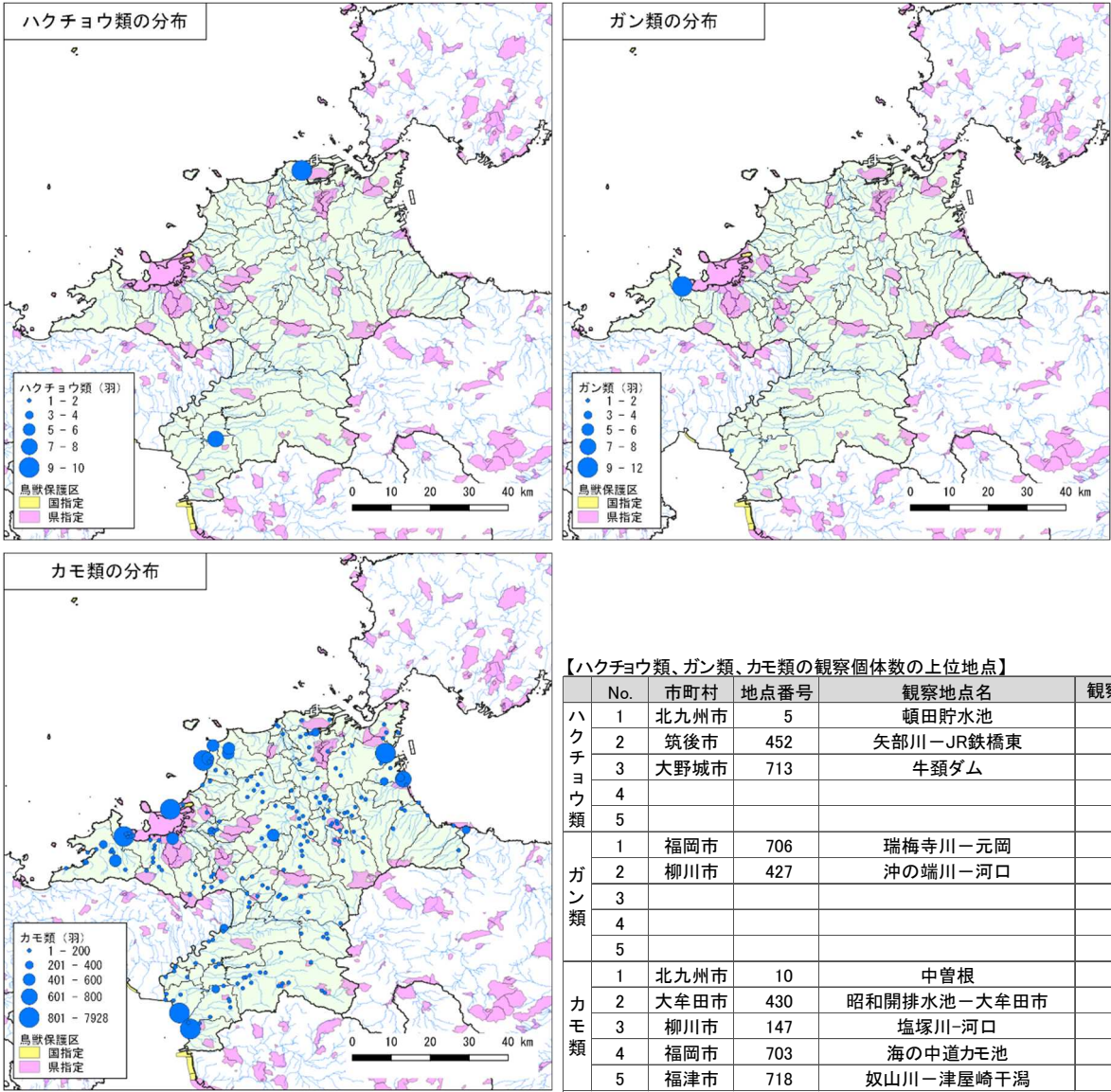


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（福岡県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

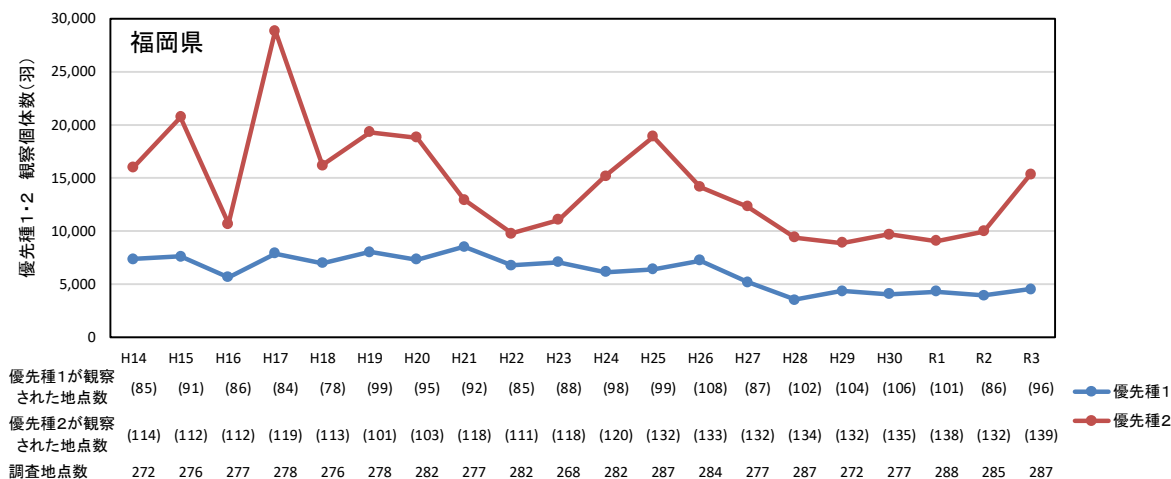


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（福岡県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。

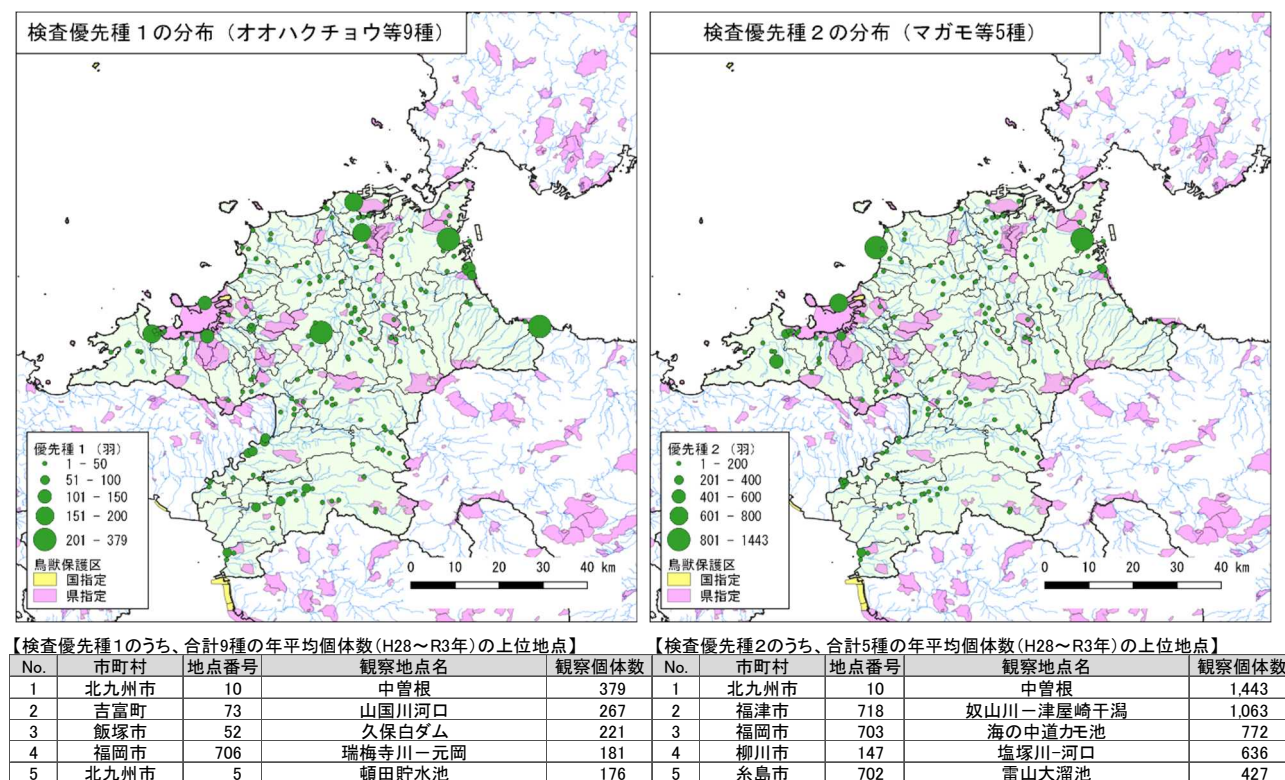
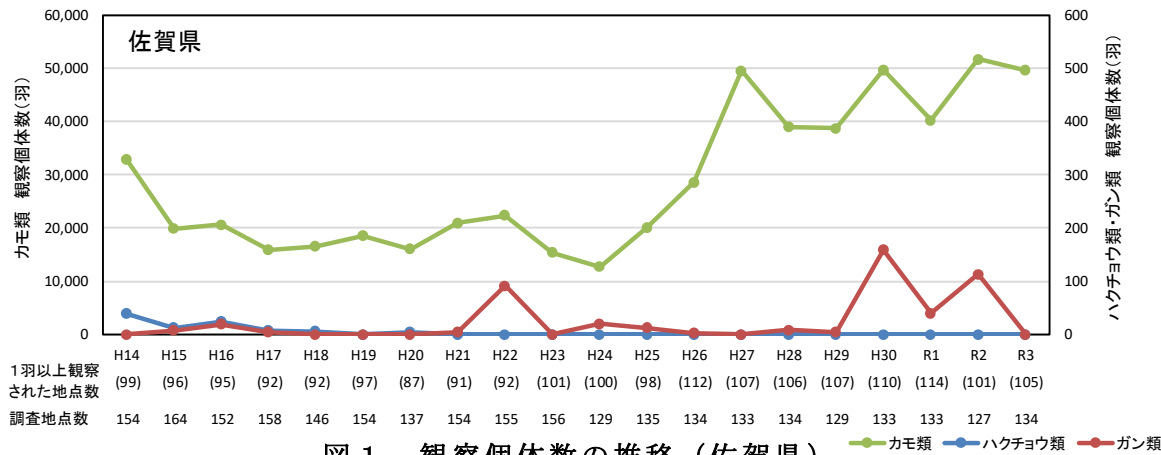


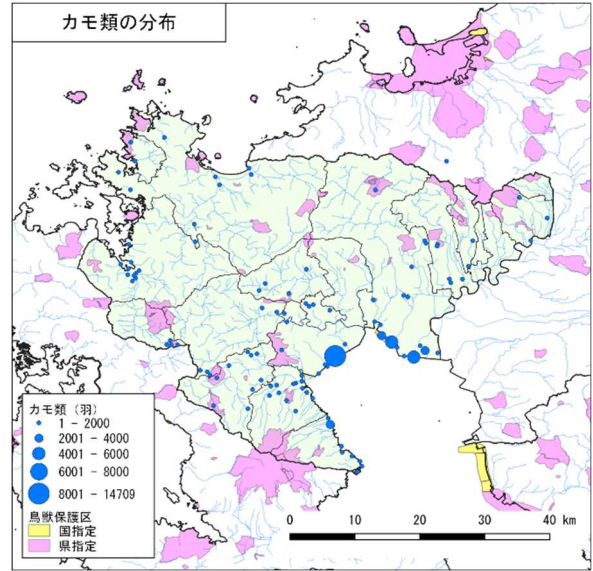
図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（福岡県）

佐賀県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）
過去 20 年間の佐賀県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。



2. 県内における類ごとの分布図
ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
カモ類	1	白石町	51	有明干拓溜池	14,709
	2	佐賀市	24	大授1区	4,600
	3	佐賀市	19	平和瀬	4,280
	4	太良町	233	栄町	3,368
	5	佐賀市	105	早津江川 大正瀬江湖	2,650

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（佐賀県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

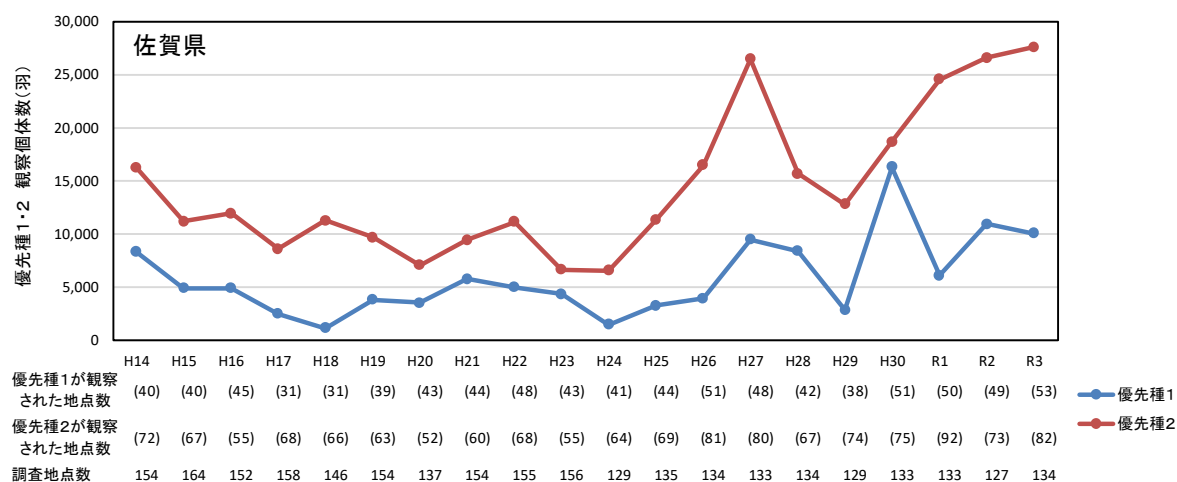
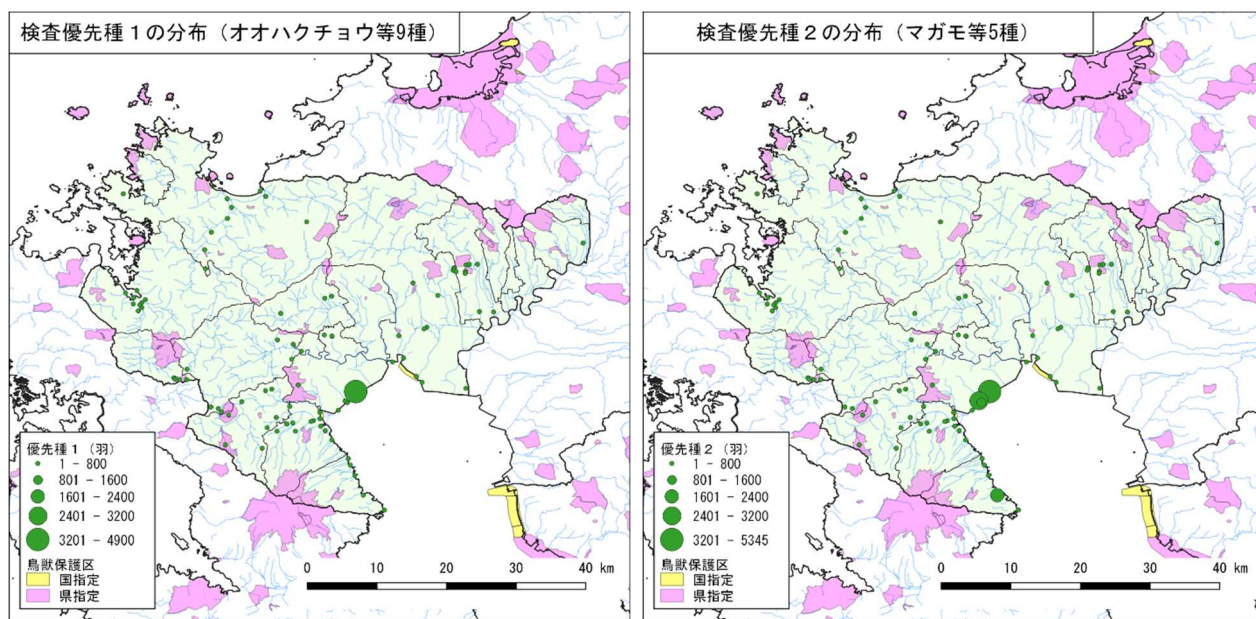


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（佐賀県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位 5 地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	白石町	51	有明干拓溜池	4,900
2	佐賀市	179	嘉瀬川大堰	489
3	太良町	233	栄町	312
4	神埼市	238	城原耕地堤	301
5	佐賀市	15	嘉瀬川河口	286

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位 5 地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	白石町	51	有明干拓溜池	5,345
2	白石町	54	只江川河口	2,908
3	太良町	159	里	1,827
4	白石町	52	有明干拓地先有明漁港	1,386
5	佐賀市	19	平和瀬	960

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（佐賀県）

長崎県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の長崎県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

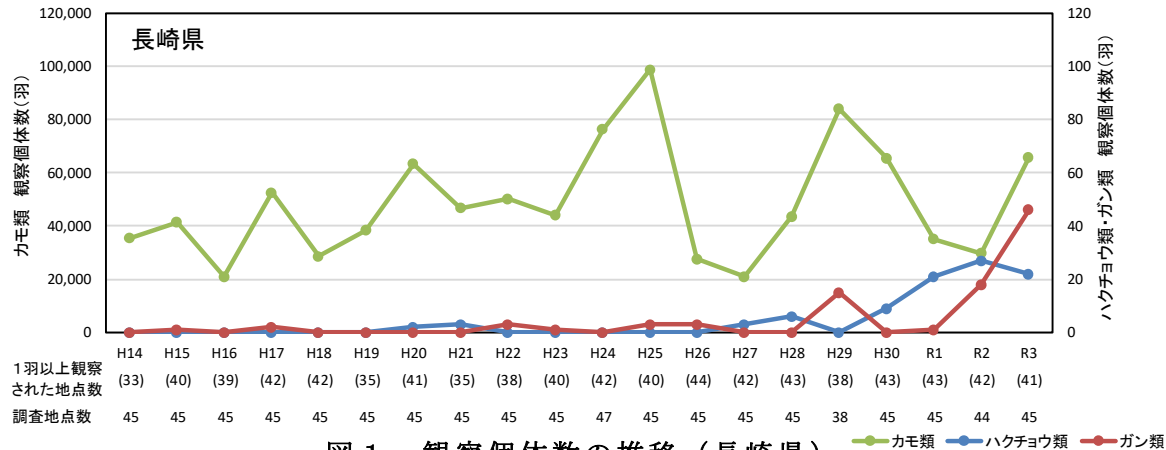


図 1 観察個体数の推移（長崎県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

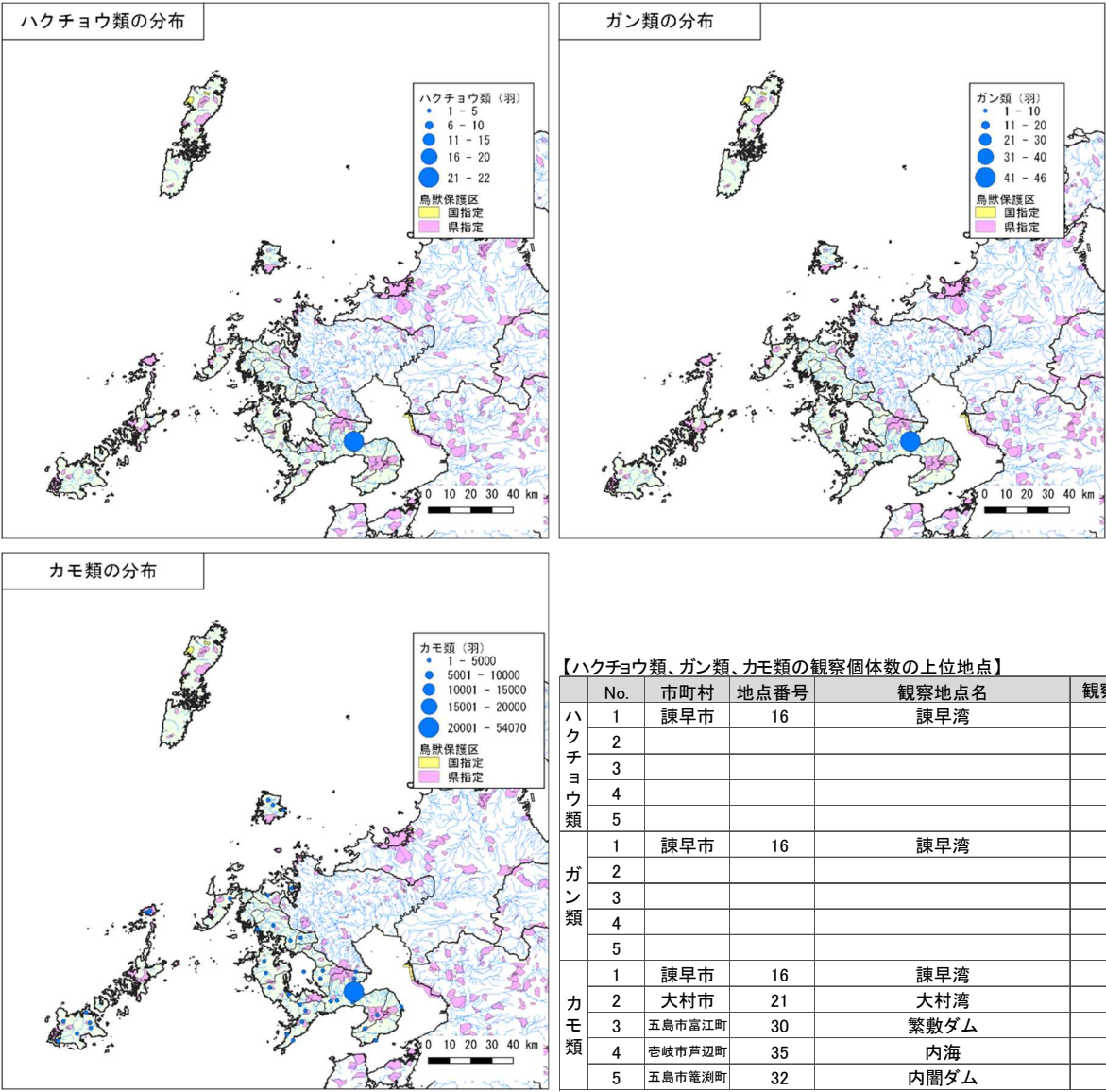


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（長崎県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

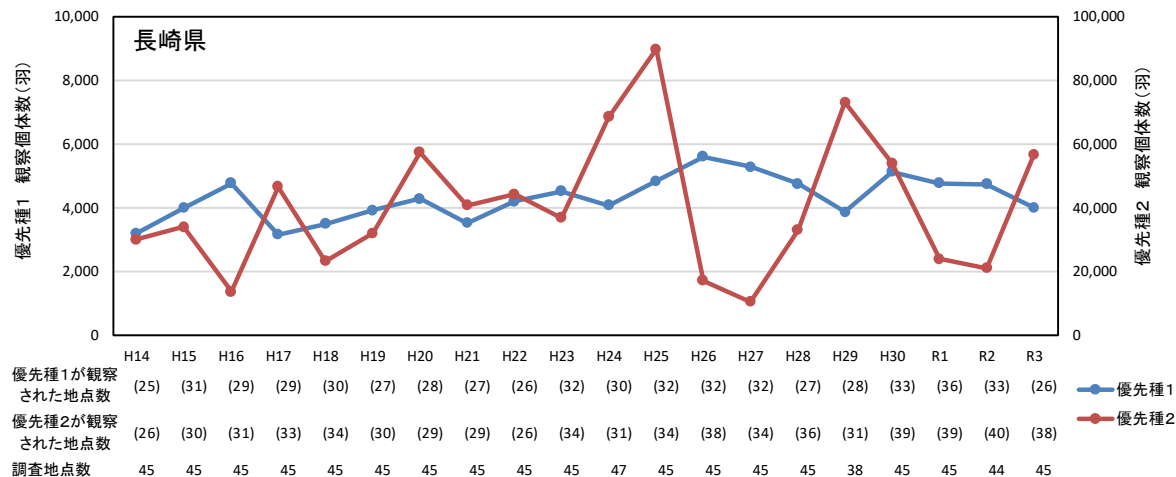


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（長崎県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。

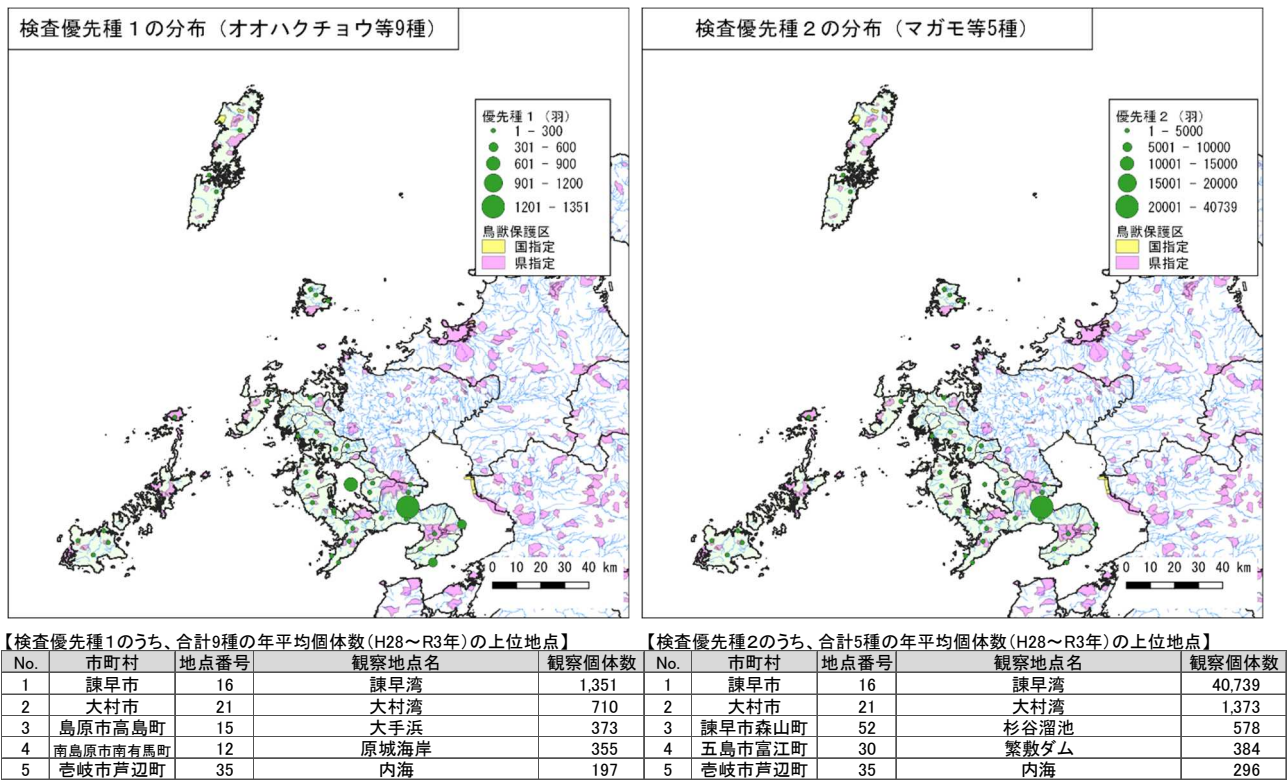


図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（長崎県）

熊本県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の熊本県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

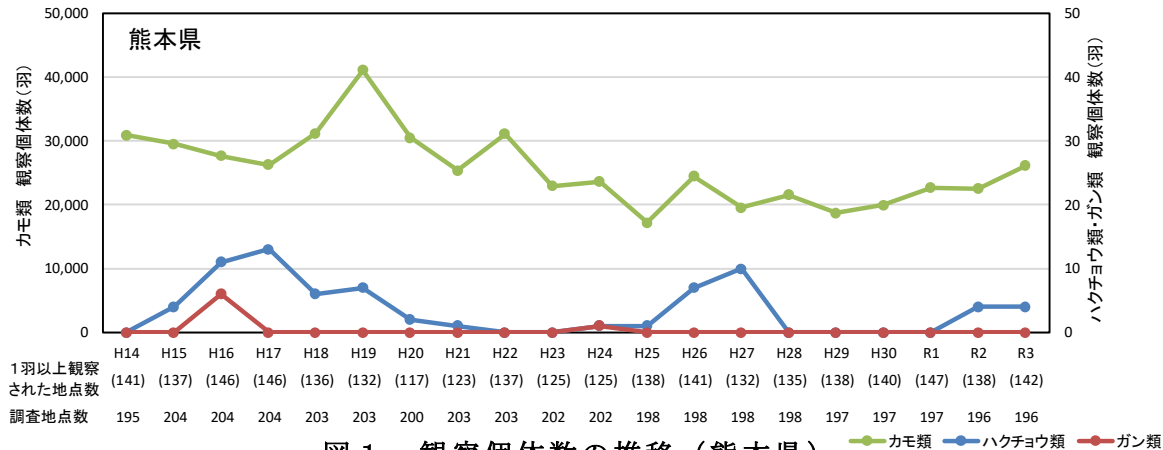
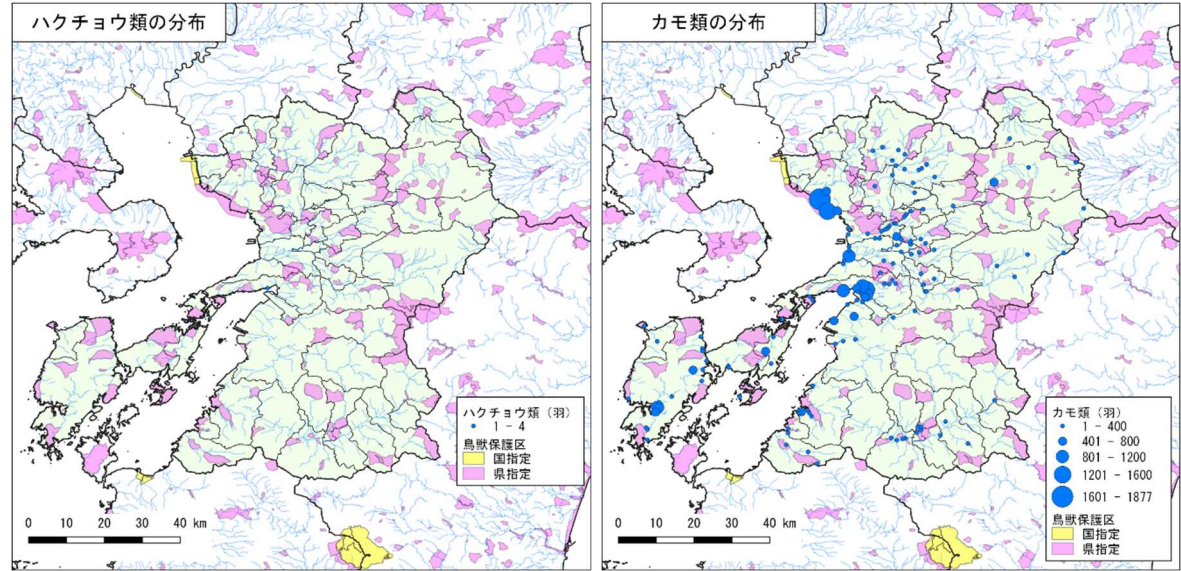


図 1 観察個体数の推移（熊本県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ハクチョウ類、カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数		No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
ハク チ ョ ウ 類	1	宇城市	275	永尾海岸	4	カ モ 類	1	玉名市	303	菊池川河口	1,877
	2						2	宇城市	277	御船海岸	1,500
	3						3	玉名市	305	横島干拓	1,352
	4						4	天草市	1,159	久留	1,070
	5						5	熊本市	125	学料	1,000

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（熊本県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

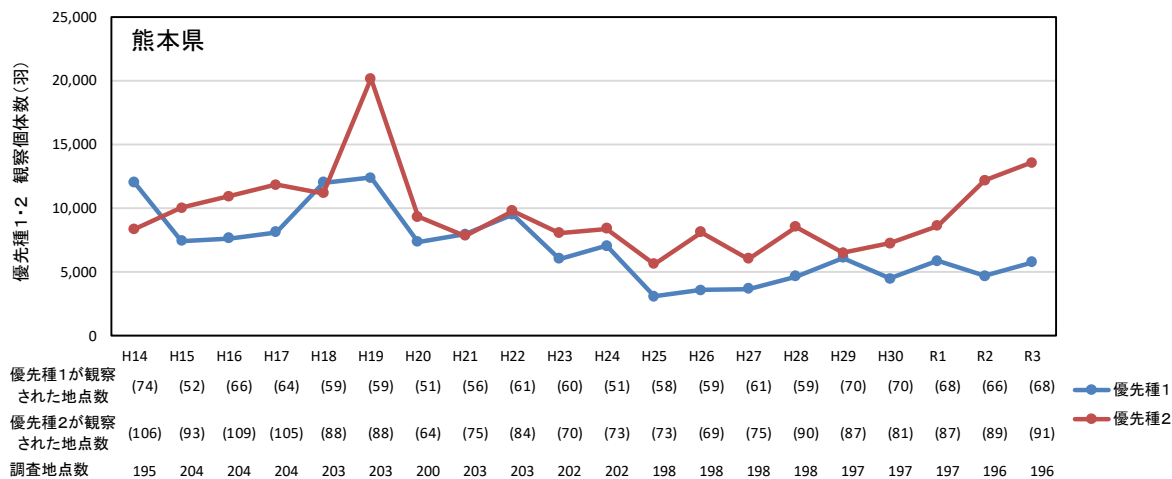


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（熊本県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。

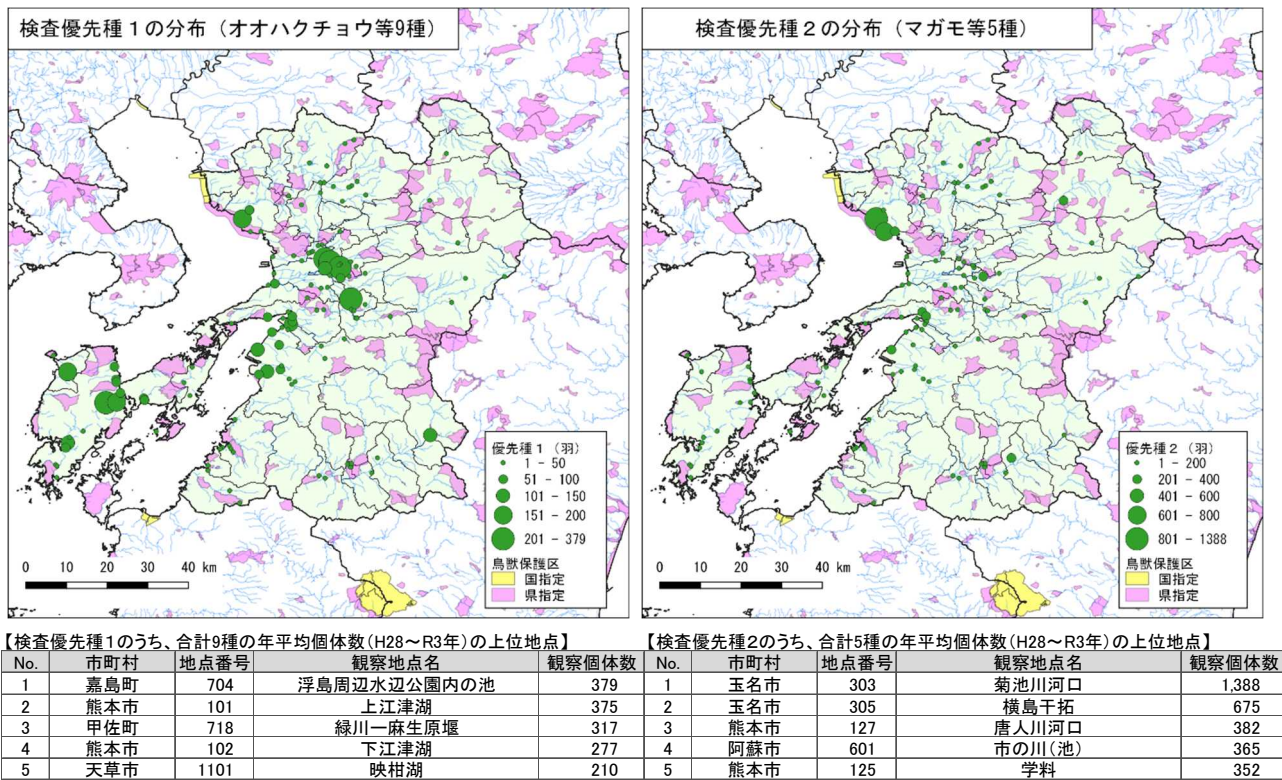
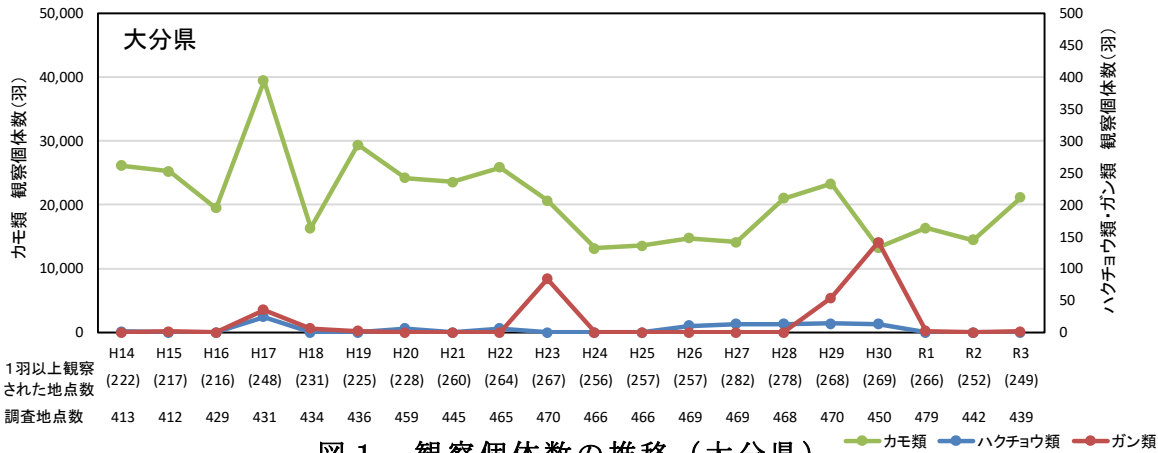


図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（熊本県）

大分県のガンカモ類の生息調査結果

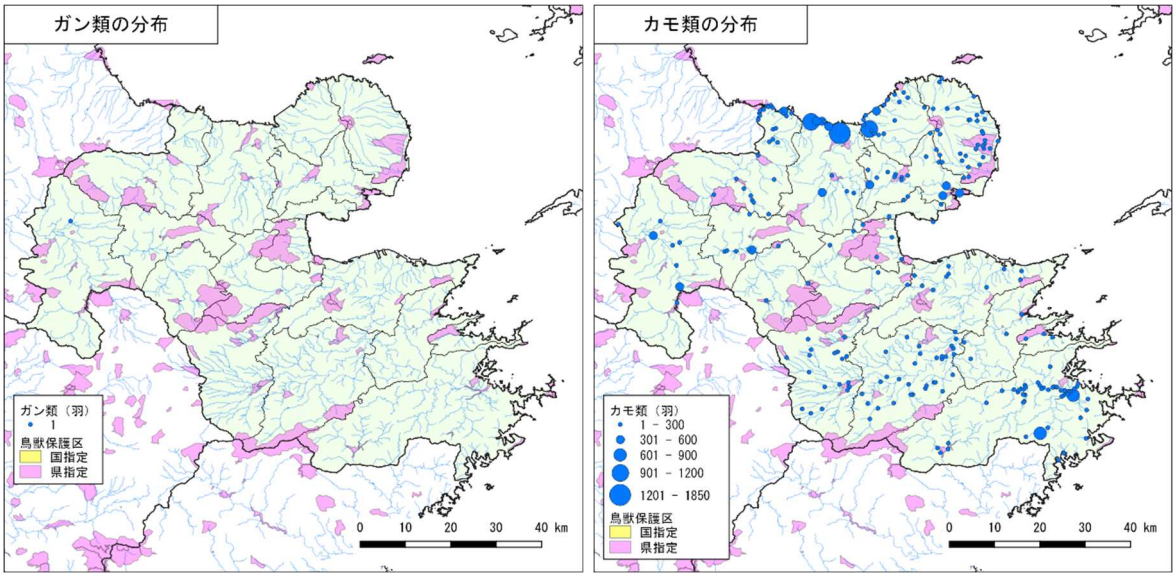
1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の大分県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。



2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【ガン類、カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数		No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
ガン類	1	日田市	915	花月川	1	カモ類	1	宇佐市	1,101	駅館川	1,850
	2						2	豊後高田市	2	桂川河口	1,095
	3						3	宇佐市	1,103	伊呂波川河口	1,038
	4						4	佐伯市	524	須留木	654
	5						5	佐伯市	502	黒沢ダム	650

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（大分県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

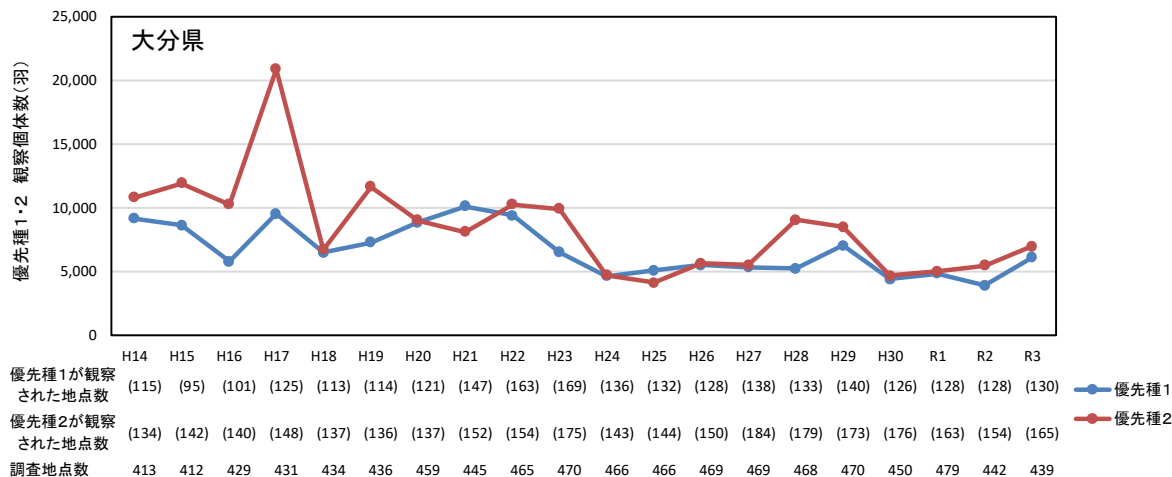
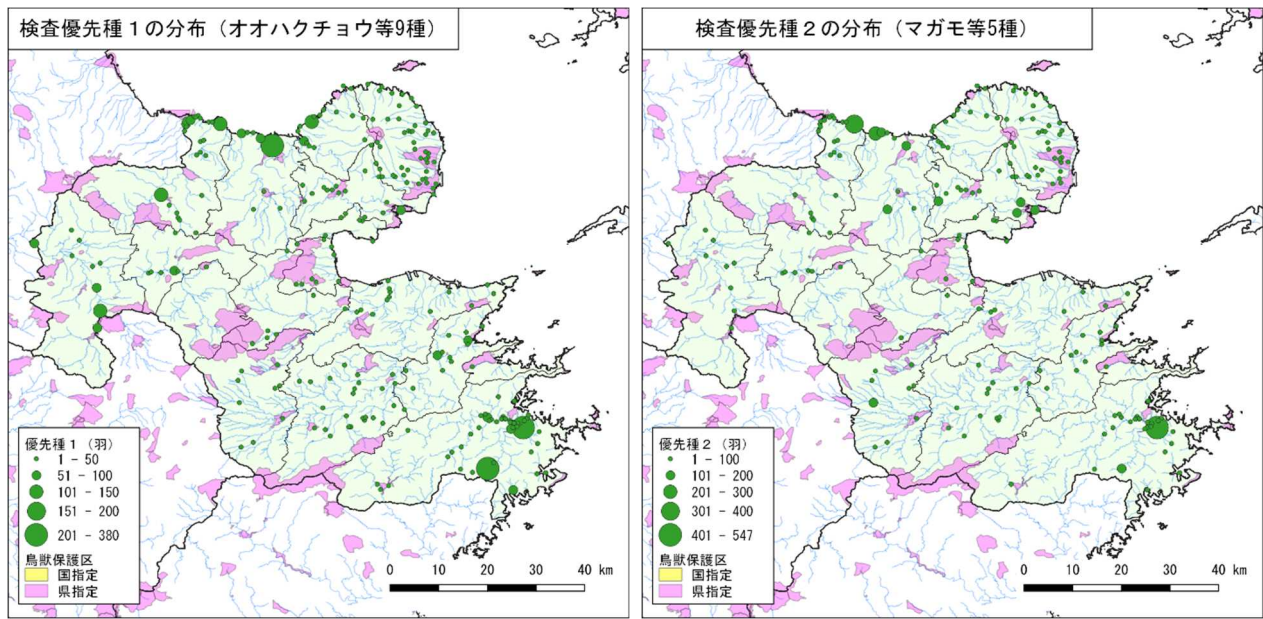


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（大分県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況(対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの)及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	佐伯市	502	黒沢ダム	380
2	宇佐市	1101	駅館川	336
3	佐伯市	524	須留木	323
4	中津市	1002	耶馬溪ダム	119
5	日田市	918	松原ダム	113

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	佐伯市	524	須留木	547
2	中津市	1019	和間	396
3	宇佐市	1103	伊呂波川河口	229
4	宇佐市	3766	浜高家	184
5	佐伯市	502	黒沢ダム	160

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（大分県）

宮崎県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の宮崎県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

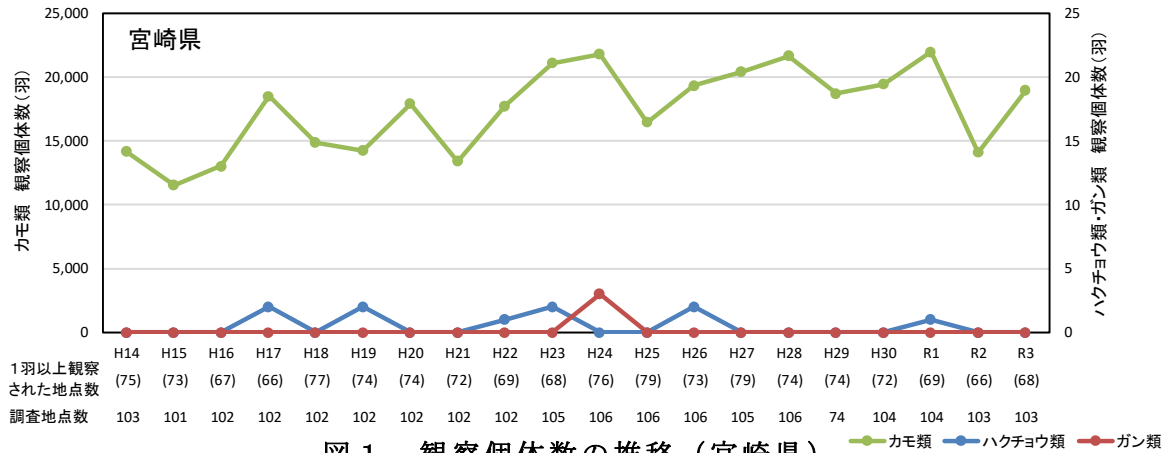
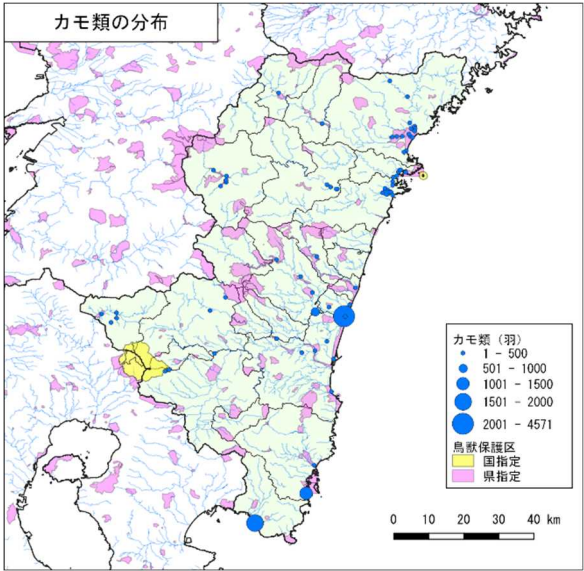


図 1 観察個体数の推移（宮崎県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。



【カモ類の観察個体数の上位地点】

	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
カモ類	1	新富町	52	下富田	4,571
	2	串間市	86	一里崎	1,800
	3	日南市	85	狼ヶ鼻	1,028
	4	宮崎市	65	巨田	990
	5	日向市	27	富高1	514

図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（宮崎県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

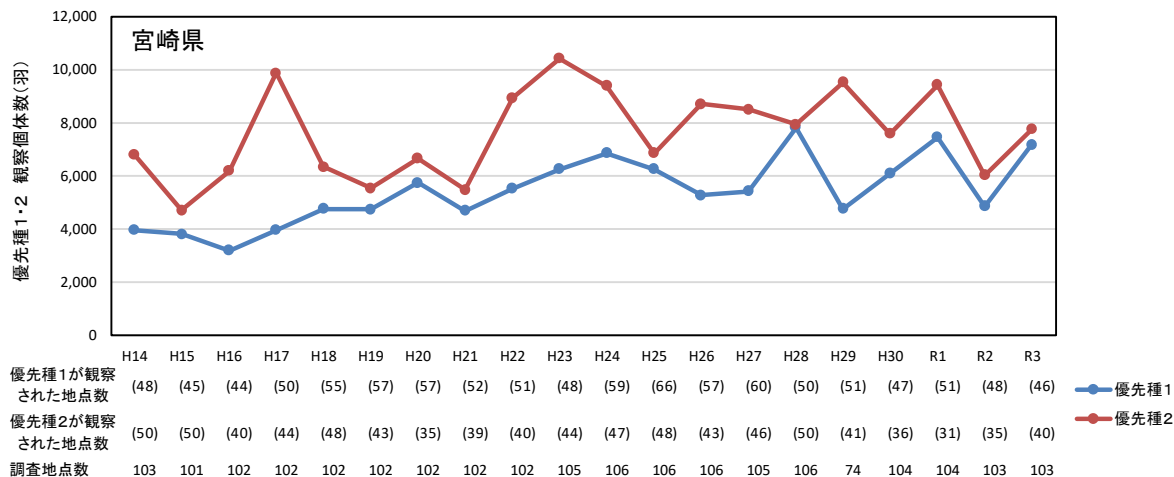
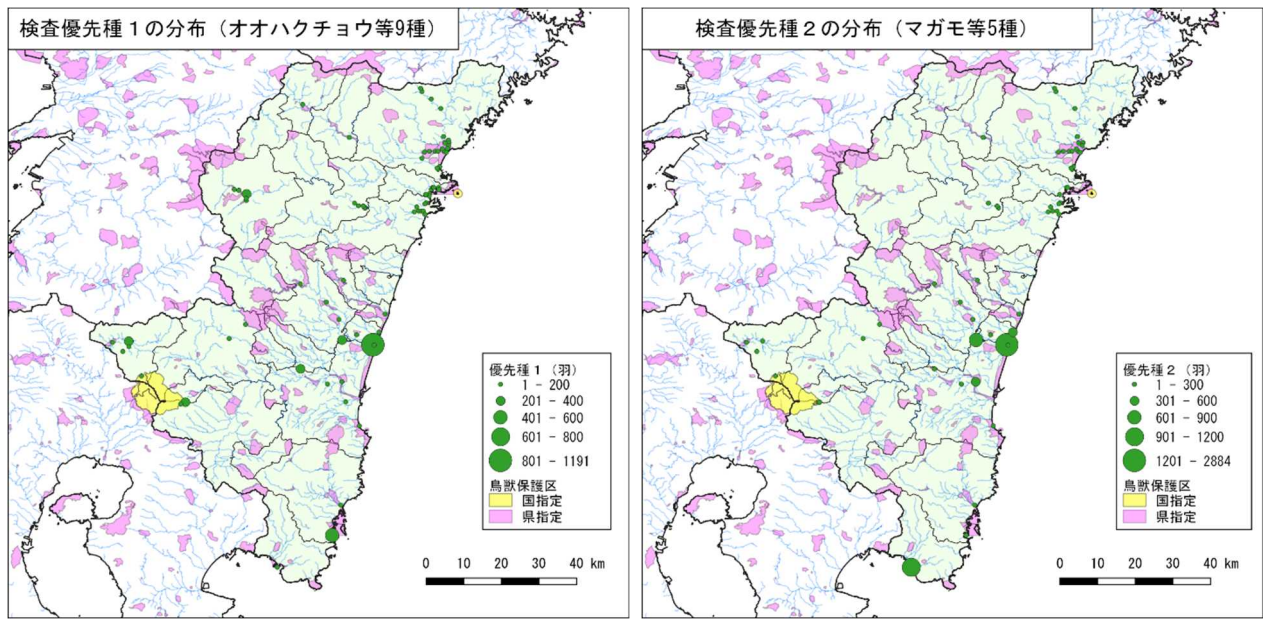


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（宮崎県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	新富町	52	下富田	1,191
2	日南市	85	狼ヶ鼻	439
3	えびの市	73	川内川－湯田	331
4	宮崎市	68	冷窪	285
5	椎葉村	114	椎葉湖 8	280

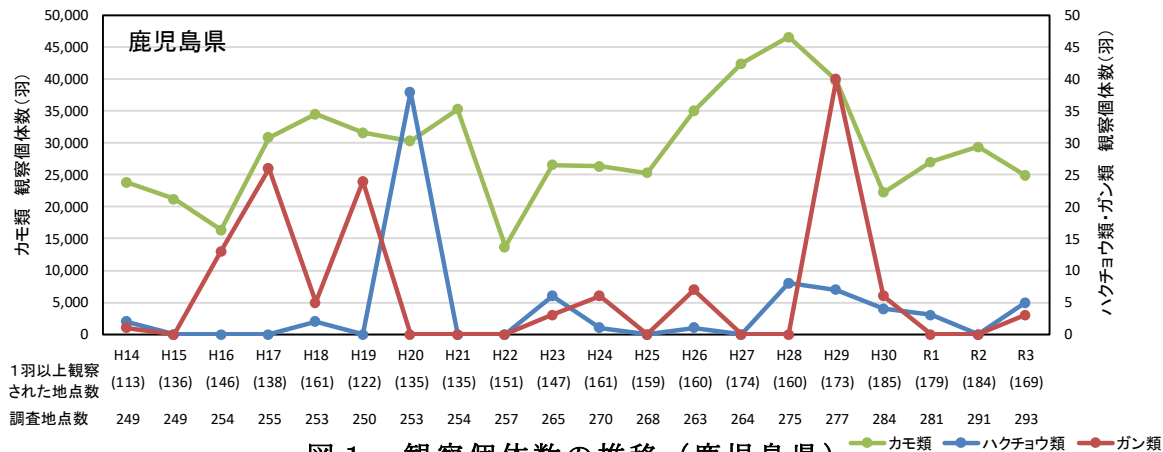
【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数（H28～R3 年）の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	新富町	52	下富田	2,884
2	串間市	86	一里崎	996
3	宮崎市	65	巨田	840
4	宮崎市	57	大淀川	490
5	宮崎市	59	住吉	461

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（宮崎県）

鹿児島県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）
過去 20 年間の鹿児島県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。



2. 県内における類ごとの分布図
ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

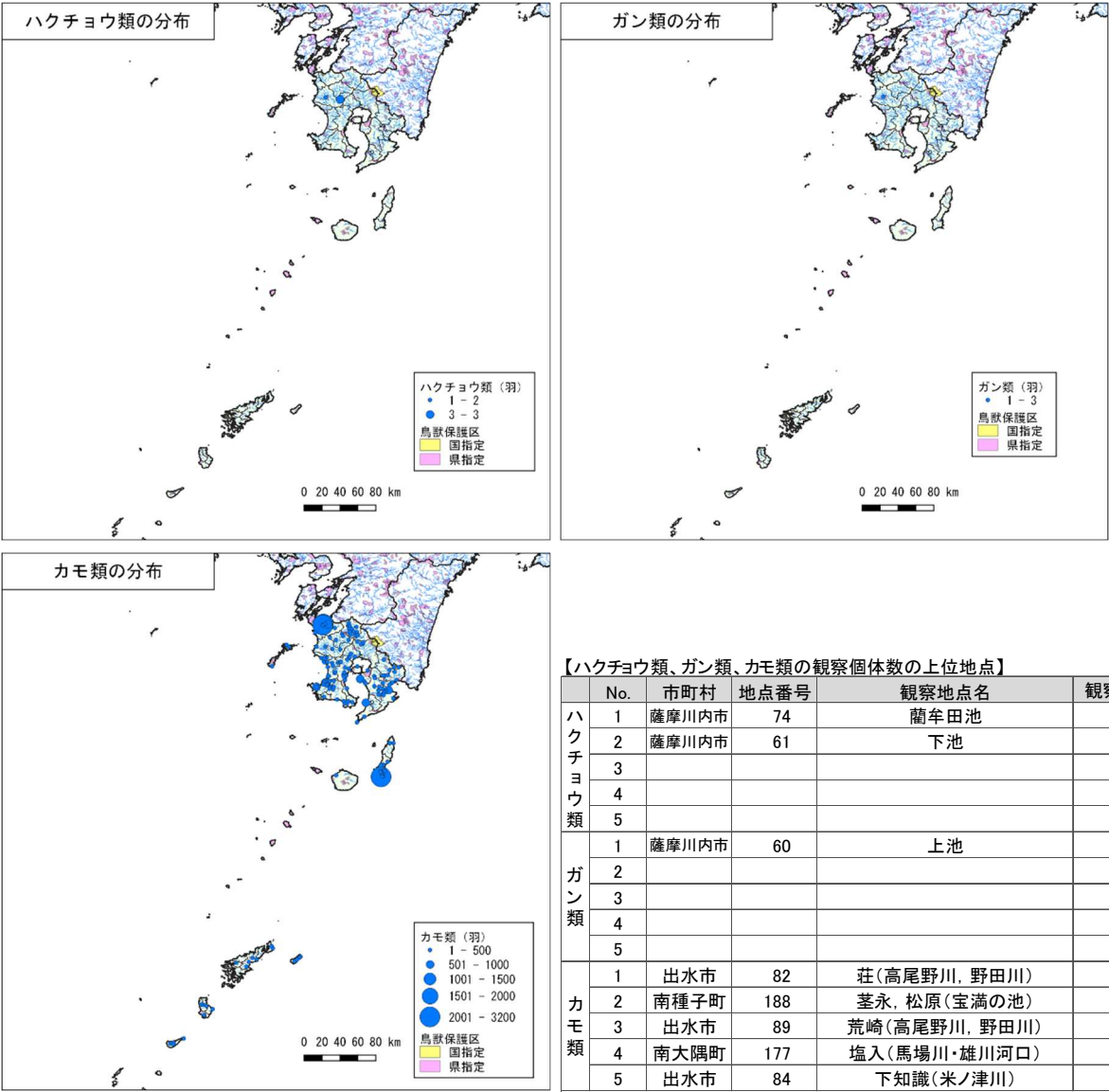


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（鹿児島県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

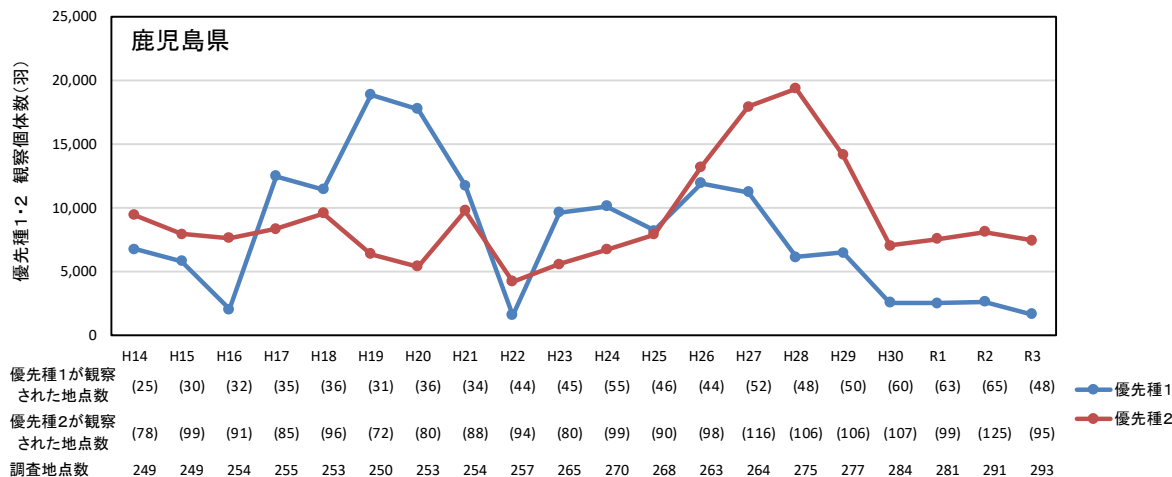
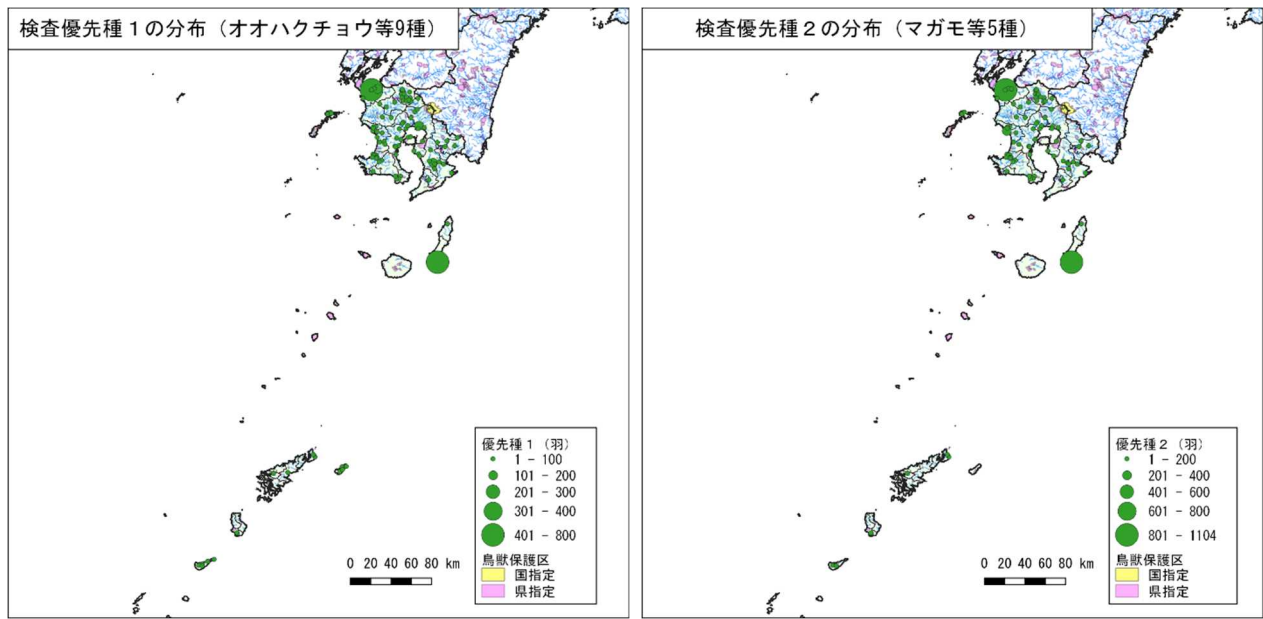


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（鹿児島県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】					【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】				
No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数	No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	出水市	89	荒崎(高尾野川, 野田川)	800	1	出水市	89	荒崎(高尾野川, 野田川)	1,104
2	南種子町	188	荃永, 松原(宝満の池)	500	2	南種子町	188	荃永, 松原(宝満の池)	1,040
3	出水市	84	下知識(米ノ津川)	159	3	南大隅町	177	塩入(馬場川・雄川河口)	679
4	鹿屋市	150	川東	129	4	出水市	82	荘(高尾野川, 野田川)	508
5	霧島市	109	天降川～新川橋～野口橋	128	5	南さつま市	284	清水(笠石川及び清水ため池)	404

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（鹿児島県）

沖縄県のガンカモ類の生息調査結果

1. 過去 20 年間の類別観察個体数の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の沖縄県での類別の観察個体数の推移を以下に示す。

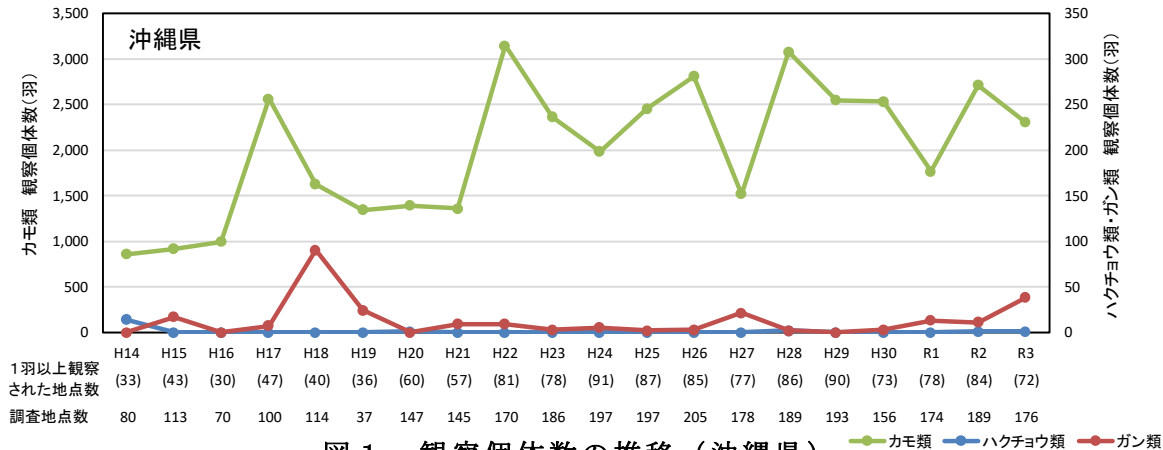


図 1 観察個体数の推移（沖縄県）

2. 県内における類ごとの分布図

ハクチョウ類、ガン類、カモ類の直近令和 3 年 1 月の分布状況は以下のとおりである。

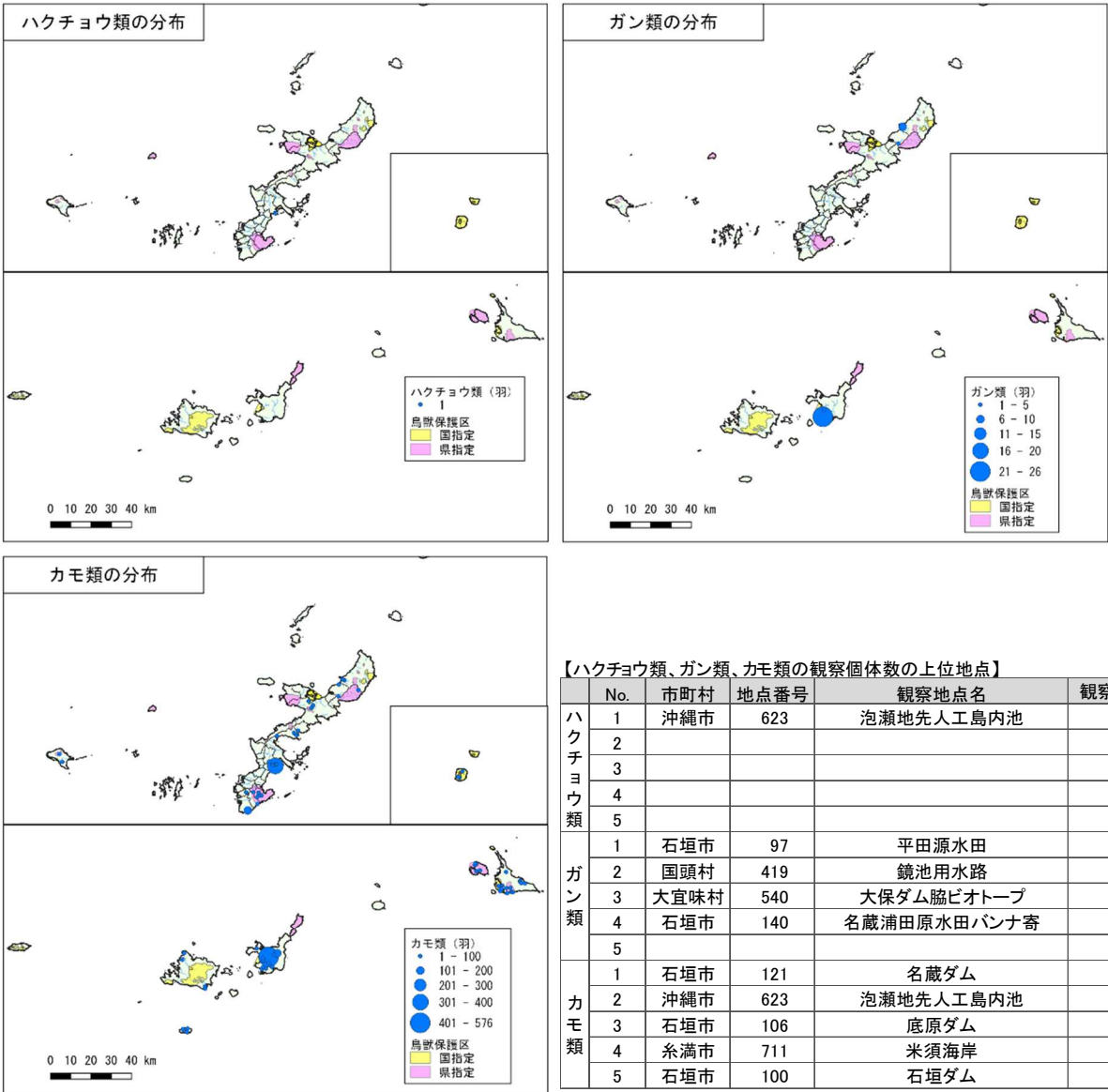


図 2 ハクチョウ類、ガン類、カモ類の分布状況（沖縄県）

3. 過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の推移（平成 14～令和 3 年度）

過去 20 年間の高病原性鳥インフルエンザ検査優先種 1・2 の観察個体数の推移を以下に示す。

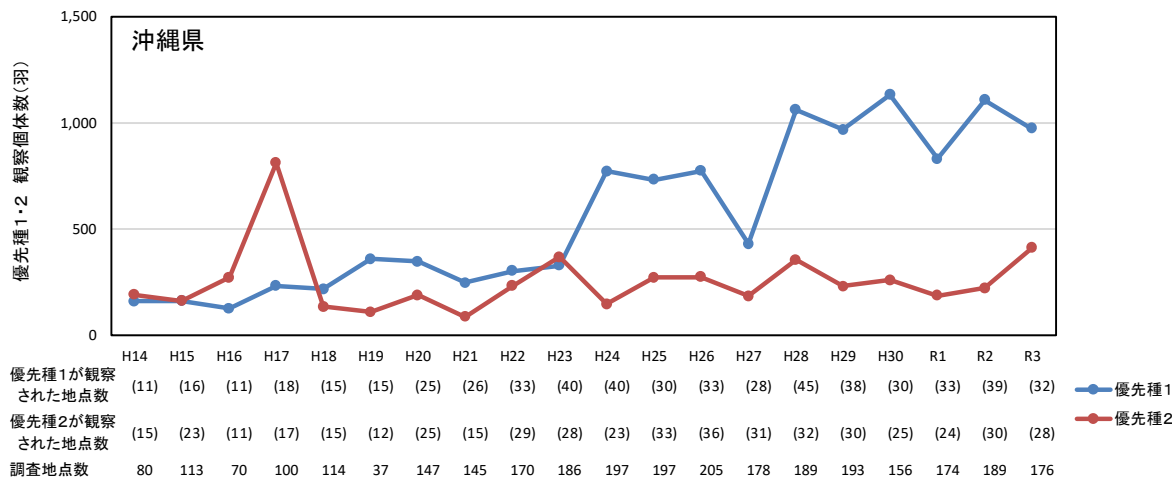
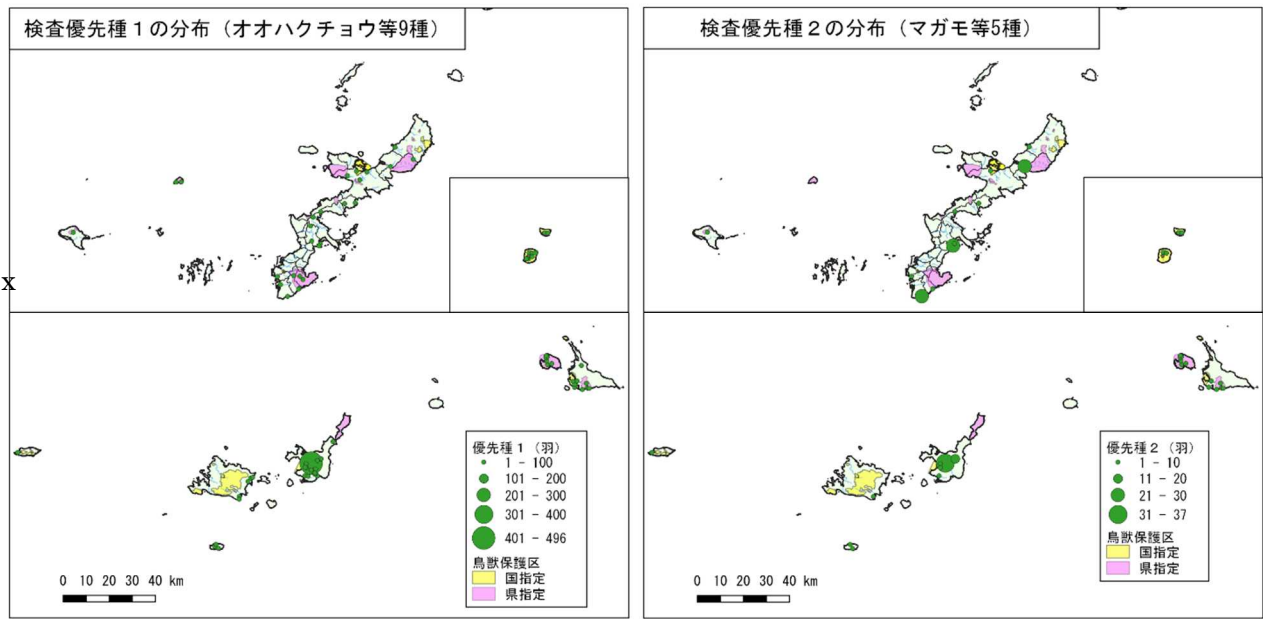


図 3 検査優先種 1、2 の観察個体数の推移（沖縄県）

4. 高病原性鳥インフルエンザ検査優先種の分布状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）

至近 5 年間の調査で観察された検査優先種 1・2 のうち、本調査の対象種の平均的な分布状況（対象種の H29～R3 年度の合計個体数を 5 分割して年平均個体数を算出し、その数値を分布図として示したもの）及び観察個体数が多かった地点の上位 5 地点を以下に示す。



【検査優先種 1 のうち、合計 9 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	石垣市	121	名蔵ダム	496
2	与那国町	1	久部良大池	61
3	沖縄市	606	沖縄こどもの国の池	39
4	竹富町	80	電業所横の貯水池	32
5	糸満市	711	米須海岸	23

【検査優先種 2 のうち、合計 5 種の年平均個体数 (H28～R3 年) の上位地点】

No.	市町村	地点番号	観察地点名	観察個体数
1	石垣市	121	名蔵ダム	37
2	大宜味村	540	大保ダム脇ビオトープ	25
3	糸満市	711	米須海岸	22
4	沖縄市	623	泡瀬地先人工島内池	21
5	石垣市	106	底原ダム	15

図 4 検査優先種 1、2 の分布状況及び観察個体数上位地点（沖縄県）